(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第6606563号
(P6606563)
(45)発行日　令和1年11月13日(2019.11.13)　(24)登録日　令和1年10月25日(2019.10.25)

(51)Int.Cl.		F I		
G06Q 20/30	(2012.01)	G06Q	20/30	
H04M 1/00	(2006.01)	H04M	1/00	R
G06Q 20/40	(2012.01)	G06Q	20/40	

請求項の数 19　(全 161 頁)

(21)出願番号　特願2017-562330 (P2017-562330)
(86)(22)出願日　平成28年5月25日 (2016.5.25)
(65)公表番号　特表2018-528500 (P2018-528500A)
(43)公表日　平成30年9月27日 (2018.9.27)
(86)国際出願番号　PCT/US2016/034175
(87)国際公開番号　WO2016/196143
(87)国際公開日　平成28年12月8日 (2016.12.8)
審査請求日　平成29年12月6日 (2017.12.6)
(31)優先権主張番号　62/230,430
(32)優先日　平成27年6月5日 (2015.6.5)
(33)優先権主張国・地域又は機関
米国 (US)

(73)特許権者　503260918
アップル　インコーポレイテッド
Ａｐｐｌｅ　Ｉｎｃ．
アメリカ合衆国　９５０１４　カリフォルニア州　クパチーノ　アップル　パーク　ウェイ　ワン
Ｏｎｅ　Ａｐｐｌｅ　Ｐａｒｋ　Ｗａｙ，Ｃｕｐｅｒｔｉｎｏ，　Ｃａｌｉｆｏｒｎｉａ　９５０１４，　Ｕ．Ｓ．Ａ．
(74)代理人　100076428
弁理士　大塚　康徳
(74)代理人　100115071
弁理士　大塚　康弘
(74)代理人　100112508
弁理士　高柳　司郎

最終頁に続く

(54)【発明の名称】ウェアラブルデバイス用のロイヤルティアカウント及びプライベートラベルアカウントのためのユーザインタフェース

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
ディスプレイと１つ以上の無線通信要素とを備えた第１の電子デバイスにおいて、
前記ディスプレイに、前記第１の電子デバイスに支払いアカウントをリンクするためのユーザインタフェースを表示することと、ここで、前記ユーザインタフェースは、前記第１の電子デバイスに支払いアカウントをリンクするための処理を前記第１の電子デバイスに開始させるユーザ入力のための指示の表示が含まれる、表示することと、
前記指示に適合し、かつ、支払カードと関連付けられた支払アカウントを前記第１の電子デバイスにリンクさせることを求める第１のリクエストに相当する１つ以上の入力のシーケンスを受け取ることと、
前記第１のリクエストの受信に応答して、前記支払アカウントを前記第１の電子デバイスにリンクさせるための処理を開始することと、
前記支払アカウントを成功裏に前記第１の電子デバイスにリンクさせた後、前記ディスプレイ上に、
前記支払アカウントが成功裏に前記第１の電子デバイスにリンクされたことの表示、及び
前記支払アカウントを、前記第１の電子デバイスとは異なり、かつ前記第１の電子デバイスとペアリングされている第２の電子デバイスにリンクさせるための選択可能なアフォーダンスを、同時に表示することと、
前記選択可能なアフォーダンスのアクティベーションを受け取ることと、

前記選択可能なアフォーダンスのアクティベーションの受け取りに応答して、前記支払アカウントを、前記第１の電子デバイスとは異なり、かつ前記第１の電子デバイスとペアリングされている前記第２の電子デバイスにリンクさせるための処理を開始することと、
を含み、
前記支払いアカウントを前記第２の電子デバイスにリンクするための前記処理が、前記支払いアカウントを前記第２の電子デバイスにリンクするための、前記第１の電子デバイスでのユーザ入力についての指示を、前記第１の電子デバイスの前記ディスプレイに表示することを含む、方法。

【請求項２】
前記第２の電子デバイスが前記第１の電子デバイスと一意的にペアリングされる、請求項１に記載の方法。

【請求項３】
前記第１の電子デバイスが前記第２の電子デバイスとペアリングされ、前記第１の電子デバイスが第３の電子デバイスとペアリングされ、前記第１の電子デバイスと前記第２の電子デバイスとの間のペアリング関係が、前記第１の電子デバイスと前記第３の電子デバイスとの間のペアリング関係とは異なっている、請求項１に記載の方法。

【請求項４】
前記支払アカウントを前記第２の電子デバイスにリンクさせるための前記処理を開始することが、
前記１つ以上の無線通信要素を介して、前記支払カードと関連付けられた金融機関に、前記第２の電子デバイスが前記第１の電子デバイスと一意的にペアリングされているという表示を送信することを含む、請求項１から３のいずれか１項に記載の方法。

【請求項５】
前記支払アカウントを前記第２の電子デバイスにリンクさせることの開始後、前記第２の電子デバイスから、前記第２の電子デバイスを前記支払アカウントにリンクさせることに成功したとの確認通知を受け取ることを更に含み、
前記支払アカウントについて前記第２の電子デバイスにリンクされる主要口座番号が、前記支払アカウントについて前記第１の電子デバイスにリンクされる主要口座番号とは異なっている、
請求項１から３のいずれか１項に記載の方法。

【請求項６】
支払アカウントをリンクさせることを求める前記第１のリクエストが前記支払カードの口座番号を含み、前記支払アカウントを前記第２の電子デバイスにリンクさせるための前記処理を開始することが、前記支払カードの前記口座番号の追加入力を必要とすることなく行われる、請求項１から３のいずれか１項に記載の方法。

【請求項７】
前記支払アカウントを前記第２の電子デバイスにリンクさせるための前記処理を開始させる第２のリクエストをさらに有し、前記第２のリクエストは前記支払カードのセキュリティコードを含む、請求項１から３のいずれか１項に記載の方法。

【請求項８】
前記支払アカウントを前記第２の電子デバイスにリンクさせるための前記処理を開始することが、
前記１つ以上の無線通信要素を介して、前記支払カードと関連付けられた金融機関に、
前記支払カードの口座番号と、
前記支払アカウントが前記第１の電子デバイスに既にリンクされたことを確認するセキュリティトークンと、を送信することを含む、請求項１から３のいずれか１項に記載の方法。

【請求項９】
前記支払アカウントを前記第２の電子デバイスにリンクさせるための前記処理を開始す

ることが、
前記支払アカウントを前記第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要か否かを判定することと、
前記支払アカウントを前記第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証は必要ないとの判定に従って、前記支払アカウントを前記第２の電子デバイスにリンクさせるための処理を開始し、前記支払アカウントが前記第２の電子デバイスにリンクされているとの表示を提供することと、
前記支払アカウントを前記第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの判定に従って、前記支払アカウントを前記第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの表示を提供することと、を含む、請求項１から３のいずれか１項に記載の方法。
【請求項１０】
前記支払アカウントを前記第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの前記表示が、前記支払アカウントを対応するデバイスにリンクするためにユーザが行うべき追加のステップの視覚的表示を含む、請求項９に記載の方法。
【請求項１１】
アカウントリンク情報を前記第２の電子デバイスに送信することであって、前記アカウントリンク情報により前記第２の電子デバイスが前記支払アカウントを前記第２の電子デバイスにリンクすることが可能になる、こと、
を更に含む、請求項１から３のいずれか１項に記載の方法。
【請求項１２】
前記支払アカウントを対応するデバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの判定に従って、
前記ディスプレイ上に、複数の通信方法アフォーダンスを表示することであって、各通信方法アフォーダンスが検証通信のためのそれぞれの通信方法と関連付けられる、ことを更に含み、
前記複数の通信方法アフォーダンスが前記金融機関から受信した通信に基づいている、
請求項８に記載の方法。
【請求項１３】
前記支払アカウントを前記第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの判定に従って、
前記複数の通信方法アフォーダンスのうちのある通信方法アフォーダンスの選択を受け取ることと、
前記通信方法アフォーダンスの前記選択の受け取りに応答して、前記金融機関に、前記選択された通信方法アフォーダンスに対応する通信方法の表示を送信することと、を更に含み、
前記検証通信が前記通信方法アフォーダンスに基づいている、
請求項１２に記載の方法。
【請求項１４】
前記第２の電子デバイスを使用した前記支払アカウントからの支払を認証する際に使用するために、金融機関から主要口座番号を受け取ることであって、前記主要口座番号が前記支払いカードの口座番号とは異なっている、ことと、
前記主要口座番号を対応するデバイスに割り当てることと、
を更に含む、請求項１から３のいずれか１項に記載の方法。
【請求項１５】
前記第２の電子デバイスの電子財布が、前記第２の電子デバイスのユーザと関連付けられた第２の支払アカウントに関する支払アカウント情報を含み、前記第２の支払アカウントが前記支払アカウントとは別である、請求項１から３のいずれか１項に記載の方法。
【請求項１６】

前記第２の電子デバイスから、前記第２の電子デバイスが前記リンクされた支払アカウントを使用する支払取引に参加したとの表示を受け取ること
を更に含む、請求項１から３のいずれか１項に記載の方法。
【請求項１７】
命令を含んだコンピュータプログラムであって、前記命令が、ディスプレイとタッチ感知面とを備える電子デバイスの１つ以上のプロセッサによって実行されると、前記電子デバイスに、請求項１から１６のいずれか１項に記載の方法を実行させる、コンピュータプログラム。
【請求項１８】
ディスプレイと、
タッチ感知面と、
請求項１から１６のいずれか１項に記載の方法を実行するための手段と、
を備える、電子デバイス。
【請求項１９】
１つ以上のコンピュータプログラムを格納するメモリと、
前記１つ以上のコンピュータプログラムにしたがって、請求項１から１６のいずれか１項に記載の方法を実行するための１つ以上のプロセッサと、
を有する、電子機器。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
（関連出願の相互参照）
本出願は、２０１５年６月５日に出願され、「ＵＳＥＲ　ＩＮＴＥＲＦＡＣＥ　ＦＯＲ　ＬＯＹＡＬＴＹ　ＡＣＣＯＵＮＴＳ　ＡＮＤ　ＰＲＩＶＡＴＥ　ＬＡＢＥＬ　ＡＣＣＯＵＮＴＳ　ＦＯＲ　Ａ　ＷＥＡＲＡＢＬＥ　ＤＥＶＩＣＥ」と題する、米国特許仮出願第６２／２３０，４３０号からの優先権を主張し、同出願はその全体がすべての目的のために本明細書において参照により組み込まれる。
【０００２】
本出願は、以下の仮出願に関連する。２０１４年５月２９日に出願され、「ＵＳＥＲ　ＩＮＴＥＲＦＡＣＥ　ＦＯＲ　ＰＡＹＭＥＮＴＳ」と題する、米国特許出願第６２／００４，８８６号（参照番号Ｐ２２８４８ＵＳＰ１）、２０１４年９月８日に出願され、「ＵＳＥＲ　ＩＮＴＥＲＦＡＣＥ　ＦＯＲ　ＰＡＹＭＥＮＴＳ」と題する、米国特許出願第６２／０４７，５４５号（参照番号Ｐ２２８４８ＵＳＰ２）、２０１５年３月３日に出願され、「ＵＳＥＲ　ＩＮＴＥＲＦＡＣＥ　ＦＯＲ　ＰＡＹＭＥＮＴＳ」と題する、米国特許出願第６２／１２７，７９０号（参照番号Ｐ２２８４８ＵＳＰ３）、及び２０１５年２月１日に出願され、「ＵＳＥＲ　ＩＮＴＥＲＦＡＣＥ　ＦＯＲ　ＰＡＹＭＥＮＴＳ」と題する、米国特許出願第６２／１１０，５６６号（参照番号Ｐ２６０４９ＵＳＰ１）、２０１３年１２月６日に出願され、「ＰＲＯＶＩＳＩＯＮＩＮＧ　ＡＮＤ　ＡＵＴＨＥＮＴＩＣＡＴＩＮＧ　ＣＲＥＤＥＮＴＩＡＬＳ　ＯＮ　ＡＮ　ＥＬＥＣＴＲＯＮＩＣ　ＤＥＶＩＣＥ」と題する、米国特許出願第６１／９１２，７２７号（参照番号Ｐ１９５４３ＵＳＰ１）、２０１３年１１月２７日に出願され、「ＰＲＯＶＩＳＩＯＮＩＮＧ　ＯＦ　ＣＲＥＤＥＮＴＩＡＬＳ　ＯＮ　ＡＮ　ＥＬＥＣＴＲＯＮＩＣ　ＤＥＶＩＣＥ　ＵＳＩＮＧ　ＰＡＳＳＷＯＲＤＳ　ＣＯＭＭＵＮＩＣＡＴＥＤ　ＯＶＥＲ　ＶＥＲＩＦＩＥＤ　ＣＨＡＮＮＥＬＳ」と題する、米国特許出願第６１／９０９，７１７号（参照番号Ｐ１９９５０ＵＳＰ１）、２０１４年５月２８日に出願され、「ＯＮＬＩＮＥ　ＰＡＹＭＥＮＴＳ　ＵＳＩＮＧ　Ａ　ＳＥＣＵＲＥ　ＥＬＥＭＥＮＴ　ＯＦ　ＡＮ　ＥＬＥＣＴＲＯＮＩＣ　ＤＥＶＩＣＥ」と題する、米国特許出願第６２／００４，１８２号（参照番号Ｐ２０４５０ＵＳＰ４）、２０１３年１２月２３日に出願され、「ＤＥＬＥＴＩＯＮ　ＯＦ　ＣＲＥＤＥＮＴＩＡＬＳ　ＦＲＯＭ　ＡＮ　ＥＬＥＣＴＲＯＮＩＣ　ＤＥＶＩＣＥ」と題する、米国特許出願第６１／９２０，０２９号（参照番号Ｐ２１０８４ＵＳＰ１）、２０１３年１１月

４日に出願され、「ＵＳＩＮＧ　ＢＩＯＡＵＴＨＥＮＴＩＣＡＴＩＯＮ　ＩＮ　ＮＥＡＲ－ＦＩＥＬＤ－ＣＯＭＭＵＮＩＣＡＴＩＯＮ　ＴＲＡＮＳＡＣＴＩＯＮＳ」と題する、米国特許出願第６１／８９９，７３７号（参照番号Ｐ２１６４６ＵＳＰ１）、２０１３年１１月１５日に出願され、「ＧＥＮＥＲＡＴＩＮＧ　ＴＲＡＮＳＡＣＴＩＯＮ　ＩＤＥＮＴＩＦＩＥＲＳ」と題する、米国特許出願第６１／９０５，０３５号（参照番号Ｐ２１７１４ＵＳＰ１）、２０１３年１１月１５日に出願され、「ＥＬＥＣＴＲＯＮＩＣ　ＲＥＣＥＩＰＴＳ　ＦＯＲ　ＮＦＣ－ＢＡＳＥＤ　ＦＩＮＡＮＣＩＡＬ　ＴＲＡＮＳＡＣＴＩＯＮＳ」と題する、米国特許出願第６１／９０５，０４２号（参照番号２１７３４ＵＳＰ１）、２０１４年5月２９日に出願され、「ＦＩＮＡＮＣＩＡＬ－ＴＲＡＮＳＡＣＴＩＯＮ　ＮＯＴＩＦＩＣＡＴＩＯＮＳ」と題する、米国特許出願第６２／００４，７９８号（参照番号Ｐ２３２１１ＵＳＰ１）、２０１４年5月２９日に出願され、「ＭＥＴＨＯＤＳ　ＦＯＲ　ＭＡＮＡＧＩＮＧ　ＰＡＹＭＥＮＴ　ＡＰＰＬＥＴＳ　ＯＮ　Ａ　ＳＥＣＵＲＥ　ＥＬＥＭＥＮＴ　ＴＯ　ＣＯＮＤＵＣＴ　ＭＯＢＩＬＥ　ＰＡＹＭＥＮＴ　ＴＲＡＮＳＡＣＴＩＯＮＳ」と題する、米国特許出願第６２／００４，８３７号（参照番号Ｐ２３２１５ＵＳＰ１）、２０１４年5月２９日に出願され、「ＭＥＴＨＯＤＳ　ＦＯＲ　ＯＰＥＲＡＴＩＮＧ　Ａ　ＰＯＲＴＡＢＬＥ　ＥＬＥＣＴＲＯＮＩＣ　ＤＥＶＩＣＥ　ＴＯ　ＣＯＮＤＵＣＴ　ＭＯＢＩＬＥ　ＰＡＹＭＥＮＴ　ＴＲＡＮＳＡＣＴＩＯＮＳ」と題する、米国特許出願第６２／００４，８４０（参照番号Ｐ２３２２３ＵＳＰ１）、２０１４年5月２９日に出願され、「ＭＥＴＨＯＤＳ　ＦＯＲ　ＵＳＩＮＧ　Ａ　ＰＲＩＭＡＲＹ　ＵＳＥＲ　ＤＥＶＩＣＥ　ＴＯ　ＰＲＯＶＩＳＩＯＮ　ＣＲＥＤＥＮＴＩＡＬＳ　ＯＮＴＯ　Ａ　ＳＥＣＯＮＤＡＲＹ　ＵＳＥＲ　ＤＥＶＩＣＥ」と題する、米国特許出願第６２／００４，８３５号（参照番号Ｐ２３２２４ＵＳＰ１）；２０１４年5月２９日に出願され、「ＭＥＴＨＯＤＳ　ＦＯＲ　ＵＳＩＮＧ　Ａ　ＲＡＮＤＯＭ　ＡＵＴＨＯＲＩＺＡＴＩＯＮ　ＮＵＭＢＥＲ　ＴＯ　ＰＲＯＶＩＤＥ　ＥＮＨＡＮＣＥＤ　ＳＥＣＵＲＩＴＹ　ＦＯＲ　Ａ　ＳＥＣＵＲＥ　ＥＬＥＭＥＮＴ」と題する、米国特許出願第６２／００４，８３２号（参照番号Ｐ２３２６１ＵＳＰ１）、２０１４年5月２９日に出願され、「ＵＳＥＲ　ＤＥＶＩＣＥ　ＳＥＣＵＲＥ　ＰＡＲＴＩＣＩＰＡＴＩＯＮ　ＩＮ　ＴＲＡＮＳＡＣＴＩＯＮＳ　ＶＩＡ　ＬＯＣＡＬ　ＳＥＣＵＲＥ　ＥＬＥＭＥＮＴ　ＤＥＴＥＣＴＩＯＮ　ＯＦ　ＭＥＣＨＡＮＩＣＡＬ　ＩＮＰＵＴ」と題する、米国特許出願第６２／００４，３３８号（参照番号Ｐ２２９３１ＵＳＰ１）、及び２０１３年１１月２７日に出願され、「ＳＥＣＵＲＥ　ＰＲＯＶＩＳＩＯＮＩＮＧ　ＯＦ　ＣＲＥＤＥＮＴＩＡＬＳ　ＯＮ　ＡＮ　ＥＬＥＣＴＲＯＮＩＣ　ＤＥＶＩＣＥ」と題する、米国実用特許出願第１４／０９２，２０５号（参照番号Ｐ１９５４５ＵＳ１）。これらのそれぞれは、全体が、参照により本明細書に組み込まれる。

【０００３】

本開示は、一般的に、コンピュータユーザインタフェースに関し、より具体的には、ロイヤルティアカウント及び支払アカウントのためのコンピュータユーザインタフェースのための技法に関する。

【背景技術】

【０００４】

近年、販売時点管理端末において及びインターネットを介して電子デバイスを使用して支払を行うことが大幅に増えている。例示的な販売時点管理端末としては、近距離通信対応型（ＮＦＣ対応型）端末、ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ（登録商標）対応型端末、及びバーコードスキャナ対応型端末が挙げられる。電子デバイスをこれらの例示的な端末と連携させて使用することで、その電子デバイスのユーザは、例えば物品又はサービスの購入代金の支払を行うことが可能になる。

【発明の概要】

【０００５】

しかしながら、アカウントを電子デバイスにリンクする、取引において使用するアカウントを選択する、及び取引の際にアカウント情報を送信するための一部の技法は、一般に

面倒であり非効率的である。例えば、既存の技法は、複数回のキー押下又は打鍵を含む場合がある、複雑かつ時間のかかるユーザインタフェースを使用している。既存の技法では、必要以上の時間が必要であり、ユーザの時間及びデバイスの電力を浪費する。この後者の考慮事項は、バッテリ動作デバイスにおいては特に重要である。

【０００６】

したがって、本発明は電子デバイスに、アカウントを電子デバイスにリンクする、取引において使用するアカウントを選択する、及び取引の際にアカウント情報を送信するための、より高速でより効率的な方法及びインタフェースを提供する。このような方法及びインタフェースは、同様のタスクを実行するための他の方法を任意選択的に補完するか、又は置き換える。このような方法及びインタフェースは、ユーザの認識的負担を軽減し、より効率的なヒューマン－マシンインタフェースを実現する。かかる方法及びインタフェースは、不要な、無関係の、反復的な、及び／又は冗長な入力の数を減らすこともでき、より高速でより効率的なユーザインタフェース構成を作成でき、このことにより、要求される入力の数を減らし、処理電力を低減でき、望まれる機能にアクセスしそれを実行するためにユーザインタフェースの表示が必要となる時間の量を低減できる。バッテリ動作式のコンピューティングデバイスの場合には、かかる方法及びインタフェースにより、電力が節約され、バッテリの充電間隔が増すことになる。

【０００７】

ディスプレイ、タッチ感知面、及び１つ以上の無線通信要素を備えた電子デバイスにおいて、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取ることと、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力の受け取りに応答して、ディスプレイ上に、第１のアカウントを識別する第１の視覚的インジケータを表示すること、及び電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第１のアカウントを使用して取引に参加することを可能にすることと、タッチ感知面を介して第１の方向への１つ以上のスワイプ入力を受け取ることと、１つ以上のユーザスワイプ入力を受け取ることに応答して、ディスプレイ上に、第２のアカウントを識別する第２の視覚的インジケータを表示すること、及び電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第２のアカウントを使用して取引に参加することを可能にすることと、を含み、第１の視覚的インジケータが第２の視覚的インジケータとは異なっている、方法。

【０００８】

ディスプレイと位置センサとを備えた電子デバイスにおいて、位置センサを使用して、現在の位置を検出することと、現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているか否かを判定することと、現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示を表示することと、現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとの判定に従って、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示及び第１のアカウントの視覚的表示を同時に表示することと、を含み、デフォルトの支払アカウント及び第１のアカウントが電子デバイスにリンクされ、デフォルトの支払アカウント及び第１のアカウントが異なっている、方法。

【０００９】

ディスプレイと位置センサとを備えた電子デバイスにおいて、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取ることと、入力の受け取りに応答して、位置センサを使用して、現在の位置を検出すること、１つ以上の支払基準のセットを満足しているか否かを判定することであって、１つ以上の支払基準のセットが、現在の位置が第１の支払アカウントと関連付けられているときに満足される基準を含む、判定すること、１つ以上の支払基準のセットが満足されていないとの判定に従って、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示を表示することであって、デフォルトの支払アカウントが第１の支払アカウントとは異なっている、表示すること、及び１つ以上の支払基準のセットが満足されているとの判定に従って、ディスプレイ上に、第１の支払アカウントの視覚的表示を表示することと、を含む、方法。

【００１０】
ディスプレイ及び１つ以上の無線通信要素を備えた電子デバイスにおいて、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取ることと、入力の受け取りに応答して、ディスプレイ上に、第１の支払アカウント及び第２の支払アカウントを含む複数の支払アカウントを表す支払表示を表示することと、１つ以上の無線通信要素を介して、支払取引に対応するアカウント情報のリクエストを受け取ることと、１つ以上の無線通信要素を介して、支払取引に対応するアカウント情報のリクエストを受け取ることと、支払取引に対応するアカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、第１の支払アカウントに関する支払基準が満足されているとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を介して、第２の支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに、第１の支払アカウントに関するアカウント情報を送信すること、及び第２の支払アカウントに関する支払基準が満足されているとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を介して、第１の支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに、第２の支払アカウントに関するアカウント情報を送信することと、を含む、方法。
【００１１】
ディスプレイ、接触の強度を検出するように構成されたタッチ感知面、及び１つ以上の無線通信要素を備えた電子デバイスにおいて、第１の入力を受け取ることと、第１の入力の受け取りに応答して、ディスプレイ上に、第１のユーザインタフェースを表示することであって、第１のユーザインタフェースが、複数の支払アカウントと関連付けられた支払カードを識別する第１の視覚的インジケータ、及び支払カードの複数の支払アカウントのうちの第１の支払アカウントを識別する第２の視覚的インジケータを含む、表示することと、電子デバイスが、１つ以上の無線通信要素を介して第１の支払アカウントを使用して支払取引を行うことを可能にすることと、タッチ感知面上での第１の接触を検出することと、第１の接触の特性強度が強度閾値を上回っているか否かを判定することと、第１の接触の特性強度が強度閾値を上回っているとの判定に従って、ディスプレイ上に、第２のユーザインタフェースを表示することであって、第２のユーザインタフェースによって、第１の視覚的インジケータによって表された異なる支払アカウントの間で選択を行うことが可能になる、表示することと、を含む、方法。
【００１２】
ディスプレイ及び１つ以上の無線通信要素を備えた第１の電子デバイスにおいて、支払カードと関連付けられた支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクさせる第１のリクエストを受け取ることと、第１のリクエストの受け取りに応答して、支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクするための処理を開始することと、第１の電子デバイスへの支払アカウントのリンクが成功した後で、ディスプレイ上に、第１の電子デバイスへの支払アカウントのリンクが成功したとの表示、及び支払アカウントを第１の電子デバイスとは異なる第２の電子デバイスにリンクするための選択可能なアフォーダンスを同時に表示することと、選択可能なアフォーダンスのアクティベーションを受け取ることと、選択可能なアフォーダンスのアクティベーションの受け取りに応答して、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始することと、を含む、方法。
【００１３】
ディスプレイ及び１つ以上の無線通信要素を備えた第１の電子デバイスにおいて、ディスプレイ上に、第１の電子デバイスと関連付けられる第２の電子デバイス用の支払アカウントユーザインタフェースを表示することであって、支払アカウントユーザインタフェースを表示することが、第１の支払アカウントが第２の電子デバイスにリンクされていること及び第２の電子デバイスが第１の支払アカウントを使用した支払を可能にするように構成されていることを示す第１の支払アカウントに関する状態情報を伴う、第１の支払アカウントの表現、並びに第２の支払アカウントが第１の電子デバイスにリンクされているが第２の電子デバイスにはリンクされていないことを示す第２の支払アカウントに関する状態情報を伴う、第２の支払アカウントの表現を、同時に表示することを含む、方法。
【００１４】

電子デバイスであって、ディスプレイと、タッチ感知面と、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取るための手段と、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力の受け取りに応答して、ディスプレイ上に、第１のアカウントを識別する第１の視覚的インジケータを表示すること、及び電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第１のアカウントを使用して取引に参加することを可能にするための手段と、タッチ感知面を介して第１の方向への１つ以上のスワイプ入力を受け取るための手段と、１つ以上のユーザスワイプ入力の受け取りに応答して、ディスプレイ上に、第２のアカウントを識別する第２の視覚的インジケータを表示する、及び電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第２のアカウントを使用して取引に参加することを可能にするための手段と、を備え、第１の視覚的インジケータが第２の視覚的インジケータとは異なっている、電子デバイス。

【００１５】

電子デバイスであって、ディスプレイと、タッチ感知面と、位置センサを使用して、現在の位置を検出するための手段と、現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているか否かを判定するための手段と、現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示を表示するための手段と、現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとの判定に従って、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示及び第１のアカウントの視覚的表示を同時に表示するための手段と、を備え、デフォルトの支払アカウント及び第１のアカウントが電子デバイスにリンクされ、デフォルトの支払アカウント及び第１のアカウントが異なっている、電子デバイス。

【００１６】

電子デバイスであって、ディスプレイと、タッチ感知面と、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取るための手段と、入力の受け取りに応答して、位置センサを使用して、現在の位置を検出すること、１つ以上の支払基準のセットを満足しているか否かを判定することであって、１つ以上の支払基準のセットが、現在の位置が第１の支払アカウントと関連付けられているときに満足される基準を含む、判定すること、１つ以上の支払基準のセットが満足されていないとの判定に従って、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示を表示することであって、デフォルトの支払アカウントが第１の支払アカウントとは異なっている、表示すること、及び１つ以上の支払基準のセットが満足されているとの判定に従って、ディスプレイ上に、第１の支払アカウントの視覚的表示を表示することを行うための手段と、を備える、電子デバイス。

【００１７】

電子デバイスであって、ディスプレイと、タッチ感知面と、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取るための手段と、入力の受け取りに応答して、ディスプレイ上に、第１の支払アカウント及び第２の支払アカウントを含む複数の支払アカウントを表す支払表示を表示するための手段と、１つ以上の無線通信要素を介して、支払取引に対応するアカウント情報のリクエストを受け取るための手段と、支払取引に対応するアカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、第１の支払アカウントに関する支払基準が満足されているとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を介して、第２の支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに、第１の支払アカウントに関するアカウント情報を送信すること、及び第２の支払アカウントに関する支払基準が満足されているとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を介して、第１の支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに、第２の支払アカウントに関するアカウント情報を送信することと、を含む、方法。

【００１８】

電子デバイスであって、ディスプレイと、接触の強度を検出するように構成されたタッチ感知面と、第１の入力を受け取るための手段と、第１の入力の受け取りに応答して、ディスプレイ上に、第１のユーザインタフェースを表示することであって、第１のユーザインタフェースが、複数の支払アカウントと関連付けられた支払カードを識別する第１の視

覚的インジケータ、及び支払カードの複数の支払アカウントのうちの第１の支払アカウントを識別する第２の視覚的インジケータを含む、表示することを行うための手段と、電子デバイスが、１つ以上の無線通信要素を介して第１の支払アカウントを使用して支払取引を行うことを可能にするための手段と、タッチ感知面上の第１の接触を検出するための手段と、第１の接触の特性強度が強度閾値を上回るか否かを判定するための手段と、第１の接触の特性強度が強度閾値を上回っているとの判定に従って、ディスプレイ上に、第２のユーザインタフェースを表示することであって、第２のユーザインタフェースによって、第１の視覚的インジケータによって表された異なる支払アカウントの間で選択を行うことが可能になる、表示することを行うための手段と、を備える、電子デバイス。

【００１９】

電子デバイスであって、ディスプレイと、タッチ感知面と、支払カードと関連付けられた支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクさせる第１のリクエストを受け取るための手段と、第１のリクエストの受け取りに応答して、支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクするための処理を開始するための手段と、第１の電子デバイスへの支払アカウントのリンクが成功した後で、ディスプレイ上に、第１の電子デバイスへの支払アカウントのリンクが成功したとの表示、及び支払アカウントを第１の電子デバイスとは異なる第２の電子デバイスにリンクするための選択可能なアフォーダンスを同時に表示するため手段と、選択可能なアフォーダンスのアクティベーションを受け取るための手段と、選択可能なアフォーダンスのアクティベーションの受け取りに応答して、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始するための手段と、を備える、電子デバイス。

【００２０】

ディスプレイと、タッチ感知面と、ディスプレイ上に、第１の電子デバイスと関連付けられる第２の電子デバイス用の支払アカウントユーザインタフェースを表示することであって、支払アカウントユーザインタフェースを表示することが、第１の支払アカウントが第２の電子デバイスにリンクされていること及び第２の電子デバイスが第１の支払アカウントを使用した支払を可能にするように構成されていることを示す第１の支払アカウントに関する状態情報を伴う、第１の支払アカウントの表現、並びに第２の支払アカウントの表現と、第２の支払アカウントが第１の電子デバイスにリンクされているが第２の電子デバイスにはリンクされていないことを示す第２の支払アカウントに関する状態情報とを、同時に表示することを含む、表示することを行うための手段を備える、方法。

【００２１】

ディスプレイ、タッチ感知面、及び１つ以上の無線通信要素を備えた電子デバイスの１つ以上のプロセッサによって実行するための１つ以上のプログラムを備える、非一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、１つ以上のプログラムが、１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、電子デバイスに、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取ることと、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力の受け取りに応答して、ディスプレイ上に、第１のアカウントを識別する第１の視覚的インジケータを表示すること、及び電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第１のアカウントを使用して取引に参加することを可能にすることと、タッチ感知面を介して第１の方向への１つ以上のスワイプ入力を受け取ることと、１つ以上のユーザスワイプ入力を受け取ることに応答して、ディスプレイ上に、第２のアカウントを識別する第２の視覚的インジケータを表示すること、及び電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第２のアカウントを使用して取引に参加することを可能にすることと、を行わせ、第１の視覚的インジケータが第２の視覚的インジケータとは異なっている、非一時的コンピュータ可読ストレージ媒体。

【００２２】

電子デバイスであって、ディスプレイと、タッチ感知面と、１つ以上の無線通信要素、１つ以上のプロセッサと、 メモリと、１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、電子デバイスに、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取ること、デ

バイスを支払取引可能にするよう要求する入力の受け取りに応答して、ディスプレイ上に、第１のアカウントを識別する第１の視覚的インジケータを表示すること、及び電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第１のアカウントを使用して取引に参加することを可能にすること、タッチ感知面を介して第１の方向への１つ以上のスワイプ入力を受け取ること、１つ以上のユーザスワイプ入力を受け取ることに応答して、ディスプレイ上に、第２のアカウントを識別する第２の視覚的インジケータを表示すること、及び電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第２のアカウントを使用して取引に参加することを可能にすること、を行わせる命令を含む、メモリに記憶された１つ以上のプログラムであって、第１の視覚的インジケータが第２の視覚的インジケータとは異なっている、メモリに記憶された１つ以上のプログラムと、を備える、電子デバイス。

【００２３】

ディスプレイと位置センサとを備えた電子デバイスの１つ以上のプロセッサによって実行するための１つ以上のプログラムを備える、非一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、１つ以上のプログラムが、１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、電子デバイスに、位置センサを使用して、現在の位置を検出することと、現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているか否かを判定することと、現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示を表示することと、現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとの判定に従って、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示及び第１のアカウントの視覚的表示を同時に表示することと、を行わせる命令を含み、デフォルトの支払アカウント及び第１のアカウントが電子デバイスにリンクされ、デフォルトの支払アカウント及び第１のアカウントが異なっている、非一時的コンピュータ可読記憶媒体。

【００２４】

電子デバイスであって、ディスプレイと、位置センサと、１つ以上のプロセッサと、メモリと、１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、電子デバイスに、位置センサを使用して、現在の位置を検出すること、現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているか否かを判定すること、現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示を表示すること、現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとの判定に従って、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示及び第１のアカウントの視覚的表示を同時に表示すること、を行わせる命令を含む、メモリに記憶された１つ以上のプログラムであって、デフォルトの支払アカウント及び第１のアカウントが電子デバイスにリンクされ、デフォルトの支払アカウント及び第１のアカウントが異なっている、メモリに記憶された１つ以上のプログラムと、を備える、電子デバイス。

【００２５】

ディスプレイと位置センサとを備えた電子デバイスの１つ以上のプロセッサによって実行するための１つ以上のプログラムを備える、非一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、１つ以上のプログラムが、１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、電子デバイスに、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取ることと、入力の受け取りに応答して、位置センサを使用して、現在の位置を検出すること、１つ以上の支払基準のセットを満足しているか否かを判定することであって、１つ以上の支払基準のセットが、現在の位置が第１の支払アカウントと関連付けられているときに満足される基準を含む、判定すること、１つ以上の支払基準のセットが満足されていないとの判定に従って、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示を表示することであって、デフォルトの支払アカウントが第１の支払アカウントとは異なっている、表示すること、及び１つ以上の支払基準のセットが満足されているとの判定に従って、ディスプレイ上に、第１の支払アカウントの視覚的表示を表示することと、を行わせる、非一時的コンピュータ可読記憶媒体。

【００２６】
電子デバイスであって、ディスプレイと、位置センサと、１つ以上のプロセッサと、メモリと、１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、電子デバイスに、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取ること、並びに、入力の受け取りに応答して、位置センサを使用して、現在の位置を検出すること、１つ以上の支払基準のセットを満足しているか否かを判定することであって、１つ以上の支払基準のセットが、現在の位置が第１の支払アカウントと関連付けられているときに満足される基準を含む、判定すること、１つ以上の支払基準のセットが満足されていないとの判定に従って、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示を表示することであって、デフォルトの支払アカウントが第１の支払アカウントとは異なっている、表示すること、及び１つ以上の支払基準のセットが満足されているとの判定に従って、ディスプレイ上に、第１の支払アカウントの視覚的表示を表示すること、を行わせる命令を含む、メモリに記憶された１つ以上のプログラムと、を備える、電子デバイス。

【００２７】
ディスプレイ及び１つ以上の無線通信要素を備えた電子デバイスの１つ以上のプロセッサによって実行するための１つ以上のプログラムを備える、非一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、１つ以上のプログラムが、１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、電子デバイスに、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取ることと、入力の受け取りに応答して、ディスプレイ上に、第１の支払アカウント及び第２の支払アカウントを含む複数の支払アカウントを表す支払表示を表示することと、１つ以上の無線通信要素を介して、支払取引に対応するアカウント情報のリクエストを受け取ることと、支払取引に対応するアカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、第１の支払アカウントに関する支払基準が満足されているとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を介して、第２の支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに、第１の支払アカウントに関するアカウント情報を送信すること、及び第２の支払アカウントに関する支払基準が満足されているとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を介して、第１の支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに、第２の支払アカウントに関するアカウント情報を送信することと、を行わせる、非一時的コンピュータ可読記憶媒体。

【００２８】
電子デバイスであって、ディスプレイと、１つ以上の無線通信要素と、１つ以上のプロセッサと、メモリと、１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、電子デバイスに、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取ること、入力の受け取りに応答して、ディスプレイ上に、第１の支払アカウント及び第２の支払アカウントを含む複数の支払アカウントを表す支払表示を表示すること、１つ以上の無線通信要素を介して、支払取引に対応するアカウント情報のリクエストを受け取ることと、支払取引に対応するアカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、第１の支払アカウントに関する支払基準が満足されているとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を介して、第２の支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに、第１の支払アカウントに関するアカウント情報を送信すること、及び第２の支払アカウントに関する支払基準が満足されているとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を介して、第１の支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに、第２の支払アカウントに関するアカウント情報を送信すること、を行わせる、電子デバイス。

【００２９】
ディスプレイ、接触の強度を検出するように構成されたタッチ感知面、及び１つ以上の無線通信要素を備えた電子デバイスの１つ以上のプロセッサによって実行するための１つ以上のプログラムを備える、非一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、１つ以上のプログラムが、１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、電子デバイスに、第１の入力を受け取ることと、第１の入力の受け取りに応答して、ディスプレイ上に、第１のユーザインタフェースを表示することであって、第１のユーザインタフェースが、複数の支払アカウントと関連付けられた支払カードを識別する第１の視覚的インジケータ、及び支

払カードの複数の支払アカウントのうちの第１の支払アカウントを識別する第２の視覚的インジケータを含む、表示することと、電子デバイスが、１つ以上の無線通信要素を介して第１の支払アカウントを使用して支払取引を行うことを可能にすることと、タッチ感知面上の第１の接触を検出することと、第１の接触の特性強度が強度閾値を上回っているか否かを判定することと、第１の接触の特性強度が強度閾値を上回っているとの判定に従って、ディスプレイ上に、第２のユーザインタフェースを表示することであって、第２のユーザインタフェースによって、第１の視覚的インジケータによって表された異なる支払アカウントの間で選択を行うことが可能になる、表示することと、を行わせる、非一時的コンピュータ可読記憶媒体。

【００３０】

電子デバイスであって、ディスプレイと、接触の強度を検出するように構成されたタッチ感知面と、１つ以上の無線通信要素と、１つ以上のプロセッサと、メモリと、１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、電子デバイスに、第１の入力を受け取ること、第１の入力の受け取りに応答して、ディスプレイ上に、第１のユーザインタフェースを表示することであって、第１のユーザインタフェースが、複数の支払アカウントと関連付けられた支払カードを識別する第１の視覚的インジケータ、及び支払カードの複数の支払アカウントのうちの第１の支払アカウントを識別する第２の視覚的インジケータを含む、表示すること、電子デバイスが、１つ以上の無線通信要素を介して第１の支払アカウントを使用して支払取引を行うことを可能にすること、タッチ感知面上の第１の接触を検出すること、第１の接触の特性強度が強度閾値を上回っているか否かを判定すること、並びに、第１の接触の特性強度が強度閾値を上回っているとの判定に従って、ディスプレイ上に、第２のユーザインタフェースを表示することであって、第２のユーザインタフェースによって、第１の視覚的インジケータによって表された異なる支払アカウントの間で選択を行うことが可能になる、表示すること、を行わせる命令を含む、メモリに記憶された１つ以上のプログラムと、を備える、電子デバイス。

【００３１】

ディスプレイ及び１つ以上の無線通信要素を備えた第１の電子デバイスの１つ以上のプロセッサによって実行するための１つ以上のプログラムを備える、非一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、１つ以上のプログラムが、１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、第１の電子デバイスに、支払カードと関連付けられた支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクさせる第１のリクエストを受け取ることと、第１のリクエストの受け取りに応答して、支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクするための処理を開始することと、第１の電子デバイスへの支払アカウントのリンクが成功した後で、ディスプレイ上に、第１の電子デバイスへの支払アカウントのリンクが成功したとの表示、及び支払アカウントを第１の電子デバイスとは異なる第２の電子デバイスにリンクするための選択可能なアフォーダンスを同時に表示することと、選択可能なアフォーダンスのアクティベーションを受け取ることと、選択可能なアフォーダンスのアクティベーションの受け取りに応答して、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始することと、を行わせる、非一時的コンピュータ可読記憶媒体。

【００３２】

第１の電子デバイスであって、ディスプレイと、１つ以上の無線通信要素と、１つ以上のプロセッサと、メモリと、１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、第１の電子デバイスに、支払カードと関連付けられた支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクさせる第１のリクエストを受け取ること、第１のリクエストの受け取りに応答して、支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクするための処理を開始すること、第１の電子デバイスへの支払アカウントのリンクが成功した後で、ディスプレイ上に、第１の電子デバイスへの支払アカウントのリンクが成功したとの表示、及び支払アカウントを第１の電子デバイスとは異なる第２の電子デバイスにリンクするための選択可能なアフォーダンスを同時に表示すること、並びに、選択可能なアフォーダンスのアクティベーションを受け取ること、並びに、選択可能なアフォーダンスのアクティベーションの受け取りに応答し

て、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始すること、を行わせる命令を含む、メモリに記憶された１つ以上のプログラムと、を備える、第１の電子デバイス。

【００３３】

ディスプレイ及び１つ以上の無線通信要素を備えた第１の電子デバイスの１つ以上のプロセッサによって実行するための１つ以上のプログラムを備える、非一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、１つ以上のプログラムが、１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、第１の電子デバイスに、ディスプレイ上に、第１の電子デバイスと関連付けられる第２の電子デバイス用の支払アカウントユーザインタフェースを表示することであって、支払アカウントユーザインタフェースを表示することが、第１の支払アカウントが第２の電子デバイスにリンクされていること及び第２の電子デバイスが第１の支払アカウントを使用した支払を可能にするように構成されていることを示す第１の支払アカウントに関する状態情報を伴う、第１の支払アカウントの表現、並びに第２の支払アカウントが第１の電子デバイスにリンクされているが第２の電子デバイスにはリンクされていないことを示す第２の支払アカウントに関する状態情報を伴う、第２の支払アカウントの表現を、同時に表示することを含む、表示することを行わせる命令を含む、非一時的コンピュータ可読記憶媒体。

【００３４】

第１の電子デバイスであって、ディスプレイと、１つ以上の無線通信要素と、１つ以上のプロセッサと、メモリと、１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、第１の電子デバイスに、ディスプレイ上に、第１の電子デバイスと関連付けられる第２の電子デバイス用の支払アカウントユーザインタフェースを表示することであって、支払アカウントユーザインタフェースを表示することが、第１の支払アカウントが第２の電子デバイスにリンクされていること及び第２の電子デバイスが第１の支払アカウントを使用した支払を可能にするように構成されていることを示す第１の支払アカウントに関する状態情報を伴う、第１の支払アカウントの表現、並びに第２の支払アカウントが第１の電子デバイスにリンクされているが第２の電子デバイスにはリンクされていないことを示す第２の支払アカウントに関する状態情報を伴う、第２の支払アカウントの表現を、同時に表示することを含む、表示することを行わせる命令を含む、メモリに記憶された１つ以上のプログラムと、を備える、第１の電子デバイス。

【００３５】

電子デバイスであって、タッチ感知面ユニットと、ディスプレイユニットと、１つ以上の無線通信要素を含む無線通信ユニットと、ディスプレイユニット、タッチ感知面ユニット、及び無線通信ユニットに結合された処理ユニットであって、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取ること、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力の受け取りに応答して、ディスプレイ上での、第１のアカウントを識別する第１の視覚的インジケータの表示を可能にすること、及び電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第１のアカウントを使用して取引に参加することを可能にすること、タッチ感知面を介して第１の方向への１つ以上のスワイプ入力を受け取ること、１つ以上のユーザスワイプ入力を受け取ることに応答して、ディスプレイ上での、第１のアカウントを識別する第１の視覚的インジケータの表示を可能にすること、及び電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第２のアカウントを使用して取引に参加することを可能にすること、を行うように構成されており、第１の視覚的インジケータが第２の視覚的インジケータとは異なっている、処理ユニットと、を備える、電子デバイス。

【００３６】

電子デバイスであって、ディスプレイユニットと、位置センサユニットと、ディスプレイユニット及び位置センサユニットに結合された処理ユニットであって、位置センサユニットを使用して、現在の位置を検出すること、現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているか否かを判定すること、現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、ディスプレイユニット上での

、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示の表示を可能にすること、現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとの判定に従って、ディスプレイユニット上での、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示及び第１のアカウントの視覚的表示の同時の表示を可能にすること、を行うように構成されており、デフォルトの支払アカウント及び第１のアカウントが電子デバイスにリンクされ、デフォルトの支払アカウント及び第１のアカウントが異なっている、処理ユニットと、を備える、電子デバイス。

【００３７】

電子デバイスであって、ディスプレイユニットと、位置センサユニットと、ディスプレイユニット及び位置センサユニットに結合された処理ユニットであって、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取ること、並びに、入力の受け取りに応答して、位置センサユニットを使用して、現在の位置を検出すること、１つ以上の支払基準のセットを満足しているか否かを判定することであって、１つ以上の支払基準のセットが、現在の位置が第１の支払アカウントと関連付けられているときに満足される基準を含む、判定すること、１つ以上の支払基準のセットが満足されていないとの判定に従って、ディスプレイユニット上での、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示の表示を可能にすることであって、デフォルトの支払アカウントが第１の支払アカウントとは異なっている、可能にすること、及び１つ以上の支払基準のセットが満足されているとの判定に従って、ディスプレイ上での、第１の支払アカウントの視覚的表示の表示を可能にすること、を行うように構成された処理ユニットと、を備える、電子デバイス。

【００３８】

電子デバイスであって、ディスプレイユニットと、１つ以上の無線通信要素を含む無線通信ユニットと、ディスプレイユニット及び無線通信ユニットに結合された処理ユニットであって、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取ること、入力の受け取りに応答して、ディスプレイユニット上での、第１の支払アカウント及び第２の支払アカウントを含む複数の支払アカウントを表す支払表示の表示を可能にすること、１つ以上の無線通信要素を介して、支払取引に対応するアカウント情報のリクエストを受け取ること、支払取引に対応するアカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、第１の支払アカウントに関する支払基準が満足されているとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を介して、第２の支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに、第１の支払アカウントに関するアカウント情報を送信すること、及び第２の支払アカウントに関する支払基準が満足されているとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を介して、第１の支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに、第２の支払アカウントに関するアカウント情報を送信すること、を行うように構成された処理ユニットと、を備える、電子デバイス。

【００３９】

電子デバイスであって、ディスプレイユニットと、タッチ感知面ユニットと、１つ以上の無線通信要素を含む無線通信ユニットと、ディスプレイユニット、接触の強度を検出するように構成されたタッチ感知面ユニット、及び無線通信ユニットに結合された処理ユニットであって、第１の入力を受け取ること、第１の入力の受け取りに応答して、ディスプレイユニット上での、第１のユーザインタフェースの表示を可能にすることであって、第１のユーザインタフェースが、複数の支払アカウントと関連付けられた支払カードを識別する第１の視覚的インジケータ、及び支払カードの複数の支払アカウントのうちの第１の支払アカウントを識別する第２の視覚的インジケータを含む、表示すること、電子デバイスが、１つ以上の無線通信要素を介して第１の支払アカウントを使用して支払取引を行うことを可能にすること、タッチ感知面ユニット上の第１の接触を検出すること、第１の接触の特性強度が強度閾値を上回っているか否かを判定すること、並びに、第１の接触の特性強度が強度閾値を上回っているとの判定に従って、ディスプレイユニット上での、第２のユーザインタフェースの表示を可能にすることであって、第２のユーザインタフェースによって、第１の視覚的インジケータによって表された異なる支払アカウントの間で選択を行うことが可能になる、可能にすること、を行うように構成された処理ユニットと、を

備える、電子デバイス。

【００４０】

第１の電子デバイスであって、ディスプレイユニットと、１つ以上の無線通信要素を含む無線通信ユニットと、ディスプレイユニット及び無線通信ユニットに結合された処理ユニットであって、支払カードと関連付けられた支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクさせる第１のリクエストを受け取ること、第１のリクエストの受け取りに応答して、支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクするための処理を開始すること、第１の電子デバイスへの支払アカウントのリンクが成功した後で、ディスプレイ上での、第１の電子デバイスへの支払アカウントのリンクが成功したとの表示、及び支払アカウントを第１の電子デバイスとは異なる第２の電子デバイスにリンクするための選択可能なアフォーダンスの、同時の表示を可能にすること、並びに、選択可能なアフォーダンスのアクティベーションを受け取ること、並びに、選択可能なアフォーダンスのアクティベーションの受け取りに応答して、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始すること、を行うように構成された処理ユニットと、を備える、第１の電子デバイス。

【００４１】

第１の電子デバイスであって、ディスプレイユニットと、１つ以上の無線通信要素を含む無線通信ユニットと、ディスプレイユニット及び無線通信ユニットに結合された処理ユニットにおいて、ディスプレイユニット上での、第１の電子デバイスと関連付けられる第２の電子デバイス用の支払アカウントユーザインタフェースの表示を可能にすることであって、支払アカウントユーザインタフェースの表示を可能にすることが、第１の支払アカウントが第２の電子デバイスにリンクされていること及び第２の電子デバイスが第１の支払アカウントを使用した支払を可能にするように構成されていることを示す第１の支払アカウントに関する状態情報を伴う、第１の支払アカウントの表現、並びに第２の支払アカウントが第１の電子デバイスにリンクされているが第２の電子デバイスにはリンクされていないことを示す第２の支払アカウントに関する状態情報を伴う、第２の支払アカウントの表現を、同時に表示することを可能にすることを含む、支払アカウントユーザインタフェースを表示することを可能にすること、を行うように構成された、処理ユニットと、を備える、第１の電子デバイス。

【００４２】

ディスプレイ、タッチ感知面、及び１つ以上の無線通信要素を備えた電子デバイスの１つ以上のプロセッサによって実行するための１つ以上のプログラムを備える、一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、１つ以上のプログラムが、１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、電子デバイスに、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取ることと、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力の受け取りに応答して、ディスプレイ上に、第１のアカウントを識別する第１の視覚的インジケータを表示すること、及び電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第１のアカウントを使用して取引に参加することを可能にすることと、タッチ感知面を介して第１の方向への１つ以上のスワイプ入力を受け取ることと、１つ以上のユーザスワイプ入力を受け取ることに応答して、ディスプレイ上に、第２のアカウントを識別する第２の視覚的インジケータを表示すること、及び電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第１のアカウントを使用して取引に参加することを可能にすることと、を行わせ、第１の視覚的インジケータが第２の視覚的インジケータとは異なっている、命令を含む、一時的コンピュータ可読記憶媒体。

【００４３】

ディスプレイと位置センサとを備えた電子デバイスの１つ以上のプロセッサによって実行するための１つ以上のプログラムを備える、一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、１つ以上のプログラムが、１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、電子デバイスに、位置センサを使用して、現在の位置を検出することと、現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているか否かを判定することと、現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、ディスプ

レイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示を表示することと、現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとの判定に従って、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示及び第１のアカウントの視覚的表示を同時に表示することと、を行わせ、デフォルトの支払アカウント及び第１のアカウントが電子デバイスにリンクされ、デフォルトの支払アカウント及び第１のアカウントが異なっている、命令を含む、一時的コンピュータ可読記憶媒体。

【００４４】

ディスプレイと位置センサとを備えた電子デバイスの１つ以上のプロセッサによって実行するための１つ以上のプログラムを備える、一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、１つ以上のプログラムが、１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、電子デバイスに、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取ることと、入力の受け取りに応答して、位置センサを使用して、現在の位置を検出すること、１つ以上の支払基準のセットを満足しているか否かを判定することであって、１つ以上の支払基準のセットが、現在の位置が第１の支払アカウントと関連付けられているときに満足される基準を含む、判定すること、１つ以上の支払基準のセットが満足されていないとの判定に従って、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示を表示することであって、デフォルトの支払アカウントが第１の支払アカウントとは異なっている、表示すること、及び１つ以上の支払基準のセットが満足されているとの判定に従って、ディスプレイ上に、第１の支払アカウントの視覚的表示を表示することと、を行わせる命令を含む、一時的コンピュータ可読記憶媒体。

【００４５】

ディスプレイ及び１つ以上の無線通信要素を備えた電子デバイスの１つ以上のプロセッサによって実行するための１つ以上のプログラムを備える、一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、１つ以上のプログラムが、１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、電子デバイスに、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取ることと、入力の受け取りに応答して、ディスプレイ上に、第１の支払アカウント及び第２の支払アカウントを含む複数の支払アカウントを表す支払表示を表示することと、１つ以上の無線通信要素を介して、支払取引に対応するアカウント情報のリクエストを受け取ることと、第１の支払アカウントに関する支払基準が満足されているとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を介して、第２の支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに、第１の支払アカウントに関するアカウント情報を送信すること、及び第２の支払アカウントに関する支払基準が満足されているとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を介して、第１の支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに、第２の支払アカウントに関するアカウント情報を送信することと、を行わせる命令を含む、一時的コンピュータ可読記憶媒体。

【００４６】

ディスプレイ、接触の強度を検出するように構成されたタッチ感知面、及び１つ以上の無線通信要素を備えた電子デバイスの１つ以上のプロセッサによって実行するための１つ以上のプログラムを備える、一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、１つ以上のプログラムが、１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、電子デバイスに、第１の入力を受け取ることと、第１の入力の受け取りに応答して、ディスプレイ上に、第１のユーザインタフェースを表示することであって、第１のユーザインタフェースが、複数の支払アカウントと関連付けられた支払カードを識別する第１の視覚的インジケータ、及び支払カードの複数の支払アカウントのうちの第１の支払アカウントを識別する第２の視覚的インジケータを含む、表示すること、電子デバイスが、１つ以上の無線通信要素を介して第１の支払アカウントを使用して支払取引を行うことを可能にすることと、タッチ感知面上の第１の接触を検出することと、第１の接触の特性強度が強度閾値を上回っているか否かを判定することと、第１の接触の特性強度が強度閾値を上回っているとの判定に従って、ディスプレイ上に、第２のユーザインタフェースを表示することであって、第２のユーザインタフェースによって、第１の視覚的インジケータによって表された異なる支払アカウ

ントの間で選択を行うことが可能になる、表示することと、を行わせる命令を含む、一時的コンピュータ可読記憶媒体。

【００４７】

ディスプレイ及び１つ以上の無線通信要素を備えた第１の電子デバイスの１つ以上のプロセッサによって実行するための１つ以上のプログラムを備える、一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、１つ以上のプログラムが、１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、第１の電子デバイスに、支払カードと関連付けられた支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクさせる第１のリクエストを受け取ることと、第１のリクエストの受け取りに応答して、支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクするための処理を開始することと、第１の電子デバイスへの支払アカウントのリンクが成功した後で、ディスプレイ上に、第１の電子デバイスへの支払アカウントのリンクが成功したとの表示、及び支払アカウントを第１の電子デバイスとは異なる第２の電子デバイスにリンクするための選択可能なアフォーダンスを同時に表示することと、選択可能なアフォーダンスのアクティベーションを受け取ることと、選択可能なアフォーダンスのアクティベーションの受け取りに応答して、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始することと、を行わせる命令を含む、一時的コンピュータ可読記憶媒体。

【００４８】

ディスプレイ及び１つ以上の無線通信要素を備えた第１の電子デバイスの１つ以上のプロセッサによって実行するための１つ以上のプログラムを備える、一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、１つ以上のプログラムが、１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、第１の電子デバイスに、ディスプレイ上に、第１の電子デバイスと関連付けられる第２の電子デバイス用の支払アカウントユーザインタフェースを表示することであって、支払アカウントユーザインタフェースを表示することが、第１の支払アカウントが第２の電子デバイスにリンクされていること及び第２の電子デバイスが第１の支払アカウントを使用した支払を可能にするように構成されていることを示す第１の支払アカウントに関する状態情報を伴う、第１の支払アカウントの表現と、第２の支払アカウントが第１の電子デバイスにリンクされているが第２の電子デバイスにはリンクされていないことを示す第２の支払アカウントに関する状態情報を伴う、第２の支払アカウントの表現と、を同時に表示することを含む、支払アカウントユーザインタフェースを表示することを行わせる命令を含む、一時的コンピュータ可読記憶媒体。

【００４９】

したがって、デバイスに、アカウントをデバイスにリンクする、取引において使用するアカウントを選択する、及び取引の際にアカウント情報を送信するための、より高速でより効率的な方法及びインタフェースが提供され、このことにより、かかるデバイスの有効性、効率、及びユーザ満足が高められる。かかる方法及びインタフェースは、同様のタスクを実行するための他の方法を補完するか又は置き換えることができる。

【００５０】

これらの機能を実行する実行可能命令は、任意選択的に、非一時的コンピュータ可読記憶媒体又は１つ以上のプロセッサによって実行されるように構成された他のコンピュータプログラム製品に含まれる。これらの機能を実行する実行可能命令は、任意選択的に、一時的コンピュータ可読記憶媒体又は１つ以上のプロセッサによって実行されるように構成された他のコンピュータプログラム製品に含まれる。

【００５１】

説明される様々な実施形態を良好に理解するため、以下の図面と併せて、以下の「発明を実施するための形態」を参照されたい。ここで、類似の参照番号は、それらの図にわたって、対応する部分を指す。

【図面の簡単な説明】

【００５２】

【図１Ａ】一部の実施形態に係る、タッチ感知ディスプレイを備えたポータブル多機能デバイスを示すブロック図である。

【図１Ｂ】一部の実施形態に係る、イベント処理のための例示的な構成要素を示すブロック図である。
【図２】一部の実施形態に係る、タッチスクリーンを有するポータブル多機能デバイスを示す。
【図３】一部の実施形態に係る、ディスプレイ及びタッチ感知面を備える例示的な多機能デバイスのブロック図である。
【図４Ａ】一部の実施形態に係る、ポータブル多機能デバイス上のアプリケーションのメニューに関する例示的なユーザインタフェースを示す。
【図４Ｂ】一部の実施形態に係る、ディスプレイとは別個のタッチ感知面を備える多機能デバイスに関する例示的なユーザインタフェースを示す。
【図５Ａ】一部の実施形態に係る、パーソナル電子デバイスを示す。
【図５Ｂ】一部の実施形態に係る、パーソナル電子デバイスを示すブロック図である。
【図５Ｃ】一部の実施形態に係る、タッチ感知ディスプレイと強度センサとを有するパーソナル電子デバイスの例示的な構成要素を示す。
【図５Ｄ】一部の実施形態に係る、タッチ感知ディスプレイと強度センサとを有するパーソナル電子デバイスの例示的な構成要素を示す。
【図５Ｅ】一部の実施形態に係る、パーソナル電子デバイスの例示的な構成要素及びユーザインタフェースを示す。
【図５Ｆ】一部の実施形態に係る、パーソナル電子デバイスの例示的な構成要素及びユーザインタフェースを示す。
【図５Ｇ】一部の実施形態に係る、パーソナル電子デバイスの例示的な構成要素及びユーザインタフェースを示す。
【図５Ｈ】一部の実施形態に係る、パーソナル電子デバイスの例示的な構成要素及びユーザインタフェースを示す。
【図５Ｉ】一部の実施形態に係る、支払取引を完了するために１つ以上の通信チャネルを介して接続された例示的なデバイスを示す。
【図６Ａ】一部の実施形態に係る、アカウントの選択を受け取るための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図６Ｂ】一部の実施形態に係る、アカウントの選択を受け取るための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図６Ｃ】一部の実施形態に係る、アカウントの選択を受け取るための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図６Ｄ】一部の実施形態に係る、アカウントの選択を受け取るための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図６Ｅ】一部の実施形態に係る、アカウントの選択を受け取るための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図６Ｆ】一部の実施形態に係る、アカウントの選択を受け取るための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図６Ｇ】一部の実施形態に係る、アカウントの選択を受け取るための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図７】一部の実施形態に係る、アカウントの選択を受け取るための方法を示すフロー図である。
【図８Ａ】一部の実施形態に係る、アカウントを選択するための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図８Ｂ】一部の実施形態に係る、アカウントを選択するための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図８Ｃ】一部の実施形態に係る、アカウントを選択するための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図８Ｄ】一部の実施形態に係る、アカウントを選択するための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。

【図９】一部の実施形態に係る、アカウントを選択するための方法を示すフロー図である。
【図１０Ａ】一部の実施形態に係る、アカウントを選択するための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図１０Ｂ】一部の実施形態に係る、アカウントを選択するための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図１０Ｃ】一部の実施形態に係る、アカウントを選択するための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図１０Ｄ】一部の実施形態に係る、アカウントを選択するための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図１０Ｅ】一部の実施形態に係る、アカウントを選択するための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図１１】一部の実施形態に係る、アカウントを選択するための方法を示すフロー図である。
【図１２Ａ】一部の実施形態に係る、アカウントのアカウント情報を送信するための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図１２Ｂ】一部の実施形態に係る、アカウントのアカウント情報を送信するための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図１２Ｃ】一部の実施形態に係る、アカウントのアカウント情報を送信するための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図１２Ｄ】一部の実施形態に係る、アカウントのアカウント情報を送信するための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図１３】一部の実施形態に係る、アカウントのアカウント情報を送信するための方法を示すフロー図である。
【図１４Ａ】一部の実施形態に係る、アカウントの選択を受け取るための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図１４Ｂ】一部の実施形態に係る、アカウントの選択を受け取るための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図１４Ｃ】一部の実施形態に係る、アカウントの選択を受け取るための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図１４Ｄ】一部の実施形態に係る、アカウントの選択を受け取るための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図１４Ｅ】一部の実施形態に係る、アカウントの選択を受け取るための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図１５】一部の実施形態に係る、アカウントの選択を受け取るための方法を示すフロー図である。
【図１６Ａ】一部の実施形態に係る、支払アカウントを１つ以上の電子デバイスにリンクするための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図１６Ｂ】一部の実施形態に係る、支払アカウントを１つ以上の電子デバイスにリンクするための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図１６Ｃ】一部の実施形態に係る、支払アカウントを１つ以上の電子デバイスにリンクするための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図１６Ｄ】一部の実施形態に係る、支払アカウントを１つ以上の電子デバイスにリンクするための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図１６Ｅ】一部の実施形態に係る、支払アカウントを１つ以上の電子デバイスにリンクするための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図１６Ｆ】一部の実施形態に係る、支払アカウントを１つ以上の電子デバイスにリンクするための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図１６Ｇ】一部の実施形態に係る、支払アカウントを１つ以上の電子デバイスにリンクするための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。

【図１７】一部の実施形態に係る、支払アカウントを１つ以上の電子デバイスにリンクするための方法を示すフロー図である。
【図１８Ａ】一部の実施形態に係る、支払アカウントを電子デバイスにリンクするための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図１８Ｂ】一部の実施形態に係る、支払アカウントを電子デバイスにリンクするための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図１８Ｃ】一部の実施形態に係る、支払アカウントを電子デバイスにリンクするための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。
【図１９】一部の実施形態に係る、支払アカウントを電子デバイスにリンクするための方法を示すフロー図である。
【図２０】一部の実施形態に係る機能ブロック図を示す。
【図２１】一部の実施形態に係る機能ブロック図を示す。
【図２２】一部の実施形態に係る機能ブロック図を示す。
【図２３】一部の実施形態に係る機能ブロック図を示す。
【図２４】一部の実施形態に係る機能ブロック図を示す。
【図２５】一部の実施形態に係る機能ブロック図を示す。
【図２６】一部の実施形態に係る機能ブロック図を示す。
【発明を実施するための形態】
【００５３】
以下の説明では、例示的な方法、パラメータなどが記載される。ただし、かかる説明の目的は、本開示の範囲を制限することではなく、例示的な実施形態の説明を提供することであることを理解されたい。
【００５４】
アカウントを電子デバイスにリンクする、取引において使用するアカウントを選択する、及び取引の際にアカウント情報を送信するための、効率的な方法及びインタフェースを提供する電子デバイスの必要性が存在する。特に、スマートウォッチなどのウェアラブルデバイスのための効率的な方法及びインタフェースを提供する必要性が存在する。かかる技法は、イベント通知にアクセスするユーザの認識的負担を軽減し、それによって生産性を高め得る。更には、かかる技法は、通常であれば冗長なユーザ入力に対して浪費される、プロセッサ及びバッテリの電力を低減することができる。
【００５５】
以下の図１Ａ～図１Ｂ、図２、図３、図４Ａ～図４Ｂ、及び図５Ａ～図５Ｂは、例示的なデバイスの説明を提供する。図６Ａ～図６Ｇは、アカウントの選択を受け取るための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。図７は、アカウントの選択を受け取るための方法を示すフロー図である。図６Ａ～図６Ｇのユーザインタフェースは、図７の処理を説明するために使用される。図８Ａ～図８Ｄは、アカウントを選択するための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。図９は、アカウントを選択するための方法を示すフロー図である。図８Ａ～図８Ｄのユーザインタフェースは、図９の処理を説明するために使用される。図１０Ａ～図１０Ｅは、アカウントを選択するための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。図１１は、一部の実施形態に係る、アカウントを選択するための方法を示すフロー図である。図１０Ａ～図１０Ｅのユーザインタフェースは、図１１の処理を説明するために使用される。図１２Ａ～図１２Ｄは、アカウントのアカウント情報を送信するための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。図１３は、一部の実施形態に係る、アカウントのアカウント情報を送信するための方法を示すフロー図である。図１２Ａ～図１２Ｄのユーザインタフェースは、図１３の処理を説明するために使用される。図１４Ａ～図１４Ｅは、アカウントの選択を受け取るための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。図１５は、アカウントの選択を受け取るための方法を示すフロー図である。図１４Ａ～図１４Ｅのユーザインタフェースは、図１５の処理を説明するために使用される。図１６Ａ～図１６Ｇは、支払アカウントを１つ以上の電子デバイスにリンクするための例示的な技法及び例示的なユー

ザインタフェースを示す。図１７は、支払アカウントを１つ以上の電子デバイスにリンクするための方法を示すフロー図である。図１６Ａ～図１６Ｇのユーザインタフェースは、図１７の処理を説明するために使用される。図１８Ａ～図１８Ｃは、一部の実施形態に係る、支払アカウントを電子デバイスにリンクするための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。図１９は、支払アカウントを電子デバイスにリンクするための方法を示すフロー図である。図１８Ａ～図１８Ｃのユーザインタフェースは、図１９の処理を説明するために使用される。

【００５６】

以下の説明では、様々な要素を説明するために「第１」、「第２」などの用語を使用するが、これらの要素はこれらの用語によって限定されるべきではない。これらの用語は、ある要素を別の要素と区別するためにのみ使用される。例えば、説明されている様々な実施形態の範囲から逸脱することなく、第１のタッチは第２のタッチと称することができ、同様に、第２のタッチは第１のタッチと称し得る。第１のタッチ及び第２のタッチは共にタッチであるが、同じタッチではない。

【００５７】

本明細書で説明される様々な実施形態の説明で使用される用語は、特定の実施形態を説明することのみを目的とするものであって、限定することを意図するものではない。説明される様々な実施形態の説明及び添付の特許請求の範囲で使用されるとき、単数形「ａ」、「ａｎ」、及び「ｔｈｅ」は、文脈がそうではないことを明確に示さない限り、複数形もまた含むことが意図されている。本明細書で使用するとき、用語「及び／又は」が、関連する列挙された項目のうちの１つ以上のすべての可能な任意の組み合わせを指し、かつこれを含むことをもまた理解されたい。用語「ｉｎｃｌｕｄｅｓ（含む）」、「ｉｎｃｌｕｄｉｎｇ（含む）」、「ｃｏｍｐｒｉｓｅｓ（含む、備える）」及び／又は「ｃｏｍｐｒｉｓｉｎｇ（含む、備える）」は、本明細書で使用される時、述べられた特徴、整数、ステップ、動作、要素、及び／又は構成要素の存在を指定するが、１つ以上の他の特徴、整数、ステップ、動作、要素、構成要素、及び／又はそれらの群、の存在又は追加を除外しないことが更に理解されるであろう。

【００５８】

用語「ｉｆ（～場合に）」は、文脈に応じて「ｗｈｅｎ（～時に）」、又は「ｕｐｏｎ（～時に）」、又は「ｉｎ ｒｅｓｐｏｎｓｅ ｔｏ ｄｅｔｅｒｍｉｎｉｎｇ（～という判定に応じて）」、又は「ｉｎ ｒｅｓｐｏｎｓｅ ｔｏ ｄｅｔｅｃｔｉｎｇ（～を検出することに応じて）」を意味すると解釈することができる。同様に、句「ｉｆ ｉｔ ｉｓ ｄｅｔｅｒｍｉｎｅｄ（～と判定される場合に）」又は「ｉｆ［ａ ｓｔａｔｅｄ ｃｏｎｄｉｔｉｏｎ ｏｒ ｅｖｅｎｔ］ｉｓ ｄｅｔｅｃｔｅｄ（［述べられる条件又はイベント］が検出される場合に）」は、文脈に応じて「ｕｐｏｎ ｄｅｔｅｒｍｉｎｉｎｇ（～と判定されるときに）」、又は「ｉｎ ｒｅｓｐｏｎｓｅ ｔｏ ｄｅｔｅｒｍｉｎｉｎｇ（～という判定に応じて）」、又は「ｕｐｏｎ ｄｅｔｅｃｔｉｎｇ［ｔｈｅ ｓｔａｔｅｄ ｃｏｎｄｉｔｉｏｎ ｏｒ ｅｖｅｎｔ］（［述べられる条件又はイベント］の検出時に）」、又は「ｉｎ ｒｅｓｐｏｎｓｅ ｔｏ ｄｅｔｅｃｔｉｎｇ［ｔｈｅ ｓｔａｔｅｄ ｃｏｎｄｉｔｉｏｎ ｏｒ ｅｖｅｎｔ］（［述べられる条件又はイベント］の検出に応じて）」を意味すると解釈することができる。

【００５９】

電子デバイス、かかるデバイス用のユーザインタフェース、及びかかるデバイスを使用するための関連する処理、の実施形態について説明する。一部の実施形態では、このデバイスは、ＰＤＡ機能及び／又は音楽プレーヤ機能などの、他の機能も含む、モバイル電話機などのポータブル通信デバイスである。ポータブル多機能デバイスの例示的な実施形態としては、Ｃａｌｉｆｏｒｎｉａ州ＣｕｐｅｒｔｉｎｏのＡｐｐｌｅ Ｉｎｃ．のｉＰｈｏｎｅ（登録商標）、ｉＰｏｄ Ｔｏｕｃｈ（登録商標）、及びｉＰａｄ（登録商標）デバイスが挙げられるが、これらに限定されない。タッチ感知面（例えば、タッチスクリーンディスプレイ及び／又はタッチパッド）を備えたラップトップ又はタブレットコンピュ

ータなどの他のポータブル電子デバイスも、任意選択的に、使用される。また、一部の実施形態では、本デバイスはポータブル通信デバイスではなく、タッチ感知面（例えば、タッチスクリーンディスプレイ及び／又はタッチパッド）を備えるデスクトップコンピュータであることを理解されたい。

【００６０】

以下の検討では、ディスプレイ及びタッチ感知面を備えた電子デバイスについて説明する。しかしながら、この電子デバイスは、任意選択的に、物理キーボード、マウス及び／又はジョイスティックなどの、１つ以上の他の物理ユーザインタフェースデバイスを備えることを理解されたい。

【００６１】

このデバイスは、描画アプリケーション、プレゼンテーションアプリケーション、ワードプロセッシングアプリケーション、ウェブサイト作成アプリケーション、ディスクオーサリングアプリケーション、スプレッドシートアプリケーション、ゲームアプリケーション、電話アプリケーション、テレビ会議アプリケーション、電子メールアプリケーション、インスタントメッセージングアプリケーション、トレーニングサポートアプリケーション、写真管理アプリケーション、デジタルカメラアプリケーション、デジタルビデオカメラアプリケーション、ウェブ閲覧アプリケーション、デジタル音楽プレーヤアプリケーション、及び／又はデジタルビデオプレーヤアプリケーションのうちの１つ以上などの、様々なアプリケーションをサポートすることができる。

【００６２】

このデバイス上で実行される様々なアプリケーションは、タッチ感知面などの、少なくとも１つの共通の物理ユーザインタフェースデバイスを、任意選択的に使用する。タッチ感知面の１つ以上の機能、並びにデバイス上に表示される対応する情報は、アプリケーションごとに、及び／又は対応するアプリケーション内で、任意選択的に、調節及び／又は変更される。このように、デバイスの共通の（タッチ感知面などの）物理アーキテクチャは、ユーザにとって直観的かつ透過的なユーザインタフェースを有する様々なアプリケーションを、任意選択的にサポートする。

【００６３】

次に、タッチ感知ディスプレイを備えるポータブルデバイスの実施形態に注意を向ける。図１Ａは、一部の実施形態に係る、タッチ感知ディスプレイシステム１１２を備えたポータブル多機能デバイス１００を示すブロック図である。タッチ感知ディスプレイ１１２は、便宜上「タッチスクリーン」と呼ばれる場合があり、「タッチ感知ディスプレイシステム」として、知られる場合又は呼ばれる場合もある。デバイス１００は、メモリ１０２（任意選択的に、１つ以上のコンピュータ可読記憶媒体を含む）と、メモリコントローラ１２２と、１つ以上の処理ユニット（ＣＰＵ）１２０と、周辺機器インタフェース１１８と、ＲＦ回路１０８と、オーディオ回路１１０と、スピーカ１１１と、マイクロフォン１１３と、入出力（Ｉ／Ｏ）サブシステム１０６と、他の入力制御デバイス１１６と、外部ポート１２４と、を含む。デバイス１００は、１つ以上の光センサ１６４を任意選択的に含む。デバイス１００は、デバイス１００（例えば、デバイス１００のタッチ感知ディスプレイシステム１１２などのタッチ感知面）上の接触の強度を検出するための、１つ以上の接触強度センサ１６５を任意選択的に含む。デバイス１００は、デバイス１００上に触知出力を生成する（例えば、デバイス１００のタッチ感知ディスプレイシステム１１２又はデバイス３００のタッチパッド３５５などの、タッチ感知面上に触知出力を生成する）ための、１つ以上の触知出力生成器１６７を任意選択的に含む。これらの構成要素は、１つ以上の通信バス又は信号ライン１０３を介して任意選択的に通信する。

【００６４】

本明細書及び特許請求の範囲で使用される時、タッチ感知面上の接触の「強度」という用語は、タッチ感知面上の接触（例えば、指接触）の力若しくは圧力（単位面積当りの力）、又はタッチ感知面上の接触の力若しくは圧力の代替物（代用物）を指す。接触の強度は、少なくとも４つの別個の値を含み、より典型的には、何百もの異なる値（例えば、少

なくとも２５６）を含む、値の範囲を有する。接触の強度は、様々な方法及び様々なセンサ、又はセンサの組み合わせを用いて、任意選択的に、判定（又は、測定）される。例えば、タッチ感知面の下に又は隣接して配置された１つ以上の力センサは、タッチ感知面上の様々な点における力を測定するために、任意選択的に使用される。いくつかの実装において、複数の力センサの力測定値を組み合わせて（例えば、加重平均）、接触力の推定値を判定する。同様に、スタイラスの感圧性先端部を任意選択的に使用して、タッチ感知面上のスタイラスの圧力を判定する。あるいは、タッチ感知面上で検出される接触領域のサイズ及び／若しくはその変化、接触に近接するタッチ感知面の電気容量及び／若しくはその変化、並びに／又は、接触に近接するタッチ感知面の抵抗及び／若しくはその変化が、タッチ感知面上の接触の力又は圧力の代替物として、任意選択的に用いられる。一部の実装では、接触の力又は圧力の代替的測定値は、強度閾値を超えているか否かを判定するために直接に用いられる（例えば、強度閾値は、代替的測定値に対応する単位で記述される）。いくつかの実装では、接触の力又は圧力の代替的測定値は、推定される力又は圧力に変換され、この推定される力又は圧力を用いて、強度閾値を超えているか否かを判定する（例えば、強度閾値は、圧力の単位で測定された圧力閾値である）。接触の強度をユーザ入力の属性として使用することにより、アフォーダンスを（例えば、タッチ感知ディスプレイ上に）表示するための、及び／又は、ユーザ入力を（例えば、タッチ感知ディスプレイ、タッチ感知面、又はノブ若しくはボタンなどの物理的／機械的制御部を介して）受け取るための、面積が制限されている、低減されたサイズのデバイス上で、他の場合であればユーザによってアクセスすることが不可能であり得る、追加的なデバイス機能への、ユーザのアクセスが可能となる。

【００６５】

本明細書及び特許請求の範囲で使用される時、用語「触知出力」は、ユーザの触覚でユーザによって検出されることになる、デバイスの従前の位置に対するデバイスの物理的変位、デバイスの構成要素（例えば、タッチ感知面）の、デバイスの別の構成要素（例えば、筐体）に対する物理的変位、又はデバイスの質量中心に対する構成要素の変位を指す。例えば、デバイス又はデバイスの構成要素が、タッチに敏感なユーザの表面（例えば、ユーザの手の指、手のひら、又は他の部分）に接触している状況において、物理的変位によって生成された触知出力は、デバイス又はデバイスの構成要素の物理的特性の認識された変化に相当する触感として、ユーザによって解釈される。例えば、タッチ感知面（例えば、タッチ感知ディスプレイ又はトラックパッド）の移動は、ユーザによって、物理アクチュエータボタンの「ダウンクリック」又は「アップクリック」として任意選択的に解釈される。いくつかの場合、ユーザの動作により物理的に押された（例えば、変位された）タッチ感知面に関連付けられた物理アクチュエータボタンの移動がない時でさえ、ユーザは「ダウンクリック」又は「アップクリック」などの触感を感じるであろう。別の実施例として、タッチ感知面の移動は、タッチ感知面の平滑度に変化がない場合であっても、ユーザによって、そのタッチ感知面の「粗さ」として、任意選択的に解釈又は感知される。そのようなユーザによるタッチの解釈は、ユーザの個人的な感覚認知に左右されるものではあるが、大多数のユーザに共通する、多くのタッチの感覚認知が存在する。したがって、触知出力が、ユーザの特定の感覚認知（例えば、「アップクリック」、「ダウンクリック」、「粗さ」）に対応するものと記述される場合、別途記載のない限り、生成された触知出力は、典型的な（又は、平均的な）ユーザの記述された感覚認知を生成するデバイス、又はデバイスの構成要素の物理的変位に対応する。

【００６６】

デバイス１００は、ポータブル多機能デバイスの一実施例に過ぎず、デバイス１００は、示されているものよりも多くの構成要素又は少ない構成要素を任意選択的に有し、２つ以上の構成要素を任意選択的に組み合わせるか、又は、それらの構成要素の異なる構成若しくは配置を任意選択的に有することを理解されたい。図１Ａに示される様々な構成要素は、１つ以上の信号処理回路及び／又は特定用途向け集積回路を含めた、ハードウェア、ソフトウェア、又はハードウェア及びソフトウェアの双方の組み合わせとして実装される

。

【００６７】

メモリ１０２は任意選択的に高速ランダムアクセスメモリを含み、また、１つ以上の磁気ディスク記憶デバイス、フラッシュメモリデバイス、又は他の不揮発性ソリッドステートメモリデバイスなどの、不揮発性メモリも含む。メモリコントローラ１２２は、デバイス１００の他の構成要素によるメモリ１０２へのアクセスを制御することができる。

【００６８】

周辺機器インタフェース１１８を用いて、このデバイスの入力及び出力周辺機器を、ＣＰＵ１２０及びメモリ１０２に連結することができる。１つ以上のプロセッサ１２０は、デバイス１００のための様々な機能を実行するため並びにデータを処理するために、メモリ１０２に記憶された様々なソフトウェアプログラム及び／又は命令セットを動作させる、又は実行する。一部の実施形態では、周辺機器インタフェース１１８、ＣＰＵ１２０、及びメモリコントローラ１２２は、チップ１０４などのシングルチップ上に実装してもよい。いくつかの他の実施形態では、それらは、別個のチップ上に実装してもよい。

【００６９】

ＲＦ（無線周波数）回路１０８は、電磁信号とも呼ばれるＲＦ信号を送受信する。ＲＦ回路１０８は、電気信号を電磁信号に、又は電磁信号を電気信号に変換し、電磁信号を介して通信ネットワーク及び他の通信デバイスと通信する。ＲＦ回路１０８は、アンテナシステム、ＲＦ送受信機、１つ以上の増幅器、同調器、１つ以上の発振器、デジタル信号プロセッサ、ＣＯＤＥＣチップセット、加入者識別モジュール（ＳＩＭ）カード、メモリなどを含むがこれらに限定されない、これらの機能を実行するための周知の回路を、任意選択的に含んでいる。ＲＦ回路１０８は、ワールドワイドウェブ（WWW）とも呼ばれるインターネット、イントラネット、及び／又は、セルラー電話ネットワーク、無線ローカルエリアネットワーク（ＬＡＮ）などの無線ネットワーク、及び／又は、メトロポリタンエリアネットワーク（ＭＡＮ）、などのネットワーク、及び他のデバイス、と無線通信によって、任意選択的に通信する。ＲＦ回路１０８は、近距離通信無線などによる近距離通信（ＮＦＣ）フィールドを検出するための周知の回路を任意選択的に含む。無線通信は、複数の通信規格、通信プロトコル、及び通信技術のうちのいずれかを、任意選択的に使用し、それらの通信規格、通信プロトコル、及び通信技術としては、移動通信用のグローバルシステム（Global System for Mobile Communications、ＧＳＭ（登録商標））、拡張データＧＳＭ環境（Enhanced Data GSM Environment、ＥＤＧＥ）、高速ダウンリンクパケット接続（high-speed downlink packet access、ＨＳＤＰＡ）、高速アップリンクパケット接続（high-speed uplink packet access、ＨＳＵＰＡ）、Ｅｖｏｌｕｔｉｏｎ，Ｄａｔａ－Ｏｎｌｙ（ＥＶ－ＤＯ）、ＨＳＰＡ、ＨＳＰＡ＋、２重セルＨＳＰＡ（Dual-Cell HSPA、ＤＣ－ＨＳＰＤＡ）、ロングタームエボリューション（long term evolution、ＬＴＥ）、近距離無線通信（near field communication、ＮＦＣ）、広帯域符号分割多元接続（wideband code division multiple access、Ｗ－ＣＤＭＡ）、符号分割多元接続（code division multiple access、ＣＤＭＡ）、時分割多元接続（time division multiple access、ＴＤＭＡ）、Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ（登録商標）、Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ Ｌｏｗ Ｅｎｅｒｇｙ（ＢＴＬＥ）、Ｗｉｒｅｌｅｓｓ Ｆｉｄｅｌｉｔｙ（Ｗｉ－Ｆｉ）（登録商標）（例えば、ＩＥＥＥ ８０２．１１ａ、ＩＥＥＥ ８０２．１１ｂ、ＩＥＥＥ ８０２．１１ｇ、ＩＥＥＥ ８０２．１１ｎ、及び／又はＩＥＥＥ ８０２．１１ａｃ）、ボイスオーバーインターネットプロトコル（voice over Internet Protocol、ＶｏＩＰ）、Ｗｉ－ＭＡＸ、電子メール用のプロトコル（例えば、インターネットメッセージアクセスプロトコル（Internet message access protocol、ＩＭＡＰ）及び／又はポストオフィスプロトコル（post office protocol、ＰＯＰ））、インスタントメッセージング（例えば、拡張可能メッセージング及びプレゼンスプロトコル（extensible messaging and presence protocol、ＸＭＰＰ）、インスタントメッセージング及びプレゼンス利用拡張向けセッション開始プロトコル（Session Initiation Protocol for Instant Messaging and Presence Leveraging Extensions、ＳＩＭＰＬＥ）、インスタントメッセージング及び

プレゼンスサービス（Instant Messaging and Presence Service、ＩＭＰＳ））、及び／又はショートメッセージサービス（Short Message Service、ＳＭＳ）、あるいは本文書の出願日現在までにまだ開発されていない通信プロトコルを含めた任意の他の好適な通信プロトコルが挙げられるが、これらに限定されない。

【００７０】

オーディオ回路１１０、スピーカ１１１、及びマイクロフォン１１３は、ユーザとデバイス１００との間のオーディオインタフェースを提供する。オーディオ回路１１０は、周辺機器インタフェース１１８からオーディオデータを受信し、このオーディオデータを電気信号に変換し、この電気信号をスピーカ１１１に送信する。スピーカ１１１は、電気信号を人間の可聴音波に変換する。オーディオ回路１１０は、マイクロフォン１１３により音波から変換された電気信号もまた受信する。オーディオ回路１１０は、電気信号をオーディオデータに変換し、このオーディオデータを処理のために周辺機器インタフェース１１８に送信する。オーディオデータは、周辺機器インタフェース１１８によって、メモリ１０２及び／又はＲＦ回路１０８から取得され、及び／又は、それらに送信されてもよい。一部の実施形態において、オーディオ回路１１０はヘッドセットジャック（例えば、図２の２１２）を更に備える。ヘッドセットジャックは、オーディオ回路１１０と、出力専用ヘッドホン又は出力（例えば、片耳又は両耳用のヘッドホン）及び入力（例えば、マイクロフォン）の双方を有するヘッドセットなどの、取り外し可能なオーディオ入出力周辺機器と、の間のインタフェースを提供する。

【００７１】

Ｉ／Ｏサブシステム１０６は、周辺機器インタフェース１１８に、タッチスクリーン１１２及び他の入力制御デバイス１１６などのデバイス１００の入出力周辺機器を接続する。Ｉ／Ｏサブシステム１０６は、任意選択的に、ディスプレイコントローラ１５６、光センサコントローラ１５８、強度センサコントローラ１５９、触覚フィードバックコントローラ１６１、及び他の入力若しくは制御デバイスのための１つ以上の入力コントローラ１６０を含む。１つ以上の入力コントローラ１６０は、他の入力制御デバイス１１６との間で、電気信号を受信／送信する。他の入力制御デバイス１１６は、任意選択的に、物理ボタン（例えば、プッシュボタン、ロッカボタンなど）、ダイヤル、スライダスイッチ、ジョイスティック、クリックホイールなどを含む。一部の代替的実施形態では、入力コントローラ（単数又は複数）１６０は、任意選択的に、キーボード、赤外線ポート、ＵＳＢポート及びマウスなどのポインタデバイスのうちのいずれかに接続される（又は、いずれにも接続されない）。１つ以上のボタン（例えば、図２の２０８）は、任意選択的に、スピーカ１１１及び／又はマイクロフォン１１３の音量調節のための、アップ／ダウンボタンを含む。１つ以上のボタンは、任意選択的に、プッシュボタン（例えば、図２の２０６）を含む。

【００７２】

２００５年１２月２３日に出願された、米国特許第７，６５７，８４９号である米国特許出願第１１／３２２，５４９号、「Ｕｎｌｏｃｋｉｎｇ ａ Ｄｅｖｉｃｅ ｂｙ Ｐｅｒｆｏｒｍｉｎｇ Ｇｅｓｔｕｒｅｓ ｏｎ ａｎ Ｕｎｌｏｃｋ Ｉｍａｇｅ」に記載されているように、プッシュボタンの素早い押し下げにより、タッチスクリーン１１２のロックを解除するか、又はデバイスのロックを解除するためにタッチスクリーン上のジェスチャを用いる処理を開始してもよい。この特許は、その全体が本明細書において参照により組み込まれる。プッシュボタン（例えば、２０６）をより長く押し下げることにより、デバイス１００の電源をオン又はオフすることができる。ユーザは、１つ以上のボタンの機能をカスタマイズすることができる。タッチスクリーン１１２は、仮想又はソフトボタン、及び１つ以上のソフトキーボードを実装するために用いられる。

【００７３】

タッチ感知ディスプレイ１１２は、デバイスとユーザとの間の入力インタフェース及び出力インタフェースを提供する。ディスプレイコントローラ１５６は、タッチスクリーン１１２から電気信号を受信し、及び／又はそれへ電気信号を送信する。タッチスクリーン

１１２は、ユーザに視覚出力を表示する。この視覚出力としては、画像、テキスト、アイコン、ビデオ、及びそれらの任意の組み合わせ（「グラフィック」と総称される）を挙げることができる。一部の実施形態において、視覚出力の一部又はすべてはユーザインタフェースオブジェクトに対応してもよい。

【００７４】

タッチスクリーン１１２は、触覚及び／又は触感の接触に基づくユーザからの入力を受け付けるタッチ感知面、センサ、又はセンサのセットを有している。タッチスクリーン１１２及びディスプレイコントローラ１５６は（メモリ１０２内の任意の関連モジュール及び／又は命令セットと共に）、タッチスクリーン１１２上で接触（及び任意の接触の移動又は中断）を検出し、検出された接触をタッチスクリーン１１２上に表示されたユーザインタフェースオブジェクト（例えば、１つ以上のソフトキー、アイコン、ウェブページ又は画像）との対話に変換する。例示的な実施形態では、タッチスクリーン１１２とユーザとの間の接触点は、ユーザの指に対応する。

【００７５】

タッチスクリーン１１２は、ＬＣＤ（ｌｉｑｕｉｄ ｃｒｙｓｔａｌ ｄｉｓｐｌａｙ、液晶ディスプレイ）技術、ＬＰＤ（ｌｉｇｈｔ ｅｍｉｔｔｉｎｇ ｐｏｌｙｍｅｒ ｄｉｓｐｌａｙ、発光ポリマーディスプレイ）技術、又はＬＥＤ（ｌｉｇｈｔ ｅｍｉｔｔｉｎｇ ｄｉｏｄｅ、発光ダイオード）技術を用いてもよいが、他の実施形態では、その他のディスプレイ技術を用いてもよい。タッチスクリーン１１２及びディスプレイコントローラ１５６は、現在既知の、又は今後開発される複数のタッチ感知技術のうちのいずれかを用いて、接触、及びその接触のあらゆる移動又は中断を検出することができ、これらの技術としては、静電容量技術、抵抗性技術、赤外線技術、及び表面弾性波技術、並びにタッチスクリーン１１２との１つ以上の接触点を判定するための、他の近接センサアレイ又は他の要素、が挙げられるが、これらに限定されない。例示的な実施形態では、Ｃａｌｉｆｏｒｎｉａ州ＣｕｐｅｒｔｉｎｏのＡｐｐｌｅ Ｉｎｃ．によるｉＰｈｏｎｅ（登録商標）及びｉＰｏｄ Ｔｏｕｃｈ（登録商標）において見られるような、投影型相互静電容量感知技術が使用されている。

【００７６】

タッチスクリーン１１２の一部の実施形態におけるタッチ感知ディスプレイは、以下の米国特許第６，３２３，８４６号（Ｗｅｓｔｅｒｍａｎら）、同第６，５７０，５５７号（Ｗｅｓｔｅｒｍａｎら）、及び／又は同第６，６７７，９３２号（Ｗｅｓｔｅｒｍａｎ）、及び／又は米国特許出願公開第２００２／００１５０２４（Ａ１）号に記載されているマルチタッチ感知タッチパッドに類似し得る。これらの文献は、それぞれその全体が本明細書において参照により組み込まれている。ただし、タッチスクリーン１１２はデバイス１００からの視覚出力を表示するのに対して、タッチ感知タッチパッドは視覚出力を提供しない。

【００７７】

タッチスクリーン１１２の一部の実施形態におけるタッチ感知ディスプレイは、以下の出願で説明されているとおりにすることができる。（１）２００６年５月２日出願の米国特許出願第１１／３８１，３１３号、「Ｍｕｌｔｉｐｏｉｎｔ Ｔｏｕｃｈ Ｓｕｒｆａｃｅ Ｃｏｎｔｒｏｌｌｅｒ」、（２）２００４年５月６日出願の同第１０／８４０，８６２号、「Ｍｕｌｔｉｐｏｉｎｔ Ｔｏｕｃｈｓｃｒｅｅｎ」、（３）２００４年７月３０日出願の同第１０／９０３，９６４号、「Ｇｅｓｔｕｒｅｓ Ｆｏｒ Ｔｏｕｃｈ Ｓｅｎｓｉｔｉｖｅ Ｉｎｐｕｔ Ｄｅｖｉｃｅｓ」、（４）２００５年１月３１日出願の同第１１／０４８，２６４号、「Ｇｅｓｔｕｒｅｓ Ｆｏｒ Ｔｏｕｃｈ Ｓｅｎｓｉｔｉｖｅ Ｉｎｐｕｔ Ｄｅｖｉｃｅｓ」、（５）２００５年１月１８日出願の同第１１／０３８，５９０号、「Ｍｏｄｅ－Ｂａｓｅｄ Ｇｒａｐｈｉｃａｌ Ｕｓｅｒ Ｉｎｔｅｒｆａｃｅｓ Ｆｏｒ Ｔｏｕｃｈ Ｓｅｎｓｉｔｉｖｅ Ｉｎｐｕｔ Ｄｅｖｉｃｅｓ」、（６）２００５年９月１６日出願の同第１１／２２８，７５８号、「Ｖｉｒｔｕａｌ Ｉｎｐｕｔ Ｄｅｖｉｃｅ Ｐｌａｃｅｍｅｎｔ Ｏｎ Ａ Ｔｏｕｃｈ Ｓｃｒｅｅ

ｎ Ｕｓｅｒ Ｉｎｔｅｒｆａｃｅ」、（７）２００５年９月１６日出願の同第１１／２２８，７００号、「Ｏｐｅｒａｔｉｏｎ Ｏｆ Ａ Ｃｏｍｐｕｔｅｒ Ｗｉｔｈ Ａ Ｔｏｕｃｈ Ｓｃｒｅｅｎ Ｉｎｔｅｒｆａｃｅ」、（８）２００５年９月１６日出願の同第１１／２２８，７３７号、「Ａｃｔｉｖａｔｉｎｇ Ｖｉｒｔｕａｌ Ｋｅｙｓ Ｏｆ Ａ Ｔｏｕｃｈ－Ｓｃｒｅｅｎ Ｖｉｒｔｕａｌ Ｋｅｙｂｏａｒｄ」、及び（９）２００６年３月３日出願の同第１１／３６７，７４９号、「Ｍｕｌｔｉ－Ｆｕｎｃｔｉｏｎａｌ Ｈａｎｄ－Ｈｅｌｄ Ｄｅｖｉｃｅ」。これらの出願のすべては、全体が参照により本明細書に組み込まれる。

【００７８】

タッチスクリーン１１２は、１００ｄｐｉを超えるビデオ解像度を有し得る。一部の実施形態において、タッチスクリーンは約１６０ｄｐｉのビデオ解像度を有する。ユーザは、スタイラス、指などの、任意の好適な物体又は付属物を使用して、タッチスクリーン１１２と接触することができる。一部の実施形態において、ユーザインタフェースは、主として指に基づく接触及びジェスチャによって機能するように設計され、タッチスクリーン上の指の接触面積が広いことにより、スタイラスに基づく入力よりも精度が低いことがある。一部の実施形態では、デバイスは、指に基づく粗い入力を正確なポインタ／カーソル位置又はユーザの望むアクションを実行するためのコマンドに変換する。

【００７９】

一部の実施形態において、タッチスクリーンに加えて、デバイス１００は、特定の機能をアクティベーション又は非アクティベーションさせるためのタッチパッド（図示せず）を含んでもよい。一部の実施形態において、タッチパッドは、タッチスクリーンとは異なり、視覚出力を表示しない、デバイスのタッチ感知領域である。タッチパッドは、タッチスクリーン１１２とは別個のタッチ感知面、又はタッチスクリーンによって形成されるタッチ感知面の拡張部とすることができる。

【００８０】

デバイス１００はまた、様々な構成要素に電力を供給するための電力システム１６２も含む。電力システム１６２は、電力管理システム、１つ以上の電源（例えば、バッテリ、交流（ＡＣ））、再充電システム、停電検出回路、電力コンバータ又はインバータ、電力状態インジケータ（例えば、発光ダイオード（ＬＥＤ））、並びにポータブルデバイスにおける電力の生成、管理、及び分配に関連付けられた任意の他の構成要素を含んでもよい。

【００８１】

デバイス１００はまた、１つ以上の光センサ１６４を含んでもよい。図１Ａは、Ｉ／Ｏサブシステム１０６内の光センサコントローラ１５８に連結された光センサを示す。光センサ１６４は、電荷結合デバイス（ＣＣＤ）又は相補的金属酸化物半導体（ＣＭＯＳ）フォトトランジスタを含んでもよい。光センサ１６４は、１つ以上のレンズを通して投影された、環境からの光を受光し、その光を、画像を表すデータに変換する。撮像モジュール１４３（カメラモジュールとも呼ばれる）と連携して、光センサ１６４は静止画像又はビデオをキャプチャすることができる。一部の実施形態において、タッチスクリーンディスプレイを静止画像及び／又はビデオ画像取得のためのビューファインダとして使用することができるように、デバイスの前面のタッチスクリーンディスプレイ１１２の反対側である、デバイス１００の背面に光センサが配置されている。一部の実施形態において、ユーザが他のテレビ会議参加者をタッチスクリーンディスプレイ上で見る間に、そのユーザの画像をテレビ会議のために得ることができるように、デバイスの前面に光センサが配置されている。一部の実施形態において、光センサ１６４の位置は、ユーザによって（例えば、デバイス筐体内のレンズ及びセンサを回転させることによって）変更することができ、それにより、テレビ会議並びに静止画像及び／又はビデオ画像の取得の双方のために、単一の光センサ１６４を、タッチスクリーンディスプレイと共に使用することができる。

【００８２】

デバイス１００はまた、１つ以上の接触強度センサ１６５も任意選択的に含む。図１Ａ

は、Ｉ／Ｏサブシステム１０６内の強度センサコントローラ１５９に結合された、接触強度センサを示す。接触強度センサ１６５は、１つ以上のピエゾ抵抗ひずみゲージ、電気容量式力センサ、電気力センサ、圧電力センサ、光学力センサ、容量式タッチ感知面、又は他の強度センサ（例えば、タッチ感知面上の接触の力（又は圧力）を測定するために使用するセンサ）を、任意選択的に含む。接触強度センサ１６５は、環境から接触強度情報（例えば、圧力情報又は圧力情報の代用物）を受信する。一部の実施形態において、少なくとも１つの接触強度センサが、タッチ感知面（例えば、タッチ感知ディスプレイシステム１１２）に配置されているか、又は、それに近接している。一部の実施形態において、少なくとも１つの接触強度センサが、デバイス１００の前面に配置されたタッチスクリーンディスプレイ１１２の反対側である、デバイス１００の背面に配置されている。

【００８３】

デバイス１００は１つ以上の近接センサ１６６を含んでもよい。図１Ａは、周辺機器インタフェース１１８と接続された近接センサ１６６を示す。あるいは、近接センサ１６６は、Ｉ／Ｏサブシステム１０６内の入力コントローラ１６０に結合されてもよい。近接センサ１６６は、米国特許出願第１１／２４１，８３９号、「Ｐｒｏｘｉｍｉｔｙ Ｄｅｔｅｃｔｏｒ Ｉｎ Ｈａｎｄｈｅｌｄ Ｄｅｖｉｃｅ」、同第１１／２４０，７８８号、「Ｐｒｏｘｉｍｉｔｙ Ｄｅｔｅｃｔｏｒ Ｉｎ Ｈａｎｄｈｅｌｄ Ｄｅｖｉｃｅ」、同第１１／６２０，７０２号、「Ｕｓｉｎｇ Ａｍｂｉｅｎｔ Ｌｉｇｈｔ Ｓｅｎｓｏｒ Ｔｏ Ａｕｇｍｅｎｔ Ｐｒｏｘｉｍｉｔｙ Ｓｅｎｓｏｒ Ｏｕｔｐｕｔ」、同第１１／５８６，８６２号、「Ａｕｔｏｍａｔｅｄ Ｒｅｓｐｏｎｓｅ Ｔｏ Ａｎｄ Ｓｅｎｓｉｎｇ Ｏｆ Ｕｓｅｒ Ａｃｔｉｖｉｔｙ Ｉｎ Ｐｏｒｔａｂｌｅ Ｄｅｖｉｃｅｓ」、及び、同第１１／６３８，２５１号、「Ｍｅｔｈｏｄｓ Ａｎｄ Ｓｙｓｔｅｍｓ Ｆｏｒ Ａｕｔｏｍａｔｉｃ Ｃｏｎｆｉｇｕｒａｔｉｏｎ Ｏｆ Ｐｅｒｉｐｈｅｒａｌｓ」で説明されるように機能するものであり、これらの出願は、全体が参照により本明細書に組み込まれる。一部の実施形態において、多機能デバイスがユーザの耳の近くに配置されている場合（例えば、ユーザが電話通話を行っている場合）、近接センサは、タッチスクリーン１１２をオフにし無効にする。

【００８４】

デバイス１００はまた、１つ以上の触知出力生成器１６７も任意選択的に含んでいる。図１Ａは、Ｉ／Ｏサブシステム１０６内の触覚フィードバックコントローラ１６１に連結された触知出力生成器を示す。触知出力生成器１６７は、スピーカ又は他のオーディオ構成要素などの１つ以上の電気音響デバイス、及び／又はモータ、ソレノイド、電気活性ポリマー、圧電アクチュエータ、静電アクチュエータ、若しくは他の触知出力生成構成要素（例えば、デバイス上で電気信号を触知出力に変換する構成要素）などの、エネルギーを直線運動に変換する電気機械デバイスを、任意選択的に含む。接触強度センサ１６５は、触覚フィードバックモジュール１３３から触覚フィードバック生成命令を受信し、デバイス１００のユーザが感知できる触知出力をデバイス１００上で生成する。一部の実施形態において、少なくとも１つの触知出力生成器は、タッチ感知面（例えば、タッチ感知ディスプレイシステム１１２）に配置されているか、又はそれに近接しており、任意選択的に、タッチ感知面を垂直方向（例えば、デバイス１００の表面の内／外）に、又は横方向（例えば、デバイス１００の表面と同じ平面内の前後）に動かすことによって、触知出力を生成する。一部の実施形態において、少なくとも１つの触知出力生成器センサが、デバイス１００の前面に配置されたタッチスクリーンディスプレイ１１２の反対側である、デバイス１００の背面に配置されている。

【００８５】

デバイス１００はまた、１つ以上の加速度計１６８も含み得る。図１Ａは、周辺機器インタフェース１１８に接続された加速度計１６８を示す。あるいは、加速度計１６８は、Ｉ／Ｏサブシステム１０６内の入力コントローラ１６０に結合されてもよい。加速度計１６８は、米国特許出願公開第２００５０１９００５９号、「Ａｃｃｅｌｅｒａｔｉｏｎ－ｂａｓｅｄ Ｔｈｅｆｔ Ｄｅｔｅｃｔｉｏｎ Ｓｙｓｔｅｍ ｆｏｒ Ｐｏｒｔａｂｌ

ｅ Ｅｌｅｃｔｒｏｎｉｃ Ｄｅｖｉｃｅｓ」、及び同第２００６００１７６９２号、「Ｍｅｔｈｏｄｓ Ａｎｄ Ａｐｐａｒａｔｕｓｅｓ Ｆｏｒ Ｏｐｅｒａｔｉｎｇ Ａ Ｐｏｒｔａｂｌｅ Ｄｅｖｉｃｅ Ｂａｓｅｄ Ｏｎ Ａｎ Ａｃｃｅｌｅｒｏｍｅｔｅｒ」で説明されるように機能し得るものであり、これらの文献の双方は、全体が参照により本明細書に組み込まれる。一部の実施形態において、情報は、１つ以上の加速度計から受信したデータの分析に基づいて、縦長表示又は横長表示でタッチスクリーンディスプレイ上に表示される。デバイス１００は、加速度計（単数又は複数）１６８に加えて、磁気計（図示せず）並びにデバイス１００の位置及び向き（例えば、縦長又は横長）に関する情報を取得するためのＧＰＳ（又はＧＬＯＮＡＳＳ又は他のグローバルナビゲーションシステム）受信部（図示せず）を、任意選択的に含む。

【００８６】

一部の実施形態において、メモリ１０２に記憶されたソフトウェア構成要素は、オペレーティングシステム１２６、通信モジュール（又は命令セット）１２８、接触／動きモジュール（又は命令セット）１３０、グラフィックモジュール（又は命令セット）１３２、テキスト入力モジュール（又は命令セット）１３４、全地球測位システム（ＧＰＳ）モジュール（又は命令セット）１３５、及びアプリケーション（又は命令セット）１３６を含む。更に、一部の実施形態において、図１Ａ及び図３に示すように、メモリ１０２（図１Ａ）又はメモリ３７０（図３）は、デバイス／グローバル内部状態１５７を記憶する。デバイス／グローバル内部状態１５７は、以下の１つ以上を含む：現在アクティブ状態のアプリケーションがある場合、どのアプリケーションがアクティブかを示す、アクティブアプリケーション状態、どのアプリケーション、ビュー、又は他の情報がタッチスクリーンディスプレイ１１２の様々な領域を占領しているかを示す、表示状態、デバイスの様々なセンサ及び入力制御デバイス１１６から得られる情報を含む、センサ状態、及び、デバイスの位置及び／又は姿勢に関する位置情報。

【００８７】

オペレーティングシステム１２６（例えば、Ｄａｒｗｉｎ（登録商標）、ＲＴＸＣ（登録商標）、ＬＩＮＵＸ（登録商標）、ＵＮＩＸ（登録商標）、ＯＳ Ｘ（登録商標）、ｉＯＳ（登録商標）、ＷＩＮＤＯＷＳ（登録商標）、又は、ＶｘＷｏｒｋｓ（登録商標）などの組み込みオペレーティングシステム）は、一般的なシステムタスク（例えば、メモリ管理、記憶デバイス制御、電力管理など）を制御及び管理するための様々なソフトウェアコンポーネント及び／又はドライバを含み、様々なハードウェア構成要素とソフトウェア構成要素との間の通信を容易にする。

【００８８】

通信モジュール１２８は、１つ以上の外部ポート１２４を介して他のデバイスとの通信を容易にし、ＲＦ回路１０８及び／又は外部ポート１２４が受信したデータを処理するための様々なソフトウェア構成要素を含む。外部ポート１２４（例えば、ユニバーサルシリアルバス（ＵＳＢ）、ＦＩＲＥＷＩＲＥ（登録商標）など）は、直接的に、又はネットワーク（例えば、インターネット、無線ＬＡＮなど）を通して間接的に、他のデバイスに接続するように適応している。一部の実施形態では、外部ポートは、ｉＰｏｄ（登録商標）（Ａｐｐｌｅ Ｉｎｃ．の商標）デバイス上で使用される３０ピンコネクタと同じか、若しくは同様のマルチピン（例えば、３０ピン）コネクタ、及び／又は互換性のあるマルチピン（例えば、３０ピン）コネクタである。

【００８９】

接触／動きモジュール１３０は、任意選択的に、（ディスプレイコントローラ１５６と連携して）タッチスクリーン１１２及び他のタッチ感知デバイス（例えば、タッチパッド又は物理クリックホイール）との接触を検出する。接触／動きモジュール１３０は、接触が生じたか否かを判定すること（例えば、指を下ろすイベントを検出すること）、接触の強度（例えば、接触の力若しくは圧力、又は、接触の力若しくは圧力の代替物）を判定すること、接触の移動が存在するか否かを判定し、タッチ感知面を横断する移動を追跡すること（例えば、指をドラッグする１つ以上のイベントを検出すること）、及び接触が停止

したか否かを判定すること（例えば、指を上げるイベント又は接触の中断を検出すること）などの、接触の検出に関する様々な動作を実行するための、様々なソフトウェア構成要素を含む。接触／動きモジュール１３０は、タッチ感知面から接触データを受信する。一連の接触データにより表現される接触点の移動を判定することは、接触点の速さ（大きさ）、速度（大きさ及び方向）、及び／又は加速度（大きさ及び／又は方向の変化）を判定することを任意選択的に含む。これらの動作は、任意選択的に、単一の接触（例えば、１本の指の接触）又は複数の同時接触（例えば、「マルチタッチ」／複数の指の接触）に適用される。一部の実施形態において、接触／動きモジュール１３０及びディスプレイコントローラ１５６は、タッチパッド上の接触を検出する。

【００９０】

一部の実施形態において、接触／動きモジュール１３０は、ユーザによって動作が実行されたか否かを判定するための（例えば、ユーザがアイコン上で「クリック」したか否かを判定するための）、１つ以上の強度閾値のセットを使用する。一部の実施形態において、少なくとも強度閾値のサブセットが、ソフトウェアパラメータに従って判定される（例えば、強度閾値は、特定の物理アクチュエータのアクティベーション閾値によって判定されず、デバイス１００の物理ハードウェアを変更することなく調整し得る）。例えば、トラックパッド又はタッチスクリーンディスプレイのマウス「クリック」閾値は、トラックパッド又はタッチスクリーンディスプレイのハードウェアを変更することなく広範囲の既定の閾値のうちのいずれかに設定し得る。更に、一部の実装では、デバイスのユーザには、（例えば、個々の強度閾値を調整することにより、及び／又は、システムレベルのクリック「強度」パラメータにより、一度に複数の強度閾値を調整することによって）強度閾値のセットのうちの１つ以上を調整するためのソフトウェア設定が提供される。

【００９１】

接触／動きモジュール１３０は任意選択的に、ユーザによるジェスチャ入力を検出する。タッチ感知面上の異なるジェスチャは、異なる接触パターン（例えば、異なる動き、タイミング、及び／又は検出される接触の強度）を有する。したがって、ジェスチャは、特定の接触パターンを検出することによって、任意選択的に検出される。例えば、指のタップジェスチャを検出することは、（例えば、アイコンの位置での）指を下ろすイベントを検出し、続いてその指を下ろすイベントと同じ位置（又は、実質的に同じ位置）で指を上げる（リフトオフ）イベントを検出することを含む。別の実施例として、タッチ感知面上での指のスワイプジェスチャを検出することは、指を下ろすイベントを検出し、続いて、１つ以上の、指をドラッグするイベントを検出し、その後、続いて指を上げる（リフトオフ）イベントを検出することを含む。

【００９２】

グラフィックモジュール１３２は、表示されるグラフィックの視覚的効果（例えば、輝度、透明度、彩度、コントラスト、又は他の視覚特性）を変更するための構成要素を含めた、タッチスクリーン１１２又は他のディスプレイ上にグラフィックをレンダリングして表示するための、様々な既知のソフトウェア構成要素を含む。本明細書で使用するとき、用語「グラフィック」は、ユーザに対して表示することができる任意のオブジェクトを含み、これらのオブジェクトとしては、テキスト、ウェブページ、アイコン（ソフトキーを含むユーザインタフェースオブジェクトなど）、デジタル画像、ビデオ、アニメーションなどが挙げられるが、これらに限定されない。

【００９３】

一部の実施形態では、グラフィックモジュール１３２は、使用されるグラフィックを表すデータを記憶する。各グラフィックには、対応するコードが、任意選択的に割り当てられる。グラフィックモジュール１３２は、アプリケーションなどから、必要に応じて、座標データ及び他のグラフィック特性データと共に、表示されることとなるグラフィックを指定する１つ以上のコードを受信し、次にディスプレイコントローラ１５６に出力する画面の画像データを生成する。

【００９４】

触覚フィードバックモジュール１３３は、デバイス１００とのユーザ対話に応じて、デバイス１００上の１つ以上の位置で触知出力を生成するために、触知出力生成器（単数又は複数）１６７によって使用される命令を生成するための、様々なソフトウェア構成要素を含む。

【００９５】

テキスト入力モジュール１３４は、グラフィックモジュール１３２の構成要素とすることができ、様々なアプリケーション（例えば、連絡先１３７、電子メール１４０、ＩＭ１４１、ブラウザ１４７、及びテキスト入力を必要とする任意の他のアプリケーション）内でテキストを入力するための、ソフトキーボードを提供する。

【００９６】

ＧＰＳモジュール１３５は、デバイスの位置を判定し、この情報を、様々なアプリケーションでの使用のために提供する（例えば、位置に基づいての電話での使用のために電話１３８へ、写真／ビデオメタデータとしてカメラ１４３へ、及び、気象ウィジェット、ローカルイエローページウィジェット、及び地図／ナビゲーションウィジェットなどの、位置に基づくサービスを提供するアプリケーションへ）。

【００９７】

アプリケーション１３６は、以下のモジュール（又は、命令セット）、又はそれらのサブセット若しくはスーパーセットを含み得る。

●連絡先モジュール１３７（時には、アドレス帳又は連絡先リストとも呼ぶ）、
●電話モジュール１３８、
●テレビ会議モジュール１３９、
●電子メールクライアントモジュール１４０、
●インスタントメッセージング（ＩＭ）モジュール１４１、
●トレーニングサポートモジュール１４２、
●静止画像及び／又はビデオ画像用のカメラモジュール１４３、
●画像管理モジュール１４４、
●ビデオ再生モジュール、
●音楽再生モジュール、
●ブラウザモジュール１４７、
●カレンダーモジュール１４８、
●気象ウィジェット１４９－１、株式ウィジェット１４９－２、計算機ウィジェット１４９－３、アラーム時計ウィジェット１４９－４、辞書ウィジェット１４９－５、及びユーザによって取得された他のウィジェット、並びにユーザ作成ウィジェット１４９－６のうちの１つ以上を含み得る、ウィジェットモジュール１４９、
●ユーザ作成ウィジェット１４９－６を作成するためのウィジェット作成モジュール１５０、
●検索モジュール１５１、
●ビデオ再生モジュール及び音楽再生モジュールを統合した、ビデオ及び音楽再生モジュール１５２、
●メモモジュール１５３、
●地図モジュール１５４、及び／又は
●オンラインビデオモジュール１５５。

【００９８】

メモリ１０２内に記憶することができる他のアプリケーション１３６の例としては、他のワードプロセッシングアプリケーション、他の画像編集アプリケーション、描画アプリケーション、プレゼンテーションアプリケーション、ＪＡＶＡ（登録商標）対応アプリケーション、暗号化、デジタル著作権管理、音声認識、及び音声複製が挙げられる。

【００９９】

タッチスクリーン１１２、ディスプレイコントローラ１５６、接触／動きモジュール１３０、グラフィックモジュール１３２、及びテキスト入力モジュール１３４と連携して、

連絡先モジュール１３７は、（例えば、メモリ１０２又はメモリ３７０内の連絡先モジュール１３７のアプリケーション内部状態１９２に記憶される）アドレス帳又は連絡先リストを管理するために用いられる。この管理することとしては、アドレス帳に名前（単数又は複数）を加えること、アドレス帳から名前（単数又は複数）を削除すること、電話番号（単数又は複数）、メールアドレス（単数又は複数）、住所（単数又は複数）、又は他の情報を名前と関連付けること、画像を名前と関連付けること、名前を分類して並べ替えること、電話番号又は電子メールアドレスを提供して、電話１３８、テレビ会議モジュール１３９、電子メール１４０、又はＩＭ１４１による通信を開始する及び／又は容易にすること、などが含まれる。

【０１００】

ＲＦ回路１０８、オーディオ回路１１０、スピーカ１１１、マイクロフォン１１３、タッチスクリーン１１２、ディスプレイコントローラ１５６、接触／動きモジュール１３０、グラフィックモジュール１３２、及びテキスト入力モジュール１３４と連携して、電話モジュール１３８は、電話番号に対応する一連の文字を入力し、連絡先モジュール１３７内の１つ以上の電話番号にアクセスし、入力された電話番号を修正し、対応する電話番号をダイヤルし、会話を行い、そして、会話が完了した際に接続を切るか又は電話を切るために、使用することができる。上述のように、無線通信は、複数の通信規格、通信プロトコル、及び通信技術のうちのいずれかを使用することができる。

【０１０１】

ＲＦ回路１０８、オーディオ回路１１０、スピーカ１１１、マイクロフォン１１３、タッチスクリーン１１２、ディスプレイコントローラ１５６、光センサ１６４、光センサコントローラ１５８、接触／動きモジュール１３０、グラフィックモジュール１３２、テキスト入力モジュール１３４、連絡先モジュール１３７、及び電話モジュール１３８と連携して、テレビ会議モジュール１３９は、ユーザの指示に従って、ユーザと１人以上の他の参加者との間のテレビ会議を開始し、実行し、終了する、実行可能な命令を含む。

【０１０２】

ＲＦ回路１０８、タッチスクリーン１１２、ディスプレイコントローラ１５６、接触／動きモジュール１３０、グラフィックモジュール１３２、及びテキスト入力モジュール１３４と連携して、電子メールクライアントモジュール１４０は、ユーザの指示に応答して、電子メールを作成し、送信し、受信し、管理する、実行可能な命令を含む。画像管理モジュール１４４と連携した電子メールクライアントモジュール１４０により、カメラモジュール１４３で撮影した静止画像又はビデオ画像を添付した電子メールを作成して送信することが非常に容易になる。

【０１０３】

ＲＦ回路１０８、タッチスクリーン１１２、ディスプレイコントローラ１５６、接触／動きモジュール１３０、グラフィックモジュール１３２、及びテキスト入力モジュール１３４と連携して、インスタントメッセージングモジュール１４１は、インスタントメッセージに対応する文字列を入力したり、入力済の文字を修正したり、（例えば、電話ベースのインスタントメッセージのためのショートメッセージサービス（ＳＭＳ）若しくはマルチメディアメッセージサービス（ＭＭＳ）プロトコルを使用して、又はインターネットベースのインスタントメッセージのためのＸＭＰＰ、ＳＩＭＰＬＥ、若しくはＩＭＰＳを使用して）対応するインスタントメッセージを送信したり、インスタントメッセージを受信したり、及び受信したインスタントメッセージを閲覧したりする、実行可能な命令を含む。一部の実施形態において、送信及び／又は受信されるインスタントメッセージは、ＭＭＳ及び／又は拡張メッセージングサービス（Enhanced Messaging Service、ＥＭＳ）でサポートされるような、グラフィック、写真、オーディオファイル、ビデオファイル、及び／又は他の添付ファイルを含んでもよい。本明細書で使用するとき、「インスタントメッセージング」とは、電話ベースのメッセージ（例えば、ＳＭＳ又はＭＭＳを使用して送信されるメッセージ）及びインターネットベースのメッセージ（例えば、ＸＭＰＰ、ＳＩＭＰＬＥ、又はＩＭＰＳを使用して送信されるメッセージ）の双方を指す。

【０１０４】
ＲＦ回路１０８、タッチスクリーン１１２、ディスプレイコントローラ１５６、接触／動きモジュール１３０、グラフィックモジュール１３２、テキスト入力モジュール１３４、ＧＰＳモジュール１３５、地図モジュール１５４、及び音楽再生モジュールと連携して、トレーニングサポートモジュール１４２は、次のための実行可能な命令を含む：（例えば、時間、距離、及び／又はカロリー消費目標を有する）トレーニングを作成することと、トレーニングセンサ（スポーツデバイス）と通信することと、トレーニングセンサデータを受信することと、トレーニングをモニタするために使用されるセンサを較正することと、トレーニングのための音楽を選択し、再生することと、トレーニングデータを表示し、記憶し、送信すること。

【０１０５】
タッチスクリーン１１２、ディスプレイコントローラ１５６、光センサ（単数又は複数）１６４、光センサコントローラ１５８、接触／動きモジュール１３０、グラフィックモジュール１３２、及び画像管理モジュール１４４と連携して、カメラモジュール１４３は、静止画像若しくは（ビデオストリームを含む）ビデオをキャプチャしてメモリ１０２にそれらを記憶する、静止画像若しくはビデオの特性を変更する、又はメモリ１０２から静止画像若しくはビデオを削除する、実行可能な命令を含む。

【０１０６】
タッチスクリーン１１２、ディスプレイコントローラ１５６、接触／動きモジュール１３０、グラフィックモジュール１３２、テキスト入力モジュール１３４、及びカメラモジュール１４３と連携して、画像管理モジュール１４４は、静止画像及び／又はビデオ画像を配置する、修正し（例えば、編集し）又は別の方法で操作する、ラベルを付ける、削除する、（例えば、デジタルスライドショー又はアルバムにおいて）提示する、及び記憶したりする、実行可能な命令を含む。

【０１０７】
ＲＦ回路１０８、タッチスクリーン１１２、ディスプレイコントローラ１５６、接触／動きモジュール１３０、グラフィックモジュール１３２、及び、テキスト入力モジュール１３４と連携して、ブラウザモジュール１４７は、ウェブページ又はそれらの一部、並びにウェブページにリンクされた添付及び他のファイルを検索し、リンク付けし、受信し、表示することを含むユーザの指示に従い、インターネットを閲覧するための実行可能な命令を含む。

【０１０８】
ＲＦ回路１０８、タッチスクリーン１１２、ディスプレイコントローラ１５６、接触／動きモジュール１３０、グラフィックモジュール１３２、テキスト入力モジュール１３４、電子メールクライアントモジュール１４０、及びブラウザモジュール１４７と連携して、カレンダーモジュール１４８は、ユーザの指示に従い、カレンダー及びカレンダーに関連付けられたデータ（例えば、カレンダー項目、ｔｏ　ｄｏリストなど）を作成し、表示し、変更し、記憶する実行可能な命令を含む。

【０１０９】
ＲＦ回路１０８、タッチスクリーン１１２、ディスプレイコントローラ１５６、接触／動きモジュール１３０、グラフィックモジュール１３２、テキスト入力モジュール１３４、及びブラウザモジュール１４７と連携して、ウィジェットモジュール１４９は、ユーザによってダウンロードされ、使用することが可能なミニアプリケーション（例えば、気象ウィジェット１４９－１、株価ウィジェット１４９－２、計算機ウィジェット１４９－３、アラーム時計ウィジェット１４９－４、及び辞書ウィジェット１４９－５）、又はユーザによって作成することが可能なミニアプリケーション（例えば、ユーザ作成ウィジェット１４９－６）である。一部の実施形態において、ウィジェットは、ＨＴＭＬ（ハイパーテキストマークアップ言語）ファイル、ＣＳＳ（カスケーディングスタイルシート）ファイル、及びＪａｖａＳｃｒｉｐｔ（登録商標）ファイルを含む。一部の実施形態において、ウィジェットは、ＸＭＬ（拡張可能マークアップ言語）ファイル及びＪａｖａＳｃｒｉ

ｐｔファイル（例えば、Ｙａｈｏｏ！（登録商標）ウィジェット）を含む。
【０１１０】
ＲＦ回路１０８、タッチスクリーン１１２、ディスプレイコントローラ１５６、接触／動きモジュール１３０、グラフィックモジュール１３２、テキスト入力モジュール１３４、及びブラウザモジュール１４７と連携して、ウィジェット作成モジュール１５０は、ウィジェットを作成する（例えば、ウェブページのユーザ指定箇所をウィジェットに変える）ために、ユーザによって使用することができる。
【０１１１】
タッチスクリーン１１２、ディスプレイコントローラ１５６、接触／動きモジュール１３０、グラフィックモジュール１３２、及びテキスト入力モジュール１３４と連携して、検索モジュール１５１は、ユーザの指示に従い、１つ以上の検索基準（例えば、１つ以上のユーザ指定の検索語句）と一致する、メモリ１０２内のテキスト、音楽、音、画像、ビデオ、及び／又は他のファイルを検索する、実行可能な命令を含む。
【０１１２】
タッチスクリーン１１２、ディスプレイコントローラ１５６、接触／動きモジュール１３０、グラフィックモジュール１３２、オーディオ回路１１０、スピーカ１１１、ＲＦ回路１０８、及びブラウザモジュール１４７と連携して、ビデオ及び音楽再生モジュール１５２は、ＭＰ３又はＡＡＣファイルなどの１つ以上のファイル形式で記憶された録音済の音楽及び他のサウンドファイルをユーザがダウンロード及び再生できるようにする実行可能な命令、並びにビデオを（タッチスクリーン１１２上又は外部ポート１２４を介して接続された外部のディスプレイ上に）表示、提示、又は別の方法で再生する実行可能な命令を含む。一部の実施形態において、デバイス１００は、任意選択的に、ｉＰｏｄ（Ａｐｐｌｅ　Ｉｎｃ．の商標）などのＭＰ３プレーヤの機能を備える。
【０１１３】
タッチスクリーン１１２、ディスプレイコントローラ１５６、接触／動きモジュール１３０、グラフィックモジュール１３２、及びテキスト入力モジュール１３４と連携して、メモモジュール１５３は、ユーザの指示に従って、メモ、ｔｏ　ｄｏリストなどを作成及び管理する実行可能な命令を含む。
【０１１４】
ＲＦ回路１０８、タッチスクリーン１１２、ディスプレイコントローラ１５６、接触／動きモジュール１３０、グラフィックモジュール１３２、テキスト入力モジュール１３４、ＧＰＳモジュール１３５、及びブラウザモジュール１４７と連携して、地図モジュール１５４は、ユーザの指示に従い、地図及び地図に関連付けられたデータ（例えば、運転方向、特定の位置又はその近くの店舗及びその他の見所のデータ、並びに他の位置ベースのデータ）を受信し、表示し、変更し、及び記憶するために、使用することができる。
【０１１５】
タッチスクリーン１１２、ディスプレイコントローラ１５６、接触／動きモジュール１３０、グラフィックモジュール１３２、オーディオ回路１１０、スピーカ１１１、ＲＦ回路１０８、テキスト入力モジュール１３４、電子メールクライアントモジュール１４０、及びブラウザモジュール１４７と連携して、オンラインビデオモジュール１５５は、ユーザがＨ．２６４などの１つ以上のファイル形式のオンラインビデオにアクセスし、閲覧し、（例えば、ストリーミング及び／又はダウンロードにより）受信し、（例えば、タッチスクリーン上で又は外部ポート１２４を介して接続された外部のディスプレイ上で）再生し、特定のオンラインビデオへのリンクを含む電子メールを送信し、別の方法で管理することが可能となる命令を含む。一部の実施形態では、特定のオンラインビデオへのリンクを送信するために、電子メールクライアントモジュール１４０ではなく、インスタントメッセージングモジュール１４１が使用される。オンラインビデオアプリケーションの追加の説明は、２００７年６月２０日に出願された米国特許仮出願第６０／９３６，５６２号、「Ｐｏｒｔａｂｌｅ　Ｍｕｌｔｉｆｕｎｃｔｉｏｎ　Ｄｅｖｉｃｅ，Ｍｅｔｈｏｄ，ａｎｄ　Ｇｒａｐｈｉｃａｌ　Ｕｓｅｒ　Ｉｎｔｅｒｆａｃｅ　ｆｏｒ　Ｐｌａｙｉｎｇ

Ｏｎｌｉｎｅ Ｖｉｄｅｏｓ」、及び２００７年１２月３１日に出願された米国特許出願第１１／９６８，０６７号、「Ｐｏｒｔａｂｌｅ Ｍｕｌｔｉｆｕｎｃｔｉｏｎ Ｄｅｖｉｃｅ，Ｍｅｔｈｏｄ，ａｎｄ Ｇｒａｐｈｉｃａｌ Ｕｓｅｒ Ｉｎｔｅｒｆａｃｅ ｆｏｒ Ｐｌａｙｉｎｇ Ｏｎｌｉｎｅ Ｖｉｄｅｏｓ」に見出すことができ、これらの出願の内容はその全体が本明細書において参照により組み込まれている。

【０１１６】

上記で特定されたモジュール及びアプリケーションのそれぞれは、１つ以上の上記の機能を実行する実行可能な命令セット及び本出願に記載の方法（例えば、コンピュータにより実装される方法及び本明細書に記載の他の情報処理方法）に対応する。これらのモジュール（例えば、命令のセット）は、別個のソフトウェアプログラム、手順、又はモジュールとして実装される必要はなく、それゆえ、様々な実施形態では、これらのモジュールの様々なサブセットを組み合わせるか、又は他の方式で再編成することができる。例えば、ビデオ再生モジュールは、音楽再生モジュールと組み合わせて、単一のモジュール（例えば、図１Ａのビデオ及び音楽再生モジュール１５２）としてもよい。一部の実施形態において、メモリ１０２は、上記で特定されたモジュール及びデータ構造のサブセットを記憶することができる。更に、メモリ１０２は、上述されていない追加のモジュール及びデータ構造を記憶してもよい。

【０１１７】

一部の実施形態では、デバイス１００は、デバイス上の機能の既定のセットの動作が排他的にタッチスクリーン及び／又はタッチパッドを介して実行されるデバイスである。デバイス１００の動作に関する主要な入力制御デバイスとしてタッチスクリーン及び／又はタッチパッドを使用することによって、デバイス１００上の（プッシュボタン、ダイヤルなどの）物理入力制御デバイスの数を低減することができる。

【０１１８】

タッチスクリーン及び／又はタッチパッドのみを介して実行される、既定の機能のセットは、任意選択的に、ユーザインタフェース間のナビゲーションを含む。一部の実施形態では、タッチパッドは、ユーザによってタッチされると、デバイス１００上に表示される任意のユーザインタフェースから、メインメニュー、ホームメニュー、又はルートメニューへデバイス１００をナビゲートする。かかる実施形態では、「メニューボタン」はタッチパッドを用いて実装される。一部の他の実施形態では、メニューボタンは、タッチパッドの代わりに、物理プッシュボタン又は他の物理入力制御デバイスである。

【０１１９】

図１Ｂは、一部の実施形態に係る、イベント処理のための例示的な構成要素を示すブロック図である。一部の実施形態では、メモリ１０２（図１Ａ）又はメモリ３７０（図３）は、イベントソート部１７０（例えば、オペレーティングシステム１２６内）及び対応するアプリケーション１３６－１（例えば、上述のアプリケーション１３７～１５１、１５５、３８０～３９０のうちのいずれか）を含む。

【０１２０】

イベントソート部１７０は、イベント情報を受信し、イベント情報が配信されるアプリケーション１３６－１及びアプリケーション１３６－１のアプリケーションビュー１９１を決定する。イベントソート部１７０は、イベントモニタ１７１及びイベントディスパッチャモジュール１７４を含んでいる。一部の実施形態において、アプリケーション１３６－１は、アプリケーションがアクティブ又は実行中の時、タッチ感知ディスプレイ１１２上に表示される現在のアプリケーションビュー（単数又は複数）を示す、アプリケーション内部状態１９２を含む。一部の実施形態において、デバイス／グローバル内部状態１５７は、いずれのアプリケーション（単数又は複数）が現在アクティブであるかを判定するために、イベントソート部１７０によって使用され、アプリケーション内部状態１９２は、イベント情報の配信先となるアプリケーションビュー１９１を決定するために、イベントソート部１７０によって使用される。

【０１２１】

一部の実施形態において、アプリケーション内部状態１９２は、アプリケーション１３６－１が実行を再開する際に使用される再開情報、アプリケーション１３６－１によって情報が表示されているか又は表示の準備が整っていることを示すユーザインタフェース状態情報、ユーザがアプリケーション１３６－１の以前の状態又はビューに戻ることを可能にするための状態待ち行列、及びユーザが以前に行ったアクションのリドゥ／アンドゥ待ち行列、のうちの１つ以上などの追加情報を含む。

【０１２２】

イベントモニタ１７１は、周辺機器インタフェース１１８からイベント情報を受信する。イベント情報は、サブイベント（例えば、マルチタッチジェスチャの一部としての、タッチ感知ディスプレイ１１２上でのユーザのタッチ）についての情報を含む。周辺機器インタフェース１１８は、Ｉ／Ｏサブシステム１０６、又は近接センサ１６６、加速度計（単数又は複数）１６８、及び／若しくは（オーディオ回路１１０を介する）マイクロフォン１１３などのセンサから受信する情報を送信する。周辺機器インタフェース１１８がＩ／Ｏサブシステム１０６から受信する情報には、タッチ感知ディスプレイ１１２又はタッチ感知面からの情報が含まれる。

【０１２３】

一部の実施形態では、イベントモニタ１７１は、所定の間隔で周辺機器インタフェース１１８に要求を送信する。これに応じて、周辺機器インタフェース１１８はイベント情報を送信する。他の実施形態では、周辺機器インタフェース１１８は、重要なイベント（例えば、所定のノイズ閾値を上回る、及び／又は所定の持続時間を超えた入力を受けること）が存在する場合にのみ、イベント情報を送信する。

【０１２４】

一部の実施形態では、イベントソート部１７０はまた、ヒットビュー判定モジュール１７２及び／又はアクティブイベント認識部判定モジュール１７３も含む。

【０１２５】

ヒットビュー判定モジュール１７２は、タッチ感知ディスプレイ１１２が２つ以上のビューを表示する場合に、サブイベントが１つ以上のビュー内のいずれの場所で発生したかを判定するための、ソフトウェア手順を提供する。ビューは、制御部及びユーザがディスプレイ上で見ることが可能な他の要素で構成される。

【０１２６】

アプリケーションに関連付けられたユーザインタフェースの別の態様は、本明細書では、アプリケーションビュー又はユーザインタフェースウィンドウと呼ばれる場合があるビューのセットであり、それらの中で情報が表示され、タッチに基づくジェスチャが生じる。タッチが検出される（対応するアプリケーションの）アプリケーションビューは、そのアプリケーションのプログラム階層又はビュー階層内のプログラムレベルに対応し得る。例えば、タッチが検出される最下位レベルのビューを、ヒットビューと呼ぶことができ、適切な入力として認識されるイベントのセットは、少なくとも部分的には、タッチに基づくジェスチャを開始する最初のタッチのヒットビューに基づいて、判定することができる。

【０１２７】

ヒットビュー判定モジュール１７２は、タッチベースのジェスチャのサブイベントと関連する情報を受信する。アプリケーションが、階層として編成された複数のビューを有する場合、ヒットビュー判定モジュール１７２は、そのサブイベントを処理すべき階層内の最下位のビューとしての、ヒットビューを特定する。ほとんどの状況では、ヒットビューは、最初のサブイベント（例えば、イベント又は潜在的なイベントを形成するサブイベントのシーケンスにおける最初のサブイベント）が発生する最下位レベルのビューである。ヒットビューがヒットビュー判定モジュール１７２によって特定されると、ヒットビューは、典型的には、それがヒットビューとして特定された、同じタッチ又は入力ソースに関連するすべてのサブイベントを受信する。

【０１２８】

アクティブイベント認識部判定モジュール１７３は、ビュー階層内のどのビュー（単数又は複数）がサブイベントの特定のシーケンスを受信すべきかを判定する。一部の実施形態では、アクティブイベント認識部判定モジュール１７３は、ヒットビューのみがサブイベントの特定のシーケンスを受信すべきであると判定する。他の実施形態では、アクティブイベント認識部判定モジュール１７３は、サブイベントの物理位置を含むすべてのビューはアクティブに関わっているビューであると判定し、したがって、すべてのアクティブに関わっているビューは、サブイベントの特定のシーケンスを受信すべきであると判定する。他の実施形態では、タッチサブイベントがある特定のビューに関連付けられた領域に完全に限定されたとしても、階層の上位のビューは、依然としてアクティブに関わっているビューであり続ける。

【０１２９】

イベントディスパッチャモジュール１７４は、イベント情報をイベント認識部（例えば、イベント認識部１８０）に送信する。アクティブイベント認識部判定モジュール１７３を含む実施形態において、イベントディスパッチャモジュール１７４は、アクティブイベント認識部判定モジュール１７３により判定されたイベント認識部にイベント情報を配信する。一部の実施形態では、イベントディスパッチャモジュール１７４は、対応するイベント受信部１８２により取得されるイベント情報をイベント待ち行列に記憶する。

【０１３０】

一部の実施形態では、オペレーティングシステム１２６は、イベントソート部１７０を含む。あるいは、アプリケーション１３６－１はイベントソート部１７０を含む。更に他の実施形態では、イベントソート部１７０は、独立型のモジュール、又は接触／動きモジュール１３０などの、メモリ１０２に記憶された別のモジュールの一部である。

【０１３１】

一部の実施形態では、アプリケーション１３６－１は、各々がアプリケーションのユーザインタフェースの各ビュー内で発生するタッチイベントを処理する命令を含む、複数のイベント処理部１９０及び１つ以上のアプリケーションビュー１９１を備えている。アプリケーション１３６－１の各アプリケーションビュー１９１は、１つ以上のイベント認識部１８０を含む。通常は、それぞれのアプリケーションビュー１９１に複数のイベント認識部１８０が含まれる。他の実施形態では、イベント認識部１８０のうちの１つ以上は、ユーザインタフェースキット（図示せず）又はアプリケーション１３６－１が方法及び他の特性を継承する上位レベルのオブジェクトなどの、別個のモジュールの一部である。一部の実施形態では、それぞれのイベント処理部１９０は、データ更新部１７６、オブジェクト更新部１７７、ＧＵＩ更新部１７８、及び／又はイベントソート部１７０から受信したイベントデータ１７９、のうちの１つ以上を含む。イベント処理部１９０は、アプリケーション内部状態１９２を更新するために、データ更新部１７６、オブジェクト更新部１７７、又はＧＵＩ更新部１７８を利用するか又は呼び出してもよい。あるいは、アプリケーションビュー１９１のうちの１つ以上は、１つ以上の対応するイベント処理部１９０を含んでいる。また、一部の実施形態では、データ更新部１７６、オブジェクト更新部１７７、及びＧＵＩ更新部１７８のうちの１つ以上も、対応するアプリケーションビュー１９１に含まれる。

【０１３２】

各イベント認識部１８０は、イベントソート部１７０からイベント情報（例えば、イベントデータ１７９）を受信して、そのイベント情報からイベントを識別する。イベント認識部１８０は、イベント受信部１８２及びイベント比較部１８４を含む。一部の実施形態では、イベント認識部１８０は更に、メタデータ１８３及びイベント配信命令１８８（サブイベント配信命令を含んでもよい）の少なくともサブセットを含んでいる。

【０１３３】

イベント受信部１８２は、イベントソート部１７０からイベント情報を受信する。このイベント情報には、サブイベントについての情報、例えば、タッチ又はタッチの動きについての情報が含まれる。サブイベントによっては、イベント情報はまた、サブイベントの

位置などの追加情報も含む。サブイベントが、タッチの動きに関係する場合、イベント情報はまた、そのサブイベントの速度及び方向も含み得る。一部の実施形態において、イベントは、１つの向きから別の向きへの（例えば、縦向きから横向きへの、又はその逆の）デバイスの回転を含み、そのイベント情報は、デバイスの現在の向き（デバイスの姿勢とも呼ばれる）についての対応する情報を含む。

【０１３４】

イベント比較部１８４は、イベント情報を既定のイベント又はサブイベントの定義と比較し、その比較に基づいて、イベント又はサブイベントを判定する、あるいはイベント又はサブイベントの状態を判定若しくは更新する。一部の実施形態において、イベント比較部１８４は、イベント定義１８６を含む。イベント定義１８６は、例えば、イベント１（１８７－１）、イベント２（１８７－２）などの、イベントの定義（例えば、サブイベントの既定のシーケンス）を含む。一部の実施形態において、イベント（１８７）内のサブイベントは、例えば、タッチ開始、タッチ終了、タッチの移動、タッチの中止、及び複数のタッチを含む。ある実施例では、イベント１（１８７－１）の定義は、表示されたオブジェクト上のダブルタップである。このダブルタップは、例えば、所定の段階に関する表示オブジェクト上での第１のタッチ（タッチの開始）、所定の段階に関する第１のリフトオフ（タッチの終了）、所定の段階に関する表示オブジェクト上での第２のタッチ（タッチの開始）、及び所定の段階に関する第２のリフトオフ（タッチの終了）を含む。別の実施例では、イベント２（１８７－２）の定義は、表示されたオブジェクト上のドラッグ操作である。このドラッグ操作は、例えば、所定の段階に関する表示オブジェクト上でのタッチ（又は、接触）、タッチ感知ディスプレイ１１２を横断するタッチの移動、及びタッチのリフトオフ（タッチの終了）を含む。一部の実施形態では、イベントはまた、１つ以上の関連付けられたイベント処理部１９０に関する情報も含む。

【０１３５】

一部の実施形態では、イベント定義１８７は、それぞれのユーザインタフェースオブジェクトに関するイベントの定義を含む。一部の実施形態では、イベント比較部１８４は、サブイベントに関連付けられたユーザインタフェースオブジェクトを判定するヒットテストを実行する。例えば、３つのユーザインタフェースオブジェクトがタッチ感知ディスプレイ１１２に表示されるアプリケーションビューにおいて、タッチ感知ディスプレイ１１２上でタッチが検出されると、イベント比較部１８４は、３つのユーザインタフェースオブジェクトのうちのどれがタッチ（サブイベント）に関連付けられているかを判定するためのヒットテストを実行する。表示された各オブジェクトが、対応するイベント処理部１９０に関連付けられている場合、イベント比較部は、ヒットテストの結果を用いて、どのイベント処理部１９０をアクティベーションすべきかを判定する。例えば、イベント比較部１８４は、サブイベント及びヒットテストのトリガとなるオブジェクトに関連付けられたイベント処理部を選択する。

【０１３６】

一部の実施形態において、それぞれのイベント１８７の定義は、サブイベントのシーケンスが、イベント認識部のイベントタイプに対応するか又は対応しないかが判定されるまで、イベント情報の配信を遅延させる、遅延作用も含む。

【０１３７】

それぞれのイベント認識部１８０が、一連のサブイベントがイベント定義１８６のイベントのいずれとも一致しないと判断した場合、それぞれのイベント認識部１８０は、イベント不可能、イベント失敗、又はイベント終了の状態に入り、その後は、タッチに基づくジェスチャの次のサブイベントを無視する。この状況では、ヒットビューに関してアクティブのまま維持される他のイベント認識部があれば、進行中のタッチに基づくジェスチャのサブイベントを、引き続き追跡及び処理する。

【０１３８】

一部の実施形態では、それぞれのイベント認識部１８０は、構成変更可能なプロパティと、フラグと、及び／又はイベント配信システムがアクティブに関わっているイベント認

識部にどのようにサブイベント配信を実行するかについて示すリストと、を有するメタデータ１８３を含む。一部の実施形態では、メタデータ１８３には、構成変更可能なプロパティと、フラグと、及び／又はイベント認識部が互いにどのように対話し得るか、若しくは、対話が可能になるかについて示すリストと、が含まれる。一部の実施形態では、メタデータ１８３には、構成変更可能なプロパティと、フラグと、及び／又はサブイベントがビュー階層若しくはプログラム階層内の様々なレベルに配信されるか否かを示すリストと、が含まれる。

【０１３９】

一部の実施形態では、各イベント認識部１８０は、イベントの１つ以上の特定のサブイベントが認識されたときに、イベントに関連付けられたイベント処理部１９０をアクティベーションする。一部の実施形態では、各イベント認識部１８０は、イベントに関連付けられたイベント情報をイベント処理部１９０に配信する。イベント処理部１９０をアクティベーションすることは、対応するヒットビューにサブイベントを送信（及び送信を延期する）することとは異なる。一部の実施形態では、イベント認識部１８０は、認識されたイベントに関連付けられたフラグをスローし、フラグに関連付けられたイベント処理部１９０は、フラグをキャッチし、所定の処理を実行する。

【０１４０】

一部の実施形態では、イベント配信命令１８８は、イベント処理部をアクティベーションせずに、サブイベントに関するイベント情報を配信するサブイベント配信命令を含む。その代わりに、サブイベント配信命令は、一連のサブイベントに関連付けられたイベント処理部又はアクティブに関わっているビューにイベント情報を配信する。一連のサブイベント又はアクティブに関わっているビューに関連付けられたイベント処理部は、イベント情報を受信し、所定の処理を実行する。

【０１４１】

一部の実施形態では、データ更新部１７６は、アプリケーション１３６－１で使用されるデータを作成及び更新する。例えば、データ更新部１７６は、連絡先モジュール１３７で使用される電話番号を更新したり、又はビデオ再生モジュールで使用されるビデオファイルを記憶したりする。一部の実施形態では、オブジェクト更新部１７７は、アプリケーション１３６－１で使用されるオブジェクトを作成及び更新する。例えば、オブジェクト更新部１７７は、新たなユーザインタフェースオブジェクトを作成するか、又はユーザインタフェースオブジェクトの位置を更新する。ＧＵＩ更新部１７８は、ＧＵＩを更新する。例えば、ＧＵＩ更新部１７８は、表示情報を準備し、タッチ感知ディスプレイ上に表示するため、表示情報をグラフィックモジュール１３２に送信する。

【０１４２】

一部の実施形態では、イベント処理部（単数又は複数）１９０は、データ更新部１７６、オブジェクト更新部１７７、及びＧＵＩ更新部１７８を含むか、又はそれらにアクセスすることができる。一部の実施形態では、データ更新部１７６、オブジェクト更新部１７７、及びＧＵＩ更新部１７８は、それぞれのアプリケーション１３６－１又はアプリケーションビュー１９１の単一モジュールに含まれる。他の実施形態では、それらは、２つ以上のソフトウェアモジュールに含まれる。

【０１４３】

タッチ感知ディスプレイ上のユーザのタッチのイベント処理に関する前述の説明はまた、入力デバイスを用いて多機能デバイス１００を動作させるための他の形態のユーザ入力にも適用されるが、そのすべてがタッチスクリーン上で開始されるわけではないことを理解されたい。例えば、単一又は複数のキーボードの押下又は保持に任意選択的に合わせたマウスの移動及びマウスボタンの押下、タッチパッド上でのタップ、ドラッグ、スクロールなどの接触移動、ペンスタイラス入力、デバイスの移動、口頭による指示、検出された眼球運動、バイオメトリック入力、及び／又はこれらの任意の組み合わせが、認識対象のイベントを定義するサブイベントに対応する入力として任意選択的に利用される。

【０１４４】

図２は、一部の実施形態に係る、タッチスクリーン１１２を有するポータブル多機能デバイス１００を示す。タッチスクリーンは、ユーザインタフェース（ＵＩ）２００内に１つ以上のグラフィックを、任意選択的に表示する。本実施形態、並びに後述する他の実施形態において、ユーザは、例えば、１本以上の指２０２（図には、正確な縮尺率では描かれていない）又は１つ以上のスタイラス２０３（図には、正確な縮尺率では描かれていない）を用いて、グラフィック上でジェスチャを行うことにより、グラフィックのうちの１つ以上を選択することができる。一部の実施形態において、ユーザが１つ以上のグラフィックとの接触を断った際に、その１つ以上のグラフィックの選択が生じる。一部の実施形態では、ジェスチャは、１回以上のタップ、１回以上のスワイプ（左から右へ、右から左へ、上方向へ及び／又は下方向へ）、及び／又は、デバイス１００と接触した指のローリング（右から左へ、左から右へ、上方向へ及び／又は下方向へ）を任意選択的に含む。一部の実装又は状況では、グラフィックとの不測の接触は、そのグラフィックを選択するものではない。例えば、選択に対応するジェスチャがタップである場合、アプリケーションアイコンの上をスイープするスワイプジェスチャは、対応するアプリケーションを任意選択的に選択しない。

【０１４５】

デバイス１００にはまた、「ホーム」又はメニューボタン２０４などの、１つ以上の物理ボタンも含まれ得る。上述したように、メニューボタン２０４を使用して、デバイス１００上で実行することができるアプリケーションセット内の任意のアプリケーション１３６へ、ナビゲートすることができる。あるいは、一部の実施形態では、メニューボタンは、タッチスクリーン１１２に表示されたＧＵＩにおけるソフトキーとして実装されている。

【０１４６】

一部の実施形態において、デバイス１００は、タッチスクリーン１１２、メニューボタン２０４、デバイスへの電源をオン／オフしてデバイスをロックするためのプッシュボタン２０６、音量調整ボタン（単数又は複数）２０８、加入者識別モジュール（ＳＩＭ）カードスロット２１０、ヘッドセットジャック２１２、及びドッキング／充電用外部ポート１２４を含む。プッシュボタン２０６は、ボタンを押し下げて、既定の時間にわたってボタンを押し下げた状態で保持することによってデバイス上の電源をオン／オフし、ボタンを押し下げて、既定時間が経過する前にボタンを解放することによってデバイスをロックし、及び／又は、デバイスのロックを解除する、若しくは、ロック解除処理を開始するために任意選択的に使用される。別の実施形態では、デバイス１００はまた、マイクロフォン１１３を通して、一部の機能をアクティベーション又は非アクティベーションするための口頭入力を受ける。デバイス１００はまた、タッチスクリーン１１２上の接触の強度を検出するための１つ以上の接触強度センサ１６５、及び／又は、デバイス１００のユーザに対する触知出力を生成するための１つ以上の触知出力生成器１６７も、任意選択的に含む。

【０１４７】

図３は、一部の実施形態に係る、ディスプレイ及びタッチ感知面を備える例示的な多機能デバイスのブロック図である。デバイス３００は、ポータブル型である必要はない。一部の実施形態において、デバイス３００は、ラップトップコンピュータ、デスクトップコンピュータ、タブレットコンピュータ、マルチメディア再生デバイス、ナビゲーションデバイス、教育的デバイス（子供の学習玩具など）、ゲームシステム、又は制御デバイス（例えば、家庭用又は業務用コントローラ）である。デバイス３００は、典型的には、１つ以上の処理ユニット（ＣＰＵ）３１０、１つ以上のネットワーク若しくは他の通信インタフェース３６０、メモリ３７０、及びこれらの構成要素を相互接続するための１つ以上の通信バス３２０を含む。通信バス３２０は、システム構成要素間の通信を相互接続及び制御する回路（チップセットと呼ばれることがある）を、任意選択的に含む。デバイス３００は、典型的にはタッチスクリーンディスプレイであるディスプレイ３４０を備える入出力（Ｉ／Ｏ）インタフェース３３０を含む。Ｉ／Ｏインタフェース３３０はまた、キーボ

ード及び／又はマウス（又は他のポインティングデバイス）３５０、並びにタッチパッド３５５、デバイス３００上に触知出力を生成するための（例えば、図１Ａを参照して上述した触知出力生成器１６７（単数又は複数）と同様の）触知出力生成器３５７、センサ３５９（例えば、光センサ、加速度センサ、近接センサ、タッチ感知センサ、及び／又は図１Ａを参照して上述した接触強度センサ（単数又は複数）１６５と同様の接触強度センサ）も、任意選択的に含む。メモリ３７０は、ＤＲＡＭ、ＳＲＡＭ、ＤＤＲ　ＲＡＭ、又は他のランダムアクセスソリッドステートメモリデバイスなどの、高速ランダムアクセスメモリを含み、また任意選択的に、１つ以上の磁気ディスク記憶デバイス、光ディスク記憶デバイス、フラッシュメモリデバイス、又は他の不揮発性ソリッドステート記憶デバイスなどの、不揮発性メモリを含む。メモリ３７０は、ＣＰＵ（単数又は複数）３１０からリモートにする１つ以上の記憶デバイスを任意選択的に含む。一部の実施形態では、メモリ３７０は、ポータブル多機能デバイス１００（図１Ａ）のメモリ１０２に記憶されたプログラム、モジュール、及びデータ構造、又はそれらの部分集合に類似する、プログラム、モジュール、及びデータ構造を記憶する。更に、メモリ３７０は、ポータブル多機能デバイス１００のメモリ１０２に存在しない追加のプログラム、モジュール、及びデータ構造を、任意選択的に記憶する。例えば、デバイス３００のメモリ３７０は、描画モジュール３８０、プレゼンテーションモジュール３８２、ワードプロセッシングモジュール３８４、ウェブサイト作成モジュール３８６、ディスクオーサリングモジュール３８８、及び／又はスプレッドシートモジュール３９０を任意選択的に記憶するが、ポータブル多機能デバイス１００（図１Ａ）のメモリ１０２はこれらのモジュールを任意選択的に記憶しない。

【０１４８】

図３における上記で特定された要素のそれぞれは、前述のメモリデバイスのうちの１つ以上に記憶されてもよい。上記で特定されたモジュールのそれぞれは、上述した機能を実行する命令セットに対応する。上記で特定されたモジュール又はプログラム（例えば、命令セット）は、別個のソフトウェアプログラム、手順、又はモジュールとして実装される必要はなく、それゆえ、様々な実施形態では、これらのモジュールの様々なサブセットを組み合わせるか、又は他の方式で再編成することができる。一部の実施形態において、メモリ３７０は、上記で特定されたモジュール及びデータ構造のサブセットを記憶することができる。更に、メモリ３７０は、上述されていない追加のモジュール及びデータ構造を記憶してもよい。

【０１４９】

次に、例えば、ポータブル多機能デバイス１００上に実装することができるユーザインタフェースの実施形態に注意を向ける。

【０１５０】

図４Ａは、一部の実施形態に係る、ポータブル多機能デバイス１００上のアプリケーションのメニューに関する例示的なユーザインタフェースを示す。同様のユーザインタフェースを、デバイス３００上に実装してもよい。一部の実施形態において、ユーザインタフェース４００は、以下の要素、又はそれらの部分集合若しくは上位集合を含む。

●セルラー及びＷｉ－Ｆｉ信号などの無線通信（単数又は複数）のための信号強度インジケータ（単数又は複数）４０２、

●時間４０４、

●Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈインジケータ４０５

●バッテリ状態インジケータ４０６、

●下記などの、頻繁に利用されるアプリケーション用のアイコンを含むトレー４０８、

○不在着信又は音声メールメッセージの数のインジケータ４１４を任意選択的に含む、「電話」とラベル付けされる、電話モジュール１３８用のアイコン４１６、

○未読電子メールの数のインジケータ４１０を任意選択的に含む、「メール」とラベル付けされる、電子メールクライアントモジュール１４０用のアイコン４１８、

○「ブラウザ」とラベル付けされる、ブラウザモジュール１４７用のアイコン４２０

、及び
○「ｉＰｏｄ」とラベル付けされる、ｉＰｏｄ（Ａｐｐｌｅ Ｉｎｃ．の商標）モジュール１５２とも称されるビデオ及び音楽再生モジュール１５２用のアイコン４２２、並びに
●下記などの、その他のアプリケーション用のアイコン、
○「メッセージ」とラベル付けされる、ＩＭモジュール１４１用のアイコン４２４、
○「カレンダー」とラベル付けされる、カレンダーモジュール１４８用のアイコン４２６、
○「写真」とラベル付けされる、画像管理モジュール１４４用のアイコン４２８、
○「カメラ」とラベル付けされる、カメラモジュール１４３用のアイコン４３０、
○「オンラインビデオ」とラベル付けされる、オンラインビデオモジュール１５５用のアイコン４３２、
○「株式」とラベル付けされる、株式ウィジェット１４９－２用のアイコン４３４、
○「マップ」とラベル付けされる、地図モジュール１５４用のアイコン４３６、
○「天気」とラベル付けされる、天気ウィジェット１４９－１用のアイコン４３８、
○「時計」とラベル付けされる、アラーム時計ウィジェット１４９－４用のアイコン４４０、
○「トレーニングサポート」とラベル付けされる、トレーニングサポートモジュール１４２用のアイコン４４２、
○「メモ」とラベル付けされる、メモモジュール１５３用のアイコン４４４、
○デバイス１００及びその様々なアプリケーション１３６に関する設定へのアクセスを提供する、「設定」とラベル付けされる、設定アプリケーション若しくはモジュール用のアイコン４４６。

【０１５１】
図４Ａに示されるアイコンのラベルは、単なる例示であることに留意されたい。例えば、ビデオ及び音楽再生モジュール１５２用のアイコン４２２は、任意選択的に、「ミュージック」又は「ミュージックプレーヤ」とラベル付けされてもよい。他のラベルが、様々なアプリケーションアイコンのために、任意選択的に使用される。一部の実施形態では、それぞれのアプリケーションアイコンに関するラベルは、それぞれのアプリケーションアイコンに対応するアプリケーションの名前を含む。一部の実施形態では、特定のアプリケーションアイコンのラベルは、特定のアプリケーションアイコンに対応するアプリケーションの名前とは異なる。

【０１５２】
図４Ｂは、ディスプレイ４５０（例えば、タッチスクリーンディスプレイ１１２）とは別個のタッチ感知面４５１（例えば、図３のタブレット又はタッチパッド３５５）を備えるデバイス（例えば、図３のデバイス３００）上の、例示的なユーザインタフェースを示す。デバイス３００はまた、タッチ感知面４５１上の接触の強度を検出するための１つ以上の接触強度センサ（例えば、センサ３５７のうちの１つ以上）、及び／又はデバイス３００のユーザに対する触知出力を生成するための１つ以上の触知出力生成器３５９を任意選択的に含む。

【０１５３】
以下の実施例のうちのいくつかは、タッチスクリーンディスプレイ１１２上の入力（タッチ感知面とディスプレイとが組み合わされている場合）を参照して説明されるが、一部の実施形態において、デバイスは、図４Ｂに示すように、ディスプレイとは別個のタッチ感知面上で入力を検出する。一部の実施形態において、このタッチ感知面（例えば、図４Ｂの４５１）は、ディスプレイ（例えば、４５０）上の主軸（例えば、図４Ｂの４５３）に対応する主軸（例えば、図４Ｂの４５２）を有する。これらの実施形態によれば、デバイスは、タッチ感知面４５１との接触（例えば、図４Ｂの４６０及び４６２）を、ディスプレイ上のそれぞれの位置に対応する位置（例えば、図４Ｂでは、４６０は４６８に対応し、４６２は４７０に対応する）にて検出する。このように、タッチ感知面がディスプレ

イとは別個のものである場合、タッチ感知面（例えば、図４Ｂの４５１）上でデバイスによって検出されたユーザ入力（例えば、接触４６０及び４６２、並びにそれらの移動）が、多機能デバイスのディスプレイ（例えば、図４Ｂでの４５０）上のユーザインタフェースを操作するために、デバイスによって使用される。同様の方法が、本明細書に記載の他のユーザインタフェースに任意選択的に使用されることを理解されたい。

【０１５４】

更に、以下の説明は、主に指入力（例えば、指の接触、指のタップジェスチャ、指のスワイプジェスチャ）を参照して説明されるが、一部の実施形態では、それらの指入力のうちの１つ以上は、別の入力デバイスからの入力（例えば、マウスに基づく入力又はスタイラス入力）で置き換えられることを理解されたい。例えば、スワイプジェスチャは、任意選択的に、（例えば、接触の代わりに）マウスクリックと置換され、その後、（例えば、接触の移動の代わりに）スワイプの経路に沿ってカーソルの移動が行われる。別の例として、タップジェスチャは、（例えば、接触の検出に続いて接触の検出を停止する代わりに）カーソルがタップジェスチャの位置上に配置されている間、任意選択的に、マウスクリックで置換される。同様に、複数のユーザ入力が同時に検出されるとき、複数のコンピュータマウスが同時に、任意選択的に用いられているか、又はマウス及び指接触が任意選択的に同時に用いられていることが理解されよう。

【０１５５】

図５Ａは、例示的なパーソナル電子デバイス５００を示す。デバイス５００は、本体５０２を含む。一部の実施形態では、デバイス５００は、デバイス１００及び３００（例えば、図１Ａ～図４Ｂ）に関して記載した特徴のいくつか又はすべてを含み得る。一部の実施形態では、デバイス５００は、タッチ感知ディスプレイ画面５０４、以後、タッチスクリーン５０４を有する。タッチスクリーン５０４の代わりに、又はそれに追加して、デバイス５００は、ディスプレイ及びタッチ感知面を有する。デバイス１００及びデバイス３００と同様に、一部の実施形態において、タッチスクリーン５０４（又はタッチ感知面）は、加えられている接触（例えば、タッチ）の強度を検出するための１つ以上の強度センサを有してもよい。タッチスクリーン５０４（又は、タッチ感知面）の１つ以上の強度センサは、タッチの強度を表す出力データを提供することができる。デバイス５００のユーザインタフェースは、タッチの強度に基づきタッチに応じてもよく、これは、異なる強度のタッチは、デバイス５００上で異なるユーザインタフェース動作を呼び出し得ることを意味する。

【０１５６】

タッチ強度を検出して処理するための技法は、例えば、関連出願である、２０１３年５月８日出願の「Ｄｅｖｉｃｅ，Ｍｅｔｈｏｄ，ａｎｄ Ｇｒａｐｈｉｃａｌ Ｕｓｅｒ Ｉｎｔｅｒｆａｃｅ ｆｏｒ Ｄｉｓｐｌａｙｉｎｇ Ｕｓｅｒ Ｉｎｔｅｒｆａｃｅ Ｏｂｊｅｃｔｓ Ｃｏｒｒｅｓｐｏｎｄｉｎｇ ｔｏ ａｎ Ａｐｐｌｉｃａｔｉｏｎ」と題された国際出願ＰＣＴ／ＵＳ２０１３／０４００６１号、及び２０１３年１１月１１日出願の「Ｄｅｖｉｃｅ，Ｍｅｔｈｏｄ，ａｎｄ Ｇｒａｐｈｉｃａｌ Ｕｓｅｒ Ｉｎｔｅｒｆａｃｅ ｆｏｒ Ｔｒａｎｓｉｔｉｏｎｉｎｇ Ｂｅｔｗｅｅｎ Ｔｏｕｃｈ Ｉｎｐｕｔ ｔｏ Ｄｉｓｐｌａｙ Ｏｕｔｐｕｔ Ｒｅｌａｔｉｏｎｓｈｉｐｓ」と題された同ＰＣＴ／ＵＳ２０１３／０６９４８３号に見出すことができ、これらの文献のそれぞれは、全体が参照により本明細書に組み込まれる。

【０１５７】

一部の実施形態において、デバイス５００は、１つ以上の入力機構５０６及び入力機構５０８を有する。入力機構５０６及び入力機構５０８は、含まれる場合には、物理的なものとすることができる。物理入力機構の例としては、プッシュボタン及び回転可能機構が挙げられる。一部の実施形態では、デバイス５００は、１つ以上のアタッチメント機構を有する。かかるアタッチメント機構は、含まれる場合には、例えば、デバイス５００を、帽子、アイウェア、イヤリング、ネックレス、シャツ、ジャケット、ブレスレット、腕時計バンド、チェーン、ズボン、ベルト、靴、財布、バックパックなどに、取り付けること

を可能にする。これらのアタッチメント機構によって、ユーザはデバイス５００を着用することができる。

【０１５８】

図５Ｂは、例示的なパーソナル電子デバイス５００を示す。一部の実施形態では、デバイス５００は、図１Ａ、図１Ｂ及び図３に関して記載した構成要素のいくつか又はすべてを含み得る。デバイス５００は、Ｉ／Ｏ部５１４を１つ以上のコンピュータプロセッサ５１６及びメモリ５１８に動作可能に接続するバス５１２を有する。Ｉ／Ｏ部５１４は、タッチ感知式構成要素５２２、及び、任意選択的に、タッチ強度感知構成要素５２４を有し得るディスプレイ５０４に接続することができる。更に、Ｉ／Ｏ部５１４は、Ｗｉ－Ｆｉ、Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ、近距離通信（ＮＦＣ）、セルラー及び／又は他の無線通信技法を使用して、アプリケーション及びオペレーティングシステムのデータを受信するための通信ユニット５３０に接続し得る。デバイス５００は、入力機構５０６及び／又は入力機構５０８を含むことができる。入力機構５０６は、例えば、回転可能入力デバイス、又は押し下げ可能かつ回転可能な入力デバイスとしてもよい。入力機構５０８は、一部の実施例では、ボタンであってもよい。

【０１５９】

入力機構５０８は、一部の実施例では、マイクロフォンであってもよい。パーソナル電子デバイス５００は、ＧＰＳセンサ５３２、加速度計５３４、方向センサ５４０（例えば、コンパス）、ジャイロスコープ５３６、動きセンサ５３８、及び／又はこれらの組み合わせなどの、様々なセンサを含み得るものであり、それらのすべては、Ｉ／Ｏ部５１４に動作可能に接続することができる。

【０１６０】

パーソナル電子デバイス５００のメモリ５１８は、コンピュータ実行可能命令を記憶するための１つ以上の非一時的コンピュータ可読記憶媒体を含むことができ、これらの命令は、１つ以上のコンピュータプロセッサ５１６によって実行されたときに、例えば、コンピュータプロセッサに、処理７００、９００、１１００、１３００、１５００、１７００、及び１９００（図７、図９、図１１、図１３、図１５、図１７、及び図１９）を含む、上述の技法を実行させてもよい。パーソナル電子デバイス５００は、図５Ｂの構成要素及び構成に限定されるものではなく、他の構成要素又は追加的構成要素を、複数の構成で含み得る。

【０１６１】

本明細書で使用する時、用語「アフォーダンス」は、デバイス１００、３００、及び／又は５００（図１、図３、及び図５）のディスプレイ画面上に表示され得るユーザ対話式のグラフィックユーザインタフェースオブジェクトを指す。例えば、画像（例えば、アイコン）、ボタン、及びテキスト（例えば、ハイパーリンク）はそれぞれ、アフォーダンスを構成することができる。

【０１６２】

本明細書で使用するとき、用語「フォーカスセレクタ」とは、ユーザが対話しているユーザインタフェースの現在の部分を示す入力要素を指す。カーソル又は他の位置マーカを含むいくつかの実装において、タッチ感知面（例えば、図３のタッチパッド３５５、又は図４Ｂのタッチ感知面４５１）上で入力（例えば、押圧入力）が検出された時に、カーソルが特定のユーザインタフェース要素（例えば、ボタン、ウィンドウ、スライダ、又は他のユーザインタフェース要素）の上にある時、カーソルは「フォーカスセレクタ」として機能し、特定のユーザインタフェース要素が、検出された入力に従って調整される。タッチスクリーンディスプレイ上のユーザインタフェース要素との直接的な対話を可能にする、タッチスクリーンディスプレイ（例えば、図１Ａでのタッチ感知ディスプレイシステム１１２、又は図４Ａでのタッチスクリーン１１２）を含む一部の実装では、タッチスクリーン上で検出される接触が「フォーカスセレクタ」としての役割を果たすことにより、入力（例えば、接触による押圧入力）が、タッチスクリーンディスプレイ上の特定のユーザインタフェース要素（例えば、ボタン、ウィンドウ、スライダ、又は他のユーザインタフ

ェース要素）の位置で検出されると、その特定のユーザインタフェース要素が、検出された入力に従って調節される。一部の実装では、（例えば、タブキー又は矢印キーを使ってフォーカスを１つのボタンから別のボタンに移動させることにより）タッチスクリーンディスプレイ上の対応するカーソルの移動又は接触の移動なしに、フォーカスが、ユーザインタフェースの１つの領域からユーザインタフェースの別の領域に移動される。これらの実装では、フォーカスセレクタは、ユーザインタフェースの異なる領域間でのフォーカスの移動に従って移動する。フォーカスセレクタが採用する具体的な形態とは関わりなく、フォーカスセレクタは、全般的に、ユーザが意図するユーザインタフェースとの対話を（例えば、ユーザが対話することを意図しているユーザインタフェースの要素を、デバイスに示すことによって）伝達するために、ユーザによって制御されるユーザインタフェース要素（又は、タッチスクリーンディスプレイ上での接触）である。例えば、タッチ感知面（例えば、タッチパッド又はタッチスクリーン）上で押圧入力が検出される間の、対応のボタンの上のフォーカスセレクタ（例えば、カーソル、接触、又は選択ボックス）の位置は、その対応のボタンを（そのデバイスのディスプレイ上に示される他のユーザインタフェース要素ではなく）アクティベーションすることをユーザが意図していることを示すものである。

【０１６３】

本明細書及び特許請求の範囲で使用する時、接触の「特性強度」という用語は、接触の１つ以上の強度に基づく、その接触の特性を指す。一部の実施形態では、特性強度は複数の強度サンプルに基づく。特性強度は、任意選択的に、所定の数の強度サンプル、又は所定のイベント（例えば、接触を検出した後、接触のリフトオフを検出する前、接触の移動の開始を検出する前若しくは後、接触の終了を検出する前、接触の強度の増加を検出する前若しくは後、及び／又は接触の強度の減少を検出する前若しくは後）に対して所定の時間期間（例えば、０．０５、０．１、０．２、０．５、１、２、５、１０秒）内に収集された強度サンプルのセットに基づく。接触の特性強度は、任意選択的に、接触の強度の最大値、接触の強度の中間値（mean value）、接触の強度の平均値（average value）、接触の強度の上位１０％値、接触の強度の最大値の半分の値、接触の強度の最大値の９０％の値など、のうちの１つ以上に基づく。一部の実施形態では、特性強度を判定するために、接触の期間が使用される（例えば、特性強度が経時的な接触の強度の平均であるとき）。一部の実施形態では、動作がユーザによって実行されたか否かを判定するために、特性強度を１つ以上の強度閾値のセットと比較する。例えば、１つ以上の強度閾値のセットは、第１の強度閾値及び第２の強度閾値を含むことができる。この実施例では、第１の閾値を越えない特性強度を有する接触の結果として第１の動作が実行され、第１の強度閾値を越え、第２の強度閾値を越えない特性強度を有する接触の結果として第２の動作が実行され、第２の閾値を越える特性強度を有する接触の結果として第３の動作が実行される。一部の実施形態では、特性強度と１つ以上の閾値との間の比較が、第１の動作又は第２の動作のいずれを実行するかを判定するために使用されるのではなく、１つ以上の動作を実行するかどうか（例えば、それぞれの動作を実行するのか、又はそれぞれの動作の実行を省略するのか）を判定するために使用される。

【０１６４】

図５Ｃは、複数の強度センサ５２４Ａ～５２４Ｄによる、タッチ感知ディスプレイ画面５０４上での複数の接触５５２Ａ～５５２Ｅの検出を示す。図５Ｃは、追加的に、強度単位に関して、強度センサ５２４Ａ～５２４Ｄの現在の強度測定値を示す強度図を含む。この例では、強度センサ５２４Ａ及び５２４Ｄの強度測定値は、それぞれ、９強度単位であり、強度センサ５２４Ｂ及び５２４Ｃの強度測定値は、それぞれ、７強度単位である。一部の実装では、合計の強度は、複数の強度センサ５２４Ａ～５２４Ｄの強度測定値の和であり、この例では、３２強度単位である。一部の実施形態では、各接触には、合計の強度の一部分である、それぞれの強度が割り当てられる。図５Ｄは、力の中心５５４からの接触５５２Ａ～５５２Ｅの距離に基づく、接触５５２Ａ～５５２Ｅへの合計の強度の割り当てを示す。この例では、接触５５２Ａ、５５２Ｂ及び５５２Ｅのそれぞれに、合計の強度

のうちの８強度単位の接触の強度が割り当てられ、接触５５２Ｃ及び５５２Ｄのそれぞれに、合計の強度のうちの４強度単位の接触の強度が割り当てられる。より一般的には、一部の実装では、各接触ｊは、所定の数学関数Ｉｊ＝Ａ・（Ｄｊ／ΣＤｉ）に従って、合計の強度Ａの一部分である、それぞれの強度Ｉｊが割り当てられ、ここで、Ｄｊは、力の中心からそれぞれの接触ｊまでの距離であり、ΣＤｉは、力の中心からすべてのそれぞれ接触（例えば、ｉ＝１から最後まで）までの距離の和である。図５Ｃ～図５Ｄを参照して説明した動作は、デバイス１００、３００又は５００と類似又は同一の電子デバイスを使用して実行することができる。一部の実施形態では、接触の特性強度は、接触の１つ以上の強度に基づく。一部の実施形態では、強度センサを使用して、単一の特性強度（例えば、単一の接触の単一の特性強度）を判定する。強度図は、表示されるユーザインタフェースの一部分ではないが、読み手のために、図５Ｃ～図５Ｄに含まれていることに留意されたい。

【０１６５】

一部の実施形態では、特性強度を判定する目的で、ジェスチャの一部分が特定される。例えば、タッチ感知面は、接触の強度が増加する、開始位置から遷移して終了位置まで達する連続的なスワイプ接触を受け取ってもよい。この実施例では、終了位置における接触の特性強度は、連続的なスワイプ接触全体ではなく、そのスワイプ接触の一部分のみ（例えば、終了位置におけるスワイプ接触の部分のみ）に基づいてもよい。一部の実施形態では、接触の特性強度を判定する前に、平滑化アルゴリズムをそのスワイプ接触の強度に適用してもよい。例えば、平滑化アルゴリズムは、任意選択的に、非荷重移動平均平滑化アルゴリズム、三角平滑化アルゴリズム、中央値フィルタ平滑化アルゴリズム、及び／又は指数平滑化アルゴリズム、のうちの１つ以上を含む。一部の状況では、これらの平滑化アルゴリズムは、特性強度を判定する目的で、スワイプ接触の強度の小幅な上昇又は低下を除外する。

【０１６６】

タッチ感知面上の接触の強度は、接触検出強度閾値、軽い押圧強度閾値、深い押圧強度閾値、及び／又は１つ以上の他の強度閾値などの１つ以上の強度閾値に対して特徴付けしてもよい。一部の実施形態では、軽い押圧強度閾値は、物理マウスのボタン又はトラックパッドのクリックに典型的に関連付けられた動作を、デバイスが実行することになる強度に相当する。一部の実施形態では、深い押圧強度閾値は、物理マウスのボタン又はトラックパッドのクリックに典型的に関連付けられた動作とは異なる動作を、デバイスが実行することになる強度に相当する。一部の実施形態では、軽い押圧強度閾値を下回る（例えば、かつ、それを下回ると接触がもはや検出されないわずかな接触検出強度閾値を上回る）特性強度で接触が検出される場合、デバイスは、軽い押圧強度閾値又は深い押圧強度閾値に関連付けられた動作を実行することなく、タッチ感知面上の接触の移動に従って、フォーカスセレクタを移動させる。全般的には、特に明記しない限り、これらの強度閾値は、ユーザインタフェース図の異なるセット間でも一貫している。

【０１６７】

軽い押圧強度閾値を下回る強度から、軽い押圧強度閾値と深い押圧強度閾値との間の強度への接触の特性強度の増大は、「軽い押圧」入力と呼ばれる場合がある。深い押圧強度閾値を下回る強度から、深い押圧強度閾値を上回る強度への接触の特性強度の増大は、「深い押圧」入力と呼ばれる場合がある。接触検出強度閾値を下回る強度から、接触検出強度閾値と軽い押圧強度閾値との間の強度への接触の特性強度の増大は、タッチ面上の接触の検出と呼ばれる場合がある。接触検出強度閾値を上回る強度から、接触検出強度閾値を下回る強度への接触の特性強度の減少は、タッチ面からの接触のリフトオフの検出と呼ばれる場合がある。一部の実施形態では、接触検出強度閾値はゼロである。一部の実施形態では、接触検出強度閾値はゼロを上回る。

【０１６８】

本明細書で説明する一部の実施形態では、１つ以上の動作は、それぞれの押圧入力を含むジェスチャの検出に応じて、又はそれぞれの接触（又は、複数の接触）で実行されるそ

れぞれの押圧入力の検出に応じて実行され、それぞれの押圧入力は、少なくとも部分的に、押圧入力強度閾値を上回る接触（又は、複数の接触）の強度の増大の検出に基づいて検出される。一部の実施形態では、それぞれの動作は、押圧入力強度閾値を上回る、対応する接触の強度の増大（例えば、対応する押圧入力の「ダウンストローク」）の検出に応じて実行される。一部の実施形態では、押圧入力は、押圧入力強度閾値を上回る、対応する接触の強度の増大、及び後続の、押圧入力強度閾値を下回る接触の強度の減少を含み、対応する動作は、その後続の押圧入力閾値を下回る対応する接触の強度の減少（例えば、対応する押圧入力の「アップストローク」）の検出に応じて、実行される。

【０１６９】

図５Ｅ～図５Ｈは、図５Ｅの軽い押圧強度閾値（例えば、「ＩＴ$_{L}$」）未満の強度から図５Ｈの深い押圧強度閾値（例えば、「ＩＴ$_{D}$」）を上回る強度に至る、接触５６２の強度の増加に対応する押圧入力を含む、ジェスチャの検出を示す。接触５６２によって行われたジェスチャは、タッチ感知面５６０上で検出される。その際、所定の領域５７４に表示されたアプリケーションアイコン５７２Ａ～５７２Ｄを含む、表示されたユーザインタフェース５７０上において、カーソル５７６が、アプリ２に対応するアプリケーションアイコン５７２Ｂ上に表示される。一部の実施形態では、ジェスチャは、タッチ感知ディスプレイ５０４上で検出される。強度センサは、タッチ感知面５６０上における接触の強度を検出する。デバイスは、接触５６２の強度が、深い押圧強度閾値（例えば、「ＩＴ$_{D}$」）を上回ってピークに達したことを判定する。接触５６２は、タッチ感知面５６０上で維持されている。ジェスチャの検出に応じて、かつジェスチャ中の、深い押圧強度閾値（例えば、「ＩＴ$_{D}$」）を上回る強度を有する接触５６２に応じて、図５Ｆ～図５Ｈに示すように、アプリ２に関して最近開いた文書の縮小表現５７８Ａ～５７８Ｃ（例えば、サムネイル）を表示する。一部の実施形態では、１つ以上の強度閾値と比較される、強度は、接触の特性強度である。接触５６２の強度図は、表示されるユーザインタフェースの一部分ではないが、読み手のために、図５Ｅ～図５Ｈに含まれていることに留意されたい。

【０１７０】

一部の実施形態では、表現５７８Ａ～５７８Ｃの表示には、アニメーションを含む。例えば、表現５７８Ａは、最初、図５Ｆに示すように、アプリケーションアイコン５７２Ｂの近くに表示されている。アニメーションが進行するにつれて、図５Ｇに示すように、表現５７８Ａは上方へ移動し、アプリケーションアイコン５７２Ｂの近くに表現５７８Ｂが表示される。次いで、図５Ｈに示すように、表現５７８Ａが上方へ移動し、表現５７８Ａに向けて表現５７８Ｂが上方へ移動し、アプリケーションアイコン５７２Ｂの近くに表現５７８Ｃが表示される。表現５７８Ａ～５７８Ｃは、アイコン５７２Ｂの上方にアレイを形成する。一部の実施形態では、アニメーションは、図５Ｆ～図５Ｇに示すように、接触５６２の強度に応じて進行し、ここで、接触５６２の強度が深い押圧強度閾値（例えば、「ＩＴ$_{D}$」）に向けて増加するにつれて、表現５７８Ａ～５７８Ｃが現れ、そして上方へ移動する。一部の実施形態では、アニメーションの進行が基づいている強度は、接触の特性強度である。図５Ｅ～図５Ｈを参照して説明した動作は、デバイス１００、３００、又は５００と類似又は同一の電子デバイスを使用して実行することができる。

【０１７１】

一部の実施形態では、デバイスは、「ジッタ」と呼ばれる場合がある不測の入力を回避するために強度ヒステリシスを採用し、デバイスは、押圧入力強度閾値との所定の関連性を有するヒステリシス強度閾値を定義又は選択する（例えば、ヒステリシス強度閾値は、押圧入力強度閾値よりもＸ強度単位低いか、又は、ヒステリシス強度閾値は、押圧入力強度閾値の７５％、９０％、若しくは何らかの妥当な比率である）。したがって、一部の実施形態では、押圧入力は、押圧入力強度閾値を上回る対応する接触の強度の増大、及び後続の、押圧入力強度閾値に対応するヒステリシス強度閾値を下回る接触の強度の減少を含み、対応する動作は、そのヒステリシス強度閾値を下回る、後続の対応する接触の強度の減少（例えば、対応する押圧入力の「アップストローク」）の検出に応じて、実行される。同様に、一部の実施形態では、押圧入力は、デバイスが、ヒステリシス強度閾値以下の

強度から押圧入力強度閾値以上の強度への接触の強度の増大、及び任意選択的に、ヒステリシス強度以下の強度への、後続の接触の強度の減少を検出する場合にのみ検出され、対応する動作は、その押圧入力の検出（例えば、状況に応じて、接触の強度の増大、又は接触の強度の減少）に応じて、実行される。

【０１７２】

説明を容易にするために、押圧入力強度閾値に関連付けられた押圧入力に応じて、又はその押圧入力を含むジェスチャに応じて実行される動作の説明は、押圧入力強度閾値を上回る接触の強度の増大、ヒステリシス強度閾値を下回る強度から押圧入力強度閾値を上回る強度への接触の強度の増大、押圧入力強度閾値を下回る接触の強度の減少、及び／又は押圧入力強度閾値に対応するヒステリシス強度閾値を下回る接触の強度の減少のいずれかを検出したことに応じて、任意選択的にトリガされる。更に、押圧入力強度閾値を下回る接触の強度の減少を検出したことに応じて動作が実行されるとして説明される実施例では、その動作は、押圧入力強度閾値に対応し、かつそれよりも低いヒステリシス強度閾値を下回る、接触の強度の減少を検出したことに応じて任意選択的に実行される。

【０１７３】

図５Ｉは、一部の実施形態に係る、支払取引を完了するために１つ以上の通信チャネルを介して接続された例示的なデバイスを示す。１つ以上の例示的な電子デバイス（例えば、デバイス１００、３００、及び５００）は、入力（例えば、特定のユーザ入力、ＮＦＣ場）を任意選択的に検出し、（例えば、ＮＦＣを使用して）支払情報を任意選択的に送信するように構成されている。１つ以上の電子デバイスは、ＮＦＣハードウェアを任意選択的に含み、ＮＦＣ対応型となるように構成されている。

【０１７４】

電子デバイス（例えば、デバイス１００、３００、及び５００）は任意選択的に、１つ以上の支払アカウントのそれぞれと関連付けられた支払アカウント情報を記憶するように構成されている。支払アカウント情報は、例えば、人の又は会社の名前、請求先住所、ログイン、パスワード、口座番号、有効期限、セキュリティコード、電話番号、支払アカウントと関連付けられた銀行（例えば、発行銀行）、及びカードネットワーク識別子、のうちの１つ以上を含む。一部の実施例では、支払アカウント情報は、（例えば、デバイスで撮影した及び／又はデバイスで受信した）支払カードの写真などの画像を含む。一部の実施例では、電子デバイスは、少なくとも一部の支払アカウント情報（例えば、ユーザが入力したクレジット、デビット、口座、又はギフトカードの番号及び有効期限）を含むユーザ入力を受信する。一部の実施例では、電子デバイスは、（例えば、デバイスのカメラセンサが取り込んだデバイスの支払カードの）画像から、少なくとも一部の支払アカウント情報を検出する。一部の実施例では、電子デバイスは、別のデバイス（例えば、別のユーザデバイス又はサーバ）から少なくとも一部の支払アカウント情報を受信する。一部の実施例では、電子デバイスは、ユーザ又はユーザデバイスが以前に購入を行った又は支払アカウントデータを特定した別のサービス（例えば、オーディオ及び／又はビデオファイルを賃貸又は販売するためのアプリ）と関連付けられたサーバから、支払アカウント情報を受信する。

【０１７５】

一部の実施形態では、電子デバイス（例えば、デバイス１００、３００、及び５００）に支払アカウントが追加され、この結果、支払アカウント情報が電子デバイスに確実に記憶される。一部の実施例では、ユーザがかかる処理を開始した後、電子デバイスは、支払アカウントに関する情報を取引調整サーバに送信し、次いで取引調整サーバは、情報の妥当性を保証するために、アカウントに関する支払ネットワークによって運用されるサーバ（例えば、支払サーバ）と通信する。電子デバイスは任意選択的に、電子デバイスがアカウントに関する支払情報をセキュア要素上にプログラムすることを可能にするスクリプトをサーバから受信するように構成されている。

【０１７６】

一部の実施形態では、電子デバイス１００、３００、及び５００同士の間の通信により

、取引（例えば、全般的に、又は特定の取引）が容易になる。例えば、第１の電子デバイス（例えば、１００）は、プロビジョニングデバイス又は管理デバイスとしての役割を果たすことができ、新しい又は更新された支払アカウントデータの通知（例えば、新しいアカウントに関する情報、既存のアカウントに関する更新された情報、及び／又は既存のアカウントに関連するアラート）を、第２の電子デバイス（例えば、５００）に送ることができる。別の実施例では、第１の電子デバイス（例えば、１００）は、第２の選択デバイスにデータを送ることができ、この場合データは、第１の電子デバイスにおいて容易になった支払取引についての情報を反映している。情報は、支払額、使用されるアカウント、購入の時間、及びデフォルトのアカウントが変更されたか否か、のうちの１つ以上を任意選択的に含む。第２のデバイス（例えば、５００）は、かかる情報を任意選択的に使用して、（例えば、学習アルゴリズム又は明示的なユーザ入力に基づいて）デフォルトの支払アカウントを更新する。

【０１７７】

電子デバイス（例えば、１００、３００、５００）は、様々なネットワークのいずれかを介してそれぞれと通信するように構成されている。例えば、デバイスは、（例えば、従来のＢｌｕｅｔｏｏｔｈ接続又はＢｌｕｅｔｏｏｔｈ Ｌｏｗ Ｅｎｅｒｇｙ接続を含む）Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ接続５８０を使用して、又はＷｉＦｉネットワーク５８２を使用して通信する。ユーザデバイス同士の間の通信は任意選択的に、デバイス間で情報が不適切に共有される可能性を低減するように調整される。例えば、支払情報に関連する通信は、通信中のデバイスがペアリングされる（例えば、明示的なユーザ対話を介して互いと関連付けられる）か、又は同じユーザアカウントと関連付けられることを必要とする。

【０１７８】

一部の実施形態では、任意選択的にＮＦＣ対応型とされる販売時点（ＰＯＳ）支払端末８２０、１２２０と通信するために、電子デバイス（例えば、１００、３００、５００）が使用される。通信は、様々な通信チャネル及び／又は技術を使用して、任意選択的に行われる。１つの実施例では 、電子デバイス（例えば、１００、３００、５００）は、ＮＦＣチャネル５８４を使用して支払端末８２０、１２２０と通信する。一部の実施例では、支払端末８２０、１２２０は、ピアツーピアＮＦＣモードを使用して電子デバイス（例えば、１００、３００、５００）と通信する。電子デバイス（例えば、１００、３００、５００）は任意選択的に、支払アカウントに関する支払情報（例えば、デフォルトのアカウント又は特定の取引のために選択されたアカウント）を含む信号を、支払端末８２０、１２２０に送信するように構成されている。

【０１７９】

一部の実施形態では、信号の生成及び／又は送信は、電子デバイス（例えば、１００、３００、５００）内のセキュア要素によって制御される。セキュア要素は、支払情報の公開の前に、特定のユーザ入力を任意選択的に要求する。例えば、セキュア要素は、電子デバイスを着用中であることの検出、ボタン押下の検出、パスコードの入力の検出、タッチの検出、（例えば、アプリケーションとの対話中に受信された）１つ以上の選択肢選択の検出、指紋署名の検出、音声若しくは音声コマンドの検出、及び又は 、ジェスチャ若しくは動き（例えば、回転又は加速）の検出を、任意選択的に必要とする。一部の実施例では、別のデバイス（例えば、支払端末８２０、１２２０）との通信チャネル（例えば、ＮＦＣ通信チャネル）が入力の検出から規定された時間期間内に確立される場合、セキュア要素は、他のデバイス（例えば、支払端末８２０、１２２０）に送信されることになる支払情報を公開する。一部の実施例では、セキュア要素は、セキュア情報の公開を制御するハードウェア構成要素である。一部の実施例では、セキュア要素は、セキュア情報の公開を制御するソフトウェア構成要素である。

【０１８０】

一部の実施形態では、取引参加に関連するプロトコルは、例えば、デバイスの種類に依存する。例えば、支払情報を生成及び／又は送信するための条件は、ウェアラブルデバイス（例えば、デバイス５００）及び電話機（例えば、デバイス１００）に関して異なって

いる可能性がある。例えば、ウェアラブルデバイスに関する生成及び／又は送信条件は、（例えば、セキュリティ検証後に）ボタンが押下されていることの検出を含み、一方、電話機に関する対応する条件は、ボタンの押し下げを必要とせず、代わりにアプリケーションとの特定の対話の検出を必要とする。一部の実施例では、支払情報を送信及び／又は公開するための条件は、複数のデバイスのそれぞれにおいて特定の入力を受信することを含む。例えば、支払情報の公開は、デバイス（例えば、デバイス１００）における指紋及び／又はパスコードの検出、並びに、別のデバイス（例えば、デバイス５００）上での機械的入力（例えば、ボタン押下）の検出を、任意選択的に必要とする。

【０１８１】

支払端末８２０、１２２０は、支払が認証されているか否かを判定するために支払サーバ５９０に送信すべき信号を生成するために、支払情報を任意選択的に使用する。支払サーバ５９０は任意選択的に、支払アカウントと関連付けられた支払情報を受信する、及び提示された購入が認証されているか否かを判定するように構成された、任意のデバイス又はシステムを含む。一部の実施例では、支払サーバ５９０は、発行銀行のサーバを含む。支払端末８２０、１２２０は、支払サーバ５９０と、直接的に、又は１つ以上の他のデバイス若しくはシステム（例えば、加盟店銀行のサーバ及び／又はカードネットワークのサーバ）を介して間接的に、通信する。

【０１８２】

支払サーバ５９０は、支払情報の少なくとも一部を任意選択的に使用して、ユーザアカウント（例えば、５９２）のデータベースの中からユーザアカウントを識別する。例えば、それぞれのユーザアカウントは、支払情報を含む。アカウントは、任意選択的に、特定の支払情報がＰＯＳ通信からの支払情報と一致しているアカウントの場所を特定することによって、場所を特定される。一部の実施例では、提供された支払情報が整合しない（例えば、有効期限がクレジット、デビット、又はギフトカード番号に対応していない）ときに、又はＰＯＳ通信からの支払情報と一致している支払情報を含むアカウントが存在しないときに、支払が拒否される。

【０１８３】

一部の実施形態では、ユーザアカウントに関するデータは、１つ以上の制限（例えば、信用限度）、現在の又は以前の残高、以前の取引の日、位置、及び／又は額、アカウント状態（例えば、アクティブである、又は凍結されている）、及び／又は認証命令。一部の実施例では、支払サーバ（例えば、５９０）は、かかるデータを使用して、支払を認証すべきか否かを判定する。例えば、支払サーバは、購入額を現在の残高に追加した結果アカウントの限度を超えることになるとき、アカウントが凍結されているとき、以前の取引額が閾値を超えるとき、又は以前の取引回数若しくは頻度が閾値を超えるときは、支払を拒否する。

【０１８４】

一部の実施形態では、支払サーバ５９０は、提示された購入が認証されるか又は拒否されるかを示すことで、ＰＯＳ支払端末８２０、１２２０に応答する。一部の実施例では、ＰＯＳ支払端末８２０、１２２０は、この結果を識別するための信号を電子デバイス（例えば、１００、３００、５００）に送信する。例えば、ＰＯＳ支払端末８２０、１２２０は、（例えば、ユーザデバイス上の取引アプリを管理する取引調整サーバを介して）購入が認証されるとき、電子デバイス（例えば、１００、３００、５００）にレシートを送る。一部の事例では、ＰＯＳ支払端末８２０、１２２０は、この結果を示す出力（例えば、視覚出力又はオーディオ出力）を提示する。支払は、認証処理の一部として加盟店に送ることができるか、又は後で送ることができる。

【０１８５】

一部の実施形態では、電子デバイス（例えば、１００、３００、５００）は、ＰＯＳ支払端末８２０、１２２０に関与せずに完了される取引に参加する。例えば、機械的入力が受け取られていることを検出するとすぐに、電子デバイス（例えば、１００、３００、５００）内のセキュア要素は、支払情報を公開して、電子デバイス上のアプリケーションが

この情報にアクセスする（例えば、及び、アプリケーションと関連付けられたサーバに情報を送信する）ことを可能にする。

【０１８６】

ここで、ポータブル多機能デバイス１００、デバイス３００、又はデバイス５００などの電子デバイスで実装することができるユーザインタフェース（「ＵＩ」）及び関連付けられた処理の実施形態に注目する。

【０１８７】

以下に記載される一部の実施形態は、ロイヤルティアカウントに関する。例えば、ロイヤルティアカウントは、顧客／メンバーに報いる構造化されたマーケティング活動を提供するロイヤルティプログラムのアカウントであってよい。ロイヤルティアカウントは任意選択的に、１つの特定の会社、店舗、又は店舗のチェーンに固有のものである。会社（例えば小売店又は店舗のチェーン）は、ロイヤルティアカウントを使用して、購入、又はユーザ（例えば、購入者）についての他の情報を追跡することができる。ロイヤルティアカウントは典型的には、現在の若しくは将来の購入に対する割引の、及び／又は、将来の購入若しくはギフトに対して使用できるポイントの割り当ての権利を、ユーザに与える。一部の実施例では、ロイヤルティアカウントは、支払を行うためには使用できない。一般に、ロイヤルティアカウントは、金銭的な支払を行うためには使用 できない。

【０１８８】

以下に記載される一部の実施形態は、プライベートラベルアカウントに関する。例えば、プライベートラベルアカウントは、特定の加盟店、独立販売者、又は製造者を表すよう銘打った支払アカウントを含む。一部のプライベートラベルカード及びプライベートラベルアカウントは、特定の加盟店でのみ受け付けられるか、又は、特定の加盟店でのみ利用可能な何らかの利益を提供できる。例えば、特定の加盟店が、その特定の加盟店を通して購入を行うときにだけ使用可能なプライベートラベルアカウントを、顧客に提供できる。加盟店は多くの場合、プライベートラベルアカウントを提供することを選好するが、その理由は、プライベートラベルアカウントが、その加盟店を利用して買い物をする別の方法を顧客に提供して、この結果売上が伸びるとともに、便利な支払の選択肢が顧客に提供されるからである。

【０１８９】

以下に記載される一部の実施形態は、支払アカウント情報を電子デバイスから非接触支払端末へと送信することに関する。この支払アカウント情報は、例えば、支払認証情報を検証する及び／又は取引を完了するための認証を受け取るために情報を１つ以上の金融機関に転送することによって、非接触支払端末が支払取引を行うことを可能にする。例示的な支払ネットワークアーキテクチャ及び支払取引のための転送に関する追加の詳細は、例えば、２０１４年5月２９日に出願され、「ＵＳＥＲ ＤＥＶＩＣＥ ＳＥＣＵＲＥ ＰＡＲＴＩＣＩＰＡＴＩＯＮ ＩＮ ＴＲＡＮＳＡＣＴＩＯＮＳ ＶＩＡ ＬＯＣＡＬ ＳＥＣＵＲＥ ＥＬＥＭＥＮＴ ＤＥＴＥＣＴＩＯＮ ＯＦ ＭＥＣＨＡＮＩＣＡＬ ＩＮＰＵＴ」と題する、米国特許出願第６２／００４，３３８号（参照番号Ｐ２２９３１ＵＳＰ１）の、図２及び添付の説明に見出すことができる。

【０１９０】

図６Ａ～図６Ｇは、一部の実施形態に係る、電子財布における複数のアカウントの中からロイヤルティアカウント又は支払アカウントなどのアカウントの選択を受け取るための、例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。例えば、選択されたアカウントのアカウント情報をその後、（例えば、デバイスが支払端末のフィールド内に置かれたときに）取引で使用するために、ＮＦＣ対応型支払端末に送信することができる。これらの図のユーザインタフェースは、図７の処理を含めた、以下で説明される処理を例示するために使用される。

【０１９１】

図６Ａはウェアラブル電子デバイス５００を示しており、これは例えばスマートウォッチである。デバイスは、ディスプレイと、タッチ感知面と、１つ以上の無線通信要素（例

えば、ＮＦＣアンテナ、ＷｉＦｉアンテナなどの１つ以上の無線アンテナ）と、を含む。デバイスは、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力（例えば、ユーザ入力）を受け取る（例えば、ユーザは、ＮＦＣ支払を行うように及び／又はデバイスの電子財布にアクセスするようにデバイスを準備する、デバイスのハードウェアボタン５０８のダブルクリックを行う）。

【０１９２】

デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力の受け取りに応答して、及び図６Ａに示すように、デバイスは、ディスプレイ上に、第１のアカウントを識別する第１の視覚的インジケータ６０２を表示し、またデバイスは、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して、第１のアカウントを使用して取引に参加することを可能にする（例えば、デフォルトの支払アカウントを使用してＮＦＣ支払を行うようにデバイスを準備する、又はロイヤルティアカウントを使用してＮＦＣ取引を行うようにデバイスを準備する）。準備完了表示６０４は、デバイスが第１の視覚的インジケータ６０２によって表された第１のアカウントを使用して取引に参加できるようになっているという視覚的表示である。第１の視覚的インジケータ６０２は、ディスプレイの合計表示スペースの７０％未満（又は６０％、５０％、若しくは４０％未満）を占めてよい。デバイスは、ディスプレイ上に、他のアカウントも利用可能であるという表示６０６、又は利用可能な他のアカウントの数の表示６０６を表示してよい。この実施例では、表示６０６は、４つのページングドットを含む。第１のページングドットは、第２の、第３の、及び第４のページングドットの第２の色とは異なる、第１の色のものである。４つのページングドットは、全部で４つのアカウントが利用可能であることを示す。その他のページングドットとは異なる色である第１のページングドットは、デバイスが現在、第１のアカウントに対応する情報（例えば、第１の視覚的インジケータ６０２）を表示していることを示す。

【０１９３】

図６Ｂでは、電子デバイスは、タッチ感知面を介して、第１の方向への１つ以上のスワイプ入力（例えば、１つ以上の左スワイプ又は１つ以上の右スワイプ）を受け取る。図６Ｂでは、１つ以上のスワイプ入力が検出され、第１の視覚的インジケータ６０２は、（例えば、第１の視覚的インジケータ６０２を第１の方向にスライドさせることによって）表示されない状態へと移行中である。一部の実施例では、準備完了表示６０４は、第１の視覚的インジケータ６０２が表示されない状態へと遷移している間、もはや表示されない。

【０１９４】

図６Ｃに示すように、１つ以上のユーザスワイプ入力の受け取りに応答して、デバイスは、ディスプレイ上に、第１のアカウントとは異なる第２のアカウントを識別する第２の視覚的インジケータ６２０を表示し、またデバイスは、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第２のアカウントを使用して取引に参加することを可能にする（例えば、第２のアカウントを使用してＮＦＣ取引を行うようにデバイスを準備し、デバイスが第１のアカウントを使用して取引に参加することを不可能にする）。一部の実施形態では，第２の視覚的インジケータ６２０は、第１の視覚的インジケータ６０２よりも大きい。例えば、第２の視覚的インジケータは、ディスプレイの合計表示スペースの７０％超（又は６０％、５０％、若しくは４０％超）を占めてよい。図６Ｃでは、第１の視覚的インジケータ６０２はもはや表示されておらず、ページングドット６０６は更新されて、デバイスが現在、第２のアカウントに対応する情報（例えば、第２の視覚的インジケータ６２０）を表示していることを反映している。準備完了表示６２２は、デバイスが第２のアカウントを使用して取引に参加できるようになっているという視覚的表示である。

【０１９５】

第１の視覚的インジケータ６０２は、第２の視覚的インジケータ６１０とは異なっている。例えば、第１の視覚的インジケータ６０２は、第１の金融機関の名前「ＡＡ銀行」を含み、第１のアカウントと関連付けられた支払カードの背景アートに対応する第１の背景アート、第１のアカウントと関連付けられた口座番号の少なくとも一部、及び第１のアカウントと関連付けられた有効期限を有する。第２の視覚的インジケータ６２０は、ロイヤ

ルティアカウントと関連付けられた加盟店の名前「ＳＵＰＥＲＭＡＲＫＥＴ　ＩＮＣ．」を含み、第１の背景アートとは異なる第２の背景アートを有し、第２のアカウントと関連付けられた口座番号の少なくとも一部を含んでも又は含まなくてもよい。この実施例では、第２の視覚的インジケータは、第２のアカウントと関連付けられた有効期限を表示しない。

【０１９６】

一部の実施形態によれば、図６Ａ～図６Ｃに示すように、第１のアカウントは支払アカウントであり、第２のアカウントはロイヤルティアカウントである。一部の実施形態によれば、図６Ａ及び図６Ｇに示すように、第１のアカウントは支払アカウントであり、第２のアカウントは支払アカウントである。

【０１９７】

一部の実施形態によれば、図６Ｄ～図６Ｆに示すように、（例えば、ロイヤルティアカウントの）第２の視覚的インジケータの表示中、電子デバイスは、カードコード表示入力（例えば、第１の方向とは異なる第２の方向へのユーザスワイプ入力、「バーコード表示」アフォーダンス６２６上でのタップ）を受け取り、カードコードディスプレイ入力の受け取りに応答して、電子デバイスは、ディスプレイ上に、視覚的ロイヤルティカードコード情報（例えば、６２４、バーコード又はＱＲコード）を表示する。視覚的ロイヤルティカードコード情報は、第２のアカウントのアカウント情報を任意選択的に表してよい。例えば、図６Ｄでは、デバイスはタッチ感知面上で上方向へのスワイプ入力を受け取り、応答してバーコード６２４を表示する。ユーザは、バーコード６２４を支払端末で光学的にスキャンしてよい。別の例として、図６Ｄでは、デバイスは、タッチ感知面上で同じ上方向のスワイプ入力を受け取り、応答してアフォーダンス６２６を表示する。このアフォーダンス６２６は起動されると、第２のアカウントと関連付けられた視覚的ロイヤルティカードコード情報（例えば、６２４）を表示する。

【０１９８】

一部の実施形態によれば、及び図６Ｃのユーザインタフェースを参照すると、ユーザは、非接触支払端末のフィールド内にデバイスを置くことができる。第２の視覚的インジケータの表示中、電子デバイスは、非接触支払端末からアカウント情報のリクエストを受け取り、アカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、１つ以上の無線通信要素を介して非接触支払端末に第２のアカウントに関するアカウント情報を送信し、この場合、アカウント情報により、非接触支払端末は支払取引を行うことが可能になる。

【０１９９】

一部の実施形態によれば、支払取引を行うことは、（例えば、第２のアカウントがロイヤルティアカウントであるときに）ロイヤルティアカウントの確認／認証のためにロイヤルティ情報を１つ以上のサーバ に転送することを含む。一部の実施形態では、支払取引を行うことは、（例えば、第２のアカウントが支払アカウントであるときに）支払認証情報を検証するために及び／又は取引を完了するための認証を受け取るために、情報を１つ以上の金融機関に転送することを含む。例えば、アカウント情報は、ＮＦＣを使用して非接触支払端末に送信される。

【０２００】

一部の実施形態によれば（例えば、第２のアカウントが支払アカウントである場合）、第２の視覚的インジケータの表示中及び第２のアカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信した後で、電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を介して、非接触支払端末から失敗連絡を受け取る（例えば、非接触支払端末が支払アカウントタイプを受け付けなかったので、支払は拒絶された）。失敗連絡の受け取りに応答して、電子デバイスは、ディスプレイ上に、第２のアカウントが受け付けられなかったとの表示を表示し、電子デバイスが第２のアカウントとは異なるアカウント（例えば、プライベートラベル支払アカウントではないデフォルトの支払アカウント）を使用して取引に参加することを可能にする選択肢を提供する。

【０２０１】

一部の実施形態によれば、第２のアカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信した後で（又はこれに応答して）、電子デバイスは、ディスプレイ上に、支払取引中に第１のアカウント及び第２のアカウントの両方が使用されたという表示を同時に表示する（例えば、第１の視覚的インジケータの少なくとも一部及び第２の視覚的インジケータの少なくとも一部を同時に表示する）。例えば、ユーザは、第２のアカウントを使用してロイヤルティアカウント情報を提供するように、及び第１のアカウントを使用して支払アカウント情報を提供するように、電子デバイスを使用できる。結果として、取引後に、両方の視覚的インジケータが同時に表示されることになる。

【０２０２】

一部の実施形態によれば、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第２のアカウントを使用して取引に参加することを可能にすることは、デバイスを支払取引可能にするよう要求する第２のユーザ入力を受け取ることを必要としない。例えば、ユーザは、第２のアカウントを使用してＮＦＣ支払又はＮＦＣロイヤルティ取引を行うようにデバイスを準備するために、ハードウェアボタン５０８を再度ダブルクリックする必要はない。

【０２０３】

一部の実施形態によれば、電子デバイスが第１のアカウントを使用して取引に参加することを可能にすることは、第１のアカウントのカードの画像（例えば、第１の視覚的インジケータ６０２）の下から現れる準備完了インジケータの第１のアニメーション（例えば、６０４）を表示することを含む。準備完了インジケータ（例えば、６０４）は、デバイスが第１のアカウントを使用して支払取引に参加することが可能になっていることを示す。１つ以上のユーザスワイプ入力の一部の受け取りに応答して、電子デバイスは、準備完了インジケータ（例えば、６０４）をスライドさせて第１のアカウントのカードの画像の下に戻すための、準備完了インジケータの第２のアニメーションを表示する。

【０２０４】

一部の実施形態によれば、電子デバイスは、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第１のアカウントを使用して取引に参加することを可能にする前に、第１のアカウントを識別する第１の視覚的インジケータ（例えば、６０２）を表示する。電子デバイスは、ディスプレイ上に、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第２のアカウントを使用して取引に参加することを可能にする前に、第２のアカウントを識別する第２の視覚的インジケータ（例えば、６２０）を表示する。

【０２０５】

一部の実施形態によれば、第１のアカウント及び第２のアカウントの一方は支払アカウントであり、第１のアカウント及び第２のアカウントの一方はロイヤルティアカウントである（例えば、第１のアカウントが支払アカウントであり、第２のアカウントがロイヤルティアカウントである）。第１のアカウントの第１の視覚的インジケータ（例えば、６０２）は第１の寸法特徴（例えば、サイズ又はアスペクト比）を有し、第２のアカウントの第２の視覚的インジケータ（例えば、６２０）は、第１の寸法特徴とは異なる第２の寸法特徴（例えば、異なるサイズ又は異なるアスペクト比）を有する。したがって、ロイヤルティアカウントの視覚的表示は、支払アカウントの視覚的表示とは見た目が異なっている。このことは、表示されているかつ／又は可能にされているのがロイヤルティアカウントか又は支払アカウントかを、ユーザが素早く識別するのを助ける。

【０２０６】

一部の実施形態によれば、電子デバイスの電子財布は、電子デバイスのユーザと関連付けられた複数の支払アカウント（例えば、６０２及び６１０と関連付けられた支払アカウント）に関する支払アカウント情報を含む。

【０２０７】

図６Ｆに示すように、電子デバイスは、タッチ感知面を介して、第１の方向への第２の１つ以上のスワイプ入力を受け取る。第２の１つ以上のユーザスワイプ入力の受け取りに応答して、電子デバイスは、ディスプレイ上に、第３のアカウントを識別する第３の視覚的インジケータを表示し、また電子デバイスは、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素

を介して第３のアカウントを使用して取引に参加することを可能にする、及び（例えば、第３のアカウントを使用してＮＦＣ取引を行うようにデバイスを準備し、デバイスが第２のアカウントを使用して取引に参加することを不可能にする）。第３の視覚的インジケータは、第１の視覚的インジケータ及び第２の視覚的インジケータとは異なっている。

【０２０８】

図７は、一部の実施形態に係る、電子デバイスを用いて電子財布における複数のアカウントの中からロイヤルティアカウント又は支払アカウントなどのアカウントの選択を受け取るための方法を示す、フロー図である。方法７００は、ディスプレイと、タッチ感知面と、１つ以上の無線通信要素とを備えたデバイス（例えば、１００、３００、５００）において実行される。方法７００のいくつかの動作は組み合わせてもよく、いくつかの動作は順序を変更してもよく、いくつかの動作は省略してもよい。

【０２０９】

以下において説明されるように、方法７００は、電子財布における複数のアカウントの中からのロイヤルティアカウント又は支払アカウントなどのアカウントの選択を受け取るための、直感的な方法を提供する。この方法は、アカウントの選択を受け取るユーザの認識的負担を軽減し、それによって、より効率的なヒューマン－マシンインタフェースを作り出す。バッテリ動作式のコンピューティングデバイスの場合には、ユーザがアカウントをより高速かつより効率的に選択することを可能にすることにより、電力が節約され、バッテリ充電の間隔が増す。

【０２１０】

ブロック７０２では、電子デバイスは、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力（例えば、５０８でのユーザ入力）を受け取る。

【０２１１】

ブロック７０４では、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力の受け取りに応答して、処理はブロック７０６～７０８に進む。

【０２１２】

ブロック７０６では、電子デバイスは、ディスプレイ上に、第１のアカウントを識別する第１の視覚的インジケータ（例えば、６０２）を表示する。ブロック７０８では、電子デバイスは、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第１のアカウントを使用して取引に参加することを可能にする。

【０２１３】

ブロック７１０では、電子デバイスは、タッチ感知面を介して、第１の方向への１つ以上のスワイプ入力（例えば、１つ以上の左スワイプ）を受け取る。

【０２１４】

ブロック７１２では、１つ以上のユーザスワイプ入力の受け取りに応答して、処理はブロック７１４～７１６に進む。

【０２１５】

ブロック７１４では、電子デバイスは、ディスプレイ上に、第２のアカウントを識別する第２の視覚的インジケータ（例えば、６２０）を表示する。ブロック７１６では、電子デバイスは、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第２のアカウントを使用して取引に参加することを可能にし、この場合、第１の視覚的インジケータ（例えば、６０１）は、第２の視覚的インジケータ（例えば、６２０）とは異なっている。

【０２１６】

一部の実施形態によれば、第１のアカウントは支払アカウントであり、第２のアカウントはロイヤルティアカウントである。一部の実施形態によれば、第１のアカウントは支払アカウントであり、第２のアカウントは支払アカウントである。

【０２１７】

一部の実施形態によれば、第２の視覚的インジケータ（例えば、ロイヤルティアカウントの６２０）の表示中、電子デバイスは、カードコード表示入力を受け取り、カードコード表示入力の受け取りに応答して、電子デバイスは、ディスプレイ上に、視覚的ロイヤル

ティカードコード情報（例えば、６２４、バーコード又はＱＲコード）を表示する。
【０２１８】
一部の実施形態によれば、ユーザは、非接触支払端末のフィールド内にデバイスを置くことができる。第２の視覚的インジケータの表示中、電子デバイスは、非接触支払端末からアカウント情報のリクエストを受け取り、アカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、１つ以上の無線通信要素を介して非接触支払端末に第２のアカウントに関するアカウント情報を送信し、この場合、アカウント情報により、非接触支払端末は支払取引を行うことが可能になる。
【０２１９】
一部の実施形態によれば（例えば、第２のアカウントが支払アカウントである場合）、第２の視覚的インジケータの表示中及び第２のアカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信した後で、電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を介して、非接触支払端末から失敗連絡を受け取る。失敗連絡の受け取りに応答して、電子デバイスは、ディスプレイ上に、第２のアカウントが受け付けられなかったとの表示を表示し、電子デバイスが第２のアカウントとは異なるアカウントを使用して取引に参加することを可能にする選択肢を提供する。
【０２２０】
一部の実施形態によれば、第２のアカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信した後で（又はこれに応答して）、電子デバイスは、ディスプレイ上に、支払取引中に第１のアカウント及び第２のアカウントの両方が使用されたという表示を同時に表示する（例えば、第１の視覚的インジケータの少なくとも一部及び第２の視覚的インジケータの少なくとも一部を同時に表示する）。
【０２２１】
一部の実施形態によれば、電子デバイスが第１のアカウントを使用して取引に参加することを可能にすることは、第１のアカウントのカードの画像（例えば、第１の視覚的インジケータ６０２）の下から現れる準備完了インジケータの第１のアニメーション（例えば、６０４）を表示することを含む。準備完了インジケータ（例えば、６０４）は、デバイスが第１のアカウントを使用して支払取引に参加することが可能になっていることを示す。１つ以上のユーザスワイプ入力の一部の受け取りに応答して、電子デバイスは、準備完了インジケータ（例えば、６０４）をスライドさせて第１のアカウントのカードの画像の下に戻すための、準備完了インジケータの第２のアニメーションを表示する。
【０２２２】
一部の実施形態によれば、電子デバイスは、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第１のアカウントを使用して取引に参加することを可能にする前に、第１のアカウントを識別する第１の視覚的インジケータ（例えば、６０２）を表示する。電子デバイスは、ディスプレイ上に、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第２のアカウントを使用して取引に参加することを可能にする前に、第２のアカウントを識別する第２の視覚的インジケータ（例えば、６２０）を表示する。
【０２２３】
一部の実施形態によれば、第１のアカウント及び第２のアカウントの一方は支払アカウントであり、第１のアカウント及び第２のアカウントの一方はロイヤルティアカウントである（例えば、第１のアカウントが支払アカウントであり、第２のアカウントがロイヤルティアカウントである）。第１のアカウントの第１の視覚的インジケータ（例えば、６０２）は第１の寸法特徴（例えば、サイズ又はアスペクト比）を有し、第２のアカウントの第２の視覚的インジケータ（例えば、６２０）は、第１の寸法特徴とは異なる第２の寸法特徴（例えば、異なるサイズ又は異なるアスペクト比）を有する。
【０２２４】
一部の実施形態によれば、電子デバイスの電子財布は、電子デバイスのユーザと関連付けられた複数の支払アカウント（例えば、６０２及び６１０と関連付けられた支払アカウントを含む）に関する支払アカウント情報を含む。

【０２２５】
なお、方法７００に関して上述された処理（例えば、図７）の詳細はまた、以下で説明される方法にも、類似の方式で適用可能であることに留意されたい。例えば、方法９００、１１００、１３００、１５００、１７００、及び１９００は、方法７００を参照して上述された、様々な方法の特徴のうちの１つ以上を含み得る。例えば、方法９００、１１００、１３００、１５００、１７００、及び１９００の、電子財布、支払アカウント、ロイヤルティアカウント、アフォーダンス、及び入力は、方法７００に記載した電子デバイスの、電子デバイス、支払アカウント、ロイヤルティアカウント、アフォーダンス、及び入力の特徴のうちの１つ以上を、任意選択的に有する。簡潔にするために、これらの詳細は、以下では繰り返さない。

【０２２６】
図８Ａ～図８Ｄは、一部の実施形態に係る、ロイヤルティアカウント又は支払アカウントなどの表示されるアカウントを選択するための、例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。例えば、選択されたアカウントのアカウント情報をその後、（例えば、デバイスが支払端末のフィールド内に置かれたときに）取引で使用するために、ＮＦＣ対応型支払端末に送信することができる。この技法は、ディスプレイと位置センサとを備えた電子デバイスにおいて実行することができる。これらの図のユーザインタフェースは、図９の処理を含めた、以下で説明される処理を例示するために使用される。

【０２２７】
プライベートラベルアカウント又はロイヤルティアカウントなどの一部のアカウントは、特定の位置（例えば、特定の加盟店又は加盟店の特定の店舗）と関連付けられてよい。これらの位置にいるとき、ユーザは、取引において関連付けられたプライベートラベルアカウント又はロイヤルティアカウントの使用を選好する場合がある。例えば、ユーザがＪｏｅ’ｓ　Ｅｌｅｃｔｒｏｎｉｃｓの店舗にいる場合、このユーザは、Ｊｏｅ’ｓ　Ｅｌｅｃｔｒｏｎｉｃｓの店舗と関連付けられたプライベートラベルアカウント（例えば、プライベートラベルクレジットカードアカウント）の使用を選好する場合がある。別の例として、ユーザがスーパーマーケットにいる場合、このユーザは、ユーザがデフォルトの支払アカウントを使用して支払を行う取引中に、このスーパーマーケットと関連付けられたロイヤルティアカウントの使用を選好する場合がある。したがって、電子デバイスのディスプレイ上に、現在の状況（例えば、位置）に関係するアカウントの視覚的表示を表示することは、ユーザに価値をもたらす。

【０２２８】
例えば、支払アカウントを、複数の位置（例えば、チェーンの複数の店舗）と関連付けることができる。更に、異なる位置を異なる支払アカウントと関連付けることができる（例えば、ユーザはＪｏｅ’ｓ　Ｅｌｅｃｔｒｏｎｉｃｓのクレジットカード及びＪａｃｋ’ｓ　Ｈｏｍｅ　Ｉｍｐｒｏｖｅｍｅｎｔ　Ｓｔｏｒｅのクレジットカードを所有しており、Ｊｏｅ’ｓ　ＥｌｅｃｔｒｏｎｉｃｓのクレジットカードはＪｏｅ’ｓ　Ｅｌｅｃｔｒｏｎｉｃｓの複数の店舗と関連付けられていてよく、Ｊａｃｋ’ｓ　Ｈｏｍｅ　Ｉｍｐｒｏｖｅｍｅｎｔ　Ｓｔｏｒｅのカードは、複数のＪａｃｋ’ｓ　Ｈｏｍｅ　Ｉｍｐｒｏｖｅｍｅｎｔ　Ｓｔｏｒｅと関連付けられている）。

【０２２９】
ここで図８Ａに目を向けると、電子デバイスは、位置センサを使用して現在の位置を検出する（例えば、電子デバイスは、デバイスが、特定の小売業者のところに又は特定の小売業者の特定の店舗に物理的に位置していると判定する）。電子デバイスは、現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているか否かを判定する（例えば、特定のプライベートラベル支払アカウント又は特定のロイヤルティアカウントが、小売業者と関連付けられていると判定する）。

【０２３０】
図８Ａに示すように、（例えば、デフォルトの支払アカウントを準備するリクエストの受け取りとデフォルトの支払アカウントの準備との間の時間中に）現在の位置がデフォル

トの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されない（例えば、デバイスの位置が現在の位置と関連付けられていないとデバイスが判定するか又はデバイスがデバイスの位置の判定に失敗する）ことに従って、電子デバイスは、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示８０２（例えば、デフォルトの支払アカウントと関連付けられたクレジットカードの視覚的描写）を表示する。一部の実施形態では、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示８０２が表示され、他のアカウントに関するグラフィックインジケータは表示されない。図８Ａでは、準備完了表示８０４は、デバイスが視覚的インジケータ８０２によって表されたデフォルトのアカウントを使用して取引に参加する用意ができているという視覚的表示である。

【０２３１】

デフォルトの支払アカウントの視覚的表示８０２は、デフォルトの支払アカウントと関連付けられた第１の金融機関の名前「ＡＡ銀行」、デフォルトの支払アカウントと関連付けられた支払カードの背景アートに対応する第１の背景アート、デフォルトの支払アカウントと関連付けられた口座番号の少なくとも一部、及びデフォルトの支払アカウントと関連付けられた有効期限を含む。

【０２３２】

図８Ｂに示すように、現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとの判定に従って、電子デバイスは、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示８０２（例えば、デフォルトの支払アカウントと関連付けられたクレジットカードの視覚的描写）、及び第１のアカウントの視覚的表示８０６（例えば、プライベートラベルカード又は特定の支払アカウントと関連付けられた特定のロイヤルティアカウントの視覚的描写）を、同時に表示する。デフォルトの支払アカウント及び第１のアカウントは電子デバイスにリンクされており（例えば、デバイスの電子財布に記憶されており、電子デバイスは両方のアカウントに関してプロビジョニングされている）、デフォルトの支払アカウント及び第１のアカウントは、異なるアカウントである。図８Ｂでは、準備完了表示８０４は、デバイスが、視覚的インジケータ８０２によって表されたデフォルトのアカウント及び視覚的インジケータ８０６によって表された第１のアカウントのいずれか（又は両方）を使用して、取引に参加する用意ができている、という視覚的表示である。

【０２３３】

第１の支払アカウントの視覚的表示８０６は、第１のアカウントと関連付けられた加盟店又は金融機関の名前（例えば、「ＳＨＯＰＣＯ」）、第１のアカウントに対応する第１の背景アート、第１のアカウントと関連付けられた口座番号の少なくとも一部、及び第１のアカウントと関連付けられた有効期限を含んでよい。

【０２３４】

例えば、支払アカウント（例えば、第１のアカウント）を、複数の位置（例えば、チェーンの複数の店舗）と関連付けることができる。更に、異なる場所を異なる支払アカウントと関連付けることができる（例えば、ユーザは、Ｊｏｅ’ｓ Ｅｌｅｃｔｒｏｎｉｃｓのクレジットカード及びＪａｃｋ’ｓ Ｈｏｍｅ Ｉｍｐｒｏｖｅｍｅｎｔ Ｓｔｏｒｅのクレジットカードを所有している。Ｊｏｅ’ｓ Ｅｌｅｃｔｒｏｎｉｃｓのクレジットカードは、Ｊｏｅ’ｓ Ｅｌｅｃｔｒｏｎｉｃｓの複数の店舗と関連付けられていてよく、Ｊａｃｋ’ｓ Ｈｏｍｅ Ｉｍｐｒｏｖｅｍｅｎｔ Ｓｔｏｒｅのカードは、複数のＪａｃｋ’ｓ Ｈｏｍｅ Ｉｍｐｒｏｖｅｍｅｎｔ Ｓｔｏｒｅと関連付けられている）。

【０２３５】

一部の実施形態によれば、図８Ｂに示すように、第１のアカウントは支払アカウントである。一部の実施形態では、第１のアカウントはプライベートラベルアカウントであり、第１のアカウントの視覚的表示８０６は、プライベートラベルアカウントと関連付けられた支払カードの画像である。一部の実施形態では、第１のアカウントの視覚的表示８０６は、デフォルトのアカウントの視覚的表示８０２の背後に部分的に表示される。

【０２３６】

一部の実施形態によれば、図８Ｃに示すように、第１のアカウントはロイヤルティアカ

ウントである。一部の実施形態では、第１のアカウントはロイヤルティアカウントであり、視覚的表示８０８は、ロイヤルティアカウントと関連付けられたロイヤルティカードの画像である。一部の実施形態では、第１のアカウントの視覚的表示８０８は、デフォルトのアカウントの視覚的表示８０２の背後に部分的に表示される。

【０２３７】

一部の実施形態によれば、図８Ｄに示すように、電子デバイスは、（例えば、デバイスが非接触支払端末８２０のＮＦＣフィールド内にある間に）非接触支払端末８２０から、支払取引と関連付けられたリクエストを受け取る。電子デバイスは、リクエストが第１のアカウントに対応する第１のアカウントタイプを使用する支払アカウント情報のリクエストを含むか否かを判定する（例えば、デバイスがＮＦＣ対応型端末のフィールド内に置かれるとき、この端末は、特定の小売業者のプライベートラベルクレジットカードを要求する）。現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとの判定に従って、及びリクエストが第１のアカウントタイプを使用する支払情報のリクエストを含むとの判定に従って、電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を使用して、第１のアカウントの支払アカウント情報を非接触支払端末に送信し、この場合、第１のアカウントの支払アカウント情報により、非接触支払端末は支払取引を行うことが可能になる。一部の実施形態では、支払取引を行うことは、支払認証情報を検証するために及び／又は取引を完了するための認証を受け取るために、情報を１つ以上の金融機関に転送することを含む。例えば、支払アカウント情報は、ＮＦＣを使用して非接触支払端末に送信される。一部の実施形態では、支払取引を行うことは、ロイヤルティアカウントの確認／認証のためにロイヤルティ情報を１つ以上のサーバ に転送することを含む。

【０２３８】

一部の実施形態によれば、電子デバイスは、非接触支払端末から支払取引と関連付けられたリクエストを受け取る。電子デバイスは、リクエストが第１のアカウントに対応する第１のアカウントタイプを使用する支払アカウント情報のリクエストを含むと判定する（例えば、デバイスがＮＦＣ対応型端末のフィールド内に置かれるとき、この端末は、特定の小売業者のプライベートラベルクレジットカードを要求する）。現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って（及びリクエストが第１のアカウントタイプを使用する支払アカウント情報のリクエストを含むとの判定に従って）、電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を使用して、デフォルトの支払アカウントの支払アカウント情報を非接触支払端末に送信し、この場合、デフォルトの支払アカウントの支払アカウント情報により、非接触支払端末は支払取引を行うことが可能になる。一部の実施形態では、支払取引を行うことは、支払認証情報を検証するために及び／又は取引を完了するための認証を受け取るために、情報を１つ以上の金融機関に転送することを含む。例えば、支払アカウント情報は、ＮＦＣを使用して非接触支払端末に送信される。

【０２３９】

一部の実施形態によれば、第１のアカウントの視覚的表示は、デフォルトのアカウントの視覚的表示８０２の上に表示され、この場合、第１のアカウントの視覚的表示は、デバイスが支払取引で使用するために追加のユーザ入力を必要とすることなく第１のアカウントを選択可能となっていることを示す。例えば、第１のアカウントの視覚的表示は、デフォルトのアカウントのカードの画像上に単にテキスト表記され、デバイスは、ユーザ介入なしでどの支払アカウントを使用するかを（支払のときに）決定する。

【０２４０】

一部の実施形態によれば、位置センサを使用して現在の位置を検出する前に、電子デバイスは、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力（例えば、ユーザ入力）を受け取る（例えば、ユーザは、ＮＦＣ支払を行うように及び／又は電子財布にアクセスするようにデバイスを準備する、デバイスのハードウェアボタン５０８のダブルクリックを行う）。一部の実施例では、デバイスを支払取引可能にするよう要求するユーザ入力の受け取りに応答して、デバイスは、取引に参加することが可能となる（例えば、デフォルトの支

払アカウントを使用してＮＦＣ支払を行うようにデバイスを準備する）。
【０２４１】
一部の実施形態によれば、位置センサを使用して現在の位置を検出することは、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力の受け取りに応答している。
【０２４２】
一部の実施形態によれば、現在の位置が第１のアカウントに関連付けられているか否かを判定することは、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力の受け取りに応答している（例えば、ユーザは、ＮＦＣ支払を行うように及び／又は電子財布にアクセスするようにデバイスを準備する、デバイスのハードウェアボタン５０８のダブルクリックを行う）。一部の実施例では、デバイスを支払取引可能にするよう要求するユーザ入力の受け取りに応答して、デバイスは、取引に参加することが可能となる（例えば、デフォルトの支払アカウントを使用してＮＦＣ支払を行うようにデバイスを準備する）。
【０２４３】
一部の実施形態によれば、現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことは、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介してデフォルトの支払アカウントを使用して取引に参加することが可能となる前に、デバイスが現在の位置が第１のアカウントと関連付けられていると判定することに失敗するときに生じる（例えば、現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているか否かを判定することは、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介してデフォルトの支払アカウントを使用して取引に参加することを可能にするよりも、長い時間がかかる）。あるいは、任意選択的に、電子デバイスは、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示及び第１のアカウントの視覚的表示を同時に表示し、このときデバイスは、電子デバイスのユーザがまだ電子デバイスを見ていること又は電子デバイスがまだユーザに対面していることを検出する。例えば、（１）ユーザがまだデバイスを見ている間に、又は（２）デバイスがまだユーザに対面している間に、ディスプレイ上のアカウントの視覚的表示を変えるだけで、ユーザには、変更を見て、支払取引で異なる支払アカウントを使用できることを諒解する機会が提供される。
【０２４４】
一部の実施形態では、電子デバイスがユーザの手首に着用される場合、電子デバイスは、ユーザが自身の手首を上げるか又は回転させること（例えば、レイズジェスチャ）で電子デバイスを視野位置内に移動させるのを検出することによって、ユーザが電子デバイスを見ていることを検出できる。電子デバイスは、ユーザが自身の手首を下げるのを検出することによって、ユーザがもはやデバイスを見ていないことを検出できる。本明細書で使用するとき、視野位置は、ユーザが電子デバイスのディスプレイを見ることのできる、電子デバイスの位置である。一部の実施形態では、電子デバイスは、米国仮特許出願第６２／０２６，５３２号、「Ｒａｉｓｅ　Ｇｅｓｔｕｒｅ　Ｄｅｔｅｃｔｉｏｎ　ｉｎ　ａ　Ｄｅｖｉｃｅ」に記載されているように、ユーザが自身の手首を上げる又は下げるのを示す信号を検出する。この出願は、その全体が本明細書において参照により組み込まれる。
【０２４５】
一部の実施形態では、レイズジェスチャ検出アルゴリズムは、レイズジェスチャが行われたという確信を高める一連の状態を経て進むことができる。例えば、レイズジェスチャ検出アルゴリズムは、対象とする時間幅（例えば、ユーザがレイズジェスチャをするのに、おそらくかかるであろう時間）に対応する、一組のモーションセンサデータサンプル（加速度計及び／又はジャイロセンサのデータを含む）を選択することができる。組の中にある最も古い１つ以上のサンプルを考慮することで、このアルゴリズムは、時間幅の最初におけるデバイスの空間的な向きを反映可能な「開始姿勢」を定めることができる。この向きは、仮定された重力の垂直軸に対して定めることができる。開始姿勢に基づいて、アルゴリズムは、デバイスのディスプレイをユーザが視線内に入れる（デバイスが「フォーカス姿勢」にされているともいう）ためにおそらく生じるであろう動きの量及び／又は方向（単数又は複数）を、決定することができる。このおそらく生じるであろう動きの量及

び／又は方向（単数又は複数）は、「可能性のある」レイズジェスチャを特定するための基準として表現することができ、これらの基準を使用して、一組のモーションセンサデータサンプルのうちいくつか又はすべてに基づいて、可能性のあるレイズジェスチャが生じているか否かを特定することができる。また、フォーカス姿勢に達しているデバイスが、少なくとも最短の時間、フォーカス姿勢のままであるか否かを決定することで、可能性のあるレイズジェスチャを「検出済」レイズジェスチャとして特定することができる。必要であれば、ジェスチャ分類部を使用して、更なる確認を行ってもよい。レイズジェスチャ検出アルゴリズムは、可能性のあるレイズジェスチャ、検出済レイズジェスチャ及び／又は確認済レイズジェスチャを特定するたびに、デバイスの他の構成要素に通知することができる。

【０２４６】

一部の実施形態によれば、電子デバイスは、非接触支払端末からロイヤルティアカウント情報のリクエストを受け取り、この場合、第１のアカウントはロイヤルティアカウントである。ロイヤルティアカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、（例えば、アカウントを準備させるリクエストの受け取りとアカウントの準備との間の時間中に）現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、及び現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとのその後の判定に従って、電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を介して、第１のアカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信し、また電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を介して、デフォルトの支払アカウントの支払アカウント情報を非接触支払端末に送信する。一部の実施形態では、第１のアカウントに関するアカウント情報は、支払取引を行う前に第１のアカウントの表現がディスプレイ上に表示されるか否かに関係なく提供される。一部の実施形態では、第１のアカウントに関するアカウント情報は、支払取引を行う前に第１のアカウントの表現がディスプレイ上に表示されるときにだけ提供される。

【０２４７】

一部の実施形態によれば、電子デバイスは、非接触支払端末から支払取引と関連付けられたリクエストを受け取る。電子デバイスは、リクエストが第１のアカウントに対応する第１のアカウントタイプを使用する支払アカウント情報のリクエストを含むと判定し、この場合、第１のアカウントは、デフォルトの支払アカウントとは異なる支払アカウントである（例えば、デバイスがＮＦＣ対応型端末のフィールド内に置かれるとき、この端末は、特定の小売業者のプライベートラベルクレジットカードを要求する）。アカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、（例えば、アカウントを準備させるリクエストの受け取りとアカウントの準備との間の時間中に）現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、及び現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとのその後の判定に従って、電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を介して第１のアカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信するのを取り止め、また電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を介して、デフォルトの支払アカウントの支払アカウント情報を非接触支払端末に送信する。一部の実施形態では、第１のアカウントに関するアカウント情報は、支払取引を行う前に第１のアカウントの表現がディスプレイ上に表示されるときにだけ提供される。

【０２４８】

一部の実施形態によれば、電子デバイスは、非接触支払端末から支払取引と関連付けられたリクエストを受け取る。非接触支払端末から支払取引と関連付けられたリクエストを受け取る前に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示（例えば、デフォルトの支払アカウントと関連付けられたクレジットカードの視覚的描写）、及び第１のアカウントの視覚的表示（例えば、プライベートラベルカード又は特定の支払アカウントと関連付けられた特定のロイヤルティアカウントの視覚的描写）が、ディスプレイ上に同時に表示された。リクエストは、第１のアカウントに対応する第１のアカウントタイプを使用する支払アカウント情報のリクエストを含む（例えば、デバイスがＮＦＣ対応型端末のフィールド内

に置かれるとき、この端末は、特定の小売業者のプライベートラベルクレジットカードを要求する）。第１のアカウントは、第１のアカウントタイプの支払アカウントである。アカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、また（例えば、アカウントを準備するリクエストの受け取りとアカウントの準備との間の時間中に）現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、及び現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとのその後の判定に従って、電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を介してデフォルトの支払アカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信するのを取り止め、また電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を介して、第１のアカウントの支払アカウント情報を非接触支払端末に送信する。

【０２４９】

一部の実施形態によれば、現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとの判定に従って、電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を介して、非接触支払端末から失敗連絡を受け取る（例えば、支払アカウントが銀行によって休止されているか又は資金がないために、支払が拒絶された）。失敗連絡の受け取りに応答して、電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を介して、非接触支払端末にデフォルトの支払アカウントに関するアカウント情報を送信する（例えば、代わりにデフォルトのカードで支払う）。一部の実施形態では、デバイスは、支払取引においていずれかの支払アカウントを使用できることをユーザに示すために、デフォルトの支払アカウント及び別の支払アカウントの表示を同時に表示する。

【０２５０】

一部の実施形態によれば、ディスプレイ上にデフォルトの支払アカウントの視覚的表示及び第１のアカウントの視覚的表示を同時に表示することは、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示を第１のアカウントの視覚的表示と重ねて（例えば、第１のアカウントの視覚的表示の上で又は下で）、同時に表示することを含む。一部の実施形態では、第１のアカウントの視覚的表示は、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示によって少なくとも部分的に不明瞭にされる。

【０２５１】

図９は、一部の実施形態に係る、ロイヤルティアカウント又は支払アカウントなどの表示されるアカウントを選択するための方法９００を示すフロー図である。方法９００は、ディスプレイと位置センサとを備えたデバイス（例えば、１００、３００又は５００）において実行される。方法９００のいくつかの動作は組み合わせてもよく、いくつかの動作は順序を変更してもよく、かついくつかの動作は省略してもよい。

【０２５２】

以下において説明されるように、方法９００は、ロイヤルティアカウント又は支払アカウントなどの表示されるアカウントを選択するための、直感的な方法を提供する。この方法は、アカウントを選択するユーザの認識的負担を軽減し、それによって、より効率的なヒューマン－マシンインタフェースを作り出す。バッテリ動作式のコンピューティングデバイスの場合には、ユーザがアカウントをより高速かつより効率的に選択することを可能にすることにより、電力が節約され、バッテリ充電の間隔が増す。

【０２５３】

ブロック９０２では、電子デバイスは、位置センサを使用して現在の位置を検出する。ブロック９０４では、電子デバイスは、現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているか否かを判定する。

【０２５４】

ブロック９０４では、現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、電子デバイスは、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示（例えば、８０２）を表示する。

【０２５５】

ブロック９０６では、現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとの判定に

従って、電子デバイスは、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示（例えば、８０２）及び第１のアカウントの視覚的表示（例えば、図８Ｂの８０６、図８Ｃの８０８）を同時に表示する。デフォルトの支払アカウント及び第１のアカウントは電子デバイスにリンクされ、デフォルトの支払アカウント及び第１のアカウントは異なっている。

【０２５６】

一部の実施形態によれば、第１のアカウントは支払カウントである。一部の実施形態では、第１のアカウントはプライベートラベルアカウントであり、第１のアカウントの視覚的表示（例えば、８０６）は、プライベートラベルアカウントと関連付けられた支払カードの画像である。一部の実施形態では、第１のアカウントの視覚的表示（例えば、８０６）は、デフォルトのアカウントの視覚的表示（例えば、８０２）の背後に部分的に表示される。

【０２５７】

一部の実施形態によれば、第１のアカウントはロイヤルティアカウントである。一部の実施形態では、第１のアカウントはロイヤルティアカウントであり、視覚的表示（例えば、８０８）は、ロイヤルティアカウントと関連付けられたロイヤルティカードの画像である。一部の実施形態では、第１のアカウントの視覚的表示（例えば、８０８）は、デフォルトのアカウントの視覚的表示の背後に部分的に表示される。

【０２５８】

一部の実施形態によれば、電子デバイスは、（例えば、デバイスが非接触支払端末８２０のＮＦＣフィールド内にある間に）非接触支払端末から、支払取引と関連付けられたリクエストを受け取る。電子デバイスは、リクエストが第１のアカウントに対応する第１のアカウントタイプを使用する支払アカウント情報のリクエストを含むか否かを判定する。現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとの判定に従って、及びリクエストが第１のアカウントタイプを使用する支払情報のリクエストを含むとの判定に従って、電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を使用して、第１のアカウントの支払アカウント情報を非接触支払端末に送信し、この場合、この第１のアカウントの支払アカウント情報により、非接触支払端末は支払取引を行うことが可能になる。一部の実施形態では、支払取引を行うことは、支払認証情報を検証するために及び／又は取引を完了するための認証を受け取るために、情報を１つ以上の金融機関に転送することを含む。例えば、支払アカウント情報は、ＮＦＣを使用して非接触支払端末に送信される。一部の実施形態では、支払取引を行うことは、ロイヤルティアカウントの確認／認証のためにロイヤルティ情報を１つ以上のサーバ に転送することを含む。

【０２５９】

一部の実施形態によれば、電子デバイスは、非接触支払端末から支払取引と関連付けられたリクエストを受け取る。電子デバイスは、リクエストが第１のアカウントに対応する第１のアカウントタイプを使用する支払アカウント情報のリクエストを含むと判定する。現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って（及びリクエストが第１のアカウントタイプを使用する支払アカウント情報のリクエストを含むとの判定に従って）、電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を使用して、デフォルトの支払アカウントの支払アカウント情報を非接触支払端末に送信し、この場合、このデフォルトの支払アカウントの支払アカウント情報により、非接触支払端末は支払取引を行うことが可能になる。一部の実施形態では、支払取引を行うことは、支払認証情報を検証するために及び／又は取引を完了するための認証を受け取るために、情報を１つ以上の金融機関に転送することを含む。

【０２６０】

一部の実施形態によれば、第１のアカウントの視覚的表示は、デフォルトのアカウントの視覚的表示（例えば、８０２）の上に表示され、この場合、第１のアカウントの視覚的表示は、デバイスが支払取引で使用するために追加のユーザ入力を必要とすることなく第１のアカウントを選択可能となっていることを示す。

【０２６１】
一部の実施形態によれば、位置センサを使用して現在の位置を検出する前に、電子デバイスは、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力（例えばユーザ入力）を受け取る。
【０２６２】
一部の実施形態によれば、位置センサを使用して現在の位置を検出することは、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力の受け取りに応答している。
【０２６３】
一部の実施形態によれば、現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているか否かを判定することは、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力の受け取りに応答している（例えば、ユーザは、ＮＦＣ支払を行うように及び／又は電子財布にアクセスするようにデバイスを準備する、デバイスのハードウェアボタン５０８のダブルクリックを行う）。
【０２６４】
一部の実施形態によれば、現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことは、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介してデフォルトの支払アカウントを使用して取引に参加することが可能となる前に、デバイスが現在の位置が第１のアカウントと関連付けられていると判定することに失敗するときに生じる。
【０２６５】
一部の実施形態では、電子デバイスがユーザの手首に着用される場合、電子デバイスは、ユーザが自身の手首を上げるか又は回転させることで電子デバイスを視野位置内に移動させるのを検出することによって、ユーザが電子デバイスを見ていることを検出できる。電子デバイスは、ユーザが自身の手首を下げるのを検出することによって、ユーザがもはやデバイスを見ていないことを検出できる。本明細書で使用するとき、視野位置は、ユーザが電子デバイスのディスプレイを見ることのできる、電子デバイスの位置である。
【０２６６】
一部の実施形態によれば、電子デバイスは、非接触支払端末からロイヤルティアカウント情報のリクエストを受け取り、この場合、第１のアカウントはロイヤルティアカウントである。ロイヤルティアカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、（例えば、アカウントを準備させるリクエストの受け取りとアカウントの準備との間の時間中に）現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、及び現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとのその後の判定に従って、電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を介して、第１のアカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信し、また電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を介して、デフォルトの支払アカウントの支払アカウント情報を非接触支払端末に送信する。一部の実施形態では、第１のアカウントに関するアカウント情報は、支払取引を行う前に第１のアカウントの表現がディスプレイ上に表示されるか否かに関係なく提供される。一部の実施形態では、第１のアカウントに関するアカウント情報は、支払取引を行う前に第１のアカウントの表現がディスプレイ上に表示されるときにだけ提供される。
【０２６７】
一部の実施形態によれば、電子デバイスは、非接触支払端末から支払取引と関連付けられたリクエストを受け取る。電子デバイスは、リクエストが第１のアカウントに対応する第１のアカウントタイプを使用する支払アカウント情報のリクエストを含むと判定し、この場合、第１のアカウントは、デフォルトの支払アカウントとは異なる支払アカウントである。アカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、（例えば、アカウントを準備させるリクエストの受け取りとアカウントの準備との間の時間中に）現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、及び現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとのその後の判定に従って

、電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を介して第１のアカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信するのを取り止め、また電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を介して、デフォルトの支払アカウントの支払アカウント情報を非接触支払端末に送信する。一部の実施形態では、第１のアカウントに関するアカウント情報は、支払取引を行う前に第１のアカウントの表現がディスプレイ上に表示されるときにだけ提供される。

【０２６８】

一部の実施形態によれば、電子デバイスは、非接触支払端末から支払取引と関連付けられたリクエストを受け取る。非接触支払端末から支払取引と関連付けられたリクエストを受け取る前に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示（例えば、８０２）及び第１のアカウントの視覚的表示（例えば、８０６又は８０８）は、ディスプレイ上に同時に表示された。リクエストは、第１のアカウントに対応する第１のアカウントタイプを使用する支払アカウント情報のリクエストを含む（例えば、デバイスがＮＦＣ対応型端末のフィールド内に置かれるとき、この端末は、特定の小売業者のプライベートラベルクレジットカードを要求する）。第１のアカウントは、第１のアカウントタイプの支払アカウントである。アカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、また（例えば、アカウントを準備させるリクエストの受け取りとアカウントの準備との間の時間中に）現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、及び現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとのその後の判定に従って、電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を介してデフォルトの支払アカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信するのを取り止め、また電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を介して、第１のアカウントの支払アカウント情報を非接触支払端末に送信する。

【０２６９】

一部の実施形態によれば、現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとの判定に従って、電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を介して、非接触支払端末から失敗連絡を受け取る（例えば、支払アカウントが銀行によって休止されているか又は資金がないために、支払が拒絶された）。失敗連絡の受け取りに応答して、電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を介して、非接触支払端末にデフォルトの支払アカウントに関するアカウント情報を送信する（例えば、代わりにデフォルトのカードで支払う）。一部の実施形態では、デバイスは、支払取引においていずれかの支払アカウントを使用できることをユーザに示すために、デフォルトの支払アカウント及び別の支払アカウントの表示を同時に表示する。

【０２７０】

一部の実施形態によれば、ディスプレイ上にデフォルトの支払アカウントの視覚的表示及び第１のアカウントの視覚的表示を同時に表示することは、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示（例えば、８０２）を第１のアカウントの視覚的表示（例えば、８０６、８０８）と重ねて（例えば、第１のアカウントの視覚的表示の上で又は下で）、同時に表示することを含む。一部の実施形態では、第１のアカウントの視覚的表示（例えば、８０６、８０８）は、デフォルトのアカウントの視覚的表示（例えば、８０２）によって少なくとも部分的に不明瞭にされる。

【０２７１】

方法９００に関して上述された処理（例えば、図９）の詳細はまた、上記及び以下で説明される方法にも、類似の方式で適用可能であることに留意されたい。例えば、方法７００、１１００、１３００、１５００、１７００、及び１９００は、方法９００を参照して上述された、様々な方法の特徴のうちの１つ以上を含み得る。例えば、方法７００、１１００、１３００、１５００、１７００、及び１９００の、電子財布、支払アカウント、ロイヤルティアカウント、アフォーダンス、及び入力は、方法９００に記載した電子デバイスの、電子デバイス、支払アカウント、ロイヤルティアカウント、アフォーダンス、及び入力の特徴のうちの１つ以上を、任意選択的に有する。簡潔にするために、これらの詳細

は、以下では繰り返さない。

【０２７２】

図１０Ａ～図１０Ｅは、一部の実施形態に係る、電子財布における複数のアカウントの中からロイヤルティアカウント又は支払アカウントなどの表示されるアカウントを選択するための、例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。例えば、選択されたアカウントのアカウント情報をその後、（例えば、デバイスが支払端末のフィールド内に置かれたときに）取引で使用するために、ＮＦＣ対応型支払端末に送信することができる。この技法は、ディスプレイと位置センサと１つ以上の無線通信要素とを備えた電子デバイスにおいて実行される。これらの図のユーザインタフェースは、図１１の処理を含めた、以下で説明される処理を例示するために使用される。

【０２７３】

電子デバイスは、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力（例えば、ユーザ入力）を受け取る（例えば、ユーザは、ＮＦＣ支払を行うようにデバイスを準備するために、デバイスのハードウェアボタン５０８のダブルクリックを行う）。

【０２７４】

入力の受け取りに応答して、電子デバイスは、位置センサを使用して現在の位置を検出する（例えば、デバイスが、特定の小売業者のところに又は特定の小売業者の特定の店舗に物理的に位置していると判定する）。電子デバイスはまた、１つ以上の支払基準のセットを満足しているか否かも判定し、この場合、１つ以上の支払基準のセットは、現在の位置が第１の支払アカウントと関連付けられているときに満足される基準を含む（例えば、特定のプライベートラベル支払アカウントが小売業者と関連付けられていると判定する）。

【０２７５】

図１０Ａに示すように、１つ以上の支払基準のセットが満足されていないとの判定に従って、電子デバイスは、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示１００２を表示し、この場合、デフォルトの支払アカウントは第１の支払アカウントとは異なっている（例えば、デフォルトの支払アカウントと関連付けられたクレジットカードの視覚的描写１００２、そして、第１の支払アカウントの表示の表示を取り止める）。

【０２７６】

デバイスは、ディスプレイ上に、他のアカウントも利用可能であるという表示１００６、又は利用可能な他のアカウントの数の表示１００６を表示してよい。この実施例では、表示１００６は、４つのページングドットを含む。第１のページングドットは、第２の、第３の、及び第４のページングドットの第２の色とは異なる、第１の色のものである。４つのページングドットは、全部で４つのアカウントが利用可能であることを示す。その他のページングドットとは異なる色である第１のページングドットは、デバイスが現在、デフォルトの支払アカウントに対応する情報（例えば、視覚的表示１００２）を表示していることを示す。

【０２７７】

デバイスは、ディスプレイ上に、準備完了表示１００４も表示してよい。準備完了表示１００４は、デバイスが視覚的表示１００２によって表されたデフォルトの支払アカウントを使用して取引に参加できるようになっているという視覚的表示である。視覚的表示１００２は、デフォルトの支払アカウントと関連付けられた金融機関の名前「ＡＡ銀行」、デフォルトの支払アカウントと関連付けられた支払カードの背景アートに対応する背景アート、デフォルトの支払アカウントと関連付けられた口座番号の少なくとも一部、及びデフォルトの支払アカウントと関連付けられた有効期限を含み得る。

【０２７８】

図１０Ｂに示すように、１つ以上の支払基準のセットが満足されているとの判定に従って、電子デバイスは、ディスプレイ上に、第１の支払アカウントの視覚的表示１００８を表示する（及び、デフォルトの支払アカウントの表示の表示を取り止める）。

【０２７９】

デバイスは、ディスプレイ上に、準備完了表示１０１０も表示してよい。準備完了表示１０１０は、デバイスが視覚的表示１００８によって表された第１の支払アカウントを使用して取引に参加できるようになっているという視覚的表示である。視覚的表示１００８は、第１の支払アカウントと関連付けられた加盟店の名前「ＳＨＯＰＣＯ」、第１の支払アカウントと関連付けられたプライベートラベルカードの背景アートに対応する背景アート、第１の支払アカウントと関連付けられた口座番号の少なくとも一部、及び第１の支払アカウントと関連付けられた有効期限を含み得る。

【０２８０】

一部の実施形態によれば、１つ以上の支払基準のセットが満足されているとの判定に従って、電子デバイスは、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第１の支払アカウントを使用して取引に参加することを可能にする。更に、電子デバイスは、電子デバイスがデフォルトの支払アカウントを使用して取引に参加することを可能にするのを、取り止めることができる。

【０２８１】

一部の実施形態によれば、１つ以上の支払基準のセットが満足されていないとの判定に従って、電子デバイスは、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介してデフォルトの支払アカウントを使用して取引に参加することを可能にする。更に、電子デバイスは、電子デバイスが第１の支払アカウントを使用して取引に参加することを可能にするのを、取り止めることができる。

【０２８２】

一部の実施形態によれば、１つ以上の支払基準のセットが満足されていないとの判定に従って、電子デバイスは、ディスプレイ上に第１の支払アカウントの視覚的表示を表示するのを取り止める（例えば、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示は表示し、第１の支払アカウントの視覚的表示は表示しない）。

【０２８３】

一部の実施形態によれば、電子デバイスは、タッチ感知面を含む。図１０Ｃに示すように、電子デバイスは、第１の方向への１つ以上の入力を受け取る（例えば、タッチ感知面を介して１つ以上の左スワイプ若しくは右スワイプを受け取るか、又は第１の方向へのデバイス配向の変化を検出する）。図１０Ｄに示すように、１つ以上の入力の受け取りに応答して、電子デバイスは、ディスプレイ上に、第１の支払アカウント及びデフォルトの支払アカウントとは異なる第２のアカウントを識別する（例えば、識別する）第２の視覚的インジケータ１０１２を表示する。電子デバイスは、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第２のアカウントを使用して取引に参加することを可能にする（例えば、第２のアカウントを使用してＮＦＣ取引を行うようにデバイスを準備し、デバイスが第１のアカウントを使用して取引に参加することを不可能にする）。したがって、デバイスが支払アカウントを提示するとき、ユーザは入力を行ってある支払アカウントに変更することができる（例えば、デバイスの電子財布における複数の支払アカウントの中から支払アカウントを選択できる）。

【０２８４】

一部の実施形態によれば、電子デバイスは、（例えば、ユーザがＮＦＣ対応型非接触支払端末のフィールド内にデバイスを置いたことを、デバイスが検出するとき）非接触支払端末からアカウント情報のリクエストを受け取る。アカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を介して、それぞれの可能となったアカウント（例えば、デバイスが支払取引に参加することが可能になっている任意のアカウント、現在表示中の任意のアカウント）に関するアカウント情報を非接触支払端末に送信し、この場合、アカウント情報により、非接触支払端末は支払取引を行うことが可能になる。一部の実施形態では、支払取引を行うことは、（例えば、支払アカウントに関するアカウント情報が端末に送信される場合に）支払認証情報を検証するために及び／又は取引を完了するための認証を受け取るために、情報を１つ以上の金融機関に転送することを含む。例えば、支払アカウント情報は、ＮＦＣを使用して非接触支払端末に送信され

る。一部の実施形態では、支払取引を行うことは、（例えば、ロイヤルティアカウントに関するアカウント情報が端末に送信される場合に）ロイヤルティアカウントの確認／認証のためにロイヤルティ情報を１つ以上のサーバ に転送することを含む。

【０２８５】

一部の実施形態によれば、１つ以上の基準のセットは、現在の位置で第１の支払アカウントを（例えば、ユーザの確認なしで）使用して取引するために（例えば、デフォルトの支払アカウントを無効にするように）デバイスが認証されるときに満足される基準を含む。

【０２８６】

一部の実施形態によれば、電子デバイスは、現在の位置がロイヤルティアカウントと関連付けられていると判定する。電子デバイスは、ディスプレイ上に、ロイヤルティアカウントの視覚的表示と、支払アカウントのそれぞれの視覚的表示とを（例えば、デフォルトの支払アカウント又は第１の支払アカウントの視覚的表示とを）、同時に表示する。したがって、適切なロイヤルティカードの利用可能性が検出される場合、デバイスは、デフォルトの支払カード（又はプライベートラベルカード）の表示と、ロイヤルティカードの表示とを表示する。

【０２８７】

一部の実施形態によれば、電子デバイスは、１つ以上の入力デバイスを含む。デバイスを支払取引可能にするよう要求するユーザ入力を受け取る前に、電子デバイスは、支払アカウントを電子デバイスとリンクさせるリクエスト（例えば、手入力、サーバからのインポート、又は電子デバイスのカメラセンサを使用した入力）を受け取る。支払アカウントのアカウント情報（例えば、カード番号、カード有効期限、カード上の名前）を含むリクエスト。電子デバイスは、支払アカウントを電子デバイスとリンクする（例えば、支払アカウントを電子デバイス上の電子財布に追加する）。電子デバイスは、支払アカウントと関連付けられた金融機関が、ユーザ入力不要で位置に基づき選択される支払アカウントを認証したと判定する。電子デバイスは、図１０Ｅに示すように、ユーザ入力不要で位置に基づき選択される支払アカウントをアクティベーションするユーザ入力を受け取る。

【０２８８】

図１０Ｅに示すように、ユーザは、はいのアフォーダンス１０３０をアクティベーションすることによって、位置に基づく選択に関して使用されることになる支払アカウントをアクティベーションすることができる。あるいは、ユーザは、いいえのアフォーダンス１０３２をアクティベーションすることによって、位置に基づいて選択される支払アカウントのアクティベーションを取り止めることができる。一部の実施形態では、カードの設定中に（例えば、カードが電子デバイスにリンクされる間に又はその直後に）、位置に基づいて選択される支払アカウントをアクティベーションするための選択肢が表示される。あるいは（又は加えて）、金融機関は、支払アカウントが電子デバイスにリンクされた後の時点で、（ユーザ入力不要で）位置に基づき選択される支払アカウントを認証できる。この状況では、支払アカウント用の設定メニューの中に新しい選択肢が現れてよい。同様に、デバイスは、デバイスが支払が行われることを検出するときに、ポップアップ通知を表示できる。この通知は支払アカウントがこの時点で位置に基づく選択を行えることを示す。その後、ユーザは、ユーザ入力不要で位置に基づき選択するための機能を、アクティベーションする（又はアクティベーションしない）ことを選ぶことができる。

【０２８９】

一部の実施形態によれば、１つ以上の支払基準のセットが満足されているとの判定に従って、電子デバイスは、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第１の支払アカウントを使用して取引に参加することを可能にする。電子デバイスは、非接触支払端末から支払取引と関連付けられたリクエストを受け取る。電子デバイスは、リクエストが第１の支払アカウントとは異なる第２の支払アカウントに対応するアカウントタイプを使用する支払アカウント情報のリクエストを含むか否かを判定する（例えば、デバイスがＮＦＣ対応型端末のフィールド内に置かれるとき、この端末は、特定の小売業者のプライベート

ラベルクレジットカードを要求する）。リクエストが第２のアカウントタイプを使用する支払情報のリクエストを含むとの判定に従って、電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を使用して第２のアカウントの支払アカウント情報を非接触支払端末に送信するための認証を要求する、（例えば、視覚的な、オーディオの、又は触覚的な）通知を提供し、この場合、この第２のアカウントの支払アカウント情報により、非接触支払端末は支払取引を行うことが可能になる。したがって、第１の支払アカウントが特定の場所にとって適切であるとデバイスが判定するが、非接触支払端末は異なる支払アカウントを使用する支払を要求するとき、ユーザは通知を受け、第２の支払アカウントを使用した支払取引を進めるための認証を提供するように要求される。

【０２９０】

図１１は、一部の実施形態に係る、電子財布における複数のアカウントの中から、ロイヤルティアカウント又は支払アカウントなどの表示されるアカウントを選択するための方法１１００を示すフロー図である。方法１１００は、ディスプレイと位置センサとを備えたデバイス（例えば、１００、３００又は５００）において実行される。方法１１００のいくつかの動作は組み合わせてもよく、いくつかの動作は順序を変更してもよく、かついくつかの動作は省略してもよい。

【０２９１】

以下において説明されるように、方法１１００は、アカウントを選択するための直感的な方法を提供する。この方法は、表示される及び／又は支払用のアカウントを選択するユーザの認識的負担を軽減し、それによって、より効率的なヒューマン－マシンインタフェースを作り出す。バッテリ動作式のコンピューティングデバイスの場合には、ユーザがアカウントをより高速かつより効率的に選択することを可能にすることにより、電力が節約され、バッテリ充電の間隔が増す。

【０２９２】

ブロック１１０２では、電子デバイスは、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力（例えば、ユーザ入力）を受け取る（例えば、ユーザは、ＮＦＣ支払を行うようにデバイスを準備するために、デバイスのハードウェアボタン５０８のダブルクリックを行う）。

【０２９３】

ブロック１１０４では、入力の受け取りに応答して、技法はブロック１１０６へと続く。ブロック１１０６では、電子デバイスは、位置センサを使用して現在の位置を検出する（例えば、デバイスが、特定の小売業者のところに又は特定の小売業者の特定の店舗に物理的に位置していると判定する）。

【０２９４】

ブロック１１０８では、電子デバイスは、１つ以上の支払基準のセットを満足しているか否かを判定し、この場合、１つ以上の支払基準のセットは、現在の位置が第１の支払アカウントと関連付けられているときに満足される基準を含む（例えば、特定のプライベートラベル支払アカウントが小売業者と関連付けられていると判定する）。

【０２９５】

ブロック１１１０では、１つ以上の支払基準のセットが満足されていないとの判定に従って、電子デバイスは、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示（例えば、１００２）を表示し、この場合、デフォルトの支払アカウントは第１の支払アカウントとは異なっている（例えば、デフォルトの支払アカウントと関連付けられたクレジットカードの視覚的描写、そして、特定の支払アカウントの表示の表示を取り止める）。

【０２９６】

一部の実施形態によれば、ブロック１１１２では、１つ以上の支払基準のセットが満足されていないとの判定に従って、電子デバイスは、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介してデフォルトの支払アカウントを使用して取引に参加することを可能にする。

【０２９７】

ブロック１１１４では、１つ以上の支払基準のセットが満足されているとの判定に従っ

て、電子デバイスは、ディスプレイ上に、第１の支払アカウントの視覚的表示（例えば、１００８）を表示する（及び、デフォルトの支払アカウントの表示の表示を取り止める）。

【０２９８】

一部の実施形態によれば、ブロック１１１６では、１つ以上の支払基準のセットが満足されているとの判定に従って、電子デバイスは、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第１の支払アカウントを使用して取引に参加することを可能にする。

【０２９９】

一部の実施形態によれば、１つ以上の支払基準のセットが満足されていないとの判定に従って、電子デバイスは、ディスプレイ上に第１の支払アカウントの視覚的表示（例えば、１００８）を表示するのを取り止める（例えば、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示は表示し、第１の支払アカウントの視覚的表示は表示しない）。

【０３００】

一部の実施形態によれば、電子デバイスは、タッチ感知面を含む。電子デバイスは、第１の方向への１つ以上の入力を受け取る（例えば、タッチ感知面を介した１つ以上の左スワイプ若しくは右スワイプ、又は第１の方向へのデバイス配向の変化の検出）。１つ以上の入力の受け取りに応答して、電子デバイスは、ディスプレイ上に、第１の支払アカウント及びデフォルトの支払アカウントとは異なる第２のアカウントを識別する第２の視覚的インジケータ（例えば、１０１２）を表示し、また電子デバイスは、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第２のアカウントを使用して取引に参加することを可能にする（例えば、第２のアカウントを使用してＮＦＣ取引を行うようにデバイスを準備し、デバイスが第１のアカウントを使用して取引に参加することを不可能にする）。

【０３０１】

一部の実施形態によれば、電子デバイスは、非接触支払端末からアカウント情報のリクエストを受け取る。アカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を介して、それぞれの可能となったアカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信し、この場合、アカウント情報により、非接触支払端末は支払取引を行うことが可能になる。一部の実施形態では、支払取引を行うことは、（例えば、支払アカウントに関するアカウント情報が端末に送信される場合に）支払認証情報を検証するために及び／又は取引を完了するための認証を受け取るために、情報を１つ以上の金融機関に転送することを含む。

【０３０２】

一部の実施形態によれば、１つ以上の基準のセットは、現在の位置で第１の支払アカウントを（例えば、ユーザの確認なしで）使用して取引するために（例えば、デフォルトの支払アカウントを無効にするように）デバイスが認証されるときに満足される基準を含む。

【０３０３】

一部の実施形態によれば、電子デバイスは、現在の位置がロイヤルティアカウントと関連付けられていると判定する。電子デバイスは、ディスプレイ上に、ロイヤルティアカウントの視覚的表示と、支払アカウントのそれぞれの視覚的表示とを（例えば、デフォルトの支払アカウント又は第１の支払アカウントの視覚的表示とを）、同時に表示する。したがって、適切なロイヤルティカードの利用可能性が検出される場合、デバイスは、デフォルトの支払カード（又はプライベートラベルカード）の表示と、ロイヤルティカードの表示とを表示する。

【０３０４】

一部の実施形態によれば、電子デバイスは、１つ以上の入力デバイスを含む。デバイスを支払取引可能にするよう要求するユーザ入力を受け取る前に、電子デバイスは、支払アカウントを電子デバイスとリンクさせるリクエスト（例えば、手入力、サーバからのインポート、又は電子デバイスのカメラセンサを使用した入力）を受け取る。支払アカウントのアカウント情報（例えば、カード番号、カード有効期限、カード上の名前）を含むリク

エスト。電子デバイスは、支払アカウントを電子デバイスとリンクする（例えば、支払アカウントを電子デバイス上の電子財布に追加する）。電子デバイスは、支払アカウントと関連付けられた金融機関が、ユーザ入力不要で位置に基づき選択される支払アカウントを認証したと判定する。電子デバイスは、ユーザ入力不要で位置に基づき選択される支払アカウントをアクティベーションするユーザ入力を受け取る。

【０３０５】

一部の実施形態によれば、１つ以上の支払基準のセットが満足されているとの判定に従って、電子デバイスは、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第１の支払アカウントを使用して取引に参加することを可能にする。電子デバイスは、非接触支払端末から支払取引と関連付けられたリクエストを受け取る。電子デバイスは、リクエストが第１の支払アカウントとは異なる第２の支払アカウントに対応するアカウントタイプを使用する支払アカウント情報のリクエストを含むか否かを判定する（例えば、デバイスがＮＦＣ対応型端末のフィールド内に置かれるとき、この端末は、特定の小売業者のプライベートラベルクレジットカードを要求する）。リクエストが第２のアカウントタイプを使用する支払情報のリクエストを含むとの判定に従って、電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を使用して第２のアカウントの支払アカウント情報を非接触支払端末に送信するための認証を要求する、（例えば、視覚的な、オーディオの、又は触覚的な）通知を提供し、この場合、この第２のアカウントの支払アカウント情報により、非接触支払端末は支払取引を行うことが可能になる。したがって、第１の支払アカウントが特定の場所にとって適切であるとデバイスが判定するが、非接触支払端末は異なる支払アカウントを使用する支払を要求するとき、ユーザは通知を受け、第２の支払アカウントを使用した支払取引を進めるための認証を提供するように要求される。

【０３０６】

方法１１００に関して上述された処理（例えば、図１１）の詳細はまた、上記及び以下で説明される方法にも、類似の方式で適用可能であることに留意されたい。例えば、方法７００、９００、１３００、１５００、１７００及び１９００は、方法１１００を参照して上述された、様々な方法の特徴のうちの１つ以上を含み得る。例えば、方法７００、９００、１３００、１５００、１７００、及び１９００の、電子財布、支払アカウント、ロイヤルティアカウント、アフォーダンス、及び入力は、方法１１００に記載した電子デバイスの、電子デバイス、支払アカウント、ロイヤルティアカウント、アフォーダンス、及び入力の特徴のうちの１つ以上を、任意選択的に有する。簡潔にするために、これらの詳細は、以下では繰り返さない。

【０３０７】

図１２Ａ～図１２Ｄは、一部の実施形態に係る、電子財布における複数のアカウントの中から選択されたアカウントのアカウント情報を送信するための、例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。この技法は、ディスプレイと１つ以上の無線通信要素（例えば、ＮＦＣアンテナ、ＷｉＦｉアンテナなどの１つ以上の無線アンテナ）とを備えた電子デバイスにおいて実行される。これらの図のユーザインタフェースは、図１３の処理を含めた、以下で説明される処理を例示するために使用される。

【０３０８】

電子デバイスは、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力（例えば、ユーザ入力）を受け取る（例えば、ユーザは、ＮＦＣ支払を行うようにデバイスを準備するために、デバイスのハードウェアボタンのダブルクリックを行う）。図１２Ａでは、入力の受け取りに応答して、電子デバイスは、ディスプレイ上に、第１の支払アカウント及び第２の支払アカウントを含む複数の支払アカウントを表す支払表示（例えば、１２０２）を表示する（例えば、特定の支払アカウントを識別しない「スマート選択」表示を表示する）。

【０３０９】

図１２Ｂに示すように、ユーザは電子デバイス５００を、非接触支払端末１２２０のＮＦＣフィールド内に置く。電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を介して、（例えば、非接触支払端末１２２０から受け取られた）支払取引に対応するアカウント情報のリク

エストを受け取る。

【０３１０】

支払取引に対応するアカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、第１の支払アカウントに関する支払基準が満足されている（例えば、第１の支払アカウントがデバイスの現在の位置と関連付けられている）との判定に従って、電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を介して、第２の支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに（及び、任意選択的に、第１の支払アカウント以外の支払表示と関連付けられた任意の他の支払アカウントに関する支払アカウント情報は送信せずに）、第１の支払アカウントに関するアカウント情報を送信する。支払取引に対応するアカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、第２の支払アカウントに関する支払基準が満足されている（例えば、第２の支払アカウントがデバイスの現在の位置と関連付けられている）との判定に従って、電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を介して、第１の支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに（及び、任意選択的に、第２の支払アカウント以外の支払表示と関連付けられた任意の他の支払アカウントに関する支払アカウント情報は送信せずに）、第２の支払アカウントに関するアカウント情報を送信する。したがって、ユーザは、「スマート選択」機能が選択されているという視覚的表示を見ることができる。デバイスが支払を行う試みを検出するとき、電子デバイスは、適切なアカウントに関するアカウント情報を送信する。

【０３１１】

一部の実施形態によれば、電子デバイスは、デフォルトの支払アカウント及び複数のデフォルトでない支払アカウント（例えば、それぞれの支払アカウントに対応する支払基準が満足されるときのみ使用される支払アカウント）のうちの１つを使用した支払を可能にするように構成されている。デフォルトでない支払アカウントのうちのいずれに関しても支払基準が満足されていないとの判定に従って、電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を介して、デフォルトでない支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに、デフォルトの支払アカウントに関するアカウント情報を送信する。

【０３１２】

一部の実施形態によれば、支払基準は、電子デバイスの現在の位置と関連付けられた判定に基づく基準を含む。例えば、基準は、電子デバイスが決められた地理的エリア内にあるときに満足される。別の例として、基準は、電子デバイスが決められた地理的エリア内にないときには満足されない。

【０３１３】

一部の実施形態によれば、図１２Ａに示すように、複数の支払アカウントを表す支払表示１２０２は、第１の支払アカウントの表示を含まず、また第２の支払アカウントの表示を含まない。例えば、ディスプレイ上には、第１の支払アカウント又は第２の支払アカウントを示す表示は存在しない。複数の支払アカウントを表す支払表示１２０２は、クレジットカードのような見た目ではなく、また、第１の支払アカウントの表示又は第２の支払アカウントの表示のような見た目ではない。したがって、ユーザは、デバイスが特別な動作モードにあることを一目で理解できる。

【０３１４】

一部の実施形態によれば、複数の支払アカウントは、ユーザ入力不要な位置に基づく選択をアクティベーションするユーザ入力を電子デバイスが受け取っている支払アカウントのみを含む。

【０３１５】

一部の実施形態によれば、複数の支払アカウントは、支払アカウントと関連付けられた金融機関が対応するユーザ入力不要で位置に基づき選択される支払アカウントを認証した支払アカウントのみを含む。

【０３１６】

一部の実施形態によれば、支払取引のために複数の支払アカウントのうちのどれを使用すべきかをデバイスがコンテキストに基づいて選択する、コンテキスト的選択の動作モー

ドが、選択可能な支払選択肢として表される。一部の実施形態では、デバイスは、選択可能な支払選択肢の選択を受け取り、選択可能な支払選択肢の選択に応答して、コンテキスト的選択の動作モードに切り替える。

【０３１７】

図１２Ｃでは、一部の実施形態によれば、電子デバイスはタッチ感知面を含む。例えば、図１２Ｂに示すように支払を行う前に、電子デバイスは、第１の方向への１つ以上の入力（例えば、ユーザ入力）（例えば、タッチ感知面を介して１つ以上の左スワイプ若しくは右スワイプ、又は第１の方向へのデバイスの配向の変化）を受け取る。図１２Ｃに示すように、電子デバイスは、支払表示１２０２をディスプレイ外へと遷移させることを含むアニメーションを表示してよい。１つ以上の入力の受け取りに応答して、電子デバイスは、ディスプレイ上で、複数の支払アカウントを表す支払表示１２０２を、複数の支払アカウントを表す支払表示１２０２とは異なる第２の視覚的インジケータ１２２０と入れ替え、この場合、第２の視覚的選択インジケータは、第１の支払アカウント及び第２の支払アカウントとは異なる第３の支払アカウントを識別する。１つ以上の入力の受け取りに応答して、電子デバイスは、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第３の支払アカウントを使用して取引に参加することを可能にする。（例えば、第２のアカウントを使用してＮＦＣ取引を行うようにデバイスを準備し、デバイスが第１のアカウントを使用して取引に参加することを不可能にする）。こうして、ユーザは特定の支払アカウントを選択できる。ユーザが特定の支払アカウントを選択すると、図１２Ｂに示すように、ユーザはそのアカウントを使用して支払を行うことができる。

【０３１８】

一部の実施形態によれば、複数の支払アカウントを表す支払表示１２０２は、複数の支払アカウントのうちの個々の支払アカウントの視覚的インジケータ（例えば、１２２０）とは異なっている。例えば、支払表示１２０２は取り囲むカードは無くロゴを含んでいるが、一方他のすべての支払アカウントは、カード画像（例えば、視覚的表示１２２０）によって表される。又は、支払表示は、これが複数の異なる支払アカウント間でのコンテキスト的選択を表していることを示すテキスト（例えば、「ＡＵＴＯ　ＳＥＬＥＣＴ」）を伴う。

【０３１９】

図１３は、一部の実施形態に係る、電子財布における複数のアカウントの中から選択されたアカウントのアカウント情報を送信するための方法を示すフロー図である。方法１３００は、ディスプレイと１つ以上の無線通信要素とを備えたデバイス（例えば、１００、３００、５００）において実行される。方法１３００のいくつかの動作は組み合わせてもよく、いくつかの動作は順序を変更してもよく、かついくつかの動作は省略してもよい。

【０３２０】

以下において説明されるように、方法１３００は、電子財布における複数のアカウントの中から選択されたアカウントのアカウント情報を送信するための、直感的な方法を提供する。この方法は、支払で使用するアカウントを選択するユーザの認識的負担を軽減し、それによって、より効率的なヒューマンーマシンインタフェースを作り出す。バッテリ動作式のコンピューティングデバイスの場合には、ユーザがアカウントをより高速かつより効率的に選択することを可能にすることにより、電力が節約され、バッテリ充電の間隔が増す。

【０３２１】

ブロック１３０２では、電子デバイスは、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力（例えば、ユーザ入力）を受け取る（例えば、ユーザは、ＮＦＣ支払を行うようにデバイスを準備するために、デバイスのハードウェアボタン５０８のダブルクリックを行う）。

【０３２２】

ブロック１３０４では、入力の受け取りに応答して、電子デバイスは、ディスプレイ上に、第１の支払アカウント及び第２の支払アカウントを含む複数の支払アカウントを表す

支払表示（例えば、１２０２）を表示する（例えば、特定の支払アカウントを識別しない「スマート選択」表示を表示する）。

【０３２３】

ブロック１３０６では、電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を介して、（例えば、非接触支払端末１２２０から受け取られた）支払取引に対応するアカウント情報のリクエストを受け取る。

【０３２４】

ブロック１３０８では、支払取引に対応するアカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、技法はブロック１３１０～１３１２に進む。ブロック１３１０では、第１の支払アカウントに関する支払基準が満足されているとの判定に従って、電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を介して、第２の支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに（及び、任意選択的に、第１の支払アカウント以外の支払表示と関連付けられた任意の他の支払アカウントに関する支払アカウント情報は送信せずに）、第１の支払アカウントに関するアカウント情報を送信する。

【０３２５】

ブロック１３１２では、第２の支払アカウントに関する支払基準が満足されているとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を介して、第１の支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに（及び、任意選択的に、第２の支払アカウント以外の支払表示と関連付けられた任意の他の支払アカウントに関する支払アカウント情報は送信せずに）、第２の支払アカウントに関するアカウント情報を送信すること。

【０３２６】

一部の実施形態によれば、電子デバイスは、デフォルトの支払アカウント及び複数のデフォルトでない支払アカウント（例えば、支払アカウントに関する支払基準が満足されるときのみ使用される支払アカウント）のうちの１つを使用した支払を可能にするように構成されている。デフォルトでない支払アカウントのうちのいずれに関しても支払基準が満足されていないとの判定に従って、電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を介して、デフォルトでない支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに、デフォルトの支払アカウントに関するアカウント情報を送信する。

【０３２７】

一部の実施形態によれば、支払基準は、電子デバイスの現在の位置と関連付けられた判定に基づく基準を含む。例えば、基準は、電子デバイスが決められた地理的エリア内にあるときに満足される。別の例として、基準は、電子デバイスが決められた地理的エリア内にないときには満足されない。

【０３２８】

一部の実施形態によれば、複数の支払アカウントを表す支払表示（例えば、１２０２）は、第１の支払アカウントの表示を含まず、また第２の支払アカウントの表示を含まない。

【０３２９】

一部の実施形態によれば、複数の支払アカウントは、ユーザ入力不要な位置に基づく選択をアクティベーションするユーザ入力を電子デバイスが受け取っている支払アカウントのみを含む。

【０３３０】

一部の実施形態によれば、複数の支払アカウントは、支払アカウントと関連付けられた金融機関がユーザ入力不要で位置に基づき選択される支払アカウントをそれぞれ認証した支払アカウントのみを含む。

【０３３１】

一部の実施形態によれば、支払取引のために複数の支払アカウントのうちのどれを使用すべきかをデバイスがコンテキストに基づいて選択する、コンテキスト的選択の動作モードが、選択可能な支払選択肢として表される。一部の実施形態では、デバイスは、選択可能な支払選択肢の選択を受け取り、選択可能な支払選択肢の選択に応答して、コンテキス

ト的選択の動作モードに切り替える。

【０３３２】

一部の実施形態によれば、電子デバイスは、タッチ感知面を含む。電子デバイスは、第１の方向への１つ以上の入力（例えば、ユーザ入力）（例えば、タッチ感知面を介して１つ以上の左スワイプ若しくは右スワイプ、又は第１の方向へのデバイスの配向の変化）を受け取る。１つ以上の入力の受け取りに応答して、電子デバイスは、ディスプレイ上で、複数の支払アカウントを表す支払表示（例えば、１２０２）を、複数の支払アカウントを表す支払表示（例えば、１２０２）とは異なる第２の視覚的インジケータ（例えば、１２２０）と入れ替え、この場合、第２の視覚的選択インジケータは、第１の支払アカウント及び第２の支払アカウントとは異なる第３の支払アカウントを識別する。１つ以上の入力の受け取りに応答して、電子デバイスは、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第３の支払アカウントを使用して取引に参加することを可能にする。こうして、ユーザは特定の支払アカウントを選択できる。

【０３３３】

一部の実施形態によれば、複数の支払アカウントを表す支払表示（例えば、１２０２）は、複数の支払アカウントのうちの個々の支払アカウントの視覚的インジケータ（例えば、１２２０）とは異なっている。

【０３３４】

方法１３００に関して上述された処理（例えば、図１３）の詳細はまた、上記及び以下で説明される方法にも、類似の方式で適用可能であることに留意されたい。例えば、方法７００、９００、１１００、１５００、１７００及び１９００は、方法１３００を参照して上述された、様々な方法の特徴のうちの１つ以上を含み得る。例えば、方法７００、９００、１１００、１５００、１７００、及び１９００の、電子財布、支払アカウント、ロイヤルティアカウント、アフォーダンス、及び入力は、方法１３００に記載した電子デバイスの、電子デバイス、支払アカウント、ロイヤルティアカウント、アフォーダンス、及び入力の特徴のうちの１つ以上を、任意選択的に有する。簡潔にするために、これらの詳細は、以下では繰り返さない。

【０３３５】

図１４Ａ～図１４Ｅは、一部の実施形態に係る、電子財布における複数のアカウントの中からのアカウントの選択を受け取るための、例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。例えば、選択されたアカウントのアカウント情報をその後、（例えば、デバイスが支払端末のフィールド内に置かれたときに）取引で使用するために、ＮＦＣ対応型支払端末に送信することができる。この技法は、ディスプレイと接触の強度を検出するように構成されたタッチ感知面と１つ以上の無線通信要素とを備えた電子デバイスにおいて実行される。これらの図のユーザインタフェースは、図１５の処理を含めた、以下で説明される処理を例示するために使用される。

【０３３６】

電子デバイスは、第１の入力（例えば、ハードウェアボタンにおけるユーザ入力）を受け取る。例えば、ユーザは、デバイスの機械式又は容量式ボタン５０８をダブルクリックする。

【０３３７】

図１４Ａに示すように、第１の入力の受け取りに応答して、電子デバイスは、ディスプレイ上に、第１のユーザインタフェース（例えば、図１４Ａのユーザインタフェース）を表示し、この場合、第１のユーザインタフェースは、複数の支払アカウントと関連付けられた支払カードを識別する第１の視覚的インジケータ１４０２、及び支払カードの複数の支払アカウントのうちの第１の支払アカウント（例えば、普通預金口座）を識別する第２の視覚的インジケータ１４０６を含む。図１４Ａに示すように、第２の視覚的インジケータ１４０６は、支払カードの普通預金口座がアクティブであるか又は選択されていることを示すための、「普通預金口座」を含んでよい。第１の視覚的インジケータ１４０２は、支払アカウントを提供している金融機関の名前、口座番号、有効期限、及び背景アート、

のうちの１つ以上を含んでよい。

【０３３８】

電子デバイスは、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第１の支払アカウントを使用して支払取引を行うことを可能にする。例えば、第１の支払アカウントが可能にされると、ユーザは、第１の支払アカウントを使用してＮＦＣ支払を行うために、電子デバイスを非接触支払端末のフィールド内に置くことができる。図１４Ａでは、準備完了表示１４０４は、デバイスが第１の支払アカウントを使用して支払取引に参加できるようになっているという視覚的表示である。

【０３３９】

図１４Ｂに示すように、電子デバイスは、タッチ感知面上の第１の接触を検出する。電子デバイスは、第１の接触の特性強度が強度閾値を上回るか否かを判定する。

【０３４０】

図１４Ｃ及び図１４Ｄに示すように、第１の接触の特性強度が強度閾値を上回っている（例えば強い押圧）との判定に従って、電子デバイスは、ディスプレイ上に、第２のユーザインタフェースを表示し、この場合、第２のユーザインタフェースによって、第１の視覚的インジケータによって表された異なる支払アカウントの間で選択を行うことが可能になる。例えば、強い押圧の結果、図１４Ｄのユーザインタフェースの表示を行うことができる。別の例として、強い押圧の結果図１４Ｃの表示を行うことができ、その後で、図１４Ｃのユーザインタフェースにおけるアフォーダンス１４１２のアクティベーションの結果、図１４Ｄのユーザインタフェースの表示がもたらされる。

【０３４１】

支払カードの複数の支払アカウントの中からの選択を可能にするユーザインタフェースにユーザがアクセスするための、複数の方法が存在する。１つの方法は、電子デバイスが（例えば、電子財布アプリケーションを使用して）支払取引を行うことを可能にすることであり、この結果、上で検討したように、デバイスが支払モードにある間、第１の視覚的インジケータが表示されることになる。別の方法は、電子財布アプリケーションから特定の支払アカウントの設定又は詳細にアクセスすることであり、この結果、デバイスが支払モードにない（例えば、１つ以上の無線通信要素を介して支払取引を行うことを可能にされていない）間、第１の視覚的インジケータが表示されている。ユーザインタフェースを表示している（及び支払モードにない）間に、デバイスは、タッチ感知面上の接触を検出し、デバイスは、接触の特性強度が強度閾値を上回っているか否かを判定し、接触の特性強度が強度閾値を上回っている（例えば、強い押圧）との判定に従って、デバイスは、ディスプレイ上に、追加のユーザインタフェースを表示し、この場合、追加のユーザインタフェースによって、第１の視覚的インジケータによって表された異なる支払アカウントの間で選択を行うことが可能になる。これらの（支払モード及び非支払モードを介した）方法のいずれによっても、ユーザは、アカウント選択インタフェースを立ち上げて、支払カードの複数の支払アカウントの中から選択を行うことが可能になる。

【０３４２】

図１４Ｃに示すように、一部の実施形態によれば、第２のユーザインタフェースは、支払アカウント選択アフォーダンス１４１２を含む。電子デバイスは、支払アカウント選択アフォーダンス１４１２に対応するタッチ感知面上の位置において、第２の接触を検出する。図１４Ｄに示すように、第２の接触の検出に応答して、電子デバイスは、ディスプレイ上に、第３のユーザインタフェース１４１８を表示し、この場合、第３のユーザインタフェース１４１８は、複数の支払アカウントのうちの少なくとも一部に対応する１つ以上のアカウントアフォーダンス（例えば、１４２０、１４２２、１４２４）を含む。電子デバイスは、１つ以上のアカウントアフォーダンス（例えば、１４２０、１４２２、１４２４）のうちのアカウントアフォーダンス１４２４と関連付けられた位置において、第３の接触を検出し、この場合、アカウントアフォーダンス１４２４は、複数の支払アカウントのうちの第２の支払アカウント（例えば、クレジット口座）に対応し、第２の支払アカウントは、第１の支払アカウントとは異なっている。一部の実施例では、電子デバイスがキ

ャンセルアフォーダンス１４２６のアクティベーションを検出するとき、電子デバイスは、図１４Ｃのユーザインタフェースを表示する。

【０３４３】

図１４Ｅに示すように、第３の接触の検出に応答して、電子デバイスは、ディスプレイ上に、第４のユーザインタフェース（例えば、図１４Ｅのユーザインタフェース）を表示し、この場合、第４のユーザインタフェースは、複数の支払アカウントと関連付けられた支払カードを識別する第１の視覚的インジケータ１４０２（例えば、支払カードは変わっていない）、及び支払カードの複数の支払アカウントのうちの第２の支払アカウント（例えば、当座預金口座とは異なるクレジット口座）を識別する第３の視覚的インジケータ１４３０を含む。例えば、第３の視覚的インジケータ１４３０には、支払カードのクレジット口座がアクティブであるか又は選択されていることを示すために、「クレジット口座」と書かれている。第３の接触の検出に応答して、電子デバイスはまた、電子デバイスが、１つ以上の無線通信要素を介して第２の支払アカウントを使用して支払取引を行うことを可能にする（及び、電子デバイスが第１の支払アカウントを使用して支払取引を行うことを不可能にする）。例えば、ユーザは、第１の支払アカウントを使用してＮＦＣ支払を行うために、電子デバイスを非接触支払端末のフィールド内に置くことができる。例えば、準備完了表示１４０３２ は、デバイスが第２の支払アカウントを使用して支払取引に参加できるようになっているという視覚的表示である。

【０３４４】

一部の実施形態によれば、第１の接触の特性強度が強度閾値を下回るとの判定（例えば、軽い押圧）に従って、電子デバイスは、第１の視覚的インジケータ１４０２（及び、任意選択的に、第２の視覚的インジケータ１４０６）の表示を維持し、ディスプレイ上に第２のユーザインタフェースは表示しない。

【０３４５】

一部の実施形態によれば、１つ以上のアカウントアフォーダンス１４２０、１４２２、１４２４は、複数のアカウントアフォーダンスを含む。

【０３４６】

一部の実施形態によれば、現在選択されている支払アカウントの視覚的インジケータ（例えば、１４２０、１４２２、１４２４）は、第２のユーザインタフェース上で強調されている（例えば、異なる色、チェックマーク１４２８を付されて表示される、等）。

【０３４７】

一部の実施形態によれば、第２の接触を検出することは、第２の接触の特性強度が強度閾値を上回っていない（例えば、それが強い押圧ではない）と判定することを含む。

【０３４８】

一部の実施形態によれば、第２のユーザインタフェースは、支払アカウント削除アフォーダンス１４１０を含む。電子デバイスは、支払アカウント削除アフォーダンス１４１０のアクティベーションを検出する。支払アカウント削除アフォーダンス１４１０のアクティベーションの検出に応答して、電子デバイスは、デバイスの電子財布から支払カードの複数の支払アカウントを除去する（例えば、電子デバイスからリンク解除する）。

【０３４９】

一部の実施形態によれば、支払アカウント削除アフォーダンス１４１０は、支払アカウント削除アフォーダンスを支払アカウント選択アフォーダンス１４１２から区別する、１つ以上の視覚的特徴を含む。例えば、これらのアフォーダンスは、ユーザが一方のアフォーダンスを他方と間違えないようにするのを助けるために、異なる形状、異なる塗りつぶしの色、又は異なるテキストを有する。

【０３５０】

一部の実施形態によれば、ディスプレイ上に第４のユーザインタフェースを表示している間に、電子デバイスは、タッチ感知面上のスワイプ入力（例えば、水平スワイプ入力）を検出する。一部の実施形態では、スワイプ入力は、強度閾値を下回る特性強度を有する。スワイプ入力の検出に応答して、電子デバイスは第５のユーザインタフェースを表示し

、この場合、第５のユーザインタフェースは、既出の支払カードとは異なる第２の支払カードを識別する第４の視覚的インジケータを含む。こうして、ユーザは、スワイプすることで支払カードを変えることができる。

【０３５１】

一部の実施形態によれば、第１のユーザインタフェース、第２のユーザインタフェース、第３のユーザインタフェース、及び第４のユーザインタフェースは、単一の電子財布アプリケーションのユーザインタフェースであり、この単一の電子財布アプリケーションは、電子デバイスのユーザと関連付けられた複数の支払アカウントを含む。

【０３５２】

一部の実施形態によれば、電子デバイスは、非接触支払端末からアカウント情報のリクエストを受け取る。アカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を介して、第２の支払アカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信し、この場合、アカウント情報により、非接触支払端末は支払取引を行うことが可能になる。一部の実施形態では、支払取引を行うことは、支払認証情報を検証するために及び／又は取引を完了するための認証を受け取るために、情報を１つ以上の金融機関に転送することを含む。例えば、支払アカウント情報は、ＮＦＣを使用して非接触支払端末に送信される。

【０３５３】

図１５は、一部の実施形態に係る、電子財布における複数のアカウントの中からのアカウントの選択を受け取るための方法を示すフロー図である。方法１５００は、ディスプレイと接触の強度を検出するように構成されたタッチ感知面と１つ以上の無線通信要素とを備えた１つ以上の無線通信要素とを備えたデバイス（例えば、１００、３００、５００）において実行される。方法１５００のいくつかの動作は組み合わせてもよく、いくつかの動作は順序を変更してもよく、かついくつかの動作は省略してもよい。

【０３５４】

以下において説明されるように、方法１５００は、電子財布における複数のアカウントの中からのアカウントの選択を受け取るための、直感的な方法を提供する。この方法は、アカウントを選択するユーザの認識的負担を軽減し、それによって、より効率的なヒューマン－マシンインタフェースを作り出す。バッテリ動作式のコンピューティングデバイスの場合には、ユーザがアカウントをより高速かつより効率的に選択することを可能にすることにより、電力が節約され、バッテリ充電の間隔が増す。

【０３５５】

ブロック１５０２では、電子デバイスは、第１の入力（例えば、ハードウェアボタンにおけるユーザ入力）を受け取る。例えば、ユーザは、デバイスの機械式又は容量式ボタンをダブルクリックする。

【０３５６】

ブロック１５０４では、第１の入力の受け取りに応答して、技法は１５０６へと進む。ブロック１５０６では、電子デバイスは、ディスプレイ上に、第１のユーザインタフェース（例えば、図１５Ａのユーザインタフェース）を表示し、この場合、第１のユーザインタフェースは、複数の支払アカウントと関連付けられた支払カードを識別する第１の視覚的インジケータ（例えば、１４０２）、及び支払カードの複数の支払アカウントのうちの第１の支払アカウントを識別する第２の視覚的インジケータ（例えば、１４０６）を含む。

【０３５７】

ブロック１５０６では、電子デバイスは、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第１の支払アカウントを使用して支払取引を行うことを可能にする。ブロック１５０８では、電子デバイスは、タッチ感知面上の第１の接触を検出する。

【０３５８】

ブロック１５１０では、電子デバイスは、第１の接触の特性強度が強度閾値を上回るか否かを判定する。

【０３５９】
ブロック１５１２では、第１の接触の特性強度が強度閾値を上回っている（例えば強い押圧）との判定に従って、電子デバイスは、ディスプレイ上に、第２のユーザインタフェース（例えば、図１４Ｄの１４１８、又は図１４Ｃのユーザインタフェース）を表示し、この場合、第２のユーザインタフェースによって、第１の視覚的インジケータによって表された異なる支払アカウントの間で選択を行うことが可能になる。
【０３６０】
一部の実施形態によれば、第２のユーザインタフェースは、支払アカウント選択アフォーダンス（例えば、１４１２）を含む。電子デバイスは、支払アカウント選択アフォーダンス（例えば、１４１２）に対応するタッチ感知面上の位置において、第２の接触を検出する。第２の接触の検出に応答して、電子デバイスは、ディスプレイ上に、第３のユーザインタフェース（例えば、１４１８）を表示し、この場合、第３のユーザインタフェース（例えば、１４１８）は、複数の支払アカウントのうちの少なくとも一部に対応する１つ以上のアカウントアフォーダンス（例えば、１４２０、１４２２、１４２４）を含む。電子デバイスは、１つ以上のアカウントアフォーダンス（例えば、１４２０、１４２２、１４２４）のうちのアカウントアフォーダンス（例えば、１４２４）と関連付けられた位置において、第３の接触を検出し、この場合、アカウントアフォーダンス（例えば、１４２４）は、複数の支払アカウントのうちの第２の支払アカウントに対応し、第２の支払アカウントは、第１の支払アカウントとは異なっている。
【０３６１】
第３の接触の検出に応答して、電子デバイスは、ディスプレイ上に、第４のユーザインタフェース（例えば、図１４Ｅのユーザインタフェース）を表示し、この場合、第４のユーザインタフェースは、複数の支払アカウントと関連付けられた支払カードを識別する第１の視覚的インジケータ（例えば、１４０２）、及び支払カードの複数の支払アカウントのうちの第２の支払アカウントを識別する第３の視覚的インジケータ（例えば、１４３０）を含む。第３の接触の検出に応答して、電子デバイスは、電子デバイスが、１つ以上の無線通信要素を介して第２の支払アカウントを使用して支払取引を行うことを可能にする（及び、電子デバイスが第１の支払アカウントを使用して支払取引を行うことを不可能にする）。
【０３６２】
一部の実施形態によれば、第１の接触の特性強度が強度閾値を下回るとの判定（例えば、軽い押圧）に従って、電子デバイスは、第１の視覚的インジケータ（例えば、１４０２）（及び、任意選択的に、第２の視覚的インジケータ１４０６）の表示を維持し、ディスプレイ上に第２のユーザインタフェースは表示しない。
【０３６３】
一部の実施形態によれば、１つ以上のアカウントアフォーダンス（例えば、１４２０、１４２２、１４２４）は、複数のアカウントアフォーダンスを含む。
【０３６４】
一部の実施形態によれば、現在選択されている支払アカウントの視覚的インジケータ（例えば、１４２０、１４２２、１４２４）は、第２のユーザインタフェース上で強調されている（例えば、異なる色、チェックマーク１４２８を付されて表示される、等）。
【０３６５】
一部の実施形態によれば、第２の接触を検出することは、第２の接触の特性強度が強度閾値を上回っていない（例えば、それが強い押圧ではない）と判定することを含む。
【０３６６】
一部の実施形態によれば、第２のユーザインタフェースは、支払アカウント削除アフォーダンス（例えば、１４１０）を含む。電子デバイスは、支払アカウント削除アフォーダンス（例えば、１４１０）のアクティベーションを検出する。支払アカウント削除アフォーダンス（例えば、１４１０）のアクティベーションの検出に応答して、電子デバイスは、デバイスの電子財布から支払カードの複数の支払アカウントを除去する（例えば、電子

デバイスからリンク解除する）。

【０３６７】

一部の実施形態によれば、支払アカウント削除アフォーダンス（例えば、１４１０）は、支払アカウント削除アフォーダンスを支払アカウント選択アフォーダンス（例えば、１４１２）から区別する、１つ以上の視覚的特徴を含む。

【０３６８】

一部の実施形態によれば、ディスプレイ上に第４のユーザインタフェースを表示している間に、電子デバイスは、タッチ感知面上のスワイプ入力（例えば、水平スワイプ入力）を検出する。一部の実施形態では、スワイプ入力は、強度閾値を下回る特性強度を有する。スワイプ入力の検出に応答して、電子デバイスは第５のユーザインタフェースを表示し、この場合、第５のユーザインタフェースは、既出の支払カードとは異なる第２の支払カードを識別する第４の視覚的インジケータを含む。

【０３６９】

一部の実施形態によれば、第１のユーザインタフェース、第２のユーザインタフェース、第３のユーザインタフェース、及び第４のユーザインタフェースは、単一の電子財布アプリケーションのユーザインタフェースであり、この単一の電子財布アプリケーションは、電子デバイスのユーザと関連付けられた複数の支払アカウントを含む。

【０３７０】

一部の実施形態によれば、電子デバイスは、非接触支払端末からアカウント情報のリクエストを受け取る。アカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、電子デバイスは、１つ以上の無線通信要素を介して、第２の支払アカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信し、この場合、アカウント情報により、非接触支払端末は支払取引を行うことが可能になる。一部の実施形態では、支払取引を行うことは、支払認証情報を検証するために及び／又は取引を完了するための認証を受け取るために、情報を１つ以上の金融機関に転送することを含む。例えば、支払アカウント情報は、ＮＦＣを使用して非接触支払端末に送信される。

【０３７１】

方法１５００に関して上述された処理（例えば、図１５）の詳細はまた、上記及び以下で説明される方法にも、類似の方式で適用可能であることに留意されたい。例えば、方法７００、９００、１１００、１３００、１７００及び１９００は、方法１５００を参照して上述された、様々な方法の特性のうちの１つ以上を含み得る。例えば、方法７００、９００、１１００、１３００、１７００、及び１９００の、電子財布、支払アカウント、ロイヤルティアカウント、アフォーダンス、及び入力は、方法１５００に記載した電子デバイスの、電子デバイス、支払アカウント、ロイヤルティアカウント、アフォーダンス、及び入力の特徴のうちの１つ以上を、任意選択的に有する。簡潔にするために、これらの詳細は、以下では繰り返さない。

【０３７２】

図１６Ａ～図１６Ｇは、一部の実施形態に係る、支払アカウントを１つ以上の電子デバイスにリンクするための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。この技法は、ディスプレイと１つ以上の無線通信要素（例えば、ＮＦＣアンテナ、ＷｉＦｉアンテナなどの１つ以上の無線アンテナ）とを備えた第１の電子デバイスにおいて実行される。これらの図のユーザインタフェースは、図１７の処理を含めた、以下で説明される処理を例示するために使用される。

【０３７３】

ユーザが、ユーザの電話機及びユーザのスマートウォッチなどの互いとペアリングされる２つのデバイスに、支払アカウントを追加することを望む場合がある。以下の説明では、支払アカウントを、ユーザの第１のデバイス（例えば、電話機）及びユーザの第２のデバイス（例えば、スマートウォッチ）に、便利で効率的な手法でリンクするための技法について記載する。

【０３７４】

図１６Ａでは、第１の電子デバイスは、支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクするための３つのアフォーダンスを含むユーザインタフェースを表示する。例えば、アフォーダンス１６０６がアクティベーションされると、リモートサーバから支払アカウントの詳細をインポートすることが可能になり、アフォーダンス１６０８がアクティベーションされると、支払アカウントの詳細を（例えば、表示されたキーパッドを使用して）手入力することが可能になり、アフォーダンス１６１０がアクティベーションされると、支払アカウントの詳細を、第１の電子デバイスのカメラセンサを使用して取り込むことが可能になる。

【０３７５】

図１６Ｂでは、第１の電子デバイスは、支払アカウントを表す支払アカウント表示１６１２を含むユーザインタフェースを表示してよい。デバイスは、支払アカウントのセキュリティコード（例えば、ＣＶＤ、ＣＶＶ、ＣＶＣなどの、数字によるカードセキュリティコード）を入力するようにユーザに促してよい。例えば、デバイスは、セキュリティコードをフィールド１６１４に入力するために、キーパッド１６１６を使用した入力を受け取ることができる。こうして、第１の電子デバイスは、支払カード（例えば、クレジットカード）と関連付けられた支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクさせる第１のリクエスト（例えば、ユーザ入力）を受け取る。

【０３７６】

第１のリクエストの受け取りに応答して、第１の電子デバイスは、支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクするための処理を開始する。図１６Ｂに示すように、一部の実施例では、支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクするための処理中、第１の電子デバイスは、支払カードのセキュリティコード（例えば、ＣＶＤ、ＣＶＶ、ＣＶＣなどの、数字によるカードセキュリティコード）の入力を受け取る。例えば、ユーザは、キーパッド１６１６を使用することによって、セキュリティコードをフィールド１６１４に入力できる。一部の実施例では、第１の電子デバイスは、支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要か否かを判定する。支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクするために更なる検証は必要ないとの判定に従って、第１の電子デバイスは、支払アカウントを電子デバイスにリンクする。図１６Ｃに示すように、支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの判定に従って、第１の電子デバイスは、支払アカウントをそれぞれのデバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの表示を提供する（例えば、第１の電子デバイスのディスプレイ上に、支払アカウントをリンクすることの承認が保留中であると表示する、又は検証用電話番号に電話をかけるようにユーザに要求する）。この実施例では、ユーザは、アフォーダンス１６１８をアクティベーションすることで、更なる検証を完了するための電話呼び出しを受け取ることができるか、又はユーザは、アフォーダンス１６２０をアクティベーションすることで、更なる検証を完了するための電子メールを受信できる。一部の実施形態では、支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの表示は、電子デバイスのディスプレイ上に表示される英数字による視覚的インジケータ（例えば、更なる検証ステップが追加のユーザ入力なしで開始されていることを示す「承認保留中」を含む英数字によるインジケータ）を含む。例えば、支払アカウントと関連付けられた金融機関（例えば、銀行）が、支払アカウントがそれぞれのデバイスにリンクされる前に、支払アカウントの詳細を確認する必要のある場合がある。検証は、金融機関との追加のユーザ対話を必要としても又はしなくてもよい。更なる検証のための判定及び処理に関する追加の詳細が、米国仮特許出願第６２／００４，８８６号、「ＵＳＥＲ　ＩＮＴＥＲＦＡＣＥ　ＦＯＲ　ＰＡＹＭＥＮＴＳ」に記載されている。この出願は、その全体が本明細書において参照により組み込まれる。

【０３７７】

図１６Ｄに示すように、（例えば、第１の電子デバイスへの支払アカウントのリンクに応答して）第１の電子デバイスへの支払アカウントのリンクが成功した後で、第１の電子デバイスは、ディスプレイ上に、第１の電子デバイスへの支払アカウントのリンクが成功

したとの表示１６３８、及び支払アカウントを第１の電子デバイスとは異なる第２の電子デバイスにリンクするための選択可能なアフォーダンス１６４０を、同時に表示する。

【０３７８】

第１の電子デバイスは、選択可能なアフォーダンス１６４０のアクティベーションを受け取る（例えば、ユーザは、選択可能なアフォーダンス１６４０を、このアフォーダンス上でタップすることによってアクティベーションする）。選択可能なアフォーダンス１６４０のアクティベーションの受け取りに応答して、第１の電子デバイスは、（例えば、図１６Ｅ～図１６Ｆに示すように）支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始する。

【０３７９】

一部の実施形態によれば、第２の電子デバイスは、第１の電子デバイスと一意的にペアリングされる。例えば、第２の電子デバイスは、第２の電子デバイスが第１の電子デバイスとのみペアリングされ他のいずれのデバイスともペアリングされないという点で、第１の電子デバイスと特別な関係を有する。

【０３８０】

一部の実施形態によれば、第１の電子デバイスは第２の電子デバイスとペアリングされ、第１の電子デバイスは第３の電子デバイスとペアリングされ、この場合、第１の電子デバイスと第２の電子デバイスとの間のペアリング関係は、第１の電子デバイスと第３の電子デバイスの間のペアリング関係とは異なる。

【０３８１】

一部の実施形態によれば、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始することは、（第１の電子デバイスが）１つ以上の無線通信要素を介して、支払カードと関連付けられた金融機関に、第２の電子デバイスが第１の電子デバイスと一意的にペアリングされるという表示を送信することを含む。例えば、第１の電子デバイスは、金融機関に、第２の電子デバイスが同じ支払アカウントにリンクされたばかりのデバイスと一意的にペアリングされることを示すセキュリティトークンを送る。

【０３８２】

一部の実施形態によれば、支払アカウントの第２の電子デバイスへのリンクの開始後、第１の電子デバイスは、第２の電子デバイスから、第２の電子デバイスの支払アカウントへのリンクが成功したとの確認通知を受け取る。支払アカウントとして第２の電子デバイスにリンクされた主要口座番号（例えば、Ｄｉｇｉｔａｌ　ＰＡＮ、ＤＰＡＮ、１６桁口座番号、又は他の口座番号、これらは、例えば、音声通話を介した人間が行う取引を完了するためには使用できない－デバイスを介して支払を電子的に完了するためだけに使用できる）は、支払アカウントとして第１の電子デバイスにリンクされた主要口座番号（例えば、Ｄｉｇｉｔａｌ　ＰＡＮ、ＤＰＡＮ、１６桁口座番号、又は他の口座番号）とは異なっている。図１６Ｇに示すように、一部の実施例では、第１の電子デバイスは、支払アカウントが第２の電子デバイスにリンクされたとの確認通知１６３６を表示する。

【０３８３】

一部の実施形態によれば、支払アカウントを（第１の電子デバイスに）リンクさせる第１のリクエスト（例えば、ユーザ入力）は、（例えば、ユーザによって手入力により提供される、サーバからインポートされる、又はユーザによって電子デバイスのカメラセンサを介して入力される）支払カードの口座番号を含み、この場合、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始することは、支払カードの口座番号の追加の入力（例えば、ユーザ入力）を必要とすることなく行われる。

【０３８４】

図１６Ｆに示すように、一部の実施形態によれば、第２のリクエスト（例えば、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクさせるものであり、これにより、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理が開始される）は、（例えば、ユーザが入力した）支払カードのセキュリティコード（例えば、ＣＶＤ、ＣＶＶ、ＣＶＣなどの、数字によるカードセキュリティコード）を含む。例えば、ユーザは、キーパッド１６２８を

使用して、セキュリティコードをフィールド１６３４に入力できる。

【０３８５】

一部の実施形態によれば、第１の電子デバイスは、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始する。

【０３８６】

一部の実施形態によれば、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクする処理を開始することは、（第１の電子デバイスが）１つ以上の無線通信要素を介して、支払カードと関連付けられた金融機関に、（１）クレジットカードの口座番号、及び（２）支払アカウントが第１の電子デバイスに既にリンクされたことを確認するセキュリティトークンを送信することを含む。一部の実施形態では、セキュリティトークンは、支払アカウントを第１のデバイスにリンクした後で、電子デバイスによって生成される。一部の実施形態では、セキュリティトークンは、支払アカウントを第１のデバイスにリンクした後で、金融機関から電子デバイスによって受信される。

【０３８７】

一部の実施形態によれば、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始することは、（第１の電子デバイスが）支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要か否かを判定すること、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証は必要ないとの判定に従って、（第１の電子デバイスが）支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始し、支払アカウントが第２の電子デバイスにリンクされているとの表示を（例えば、ディスプレイ上に）提供すること、及び、図１６Ｅに示すように、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの判定に従って、（第１の電子デバイスが）支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの表示１６４２を（例えば、ディスプレイ上に）提供すること、を含む。

【０３８８】

図１６Ｅに示すように、一部の実施形態によれば、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの表示は、支払アカウントをそれぞれのデバイスにリンクするためにユーザが行うべき追加のステップの視覚的表示を含む（例えば、電話すべき電話番号を有するアフォーダンス１６３０、電子メールを送るべき電子メールアドレスを有するアフォーダンス１６３２）。

【０３８９】

一部の実施形態によれば、第１の電子デバイスは、アカウントリンク情報を第２の電子デバイスに送信する。アカウントリンク情報により、第２の電子デバイスは、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクすることが可能になる。

【０３９０】

一部の実施形態によれば、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの判定に従って、第１の電子デバイスは、ディスプレイ上に、複数の通信方法アフォーダンスを表示し、この場合、各通信方法アフォーダンスは、検証通信のためのそれぞれの通信方法と関連付けられる。複数の通信方法アフォーダンスは、金融機関から受信した通信に基づいている。

【０３９１】

一部の実施形態によれば、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの判定に従って、第１の電子デバイスは、複数の通信方法アフォーダンスのうちのある通信方法アフォーダンスの選択を受け取り、通信方法アフォーダンスの選択の受け取りに応答して、第１の電子デバイスは、金融機関に、選択された通信方法アフォーダンスの対応する通信方法の表示を送信する。検証通信は、通信方法アフォーダンスに基づいている。

【０３９２】

一部の実施形態によれば、第１の電子デバイスは、第２の電子デバイスを使用した支払アカウントからの支払を認証する際に使用するために、金融機関から主要口座番号を受け

取る。主要口座番号は、クレジットカードの口座番号とは異なっている。第１の電子デバイスは、主要口座番号を第２の電子デバイスに割り当てる。

【０３９３】

一部の実施形態によれば、第２の電子デバイスの電子財布は、第２の電子デバイスのユーザと関連付けられた第２の支払アカウントに関する支払アカウント情報を含み、この場合、第２の支払アカウントは、既出の支払アカウントとは別である。

【０３９４】

一部の実施形態によれば、第１の電子デバイスは、第２の電子デバイスから、第２の電子デバイスがリンクされた支払アカウントを使用して支払取引に参加したとの表示を受け取る。例えば、第２の電子デバイスは、第２の電子デバイスの１つ以上の無線通信要素を使用して、リンクされた支払アカウントの支払アカウント情報を、第２の電子デバイスに近接した非接触支払端末に送信し、この場合、アカウント情報により、非接触支払端末は支払取引を行うことが可能になる。一部の実施形態では、支払取引を行うことは、支払認証情報を検証するために及び／又は取引を完了するための認証を受け取るために、情報を１つ以上の金融機関に転送することを含む。例えば、支払アカウント情報は、ＮＦＣを使用して非接触支払端末に送信される。

【０３９５】

図１７は、一部の実施形態に係る、支払アカウントを１つ以上の電子デバイスにリンクするための方法を示すフロー図である。方法１７００は、ディスプレイと１つ以上の無線通信要素（例えば、ＮＦＣアンテナ、ＷｉＦｉアンテナなどの１つ以上の無線アンテナ）とを備えたデバイス（例えば、１００、３００、５００）において実行される。方法１７００のいくつかの動作は組み合わせてもよく、いくつかの動作は順序を変更してもよく、かついくつかの動作は省略してもよい。

【０３９６】

以下において説明されるように、方法１７００は、一部の実施形態に係る、支払アカウントを１つ以上の電子デバイスにリンクするための直感的な方法を提供する。この方法は、支払アカウントを１つ以上の電子デバイスにリンクするユーザの認識的負担を軽減し、それによって、より効率的なヒューマン－マシンインタフェースを作り出す。バッテリ動作式のコンピューティングデバイスの場合には、ユーザがアカウントをより高速かつより効率的に選択することを可能にすることにより、電力が節約され、バッテリ充電の間隔が増す。

【０３９７】

ブロック１７０２では、第１の電子デバイスが、支払カード（例えば、クレジットカード）と関連付けられた支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクさせる第１のリクエスト（例えば、ユーザ入力）を受け取ること。

【０３９８】

ブロック１７０４では、第１のリクエストの受け取りに応答して、第１の電子デバイスは、支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクするための処理を開始する。

【０３９９】

ブロック１７０６では、（例えば、第１の電子デバイスへの支払アカウントのリンクに応答して）第１の電子デバイスへの支払アカウントのリンクが成功した後で、第１の電子デバイスは、ディスプレイ上に、第１の電子デバイスへの支払アカウントのリンクが成功したとの表示（例えば、１６３８）、及び支払アカウントを第１の電子デバイスとは異なる第２の電子デバイスにリンクするための選択可能なアフォーダンス（例えば、１６４０）を、同時に表示する。

【０４００】

ブロック１７０８では、第１の電子デバイスは、選択可能なアフォーダンス（例えば、１６４０）のアクティベーションを受け取る。

【０４０１】

ブロック１７１０では、選択可能なアフォーダンス（例えば、１６４０）のアクティベ

ーションの受け取りに応答して、第１の電子デバイスは、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始する。

【０４０２】

一部の実施形態によれば、第２の電子デバイスは、第１の電子デバイスと一意的にペアリングされる。

【０４０３】

一部の実施形態によれば、第１の電子デバイスは第２の電子デバイスとペアリングされ、第１の電子デバイスは第３の電子デバイスとペアリングされ、この場合、第１の電子デバイスと第２の電子デバイスとの間のペアリング関係は、第１の電子デバイスと第３の電子デバイスの間のペアリング関係とは異なる。

【０４０４】

一部の実施形態によれば、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始することは、（第１の電子デバイスが）１つ以上の無線通信要素を介して、支払カードと関連付けられた金融機関に、第２の電子デバイスが第１の電子デバイスと一意的にペアリングされるという表示を送信することを含む。

【０４０５】

一部の実施形態によれば、支払アカウントの第２の電子デバイスへのリンクの開始後、第１の電子デバイスは、第２の電子デバイスから、第２の電子デバイスの支払アカウントへのリンクが成功したとの確認通知を受け取る。支払アカウントとして第２の電子デバイスにリンクされた主要口座番号（例えば、Ｄｉｇｉｔａｌ　ＰＡＮ、ＤＰＡＮ、１６桁口座番号、又は他の口座番号、これらは、例えば、音声通話を介した人間が行う取引を完了するためには使用できない－デバイスを介して支払を電子的に完了するためだけに使用できる）は、支払アカウントとして第１の電子デバイスにリンクされた主要口座番号（例えば、Ｄｉｇｉｔａｌ　ＰＡＮ、ＤＰＡＮ、１６桁口座番号、又は他の口座番号）とは異なっている。

【０４０６】

一部の実施形態によれば、支払アカウントを（第１の電子デバイスに）リンクさせる第１のリクエスト（例えば、ユーザ入力）は、（例えば、ユーザによって手入力により提供される、サーバからインポートされる、又はユーザによって電子デバイスのカメラセンサを介して入力される）支払カードの口座番号を含み、この場合、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始することは、支払カードの口座番号の追加の入力（例えば、ユーザ入力）を必要とすることなく行われる。

【０４０７】

一部の実施形態によれば、第２のリクエストは、（例えば、ユーザが入力した）支払カードのセキュリティコード（例えば、ＣＶＤ、ＣＶＶ、ＣＶＣなどの、数字によるカードセキュリティコード）を含む。

【０４０８】

一部の実施形態によれば、第１の電子デバイスは、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始する。

【０４０９】

一部の実施形態によれば、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクする処理を開始することは、（第１の電子デバイスが）１つ以上の無線通信要素を介して、支払カードと関連付けられた金融機関に、（１）クレジットカードの口座番号、及び（２）支払アカウントが第１の電子デバイスに既にリンクされたことを確認するセキュリティトークンを送信することを含む。一部の実施形態では、セキュリティトークンは、支払アカウントを第１のデバイスにリンクした後で、電子デバイスによって生成される。一部の実施形態では、セキュリティトークンは、支払アカウントを第１のデバイスにリンクした後で、金融機関から電子デバイスによって受信される。

【０４１０】

一部の実施形態によれば、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処

理を開始することは、（第１の電子デバイスが）支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要か否かを判定すること、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証は必要ないとの判定に従って、（第１の電子デバイスが）支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始し、支払アカウントが第２の電子デバイスにリンクされているとの表示を（例えば、ディスプレイ上に）提供すること、及び、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの判定に従って、（第１の電子デバイスが）支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの表示（例えば、１６４２）を提供すること、を含む。

【０４１１】

一部の実施形態によれば、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの表示（例えば、１６４２）は、支払アカウントをそれぞれのデバイスにリンクするためにユーザが行うべき追加のステップの視覚的表示を含む（例えば、電話すべき電話番号を有するアフォーダンス１６３０、電子メールを送るべき電子メールアドレスを有するアフォーダンス１６３２）。

【０４１２】

一部の実施形態によれば、第１の電子デバイスは、アカウントリンク情報を第２の電子デバイスに送信する。アカウントリンク情報により、第２の電子デバイスは、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクすることが可能になる。

【０４１３】

一部の実施形態によれば、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの判定に従って、第１の電子デバイスは、ディスプレイ上に、複数の通信方法アフォーダンスを表示し、この場合、各通信方法アフォーダンスは、検証通信のためのそれぞれの通信方法と関連付けられる。複数の通信方法アフォーダンスは、金融機関から受信した通信に基づいている。

【０４１４】

一部の実施形態によれば、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの判定に従って、第１の電子デバイスは、複数の通信方法アフォーダンスのうちのある通信方法アフォーダンスの選択を受け取り、通信方法アフォーダンスの選択の受け取りに応答して、第１の電子デバイスは、金融機関に、選択された通信方法アフォーダンスの対応する通信方法の表示を送信する。検証通信は、通信方法アフォーダンスに基づいている。

【０４１５】

一部の実施形態によれば、第１の電子デバイスは、第２の電子デバイスを使用した支払アカウントからの支払を認証する際に使用するために、金融機関から主要口座番号を受け取る。主要口座番号は、クレジットカードの口座番号とは異なっている。第１の電子デバイスは、主要口座番号を第２の電子デバイスに割り当てる。

【０４１６】

一部の実施形態によれば、第２の電子デバイスの電子財布は、第２の電子デバイスのユーザと関連付けられた第２の支払アカウントに関する支払アカウント情報を含み、この場合、第２の支払アカウントは、既出の支払アカウントとは別である。

【０４１７】

一部の実施形態によれば、第１の電子デバイスは、第２の電子デバイスから、第２の電子デバイスがリンクされた支払アカウントを使用して支払取引に参加したとの表示を受け取る。例えば、第２の電子デバイスは、第２の電子デバイスの１つ以上の無線通信要素を使用して、リンクされた支払アカウントの支払アカウント情報を、第２の電子デバイスに近接した非接触支払端末に送信し、この場合、アカウント情報により、非接触支払端末は支払取引を行うことが可能になる。一部の実施形態では、支払取引を行うことは、支払認証情報を検証するために及び／又は取引を完了するための認証を受け取るために、情報を１つ以上の金融機関に転送することを含む。例えば、支払アカウント情報は、ＮＦＣを使

用して非接触支払端末に送信される。

【０４１８】

方法１７００に関して上述された処理（例えば、図１７）の詳細はまた、上記及び以下で説明される方法にも、類似の方式で適用可能であることに留意されたい。例えば、方法７００、９００、１１００、１３００、１５００及び１９００は、方法１７００を参照して上述された、様々な方法の特性のうちの１つ以上を含み得る。例えば、方法７００、９００、１１００、１３００、１５００、及び１９００の、電子財布、支払アカウント、ロイヤルティアカウント、アフォーダンス、及び入力は、方法１７００に記載した電子デバイスの、電子デバイス、支払アカウント、ロイヤルティアカウント、アフォーダンス、及び入力の特徴のうちの１つ以上を、任意選択的に有する。簡潔にするために、これらの詳細は、以下では繰り返さない。

【０４１９】

図１８Ａ～図１８Ｃは、一部の実施形態に係る、支払アカウントを電子デバイスにリンクするための例示的な技法及び例示的なユーザインタフェースを示す。この技法は、ディスプレイと１つ以上の無線通信要素（例えば、ＮＦＣアンテナ、ＷｉＦｉアンテナなどの１つ以上の無線アンテナ）とを備えた第１の電子デバイスにおいて実行される。これらの図のユーザインタフェースは、図１９の処理を含めた、以下で説明される処理を例示するために使用される。

【０４２０】

第１の電子デバイスは、ディスプレイ上に、第１の電子デバイスと関連付けられる（例えば、第１の電子デバイス及び第２の電子デバイスは、ペアリングされる、一意的にペアリングされる、同じユーザアカウントにサインインされる、又は、デバイスが支払アカウントと関連付けられる同じユーザを共有していることを示す何らかの他の方法でリンクされる）、第２の電子デバイス（例えば、スマートウォッチ）用の支払アカウントユーザインタフェース１８００を表示する。この場合、支払アカウントユーザインタフェース１８００を表示することは、第１の支払アカウントが第２の電子デバイスにリンクされていること及び第２の電子デバイスが第１の支払アカウントを使用した支払を可能にするように構成されていることを示す第１の支払アカウントに関する状態情報１８０２を伴う、第１の支払アカウントの表現１８０４、並びに、第２の支払アカウントが第１の電子デバイスにリンクされているが第２の電子デバイスにはリンクされていないことを示す第２の支払アカウントに関する状態情報１８０６を伴う、第２の支払アカウントの表現１８０８を、同時に表示することを含む。

【０４２１】

一部の実施形態によれば、第１の支払アカウントに関する状態情報（例えば、１８０２）は、第１の支払アカウントが第１の電子デバイスにリンクされることを更に示す。一部の実施形態によれば、第１の支払アカウントに関する状態情報（例えば、１８０２）は、第１の支払アカウントが第１の電子デバイスにリンクされないことを更に示す。

【０４２２】

一部の実施形態によれば、支払アカウントユーザインタフェース（例えば、１８００）は、電子デバイスのユーザと関連付けられており、第１の電子デバイスにリンクしておらず、第２の電子デバイスにリンクしていない、１つ以上のアカウントの表現（例えば、１８１４）（例えば、Ｓａｆａｒｉのオートコンプリートなどの別のアプリケーション又はデバイスのユーザにリンクされているｉＴｕｎｅｓアカウントに登録されているカード）を含む。例えば、ユーザは、１つ以上のアカウントのそれぞれの表現（例えば、１８１６又は１８１８）をアクティベーションして、対応する支払アカウントを、（例えば、アフォーダンス１８１８を使用して）第１の電子デバイスに又は（例えば、アフォーダンス１８１６を使用して）第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始できる。

【０４２３】

一部の実施形態によれば、支払アカウントユーザインタフェース１８００は、第２の支払アカウントと関連付けられたリンクアフォーダンス（例えば、１８１０）を含む。例え

ば、リンクアフォーダンス（例えば、１８１０）は、ユーザの電話機（第１の電子デバイス）は第２の支払アカウントを使用して支払を行うようにプロビジョニングされており、一方、ユーザのウォッチ（第２の電子デバイス）は第２の支払アカウントを使用して支払を行うようにプロビジョニングされていないことを示す。第１の電子デバイスは、リンクアフォーダンス（例えば、１８１０）のアクティベーションを検出する。リンクアフォーダンス（例えば、１８１０）のアクティベーションの検出に応答して、第１の電子デバイスは、ディスプレイ上に、第１の電子デバイスと第２の電子デバイスとの間で支払通知を同期するための同期選択肢（例えば、１８３８）を含む、第２の支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするためのユーザインタフェース（例えば、１８３０）を表示する。第１の電子デバイスは、同期選択肢のアクティベーション（例えば、ユーザが選択肢をフリップしてＯＮにする）を検出する。同期選択肢のアクティベーションの検出に応答して、第１の電子デバイスは、第１の電子デバイス及び第２の電子デバイスの両方において提示されることになる将来の支払通知（例えば、視覚的な、オーディオの、又は触覚的な通知）を同期する。

【０４２４】

一部の実施形態によれば、図１８Ｃに示すように、第１の電子デバイスは、第２の支払アカウントが第２の電子デバイスにリンクされているとの確認通知を受け取る。第２の支払アカウントが第２の電子デバイスにリンクされているとの確認通知の受け取りに応答して、第１の電子デバイスは、ディスプレイ上に、第２の支払アカウントが第２の電子デバイスにリンクされているとの確認通知１８４０を表示する。

【０４２５】

一部の実施形態によれば、支払アカウントユーザインタフェース１８００を表示することは、第２の電子デバイスにリンクされており第１の電子デバイスにはリンクされていない複数の支払アカウントの第１の複数の表現の第１のグループ、及び第１の電子デバイスにリンクされており第２の電子デバイスにはリンクされていない支払アカウントの第２の複数の表現の第２のグループを、同時に表示することを含む。

【０４２６】

一部の実施形態によれば、支払アカウントユーザインタフェース（例えば、１８００）は、第２の支払アカウントと関連付けられたリンクアフォーダンス（例えば、１８１０）を含む。例えば、リンクアフォーダンス（例えば、１８１０）は、ユーザの電話機（第１の電子デバイス）はその支払アカウントを使用して支払を行うようにプロビジョニングされており、一方、ユーザのウォッチ（第２の電子デバイス）はその支払アカウントを使用して支払を行うようにプロビジョニングされていないことを示す。第１の電子デバイスは、リンクアフォーダンス（例えば、１８１０）のアクティベーションを検出する。リンクアフォーダンス（例えば、１８１０）のアクティベーションの検出に応答して、第１の電子デバイスは、ディスプレイ上に、第２の支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするためのユーザインタフェース（例えば、１８３０）を表示する。ディスプレイ上に第２の支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするためのユーザインタフェースを表示している間に、第１の電子デバイスは、第２の支払アカウントの第２の電子デバイスへのリンクを開始させる（例えば、ユーザからの）リクエストを受け取り、この場合、第２の支払アカウントの第２の電子デバイスへのリンクを開始させるリクエストは、第２の支払アカウントの口座番号の入力（例えば、ユーザ入力）を含まない。

【０４２７】

一部の実施形態によれば、支払アカウントユーザインタフェース（例えば、１８００）は、第１の支払アカウントと関連付けられた第２のリンクアフォーダンス（例えば、１８２２）を含み、この場合、第１の支払アカウントは、第１の電子デバイスにリンクされていない。第１の電子デバイスは、第２のリンクアフォーダンス（例えば、１８２２）のアクティベーションを検出する。第２のリンクアフォーダンスのアクティベーションの検出に応答して、第１の電子デバイスは、ディスプレイ上に、第１の支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクするためのユーザインタフェースを表示する。ディスプレイ上に第

１の支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクするためのユーザインタフェースを表示している間に、電子デバイスは、第１の支払アカウントの第１の電子デバイスへのリンクを開始させる（例えば、ユーザからの）リクエストを受け取り、この場合、第１の支払アカウントの第１の電子デバイスへのリンクを開始させるリクエストは、第１の支払アカウントの口座番号の入力（例えば、ユーザ入力）を含まない。

【０４２８】

一部の実施形態によれば、第１の電子デバイスはハンドヘルドデバイス（例えば、スマートフォン）であり、第２の電子デバイスはウェアラブルデバイス（例えば、スマートウォッチ）である。

【０４２９】

一部の実施形態によれば、第１の電子デバイスはハンドヘルドデバイスであり、第２の電子デバイスは、第１の電子デバイスよりも大きいパーソナルコンピューティングデバイス（例えば、タブレット又はポータブルラップトップコンピュータ）である。

【０４３０】

一部の実施形態によれば、第１の電子デバイスと関連付けられる（例えば、第１の電子デバイス及び第２の電子デバイスは、ペアリングされる、一意的にペアリングされる、同じユーザアカウントにサインインされる、又は、デバイスが支払アカウントと関連付けられる同じユーザを共有していることを示す何らかの他の方法でリンクされる）第２の電子デバイス用の支払アカウントユーザインタフェース１８００は、第３の支払アカウントが第３の電子デバイスにリンクされていること及び第３の電子デバイスが第３の支払アカウントを使用した支払を可能にするように構成されていることを示す第３の支払アカウントに関する状態情報を伴う、第３の支払アカウントの表現を更に含む。第３の電子デバイスは、第１の電子デバイス及び第２の電子デバイスとは異なっている（例えば、テーブルなどの、第１の電子デバイスのユーザと関連付けられる別の電子デバイス）。

【０４３１】

図１９は、一部の実施形態に係る、支払アカウントを電子デバイスにリンクするための方法を示すフロー図である。方法１９００は、ディスプレイと１つ以上の無線通信要素（例えば、ＮＦＣアンテナ、ＷｉＦｉアンテナなどの１つ以上の無線アンテナ）とを備えたデバイス（例えば、１００、３００、５００）において実行される。方法１９００のいくつかの動作は組み合わせてもよく、いくつかの動作は順序を変更してもよく、かついくつかの動作は省略してもよい。

【０４３２】

以下において説明されるように、方法１９００は、支払アカウントを電子デバイスにリンクするための直感的な方法を提供する。この方法は、支払アカウントを電子デバイスにリンクするユーザの認識的負担を軽減し、それによって、より効率的なヒューマン－マシンインタフェースを作り出す。バッテリ動作式のコンピューティングデバイスの場合には、ユーザが支払アカウントを電子デバイスにより高速かつより効率的にリンクすることを可能にすることにより、電力が節約され、バッテリ充電の間隔が増す。

【０４３３】

ブロック１９０２では、第１の電子デバイスは、ディスプレイ上に、第１の電子デバイスと関連付けられる第２の電子デバイス用の支払アカウントユーザインタフェース（例えば、１８００）を表示する。

【０４３４】

ブロック１９０４では、支払アカウントユーザインタフェースを表示することは、ブロック１９０６における、第１の支払アカウントが第２の電子デバイスにリンクされていること及び第２の電子デバイスが第１の支払アカウントを使用した支払を可能にするように構成されていることを示す第１の支払アカウントに関する状態情報（例えば、１８０２）を伴う第１の支払アカウントの表現（例えば、１８０４）、並びに、ブロック１９０８における、第２の支払アカウントが第１の電子デバイスにリンクされているが第２の電子デバイスにはリンクされていないことを示す第２の支払アカウントに関する状態情報（例え

ば、１８０６）を伴う、第２の支払アカウントの表現（例えば、１８０８）を、同時に表示することを含む。

【０４３５】

一部の実施形態によれば、第１の支払アカウントに関する状態情報（例えば、１８０２）は、第１の支払アカウントが第１の電子デバイスにリンクされることを更に示す。一部の実施形態によれば、第１の支払アカウントに関する状態情報（例えば、１８０２）は、第１の支払アカウントが第１の電子デバイスにリンクされないことを更に示す。

【０４３６】

一部の実施形態によれば、支払アカウントユーザインタフェース（例えば、１８００）は、電子デバイスのユーザと関連付けられており、第１の電子デバイスにリンクしておらず、第２の電子デバイスにリンクしていない、１つ以上のアカウントの表現（例えば、１８１４）（例えば、Ｓａｆａｒｉのオートコンプリートなどの別のアプリケーション又はデバイスのユーザにリンクされているｉＴｕｎｅｓアカウントに登録されているカード）を含む。

【０４３７】

一部の実施形態によれば、支払アカウントユーザインタフェース（例えば、１８００）は、第２の支払アカウントと関連付けられたリンクアフォーダンス（例えば、１８１０）を含む。例えば、リンクアフォーダンス（例えば、１８１０）は、ユーザの電話機（第１の電子デバイス）は第２の支払アカウントを使用して支払を行うようにプロビジョニングされており、一方、ユーザのウォッチ（第２の電子デバイス）は第２の支払アカウントを使用して支払を行うようにプロビジョニングされていないことを示す。第１の電子デバイスは、リンクアフォーダンス（例えば、１８１０）のアクティベーションを検出する。リンクアフォーダンス（例えば、１８１０）のアクティベーションの検出に応答して、第１の電子デバイスは、ディスプレイ上に、第１の電子デバイスと第２の電子デバイスとの間で支払通知を同期するための同期選択肢（例えば、１８３８）を含む、第２の支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするためのユーザインタフェース（例えば、１８３０）を表示する。第１の電子デバイスは、同期選択肢のアクティベーション（例えば、ユーザが選択肢をフリップしてＯＮにする）を検出する。同期選択肢のアクティベーションの検出に応答して、第１の電子デバイスは、第１の電子デバイス及び第２の電子デバイスの両方において提示されることになる将来の支払通知（例えば、視覚的な、オーディオの、又は触覚的な通知）を同期する。

【０４３８】

一部の実施形態によれば、第１の電子デバイスは、第２の支払アカウントが第２の電子デバイスにリンクされているとの確認通知を受け取る。第２の支払アカウントが第２の電子デバイスにリンクされているとの確認通知の受け取りに応答して、第１の電子デバイスは、ディスプレイ上に、第２の支払アカウントが第２の電子デバイスにリンクされているとの確認通知（例えば、１８４０）を表示する。

【０４３９】

一部の実施形態によれば、支払アカウントユーザインタフェース（例えば、１８００）を表示することは、第２の電子デバイスにリンクされており第１の電子デバイスにはリンクされていない複数の支払アカウントの第１の複数の表現の第１のグループ、及び第１の電子デバイスにリンクされており第２の電子デバイスにはリンクされていない支払アカウントの第２の複数の表現の第２のグループを、同時に表示することを含む。

【０４４０】

一部の実施形態によれば、支払アカウントユーザインタフェース（例えば、１８００）は、第２の支払アカウントと関連付けられたリンクアフォーダンス（例えば、１８１０）を含む。例えば、リンクアフォーダンス（例えば、１８１０）は、ユーザの電話機（第１の電子デバイス）はその支払アカウントを使用して支払を行うようにプロビジョニングされており、一方、ユーザのウォッチ（第２の電子デバイス）はその支払アカウントを使用して支払を行うようにプロビジョニングされていないことを示す。第１の電子デバイスは

、リンクアフォーダンス（例えば、１８１０）のアクティベーションを検出する。リンクアフォーダンス（例えば、１８１０）のアクティベーションの検出に応答して、第１の電子デバイスは、ディスプレイ上に、第２の支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするためのユーザインタフェース（例えば、１８３０）を表示する。ディスプレイ上に第２の支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするためのユーザインタフェースを表示している間に、第１の電子デバイスは、第２の支払アカウントの第２の電子デバイスへのリンクを開始させる（例えば、ユーザからの）リクエストを受け取り、この場合、第２の支払アカウントの第２の電子デバイスへのリンクを開始させるリクエストは、第２の支払アカウントの口座番号の入力（例えば、ユーザ入力）を含まない。

【０４４１】

一部の実施形態によれば、支払アカウントユーザインタフェース（例えば、１８００）は、第１の支払アカウントと関連付けられた第２のリンクアフォーダンス（例えば、１８２２）を含み、この場合、第１の支払アカウントは、第１の電子デバイスにリンクされていない。第１の電子デバイスは、第２のリンクアフォーダンス（例えば、１８２２）のアクティベーションを検出する。第２のリンクアフォーダンスのアクティベーションの検出に応答して、第１の電子デバイスは、ディスプレイ上に、第１の支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクするためのユーザインタフェースを表示する。ディスプレイ上に第１の支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクするためのユーザインタフェースを表示している間に、電子デバイスは、第１の支払アカウントの第１の電子デバイスへのリンクを開始させる（例えば、ユーザからの）リクエストを受け取り、この場合、第１の支払アカウントの第１の電子デバイスへのリンクを開始させるリクエストは、第１の支払アカウントの口座番号の入力（例えば、ユーザ入力）を含まない。

【０４４２】

一部の実施形態によれば、第１の電子デバイスはハンドヘルドデバイス（例えば、スマートフォン）であり、第２の電子デバイスはウェアラブルデバイス（例えば、スマートウォッチ）である。

【０４４３】

一部の実施形態によれば、第１の電子デバイスはハンドヘルドデバイスであり、第２の電子デバイスは、第１の電子デバイスよりも大きいパーソナルコンピューティングデバイス（例えば、タブレット又はポータブルラップトップコンピュータ）である。

【０４４４】

一部の実施形態によれば、第１の電子デバイスと関連付けられる（例えば、第１の電子デバイス及び第２の電子デバイスは、ペアリングされる、一意的にペアリングされる、同じユーザアカウントにサインインされる、又は、デバイスが支払アカウントと関連付けられる同じユーザを共有していることを示す何らかの他の方法でリンクされる）第２の電子デバイス用の支払アカウントユーザインタフェース（例えば、１８００）は、第３の支払アカウントが第３の電子デバイスにリンクされていること及び第３の電子デバイスが第３の支払アカウントを使用した支払を可能にするように構成されていることを示す第３の支払アカウントに関する状態情報を伴う、第３の支払アカウントの表現を更に含む。第３の電子デバイスは、第１の電子デバイス及び第２の電子デバイスとは異なっている（例えば、テーブルなどの、第１の電子デバイスのユーザと関連付けられる別の電子デバイス）。

【０４４５】

方法１９００に関して上述された処理（例えば、図１９）の詳細はまた、上記及び以下で説明される方法にも、類似の方式で適用可能であることに留意されたい。例えば、方法７００、９００、１１００、１３００、１５００及び１７００は、方法１９００を参照して上述された、様々な方法の特性のうちの１つ以上を含み得る。例えば、方法７００、９００、１１００、１３００、１５００、及び１７００の、電子財布、支払アカウント、ロイヤルティアカウント、アフォーダンス、及び入力は、方法１９００に記載した電子デバイスの、電子デバイス、支払アカウント、ロイヤルティアカウント、アフォーダンス、及び入力の特徴のうちの１つ以上を、任意選択的に有する。簡潔にするために、これらの詳

細は、以下では繰り返さない。

【０４４６】

一部の実施形態によれば、図２０は、説明される様々な実施形態の原理に従って構成された電子デバイス２０００の、例示的な機能ブロック図を示す。一部の実施形態によれば、電子デバイス２０００の機能ブロックは、上述の技法を実施するように構成されている。デバイス２０００の機能ブロックは、説明される様々な実施例の原理を実行するために、ハードウェア、ソフトウェア、又はハードウェアとソフトウェアとの組み合わせによって、任意選択的に実装される。当業者であれば、図２０に記載された機能ブロックは、説明された様々な実施例の原理を実装するために、任意選択的に組み合わされるか、又はサブブロックに分離されることが理解される。したがって、本明細書における説明は、本明細書で説明されている機能ブロックの任意の可能な組み合わせ若しくは分離、又は更なる定義を任意選択的にサポートする。

【０４４７】

図２０に示されるように、電子デバイス２０００は、ディスプレイユニット２００２と、タッチ感知面ユニット２００４と、１つ以上の無線通信要素を含む１つ以上の無線通信ユニット２００６と、ディスプレイユニット２００２、タッチ感知面ユニット２００４、及び１つ以上の無線通信ユニット２００６に結合された処理ユニット２００８と、を含む。

【０４４８】

処理ユニット２００８は、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を（例えば、受け取りユニット２０１２によって）受け取ることと、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力の受け取りに応答して、ディスプレイユニット２００２上での、第１のアカウントを識別する第１の視覚的インジケータの表示を（例えば、表示可能化ユニット２０１０によって）可能にすること、及び電子デバイスが１つ以上の無線通信ユニット２００６を介して第１のアカウントを使用して取引に参加することを（例えば、可能化ユニット２０１４によって）可能にすることと、タッチ感知面ユニット２００４を介して第１の方向への１つ以上のスワイプ入力を（例えば、受け取りユニット２０１２によって）受け取ることと、１つ以上のユーザスワイプ入力を受け取ることに応答して、

ディスプレイユニット２００２上での、第２のアカウントを識別する第２の視覚的インジケータの表示を（例えば、表示可能化ユニット２０１０によって）可能にすること、及び電子デバイスが１つ以上の無線通信ユニット２００６を介して第２のアカウントを使用して取引に参加することを（例えば、可能化ユニット２０１４によって）可能にすることと、を行うように構成され、

この場合、第１の視覚的インジケータは、第２の視覚的インジケータとは異なっている。

【０４４９】

一部の実施形態によれば、第１のアカウントは支払アカウントであり、第２のアカウントはロイヤルティアカウントである。

【０４５０】

一部の実施形態によれば、第１のアカウントは支払アカウントであり、第２のアカウントは支払アカウントである。

【０４５１】

一部の実施形態では、処理ユニット２００８は、第２の視覚的インジケータの表示中、カードコード表示入力を（例えば、受け取りユニット２０１２によって）受け取ることと、カードコード表示入力の受け取りに応答して、ディスプレイユニット２００２上での、視覚的ロイヤルティカードコード情報の表示を（例えば表示可能化ユニット２０１０によって）可能にすることと、を行うように、更に構成されている。

【０４５２】

一部の実施形態では、処理ユニット２００８は、

第２の視覚的インジケータの表示中、非接触支払端末からアカウント情報のリクエスト

を（例えば、受け取りユニット２０１２によって）受け取ることと、アカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、１つ以上の無線通信ユニット２００６を介して、第２の支払アカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に（例えば、送信ユニット２０１６によって）送信することであって、アカウント情報により非接触支払端末が支払取引を行うことが可能になる、送信することと、を行うように、更に構成されている。

【０４５３】

一部の実施形態では、処理ユニット２００８は、第２の視覚的インジケータの表示中及び第２のアカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信した後で、１つ以上の無線通信ユニット２００６を介して、非接触支払端末から失敗連絡を（例えば、受け取りユニット２０１２によって）受け取ることと、失敗通信の受け取りに応答して、ディスプレイユニット２００２上での、第２のアカウントが受け付けられなかったとの表示の表示を（例えば、表示可能化ユニット２０１０によって）可能にすることと、電子デバイスが第２のアカウントとは異なるアカウントを使用して取引に参加することを可能にする選択肢を提供することと、を更に行うように構成されている。

【０４５４】

一部の実施形態では、処理ユニット２００８は、第２のアカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信した後で、ディスプレイユニット２００２上での、支払取引中に第１のアカウント及び第２のアカウントの両方が使用されたという表示の同時の表示を（例えば、表示可能化ユニット２０１０によって）可能にすることを行うように、更に構成されている。

【０４５５】

一部の実施形態では、電子デバイスが１つ以上の無線通信ユニット２００６を介して第２のアカウントを使用して取引に参加することを可能にすることは、デバイスを支払取引可能にするよう要求する第２のユーザ入力を受け取ることを必要としない。

【０４５６】

一部の実施形態では、電子デバイスが第１のアカウントを使用して取引に参加することを可能にすることは、第１のアカウントのカードの画像の下から現れる準備完了インジケータの第１のアニメーションを表示することを含み、この場合、準備完了インジケータは、デバイスが第１のアカウントを使用して支払取引に参加することが可能になっていることを示す。処理ユニット２００８は、１つ以上のユーザスワイプ入力の一部の受け取りに応答して、ディスプレイユニット２００２上での、準備完了インジケータをスライドさせて第１のアカウントのカードの画像の下に戻すための、準備完了インジケータの第２のアニメーションの表示を（例えば、表示可能化ユニット２０１０によって）可能にする。

【０４５７】

一部の実施形態では、ディスプレイユニット２００２上での、第１のアカウントを識別する第１の視覚的インジケータの表示を可能にすることは、電子デバイスが１つ以上の無線通信ユニット２００６を介して第１のアカウントを使用して取引に参加することを可能にする前に、行われる。また、ディスプレイユニット２００２上での、第２のアカウントを識別する第２の視覚的インジケータの表示を可能にすることは、電子デバイスが１つ以上の無線通信ユニット２００６を介して第２のアカウントを使用して取引に参加することを可能にする前に、行われる。

【０４５８】

一部の実施形態では、第１のアカウント及び第２のアカウントの一方は支払アカウントであり、第１のアカウント及び第２のアカウントの一方はロイヤルティアカウントであり、第１のアカウントの第１の視覚的インジケータは第１の寸法特徴を有し、第２のアカウントの第２の視覚的インジケータは、第１の寸法特徴とは異なる第２の寸法特徴を有する。

【０４５９】

一部の実施形態では、電子デバイスの電子財布は、電子デバイスのユーザと関連付けられた複数の支払アカウントに関する支払アカウント情報を含む。

【０４６０】
図７を参照して上述した動作は、任意選択的に、図１Ａ～図１Ｂ、図５Ｂ又は図２０に示す構成要素によって実装される。例えば、受け取り動作７０２、表示動作７０６、及び可能にする動作７０８は、イベントソート部１７０、イベント認識部１８０、及びイベント処理部１９０によって実装することができる。イベントソート部１７０のイベントモニタ１７１は、タッチ感知ディスプレイ１１２上の接触を検出し、イベントディスパッチャモジュール１７４は、イベント情報をアプリケーション１３６－１に配信する。アプリケーション１３６－１のそれぞれのイベント認識部１８０は、そのイベント情報を、それぞれのイベント定義１８６と比較して、タッチ感知面上の第１の位置での第１の接触が、ユーザインタフェース上のアフォーダンスのアクティベーションなどの、所定のイベント又はサブイベントに対応するか否かを判定する。それぞれの所定のイベント又はサブイベントが検出されると、イベント認識部１８０は、そのイベント又はサブイベントの検出に関連付けられた、イベント処理部１９０をアクティベーションする。イベント処理部１９０は、アプリケーション内部状態１９２を更新するために、データ更新部１７６又はオブジェクト更新部１７７を利用するか、又は呼び出すことができる。一部の実施形態では、イベント処理部１９０は、アプリケーションによって表示されるものを更新するために、それぞれのＧＵＩ更新部１７８にアクセスする。同様に、当業者にとって、他の処理が、図１Ａ～図１Ｂ又は図５Ｂに示される構成要素に基づいて、どのように実装され得るかは明らかであろう。

【０４６１】
一部の実施形態によれば、図２１は、説明される様々な実施形態の原理に従って構成された電子デバイス２１００の、例示的な機能ブロック図を示す。一部の実施形態によれば、電子デバイス２１００の機能ブロックは、上述の技法を実施するように構成されている。デバイス２１００の機能ブロックは、説明される様々な実施例の原理を実行するために、ハードウェア、ソフトウェア、又はハードウェアとソフトウェアとの組み合わせによって、任意選択的に実装される。当業者であれば、図２１に記載された機能ブロックは、説明された様々な実施例の原理を実装するために、任意選択的に組み合わされるか、又はサブブロックに分離されることが理解される。したがって、本明細書における説明は、本明細書で説明されている機能ブロックの任意の可能な組み合わせ若しくは分離、又は更なる定義を任意選択的にサポートする。

【０４６２】
図２１に示されるように、電子デバイス２１００は、ディスプレイユニット２１０２と、位置センサユニット２１０４と、ディスプレイユニット２１０２及び位置センサユニット２１０４に結合された処理ユニット２１０６と、を含む。

【０４６３】
処理ユニット２１０６は、位置センサユニット２０１４を使用して、現在の位置を（例えば、検出ユニット２１１０によって）検出することと、現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているか否かを（例えば、判定ユニット２１１２によって）判定することと、現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、ディスプレイユニット２１０２上での、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示の表示を（例えば、表示可能化ユニット２１０８によって）可能にすることと、現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとの判定に従って、ディスプレイユニット２１０２上での、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示及び第１のアカウントの視覚的表示の同時の表示を（例えば、表示可能化ユニット２０１８によって）可能にすることと、を行うように構成されており、この場合、デフォルトの支払アカウント及び第１のアカウントは電子デバイスにリンクされ、デフォルトの支払アカウント及び第１のアカウントは異なっている。

【０４６４】
一部の実施形態によれば、第１のアカウントは支払アカウントである。一部の実施形態によれば、第１のアカウントはロイヤルティアカウントである。

【０４６５】
一部の実施形態では、処理ユニット２１０６は、非接触支払端末から支払取引と関連付けられたリクエストを（例えば、受け取りユニット２１１４によって）受け取ることと、リクエストが第１のアカウントに対応する第１のアカウントタイプを使用する支払アカウント情報のリクエストを含むか否かを（例えば、判定ユニット２１１２によって）判定することと、現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとの判定に従って、及びリクエストが第１のアカウントタイプを使用する支払情報のリクエストを含むとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を使用して、第１のアカウントの支払アカウント情報を非接触支払端末に（例えば送信ユニット２１１６によって）送信することであって、第１のアカウントの支払アカウント情報により非接触支払端末が支払取引を行うことが可能になる、送信することと、を行うように、更に構成されている。
【０４６６】
一部の実施形態では、処理ユニット２１０６は、非接触支払端末から支払取引と関連付けられたリクエストを（例えば、受け取りユニット２１１４によって）受け取ることと、リクエストが第１のアカウントに対応する第１のアカウントタイプを使用する支払アカウント情報のリクエストを含むと（例えば、判定ユニット２１１２によって）判定することと、現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、１つ以上の無線通信要素を使用して、デフォルトの支払アカウントの支払アカウント情報を非接触支払端末に（例えば送信ユニット２１１６によって）送信することであって、デフォルトの支払アカウントの支払アカウント情報により非接触支払端末が支払取引を行うことが可能になる、送信することと、を行うように、更に構成されている。
【０４６７】
一部の実施形態では、第１のアカウントの視覚的表示は、デフォルトのアカウントの視覚的表示の上に表示され、この場合、第１のアカウントの視覚的表示は、デバイスが支払取引で使用するために追加のユーザ入力を必要とすることなく第１のアカウントを選択可能となっていることを示す。
【０４６８】
一部の実施形態では、処理ユニット２１０６は、位置センサユニット２１０４を使用して現在の位置を検出する前に、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を（例えば、受け取りユニット２１１４によって）受け取ることを行うように、更に構成されている。
【０４６９】
一部の実施形態では、位置センサユニット２０１４を使用して現在の位置を検出することは、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力の受け取りに応答している。
【０４７０】
一部の実施形態では、現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているか否かを判定することは、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力の受け取りに応答している。
【０４７１】
一部の実施形態では、現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことは、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介してデフォルトの支払アカウントを使用して取引に参加することが可能となる前に、デバイスが現在の位置が第１のアカウントと関連付けられていると判定することに失敗するときに生じる。
【０４７２】
一部の実施形態では、処理ユニット２１０６は、非接触支払端末からロイヤルティアカウント情報のリクエストを（例えば、受け取りユニット２１１４によって）受け取ることであって、第１のアカウントがロイヤルティアカウントである、受け取ることと、ロイヤルティアカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、現在の位置がデフォルトの支

払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、及び現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとのその後の判定に従って、１つ以上の無線通信要素を介して、第１のアカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に（例えば、送信ユニット２１１６によって）送信すること、及び１つ以上の無線通信要素を介して、デフォルトの支払アカウントの支払アカウント情報を非接触支払端末に（例えば、送信ユニット２１１６によって）送信することと、を行うように、更に構成されている。

【０４７３】

一部の実施形態では、処理ユニット２１０６は、非接触支払端末から支払取引と関連付けられたリクエストを（例えば、受け取りユニット２１１４によって）受け取ることと、リクエストが第１のアカウントに対応する第１のアカウントタイプを使用する支払アカウント情報のリクエストを含むと（例えば、判定ユニット２１１２によって）判定することであって、第１のアカウントがデフォルトの支払アカウントとは異なる支払アカウントである、判定することと、アカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、及び現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとのその後の判定に従って、１つ以上の無線通信要素を介して第１のアカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に（例えば、送信ユニット２１１６によって）送信するのを、取り止めること、及び１つ以上の無線通信要素を介して、デフォルトの支払アカウントの支払アカウント情報を非接触支払端末に（例えば、送信ユニット２１１６によって）送信することと、を行うように、更に構成されている。

【０４７４】

一部の実施形態では、処理ユニット２１０６は、非接触支払端末から支払取引と関連付けられたリクエストを（例えば、受け取りユニット２１１４によって）受け取ることであって、非接触支払端末から支払取引と関連付けられたリクエストを受け取る前に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示及び第１のアカウントの視覚的表示がディスプレイユニット２１０２上に同時に表示されていて、リクエストが第１のアカウントに対応する第１のアカウントタイプを使用する支払アカウント情報のリクエストを含み、第１のアカウントが第１のアカウントタイプの支払アカウントである、受信することと、アカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、及び現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとのその後の判定に従って、１つ以上の無線通信要素を介してデフォルトの支払アカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に（例えば、送信ユニット２１１６によって）送信するのを、取り止めること、及び１つ以上の無線通信要素を介して、第１の支払アカウントの支払アカウント情報を非接触支払端末に（例えば、送信ユニット２１１６によって）送信することと、を行うように、更に構成されている。

【０４７５】

一部の実施形態では、処理ユニット２１０６は、現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を介して、非接触支払端末から失敗連絡を（例えば、受け取りユニット２１１４によって）受け取ることと、失敗連絡の受け取りに応答して、１つ以上の無線通信要素を介してデフォルトの支払アカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に（例えば、送信ユニット２１１６によって）送信することと、を行うように、更に構成されている。

【０４７６】

一部の実施形態では、ディスプレイユニット２１０２上での、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示及び第１のアカウントの視覚的表示の同時の表示を可能にすることは、ディスプレイユニット２１０２上での、第１のアカウントの視覚的表示と重ねたデフォルトの支払アカウントの視覚的表示の同時の表示を可能にすることを含む。

【０４７７】

図９を参照して上述した動作は、任意選択的に、図１Ａ～図１Ｂ、図５Ｂ又は図２１に示す構成要素によって実装される。例えば、検出動作９０２、判定動作９０４、及び表示動作９０６は、イベントソート部１７０、イベント認識部１８０、及びイベント処理部１９０によって実装することができる。イベントソート部１７０のイベントモニタ１７１は、タッチ感知ディスプレイ１１２上の接触を検出し、イベントディスパッチャモジュール１７４は、イベント情報をアプリケーション１３６－１に配信する。アプリケーション１３６－１のそれぞれのイベント認識部１８０は、そのイベント情報を、それぞれのイベント定義１８６と比較して、タッチ感知面上の第１の位置での第１の接触が、ユーザインタフェース上のアフォーダンスのアクティベーションなどの、所定のイベント又はサブイベントに対応するか否かを判定する。それぞれの所定のイベント又はサブイベントが検出されると、イベント認識部１８０は、そのイベント又はサブイベントの検出に関連付けられた、イベント処理部１９０をアクティベーションする。イベント処理部１９０は、アプリケーション内部状態１９２を更新するために、データ更新部１７６又はオブジェクト更新部１７７を利用するか、又は呼び出すことができる。一部の実施形態では、イベント処理部１９０は、アプリケーションによって表示されるものを更新するために、それぞれのＧＵＩ更新部１７８にアクセスする。同様に、当業者にとって、他の処理が、図１Ａ～図１Ｂ又は図５Ｂに示される構成要素に基づいて、どのように実装され得るかは明らかであろう。

【０４７８】

一部の実施形態によれば、図２２は、説明される様々な実施形態の原理に従って構成された電子デバイス２２００の、例示的な機能ブロック図を示す。一部の実施形態によれば、電子デバイス２２００の機能ブロックは、上述の技法を実行するように構成されている。デバイス２２００の機能ブロックは、説明される様々な実施例の原理を実行するために、ハードウェア、ソフトウェア、又はハードウェアとソフトウェアとの組み合わせによって、任意選択的に実装される。当業者であれば、図２２に記載された機能ブロックは、説明された様々な実施例の原理を実装するために、任意選択的に組み合わされるか、又はサブブロックに分離されることが理解される。したがって、本明細書における説明は、本明細書で説明されている機能ブロックの任意の可能な組み合わせ若しくは分離、又は更なる定義を任意選択的にサポートする。

【０４７９】

図２２に示されるように、電子デバイス２２００は、ディスプレイユニット２２０２、並びに任意選択的に、タッチ感知面ユニット２２０４、位置センサユニット２２０６、及び１つ以上の無線通信ユニット２２０８を含む。電子デバイス２２００は、ディスプレイユニット２２０２に、並びに任意選択的に、タッチ感知面ユニット２２０４、位置センサユニット２２０６、及び１つ以上の無線通信ユニット２２０８に結合された、処理ユニット２２１０を含む。

【０４８０】

処理ユニット２２１０は、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を（例えば、受け取りユニット２２１６によって）受け取ることと、入力の受け取りに応答して、位置センサユニット２２０６を使用して、現在の位置を（例えば、検出ユニット２２２２によって）検出すること、１つ以上の支払基準のセットを満足しているか否かを（例えば、判定ユニット２２１４によって）判定することであって、１つ以上の支払基準のセットが、現在の位置が第１の支払アカウントと関連付けられているときに満足される基準を含む、判定すること、１つ以上の支払基準のセットが満足されていないとの判定に従って、ディスプレイユニット２２０２上での、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示の表示を（例えば、表示可能化ユニット２２１２によって）可能にすることであって、デフォルトの支払アカウントが第１の支払アカウントとは異なっている、可能にすること、及び１つ以上の支払基準のセットが満足されているとの判定に従って、ディスプレイ上での、第１の支払アカウントの視覚的表示の表示を可能にすることと、を行うように構成されている。

【０４８１】
一部の実施形態では、処理ユニット２２１０は、１つ以上の支払基準のセットが満足されているとの判定に従って、電子デバイスが１つ以上の無線通信ユニット２２０８を介して第１の支払アカウントを使用して取引に参加することを（例えば、可能化ユニット２２１８によって）可能にすることを行うように、更に構成されている。
【０４８２】
一部の実施形態では、処理ユニット２２１０は、１つ以上の支払基準のセットが満足されていないとの判定に従って、電子デバイスが１つ以上の無線通信ユニット２２０８を介してデフォルトの支払アカウントを使用して取引に参加することを可能にすることを行うように、更に構成されている。
【０４８３】
一部の実施形態では、処理ユニット２２１０は、１つ以上の支払基準のセットが満足されていないとの判定に従って、ディスプレイユニット２２０２上での、第１の支払アカウントの視覚的表示の表示を（例えば、表示可能化ユニット２２１２によって）可能にするのを取り止めることを行うように、更に構成されている。
【０４８４】
一部の実施形態では、処理ユニット２２１０は、（例えば、受け取りユニット２２１６によって）第１の方向への１つ以上の入力を受け取ることと、１つ以上の入力の受け取りに応答して、ディスプレイユニット２２０２上での、第１の支払アカウント及びデフォルトのアカウントとは異なる第２のアカウントを識別する第２の視覚的インジケータの表示を（例えば、表示可能化ユニット２２１２によって）可能にすること、及び電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第２のアカウントを使用して取引に参加することを（例えば、可能化ユニット２２１８によって）可能にすることと、を行うように、更に構成されている。
【０４８５】
一部の実施形態では、処理ユニット２２１０は、非接触支払端末からアカウント情報のリクエストを受け取ることと、アカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、１つ以上の無線通信ユニット２２０８を介して、それぞれの可能となったアカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に（例えば、送信ユニット２２２０によって）送信することであって、アカウント情報により非接触支払端末が支払取引を行うことが可能になる、送信することと、を行うように、更に構成されている。
【０４８６】
一部の実施形態では、１つ以上の基準のセットは、現在の位置で第１の支払アカウントを使用して取引するためにデバイスが認証されるときに満足される基準を含む。
【０４８７】
一部の実施形態では、処理ユニット２２１０は、現在の位置がロイヤルティアカウントと関連付けられていると（例えば、判定ユニット２２１４によって）判定し、ディスプレイユニット２２０２上での、ロイヤルティアカウントの視覚的表示と、支払アカウントのそれぞれの視覚的表示との、同時の表示を（例えば、表示可能化ユニット２２１２によって）可能にすることを行うように、更に構成されている。
【０４８８】
一部の実施形態では、処理ユニット２２１０は、デバイスを支払取引可能にするよう要求するユーザ入力を受け取る前に、支払アカウントを電子デバイスとリンクするリクエストを（例えば、受け取りユニット２２１６によって）受け取ることであって、リクエストが支払アカウントのアカウント情報を含む、受け取ることと、支払アカウントを電子デバイスと（例えば、リンクユニット２２２２によって）リンクすることと、支払アカウントと関連付けられた金融機関がユーザ入力不要で位置に基づき選択される支払アカウントを認証したと（例えば、判定ユニット２２１４を用いて）判定すること、及びユーザ入力不要で位置に基づき選択される支払アカウントをアクティベーションするユーザ入力を（例えば、受け取りユニット２２１６を用いて）受け取ることと、を行うように、更に構成さ

れている。

【０４８９】

一部の実施形態では、処理ユニット２２１０は、１つ以上の支払基準のセットが満足されているとの判定に従って、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第１の支払アカウントを使用して取引に参加することを（例えば、可能化ユニット２２１８によって）可能にすることと、非接触支払端末から支払取引と関連付けられたリクエストを（例えば、受け取りユニット２２１６によって）受け取ることと、リクエストが第１の支払アカウントとは異なる第２の支払アカウントに対応するアカウントタイプを使用する支払アカウント情報のリクエストを含むか否かを（例えば、判定ユニット２２１４によって）判定することと、リクエストが第２のアカウントタイプを使用する支払情報のリクエストを含むとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を使用して第２のアカウントの支払アカウント情報を非接触支払端末に送信するための認証を要求する通知を（例えば、提供ユニット２２２４によって）提供することであって、第２のアカウントの支払アカウント情報により非接触支払端末が支払取引を行うことが可能になる、提供することと、を行うように、更に構成されている。

【０４９０】

図１１を参照して上述した動作は、任意選択的に、図１Ａ～図１Ｂ、図５Ｂ又は図２２に示す構成要素によって実装される。例えば、受け取り動作１１０２、検出動作１１０６、及び判定動作１１０８は、イベントソート部１７０、イベント認識部１８０、及びイベント処理部１９０によって実装することができる。イベントソート部１７０のイベントモニタ１７１は、タッチ感知ディスプレイ１１２上の接触を検出し、イベントディスパッチャモジュール１７４は、イベント情報をアプリケーション１３６－１に配信する。アプリケーション１３６－１のそれぞれのイベント認識部１８０は、そのイベント情報を、それぞれのイベント定義１８６と比較して、タッチ感知面上の第１の位置での第１の接触が、ユーザインタフェース上のアフォーダンスのアクティベーションなどの、所定のイベント又はサブイベントに対応するか否かを判定する。それぞれの所定のイベント又はサブイベントが検出されると、イベント認識部１８０は、そのイベント又はサブイベントの検出に関連付けられた、イベント処理部１９０をアクティベーションする。イベント処理部１９０は、アプリケーション内部状態１９２を更新するために、データ更新部１７６又はオブジェクト更新部１７７を利用するか、又は呼び出すことができる。一部の実施形態では、イベント処理部１９０は、アプリケーションによって表示されるものを更新するために、それぞれのＧＵＩ更新部１７８にアクセスする。同様に、当業者にとって、他の処理が、図１Ａ～図１Ｂ又は図５Ｂに示される構成要素に基づいて、どのように実装され得るかは明らかであろう。

【０４９１】

一部の実施形態によれば、図２３は、説明される様々な実施形態の原理に従って構成された電子デバイス２３００の、例示的な機能ブロック図を示す。一部の実施形態によれば、電子デバイス２３００の機能ブロックは、上述の技法を実施するように構成されている。デバイス２３００の機能ブロックは、説明される様々な実施例の原理を実行するために、ハードウェア、ソフトウェア、又はハードウェアとソフトウェアとの組み合わせによって、任意選択的に実装される。当業者であれば、図２３に記載された機能ブロックは、説明された様々な実施例の原理を実装するために、任意選択的に組み合わされるか、又はサブブロックに分離されることが理解される。したがって、本明細書における説明は、本明細書で説明されている機能ブロックの任意の可能な組み合わせ若しくは分離、又は更なる定義を任意選択的にサポートする。

【０４９２】

図２３に示されるように、電子デバイス２３００は、ディスプレイユニット２３０２と、１つ以上の無線通信ユニット２３０４と、ディスプレイユニット２３０２に及び１つ以上の無線通信ユニット２３０４に結合された処理ユニット２３０６と、を含む。

【０４９３】

処理ユニット２３０６は、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を（例えば、受け取りユニット２３１０によって）受け取ることと、入力の受け取りに応答して、ディスプレイユニット２３０２上での、第１の支払アカウント及び第２の支払アカウントを含む複数の支払アカウントを表す支払表示の表示を可能にすることと、１つ以上の無線通信ユニット２３０４を介して、支払取引に対応するアカウント情報のリクエストを（例えば、受け取りユニット２３１０によって）受け取ることと、支払取引に対応するアカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、第１の支払アカウントに関する支払基準が満足されているとの判定に従って、１つ以上の無線通信ユニット２３０４を介して、第２の支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに、第１の支払アカウントに関するアカウント情報を（例えば、送信ユニット２３１４によって）送信すること、及び第２の支払アカウントに関する支払基準が満足されているとの判定に従って、１つ以上の無線通信ユニット２３０４を介して、第１の支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに、第２の支払アカウントに関するアカウント情報を（例えば、送信ユニット２３１４によって）送信することと、を行うように構成されている。

【０４９４】

一部の実施形態では、電子デバイスは、デフォルトの支払アカウント及び複数のデフォルトでない支払アカウントのうちの１つを使用した支払を可能にするように構成されている。デフォルトでない支払アカウントのうちのいずれに関しても支払基準が満足されていないとの判定に従って、処理ユニット２３０６は、１つ以上の無線通信要素を介して、デフォルトでない支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに、デフォルトの支払アカウントに関するアカウント情報を送信するように更に構成されている。

【０４９５】

一部の実施形態によれば、支払基準は、電子デバイスの現在の位置と関連付けられた判定に基づく基準を含む。一部の実施形態では、支払基準は、支払取引に対応するアカウント情報のリクエストに基づく基準を含む。

【０４９６】

一部の実施形態では、複数の支払アカウントを表す支払表示は、第１の支払アカウントの表示を含まず、また第２の支払アカウントの表示を含まない。

【０４９７】

一部の実施形態では、複数の支払アカウントは、ユーザ入力不要な位置に基づく選択をアクティベーションするユーザ入力を電子デバイスが受信している支払アカウントのみを含む。

【０４９８】

一部の実施形態では、複数の支払アカウントは、支払アカウントと関連付けられた金融機関が対応するユーザ入力不要で位置に基づき選択される支払アカウントを認証した支払アカウントのみを含む。

【０４９９】

一部の実施形態では、支払取引のために複数の支払アカウントのうちのどれを使用すべきかをデバイスがコンテキストに基づいて選択する、コンテキスト的選択の動作モードが、選択可能な支払選択肢として表される。

【０５００】

一部の実施形態では、電子デバイスは、タッチ感知面ユニットを任意選択的に含む。処理ユニット２３０６は、（例えば、受け取りユニット２３１０によって）第１の方向への１つ以上の入力を受け取ることと、ディスプレイユニット２３０２上で、複数の支払アカウントを表す支払表示を、複数の支払アカウントを表す支払表示とは異なる第２の視覚的インジケータと入れ替えることであって、第２の視覚的選択インジケータが第１の支払アカウント及び第２の支払アカウントとは異なる第３の支払アカウントを識別する、入れ替えること、並びに電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第３の支払アカウントを使用して取引に参加することを（例えば、可能化ユニット２３１２によって）可能にすることと、を行うように、更に構成されている。

【０５０１】
一部の実施形態では、複数の支払アカウントを表す支払表示は、複数の支払アカウントのうちの個々の支払アカウントの視覚的インジケータとは異なっている。
【０５０２】
図１３を参照して上述した動作は、任意選択的に、図１Ａ～図１Ｂ、図５Ｂ又は図２３に示す構成要素によって実装される。例えば、受信動作１３０２、表示動作１３０６及び受信動作１３０８は、イベントソート部１７０、イベント認識部１８０及びイベント処理部１９０によって実装することができる。イベントソート部１７０のイベントモニタ１７１は、タッチ感知ディスプレイ１１２上の接触を検出し、イベントディスパッチャモジュール１７４は、イベント情報をアプリケーション１３６－１に配信する。アプリケーション１３６－１のそれぞれのイベント認識部１８０は、そのイベント情報を、それぞれのイベント定義１８６と比較して、タッチ感知面上の第１の位置での第１の接触が、ユーザインタフェース上のアフォーダンスのアクティベーションなどの、所定のイベント又はサブイベントに対応するか否かを判定する。それぞれの所定のイベント又はサブイベントが検出されると、イベント認識部１８０は、そのイベント又はサブイベントの検出に関連付けられた、イベント処理部１９０をアクティベーションする。イベント処理部１９０は、アプリケーション内部状態１９２を更新するために、データ更新部１７６又はオブジェクト更新部１７７を利用するか、又は呼び出すことができる。一部の実施形態では、イベント処理部１９０は、アプリケーションによって表示されるものを更新するために、それぞれのＧＵＩ更新部１７８にアクセスする。同様に、当業者にとって、他の処理が、図１Ａ～図１Ｂ又は図５Ｂに示される構成要素に基づいて、どのように実装され得るかは明らかであろう。
【０５０３】
一部の実施形態によれば、図２４は、説明される様々な実施形態の原理に従って構成された電子デバイス２４００の、例示的な機能ブロック図を示す。一部の実施形態によれば、電子デバイス２４００の機能ブロックは、上述の技法を実施するように構成されている。デバイス２４００の機能ブロックは、説明される様々な実施例の原理を実行するために、ハードウェア、ソフトウェア、又はハードウェアとソフトウェアとの組み合わせによって、任意選択的に実装される。当業者であれば、図２４に記載された機能ブロックは、説明された様々な実施例の原理を実装するために、任意選択的に組み合わされるか、又はサブブロックに分離されることが理解される。したがって、本明細書における説明は、本明細書で説明されている機能ブロックの任意の可能な組み合わせ若しくは分離、又は更なる定義を任意選択的にサポートする。
【０５０４】
図２４に示されるように、電子デバイス２４００は、ディスプレイユニット２４０２と、タッチ感知面ユニット２４０４と、１つ以上の無線通信要素を含む１つ以上の無線通信ユニット２４０６と、ディスプレイユニット２４０２、接触の強度を検出するように構成されたタッチ感知面ユニット２４０４、及び１つ以上の無線通信ユニット２４０６に結合された処理ユニット２４０８と、を含む。
【０５０５】
処理ユニット２４０８は、第１の入力を（例えば、受け取りユニット２４２０によって）受け取ることと、第１の入力の受け取りに応答して、ディスプレイユニット２４０２上での、第１のユーザインタフェースの表示を（例えば、表示可能化ユニット２４１０によって）可能にすることであって、第１のユーザインタフェースが、複数の支払アカウントと関連付けられた支払カードを識別する第１の視覚的インジケータ、及び支払カードの複数の支払アカウントのうちの第１の支払アカウントを識別する第２の視覚的インジケータを含む、可能にすること、並びに電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第１の支払アカウントを使用して支払取引を行うことを（例えば、可能化ユニット２４２２によって）可能にすることと、タッチ感知面ユニット上の第１の接触を（例えば、検出ユニット２４１２によって）検出することと、第１の接触の特性強度が強度閾値を上回るか否か

を（例えば、検出ユニット２４１４によって）判定することと、第１の接触の特性強度が強度閾値を上回っているとの判定に従って、ディスプレイユニット２４０２上での、第２のユーザインタフェースの表示を（例えば、表示可能化ユニット２４１０によって）可能にすることであって、第２のユーザインタフェースによって第１の視覚的インジケータによって表された異なる支払アカウントの間で選択を行うことが可能になる、可能にすることと、を行うように構成されている。

【０５０６】

一部の実施形態では、第２のユーザインタフェースは支払アカウント選択アフォーダンスを含み、処理ユニット２４０８は、支払アカウント選択アフォーダンスに対応するタッチ感知面ユニット上の位置において、第２の接触を（例えば、検出ユニット１４１２によって）検出することと、第２の接触の検出に応答して、ディスプレイユニット２４０２上での、第３のユーザインタフェースの表示を（例えば、表示可能化ユニット２４１０によって）可能にすることであって、第３のユーザインタフェースが複数の支払アカウントのうちの少なくとも一部に対応する１つ以上のアカウントアフォーダンスを含む、可能にすることと、１つ以上のアカウントアフォーダンスのうちの１つのアカウントアフォーダンスと関連付けられたタッチ感知面ユニット上の位置において、（例えば、検出ユニット２４１２によって）第３の接触を検出することであって、アカウントアフォーダンスが複数の支払アカウントのうちの第２の支払アカウントに対応し、第２の支払アカウントが第１の支払アカウントとは異なっている、検出することと、第３の接触の検出に応答して、ディスプレイユニット２４０２上での、第４のユーザインタフェースの表示を（例えば、表示可能化ユニット２４１０によって）可能にすることであって、第４のユーザインタフェースが、複数の支払アカウントと関連付けられた支払カードを識別する第１の視覚的インジケータ、及び支払カードの複数の支払アカウントのうちの第２の支払アカウントを識別する第３の視覚的インジケータを含む、可能にすること、並びに電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第２の支払アカウントを使用して支払取引を行うことを（例えば、可能化ユニット２４２２によって）可能にすることと、を行うように、更に構成されている。

【０５０７】

一部の実施形態では、第２のユーザインタフェースは、複数の支払アカウントのうちの少なくとも一部に対応する１つ以上のアカウントアフォーダンスを含み、処理ユニット２４０８は、

１つ以上のアカウントアフォーダンスのうちの１つのアカウントアフォーダンスと関連付けられたタッチ感知面ユニット上の位置において、（例えば、検出ユニット２４１２によって）第２の接触を検出することであって、アカウントアフォーダンスが複数の支払アカウントのうちの第２の支払アカウントに対応し、第２の支払アカウントが第１の支払アカウントとは異なっている、検出することと、第２の接触の検出に応答して、ディスプレイユニット２４０２上での、第４のユーザインタフェースの表示を（例えば、表示可能化ユニット２４１０によって）可能にすることであって、第４のユーザインタフェースが、複数の支払アカウントと関連付けられた支払カードを識別する第１の視覚的インジケータ、及び支払カードの複数の支払アカウントのうちの第２の支払アカウントを識別する第３の視覚的インジケータを含む、可能にすること、並びに電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第２の支払アカウントを使用して支払取引を行うことを（例えば、可能化ユニット２４２２によって）可能にすることと、を行うように、更に構成されている。

【０５０８】

一部の実施形態では、処理ユニット２４０８は、第１の接触の特性強度が強度閾値を下回るとの判定に従って、ディスプレイユニット２４０２上での第２のユーザインタフェースの表示を（例えば、表示可能化ユニット２４１０を使用して）可能にすることなく、（例えば、表示可能化ユニット２４１０を使用した）第１の視覚的インジケータの表示の可能化を維持すること、を行うように、更に構成されている。

【０５０９】

一部の実施形態では、１つ以上のアカウントアフォーダンスは、複数のアカウントアフォーダンスを含む。一部の実施形態では、現在選択されている支払アカウントの視覚的インジケータは、強調されている。一部の実施形態では、第２の接触を検出することは、第２の接触の特性強度が強度閾値を上回っていないと判定することを含む。

【０５１０】

一部の実施形態では、第２のユーザインタフェースは、支払アカウント削除アフォーダンスを含み、処理ユニット２４０８は、支払アカウント削除アフォーダンスのアクティベーションを（例えば、検出ユニット２４１２によって）検出することと、支払アカウント削除アフォーダンスのアクティベーションの検出に応答して、デバイスの電子財布から支払カードの複数の支払アカウントを（例えば除去ユニットによって）除去することと、を行うように、更に構成されている。

【０５１１】

一部の実施形態では、支払アカウント削除アフォーダンスは、支払アカウント削除アフォーダンスを支払アカウント選択アフォーダンスから区別する、１つ以上の視覚的特徴を含む。

【０５１２】

一部の実施形態では、処理ユニット２４０８は、ディスプレイユニット上に第４のユーザインタフェースを表示している間に、

タッチ感知面ユニット２４０４上のスワイプ入力を（例えば、検出ユニット２４１２によって）検出することと、スワイプ入力の検出に応答して、ディスプレイユニット２４０２上での、第５のユーザインタフェースの表示を可能にすることであって、第５のユーザインタフェースが、既出の支払カードとは異なる第２の支払カードを識別する第４の視覚的インジケータを含む、可能にすることと、を行うように、更に構成されている。

【０５１３】

一部の実施形態では、第１のユーザインタフェース、第２のユーザインタフェース、第３のユーザインタフェース、及び第４のユーザインタフェースは、単一の電子財布アプリケーションのユーザインタフェースであり、この単一の電子財布アプリケーションは、電子デバイスのユーザと関連付けられた複数の支払アカウントを含む。

【０５１４】

一部の実施形態では、処理ユニット２４０８は、非接触支払端末からアカウント情報のリクエストを（例えば、受け取りユニット２４２０によって）受け取ることと、アカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、１つ以上の無線通信ユニット２４０６を介して、第２の支払アカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に（例えば、送信ユニット２４２４によって）送信することであって、アカウント情報により非接触支払端末が支払取引を行うことが可能になる、送信することと、を行うように、更に構成されている。

【０５１５】

図１５を参照して上述した動作は、任意選択的に、図１Ａ～図１Ｂ、図５Ｂ又は図２４に示す構成要素によって実装される。例えば、受け取り動作１５０２、表示動作１５０６、及び可能にする動作１５０８は、イベントソート部１７０、イベント認識部１８０、及びイベント処理部１９０によって実施することができる。イベントソート部１７０のイベントモニタ１７１は、タッチ感知ディスプレイ１１２上の接触を検出し、イベントディスパッチャモジュール１７４は、イベント情報をアプリケーション１３６－１に配信する。アプリケーション１３６－１のそれぞれのイベント認識部１８０は、そのイベント情報を、それぞれのイベント定義１８６と比較して、タッチ感知面上の第１の位置での第１の接触が、ユーザインタフェース上のアフォーダンスのアクティベーションなどの、所定のイベント又はサブイベントに対応するか否かを判定する。それぞれの所定のイベント又はサブイベントが検出されると、イベント認識部１８０は、そのイベント又はサブイベントの検出に関連付けられた、イベント処理部１９０をアクティベーションする。イベント処理部１９０は、アプリケーション内部状態１９２を更新するために、データ更新部１７６又

はオブジェクト更新部１７７を利用するか、又は呼び出すことができる。一部の実施形態では、イベント処理部１９０は、アプリケーションによって表示されるものを更新するために、それぞれのＧＵＩ更新部１７８にアクセスする。同様に、当業者にとって、他の処理が、図１Ａ～図１Ｂ又は図５Ｂに示される構成要素に基づいて、どのように実装され得るかは明らかであろう。

【０５１６】

一部の実施形態によれば、図２５は、説明される様々な実施形態の原理に従って構成された電子デバイス２５００の、例示的な機能ブロック図を示す。一部の実施形態によれば、電子デバイス２５００の機能ブロックは、上述の技法を実施するように構成されている。デバイス２５００の機能ブロックは、説明される様々な実施例の原理を実行するために、ハードウェア、ソフトウェア、又はハードウェアとソフトウェアとの組み合わせによって、任意選択的に実装される。当業者であれば、図２５に記載された機能ブロックは、説明された様々な実施例の原理を実装するために、任意選択的に組み合わされるか、又はサブブロックに分離されることが理解される。したがって、本明細書における説明は、本明細書で説明されている機能ブロックの任意の可能な組み合わせ若しくは分離、又は更なる定義を任意選択的にサポートする。

【０５１７】

図２５に示されるように、第１の電子デバイス２５００は、ディスプレイユニット２５０２と、１つ以上の無線通信ユニット２５０４と、ディスプレイユニット２５０２及び１つ以上の無線通信ユニット２５０４とに結合された処理ユニット２５０６と、を含む。

【０５１８】

処理ユニット２５０６は、支払カードと関連付けられた支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクさせる第１のリクエストを（例えば、受け取りユニット２５１０によって）受け取ることと、第１のリクエストの受け取りに応答して、支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクするための処理を（例えば、開始ユニット２５１２によって）開始することと、第１の電子デバイスへの支払アカウントのリンクが成功した後で、ディスプレイユニット２５０２上での、第１の電子デバイスへの支払アカウントのリンクが成功したとの表示、及び支払アカウントを第１の電子デバイスとは異なる第２の電子デバイスにリンクするための選択可能なアフォーダンスの、同時の表示を（例えば、表示可能化ユニット２５０８によって）可能にすることと、選択可能なアフォーダンスのアクティベーションを（例えば、受け取りユニット２５１０によって）受け取ることと、選択可能なアフォーダンスのアクティベーションの受け取りに応答して、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を（例えば、開始ユニット２５１２によって）開始することと、を行うように構成されている。

【０５１９】

一部の実施形態では、第２の電子デバイスは、第１の電子デバイスと一意的にペアリングされる。

【０５２０】

一部の実施形態では、第１の電子デバイスは第２の電子デバイスとペアリングされ、第１の電子デバイスは第３の電子デバイスとペアリングされ、この場合、第１の電子デバイスと第２の電子デバイスとの間のペアリング関係は、第１の電子デバイスと第３の電子デバイスの間のペアリング関係とは異なる。

【０５２１】

一部の実施形態では、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を（例えば、開始ユニット２５１２によって）開始することは、１つ以上の無線通信要素を介して、支払カードと関連付けられた金融機関に、第２の電子デバイスが第１の電子デバイスと一意的にペアリングされるという表示を（例えば、送信ユニット２５１４によって）送信することを含む。

【０５２２】

一部の実施形態では、処理ユニット２５０６は、支払アカウントの第２の電子デバイス

へのリンクの開始後、第２の電子デバイスから、第２の電子デバイスの支払アカウントへのリンクが成功したとの確認通知を（例えば受け取りユニット２５１０によって）受け取ることを行うように、更に構成されており、この場合、支払アカウントとして第２の電子デバイスにリンクされた主要口座番号は、支払アカウントとして第１の電子デバイスにリンクされた主要口座番号とは異なっている。

【０５２３】

一部の実施形態では、支払アカウントをリンクさせる第１のリクエストは支払カードの口座番号を含み、この場合、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始することは、支払カードの口座番号の追加の入力を必要とすることなく行われる。

【０５２４】

一部の実施形態では、第２のリクエストは、支払カードのセキュリティコードを含む。

【０５２５】

一部の実施形態では、処理ユニット２５０６は、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を（例えば、開始ユニット２５１２によって）開始することを行うように、更に構成されている。

【０５２６】

一部の実施形態によれば、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクする処理を（例えば開始処理２５１２によって）開始するために、処理ユニット２５０６は、１つ以上の無線通信ユニット２５０４を介して、支払カードと関連付けられた金融機関に、クレジットカードの口座番号、及び支払アカウントが第１の電子デバイスに既にリンクされたことを確認するセキュリティトークンを、（例えば、送信ユニット２５１４によって）送信することを行うように、更に構成されている。

【０５２７】

一部の実施形態では、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始することは、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要か否かを判定することと、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証は必要ないとの判定に従って、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始し、支払アカウントが第２の電子デバイスにリンクされているとの表示を提供することと、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの判定に従って、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの表示を提供することと、を含む。

【０５２８】

一部の実施形態では、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの表示は、支払アカウントをそれぞれのデバイスにリンクするためにユーザが行うべき追加のステップの視覚的表示を含む。

【０５２９】

一部の実施形態では、処理ユニット２５０６は、アカウントリンク情報を第２の電子デバイスに（例えば、送信ユニット２５１４によって）送信することであって、アカウントリンク情報により第２の電子デバイスが支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクすることが可能になる、送信すること、を行うように、更に構成されている。

【０５３０】

一部の実施形態では、処理ユニット２５０６は、支払アカウントをそれぞれのデバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの判定に従って、ディスプレイユニット２５０２上での、複数の通信方法アフォーダンスの表示を可能にすることであって、各通信方法アフォーダンスが検証通信のためのそれぞれの通信方法と関連付けられる、可能にすること、を行うように、更に構成されており、この場合、複数の通信方法アフォーダンスは、金融機関から受信した通信に基づいている。

【０５３１】

一部の実施形態では、処理ユニット２５０６は、支払アカウントを第２の電子デバイス

にリンクするために更なる検証が必要であるとの判定に従って、複数の通信方法アフォーダンスのうちのある通信方法アフォーダンスの選択を（例えば、受け取りユニット２５１０によって）受け取ることと、通信方法アフォーダンスの選択の受け取りに応答して、金融機関に、選択された通信方法アフォーダンスの対応する通信方法の表示を（例えば、送信ユニット２５１４によって）送信することと、を行い、この場合、検証通信は、通信方法アフォーダンスに基づいているように、構成されている。

【０５３２】

一部の実施形態では、処理ユニット２５０６は、第２の電子デバイスを使用した支払アカウントからの支払を認証する際に使用するために、金融機関から主要口座番号を（例えば、受け取りユニット２５１０によって）受け取ることであって、主要口座番号がクレジットカードの口座番号とは異なっている、受け取ることと、主要口座番号をそれぞれのデバイスに（例えば、割当ユニット２５１６によって）割り当てることと、を行うように、更に構成されている。

【０５３３】

一部の実施形態では、第２の電子デバイスの電子財布は、第２の電子デバイスのユーザと関連付けられた第２の支払アカウントに関する支払アカウント情報を含み、この場合、第２の支払アカウントは、既出の支払アカウントとは別である。

【０５３４】

一部の実施形態では、処理ユニット２５０６は、第２の電子デバイスから、第２の電子デバイスがリンクされた支払アカウントを使用して支払取引に参加したとの表示を（例えば、受け取りユニット２５１０によって）受け取ること、を行うように、更に構成されている。

【０５３５】

図１７を参照して上述した動作は、任意選択的に、図１Ａ～図１Ｂ、図５Ｂ又は図２５に示す構成要素によって実装される。例えば、受信動作１７０２、開始動作１７０４及び表示動作１７０６は、イベントソート部１７０、イベント認識部１８０及びイベント処理部１９０によって実装することができる。イベントソート部１７０のイベントモニタ１７１は、タッチ感知ディスプレイ１１２上の接触を検出し、イベントディスパッチャモジュール１７４は、イベント情報をアプリケーション１３６－１に配信する。アプリケーション１３６－１のそれぞれのイベント認識部１８０は、そのイベント情報を、それぞれのイベント定義１８６と比較して、タッチ感知面上の第１の位置での第１の接触が、ユーザインタフェース上のアフォーダンスのアクティベーションなどの、所定のイベント又はサブイベントに対応するか否かを判定する。それぞれの所定のイベント又はサブイベントが検出されると、イベント認識部１８０は、そのイベント又はサブイベントの検出に関連付けられた、イベント処理部１９０をアクティベーションする。イベント処理部１９０は、アプリケーション内部状態１９２を更新するために、データ更新部１７６又はオブジェクト更新部１７７を利用するか、又は呼び出すことができる。一部の実施形態では、イベント処理部１９０は、アプリケーションによって表示されるものを更新するために、それぞれのＧＵＩ更新部１７８にアクセスする。同様に、当業者にとって、他の処理が、図１Ａ～図１Ｂ又は図５Ｂに示される構成要素に基づいて、どのように実装され得るかは明らかであろう。

【０５３６】

一部の実施形態によれば、図２６は、説明される様々な実施形態の原理に従って構成された電子デバイス２６００の、例示的な機能ブロック図を示す。一部の実施形態によれば、電子デバイス２６００の機能ブロックは、上述の技法を実施するように構成されている。デバイス２６００の機能ブロックは、説明される様々な実施例の原理を実行するために、ハードウェア、ソフトウェア、又はハードウェアとソフトウェアとの組み合わせによって、任意選択的に実装される。当業者であれば、図２６に記載された機能ブロックは、説明された様々な実施例の原理を実装するために、任意選択的に組み合わされるか、又はサブブロックに分離されることが理解される。したがって、本明細書における説明は、本明

細書で説明されている機能ブロックの任意の可能な組み合わせ若しくは分離、又は更なる定義を任意選択的にサポートする。

【０５３７】

図２６に示されるように、第１の電子デバイス２６００は、ディスプレイユニット２６０２と、１つ以上の無線通信ユニット２６０４と、ディスプレイユニット２６０２及び１つ以上の無線通信ユニット２６０４とに結合された処理ユニット６５０６と、を含む。

【０５３８】

処理ユニット２６０６は、ディスプレイユニット２６０２上での、第１の電子デバイスと関連付けられる第２の電子デバイス用の支払アカウントユーザインタフェースの表示を（例えば、表示可能ユニット２６０８によって）可能にすることであって、第１の支払アカウントが第２の電子デバイスにリンクされていること及び第２の電子デバイスが第１の支払アカウントを使用した支払を可能にするように構成されていることを示す第１の支払アカウントに関する状態情報を伴う、第１の支払アカウントの表現と、第２の支払アカウントが第１の電子デバイスにリンクされているが第２の電子デバイスにはリンクされていないことを示す第２の支払アカウントに関する状態情報を伴う、第２の支払アカウントの表現と、の同時の表示を可能にすることを含む、支払アカウントユーザインタフェースの表示を可能にすること、を行うように構成されている。

【０５３９】

一部の実施形態では、第１の支払アカウントに関する状態情報は、第１の支払アカウントが第１の電子デバイスにリンクされることを更に示す。

【０５４０】

一部の実施形態では、支払アカウントユーザインタフェースは、電子デバイスのユーザと関連付けられており、第１の電子デバイスにリンクしておらず、第２の電子デバイスにリンクしていない、１つ以上のアカウントの表現を含む。

【０５４１】

一部の実施形態では、支払アカウントユーザインタフェースは、第２の支払アカウントと関連付けられたリンクアフォーダンスを含み、この場合、処理ユニット２６０６は、リンクアフォーダンスのアクティベーションを（例えば、検出ユニット２６１０によって）検出することと、リンクアフォーダンスのアクティベーションの検出に応答して、ディスプレイユニット２６０２上での、第１の電子デバイスと第２の電子デバイスとの間で支払通知を同期するための同期選択肢（例えば、１８３８）を含む、第２の支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするためのユーザインタフェースの表示を可能にすることと、同期選択肢のアクティベーションを（例えば、検出ユニット２６１０によって）検出することと、同期選択肢のアクティベーションの検出に応答して、第１の電子デバイス及び第２の電子デバイスの両方において提示されることになる将来の支払通知を（例えば、同期ユニット２６１２によって）同期することと、を行うように、更に構成されている。

【０５４２】

一部の実施形態では、支払アカウントユーザインタフェースの表示を可能にすることは、第２の電子デバイスにリンクされており第１の電子デバイスにはリンクされていない複数の支払アカウントの第１の複数の表現の第１のグループ、及び第１の電子デバイスにリンクされており第２の電子デバイスにはリンクされていない支払アカウントの第２の複数の表現の第２のグループの、同時の表示を可能にすることを含む。

【０５４３】

一部の実施形態では、支払アカウントユーザインタフェースは、第２の支払アカウントと関連付けられたリンクアフォーダンスを含み、この場合、処理ユニット２６０６は、リンクアフォーダンスのアクティベーションを（例えば、検出ユニット２６１０によって）検出することと、リンクアフォーダンスのアクティベーションの検出に応答して、ディスプレイユニット２６０２上での、第２の支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするためのユーザインタフェースの表示を（例えば、表示可能化ユニット２６０８によって）可能にすることと、ディスプレイユニット２６０２上に第２の支払アカウントを第２の

電子デバイスにリンクするためのユーザインタフェースを表示している間に、第２の支払アカウントの第２の電子デバイスへのリンクを開始させるリクエストを（例えば、受け取りユニット２６１４によって）受け取ることであって、第２の支払アカウントの第２の電子デバイスへのリンクを開始させるリクエストが第２の支払アカウントの口座番号の入力を含まない、受け取ることと、を行うように、更に構成されている。

【０５４４】

一部の実施形態では、支払アカウントユーザインタフェースは、第１の支払アカウントと関連付けられた第２のリンクアフォーダンスを含み、この場合、第１の支払アカウントは第１の電子デバイスにリンクされておらず、またこの場合、処理ユニット２６０６は、第２のリンクアフォーダンスのアクティベーションを（例えば、検出ユニット２６１０によって）検出することと、第２のリンクアフォーダンスのアクティベーションの検出に応答して、ディスプレイユニット２６０２上での、第１の支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクするためのユーザインタフェースの表示を（例えば、表示可能化ユニット２６０８によって）可能にすることと、ディスプレイユニット２６０２上に第１の支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクするためのユーザインタフェースを表示している間に、第１の支払アカウントの第１の電子デバイスへのリンクを開始させるリクエストを（例えば、受け取りユニット２６１４によって）受け取ることであって、第１の支払アカウントの第１の電子デバイスへのリンクを開始させるリクエストが第１の支払アカウントの口座番号の入力を含まない、受け取ることと、を行うように、更に構成されている。

【０５４５】

一部の実施形態では、第１の電子デバイスはハンドヘルドデバイスであり、第２の電子デバイスはウェアラブルデバイスである。

【０５４６】

一部の実施形態では、第１の電子デバイスはハンドヘルドデバイスであり、第２の電子デバイスは、第１の電子デバイスよりも大きいパーソナルコンピューティングデバイスである。

【０５４７】

一部の実施形態では、第１の電子デバイスと関連付けられる第２の電子デバイス用の支払アカウントユーザインタフェースは、第３の支払アカウントが第３の電子デバイスにリンクされていること及び第３の電子デバイスが第３の支払アカウントを使用した支払を可能にするように構成されていることを示す第３の支払アカウントに関する状態情報を伴う、第３の支払アカウントの表現であって、第３の電子デバイスが第１の電子デバイス及び第２の電子デバイスとは異なっている、第３の支払アカウントの表現を更に含む。

【０５４８】

図１９を参照して上述した動作は、任意選択的に、図１Ａ～図１Ｂ、図５Ｂ又は図２６に示す構成要素によって実装される。例えば、表示動作１９０２は、イベントソート部１７０、イベント認識部１８０、及びイベント処理部１９０により実装され得る。イベントソート部１７０のイベントモニタ１７１は、タッチ感知ディスプレイ１１２上の接触を検出し、イベントディスパッチャモジュール１７４は、イベント情報をアプリケーション１３６－１に配信する。アプリケーション１３６－１のそれぞれのイベント認識部１８０は、そのイベント情報を、それぞれのイベント定義１８６と比較して、タッチ感知面上の第１の位置での第１の接触が、ユーザインタフェース上のアフォーダンスのアクティベーションなどの、所定のイベント又はサブイベントに対応するか否かを判定する。それぞれの所定のイベント又はサブイベントが検出されると、イベント認識部１８０は、そのイベント又はサブイベントの検出に関連付けられた、イベント処理部１９０をアクティベーションする。イベント処理部１９０は、アプリケーション内部状態１９２を更新するために、データ更新部１７６又はオブジェクト更新部１７７を利用するか、又は呼び出すことができる。一部の実施形態では、イベント処理部１９０は、アプリケーションによって表示されるものを更新するために、それぞれのＧＵＩ更新部１７８にアクセスする。同様に、当業者にとって、他の処理が、図１Ａ～図１Ｂ又は図５Ｂに示される構成要素に基づいて、

どのように実装され得るかは明らかであろう。

【０５４９】

例示的な方法、非一時的コンピュータ可読記憶媒体、システム、及び電子デバイスが、次の付記１から２１６に記載される。

１

ディスプレイ、タッチ感知面、及び１つ以上の無線通信要素を備えた電子デバイスにおいて、

デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取ることと、

デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力の受け取りに応答して、

ディスプレイ上に、第１のアカウントを識別する第１の視覚的インジケータを表示すること、及び

電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第１のアカウントを使用して取引に参加することを可能にすることと、

タッチ感知面を介して第１の方向への１つ以上のスワイプ入力を受け取ることと、

１つ以上のユーザスワイプ入力を受け取ることに応答して、

ディスプレイ上に、第２のアカウントを識別する第２の視覚的インジケータを表示すること、及び

電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第２のアカウントを使用して取引に参加することを可能にするための手段と、を備え、

第１の視覚的インジケータが第２の視覚的インジケータとは異なっている、電子デバイス。

２

第１のアカウントが支払アカウントであり、第２のアカウントがロイヤルティアカウントである、付記１に記載の方法。

３

第１のアカウント及び第２のアカウントが支払アカウントである、付記１に記載の方法。

４

第２の視覚的インジケータの表示中、

カードコード表示入力を受け取ることと、

カードコード表示入力の受け取りに応答して、ディスプレイ上に、視覚的ロイヤルティカードコード情報を表示することと、

を更に含む、付記２に記載の方法。

５

第２の視覚的インジケータの表示中、

非接触支払端末からアカウント情報のリクエストを受け取ることと、

アカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、１つ以上の無線通信要素を介して、第２のアカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信することであって、アカウント情報により非接触支払端末が支払取引を行うことが可能になる、ことと、

を更に含む、付記１から４のいずれか１項に記載の方法。

６

第２の視覚的インジケータの表示中及び第２のアカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信した後で、

１つ以上の無線通信要素を介して、非接触支払端末から失敗連絡を受け取ることと、

失敗連絡の受け取りに応答して、

ディスプレイ上に、第２のアカウントが受け付けられなかったとの表示を表示すること、及び

電子デバイスが第２のアカウントとは異なるアカウントを使用して取引に参加することを可能にする選択肢を提供することと、

を更に含む、付記５に記載の方法。

７
第２のアカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信した後で、ディスプレイ上に、支払取引中に第１のアカウント及び第２のアカウントの両方が使用されたという表示を同時に表示すること
を更に含む、付記５又は６に記載の方法。
８
電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第２のアカウントを使用して取引に参加することを可能にすることが、デバイスを支払取引可能にするよう要求する第２のユーザ入力を受け取ることを必要としない、付記１から７のいずれか１項に記載の方法。
９
電子デバイスが第１のアカウントを使用して取引に参加することを可能にすることが、第１のアカウントのカードの画像の下から現れる準備完了インジケータの第１のアニメーションを表示することを含み、準備完了インジケータが、デバイスが第１のアカウントを使用して支払取引に参加することが可能になっていることを示す、付記１から８のいずれか１項に記載の方法であって、
１つ以上のユーザスワイプ入力の一部の受け取りに応答して、準備完了インジケータをスライドさせて第１のアカウントのカードの画像の下に戻すための、準備完了インジケータの第２のアニメーションを表示することを更に含む、方法。
１０
ディスプレイ上に、第１のアカウントを識別する第１の視覚的インジケータを表示することが、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第１のアカウントを使用して取引に参加することを可能にする前に行われ、
ディスプレイ上に、第２のアカウントを識別する第２の視覚的インジケータを表示することが、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第２のアカウントを使用して取引に参加することを可能にする前に行われる、
付記１から４のいずれか１項に記載の方法。
１１
第１のアカウント及び第２のアカウントの一方が支払アカウントであり、第１のアカウント及び第２のアカウントの一方がロイヤルティアカウントであり、
第１のアカウントの第１の視覚的インジケータが第１の寸法特徴を有し、
第２のアカウントの第２の視覚的インジケータが、第１の寸法特徴とは異なる第２の寸法特徴を有する、
付記１から４のいずれか１項に記載の方法。
１２
電子デバイスの電子財布が、電子デバイスのユーザと関連付けられた複数の支払アカウントに関する支払アカウント情報を含む、付記１から１１のいずれか１項に記載の方法。
１３
ディスプレイと位置センサとを備えた電子デバイスにおいて、
位置センサを使用して、現在の位置を検出することと、
現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているか否かを判定することと、
現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示を表示することと、
現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとの判定に従って、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示及び第１のアカウントの視覚的表示を同時に表示することと、を含み、
デフォルトの支払アカウント及び第１のアカウントが電子デバイスにリンクされ、デフォルトの支払アカウント及び第１のアカウントが異なっている、方法。
１４
第１のアカウントが支払アカウントである、付記１３に記載の方法。

１５
第１のアカウントがロイヤルティアカウントである、付記１３に記載の方法。
１６
非接触支払端末から支払取引と関連付けられたリクエストを受け取ることと、
リクエストが第１のアカウントに対応する第１のアカウントタイプを使用する支払アカウント情報のリクエストを含むか否かを判定することと、
現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとの判定に従って、及びリクエストが第１のアカウントタイプを使用する支払情報のリクエストを含むとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を使用して、第１のアカウントの支払アカウント情報を非接触支払端末に送信することであって、第１のアカウントの支払アカウント情報により非接触支払端末が支払取引を行うことが可能になる、ことと、
を更に含む、付記１３又は１４に記載の方法。
１７
非接触支払端末から支払取引と関連付けられたリクエストを受け取ることと、
リクエストが第１のアカウントに対応する第１のアカウントタイプを使用する支払アカウント情報のリクエストを含むと判定することと、
現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、１つ以上の無線通信要素を使用して、デフォルトの支払アカウントの支払アカウント情報を非接触支払端末に送信することであって、デフォルトの支払アカウントの支払アカウント情報により非接触支払端末が支払取引を行うことが可能になる、ことと、
を更に含む、付記１３から１５のいずれか１項に記載の方法。
１８
第１のアカウントの視覚的表示が、デフォルトのアカウントの視覚的表示の上に表示され、第１のアカウントの視覚的表示が、デバイスが支払取引で使用するために追加のユーザ入力を必要とすることなく第１のアカウントを選択可能となっていることを示す、付記１３から１７のいずれか１項に記載の方法。
１９
位置センサを使用して現在の位置を検出する前に、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取ること
を含む、付記１３から１８のいずれか１項に記載の方法。
２０
位置センサを使用して現在の位置を検出することが、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力の受け取りに応答している、付記１９に記載の方法。
２１
現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているか否かを判定することが、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力の受け取りに応答している、付記１３から２０のいずれか１項に記載の方法。
２２
現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことが、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介してデフォルトの支払アカウントを使用して取引に参加することが可能となる前に、デバイスが現在の位置が第１のアカウントと関連付けられていると判定することに失敗するときに生じる、付記１３から２１のいずれか１項に記載の方法。
２３
非接触支払端末からロイヤルティアカウント情報のリクエストを受け取ることであって、第１のアカウントがロイヤルティアカウントである、ことと、
ロイヤルティアカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、及び現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとのその後の判定に従って

、
１つ以上の無線通信要素を介して、第１のアカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信すること、及び
１つ以上の無線通信要素を介して、デフォルトの支払アカウントの支払アカウント情報を非接触支払端末に送信することと、
を更に含む、付記１３から１５のいずれか１項に記載の方法。
２４
非接触支払端末から支払取引と関連付けられたリクエストを受け取ることと、
リクエストが第１のアカウントに対応する第１のアカウントタイプを使用する支払アカウント情報のリクエストを含むと判定することであって、第１のアカウントがデフォルトの支払アカウントとは異なる支払アカウントである、ことと、
アカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、及び現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとのその後の判定に従って、
１つ以上の無線通信要素を介して、第１のアカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信することを取り止めること、及び
１つ以上の無線通信要素を介して、デフォルトの支払アカウントの支払アカウント情報を非接触支払端末に送信することと、
を更に含む、付記１３から１５のいずれか１項に記載の方法。
２５
非接触支払端末から支払取引と関連付けられたリクエストを受け取ることであって、
非接触支払端末から支払取引と関連付けられたリクエストを受け取る前に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示及び第１のアカウントの視覚的表示がディスプレイ上に同時に表示されていて、
リクエストが第１のアカウントに対応する第１のアカウントタイプを使用する支払アカウント情報のリクエストを含み、
第１のアカウントが第１のアカウントタイプの支払アカウントである、受信することと、
アカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、及び現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとのその後の判定に従って、
１つ以上の無線通信要素を介して、デフォルトの支払アカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信することを取り止めること、及び
１つ以上の無線通信要素を介して、第１の支払アカウントの支払アカウント情報を非接触支払端末に送信することと、
を更に含む、付記１３から１５のいずれか１項に記載の方法。
２６
現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとの判定に従って、
１つ以上の無線通信要素を介して、非接触支払端末から失敗連絡を受け取ることと、
失敗連絡の受け取りに応答して、
１つ以上の無線通信要素を介して、デフォルトの支払アカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信することと、
を更に含む、付記１６に記載の方法。
２７
ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示及び第１のアカウントの視覚的表示を同時に表示することが、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示を第１のアカウントの視覚的表示と重ねて同時に表示することを含む、付記１３から２６のいずれか１項に記載の方法。
２８
ディスプレイと位置センサとを備えた電子デバイスにおいて、

デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取ることと、
入力の受け取りに応答して、
位置センサを使用して、現在の位置を検出すること、
１つ以上の支払基準のセットを満足しているか否かを判定することであって、１つ以上の支払基準のセットが、現在の位置が第１の支払アカウントと関連付けられているときに満足される基準を含む、判定すること、
１つ以上の支払基準のセットが満足されていないとの判定に従って、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示を表示することであって、デフォルトの支払アカウントが第１の支払アカウントとは異なっている、表示すること、及び
１つ以上の支払基準のセットが満足されているとの判定に従って、ディスプレイ上に、第１の支払アカウントの視覚的表示を表示することと、を含む、方法。
２９
電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を含む、付記２８に記載の方法であって、
１つ以上の支払基準のセットが満足されているとの判定に従って、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第１の支払アカウントを使用して取引に参加することを可能にすることを更に含む、方法。
３０
電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を含む、付記２８又は２９に記載の方法であって、
１つ以上の支払基準のセットが満足されていないとの判定に従って、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介してデフォルトの支払アカウントを使用して取引に参加することを可能にすることを更に含む、方法。
３１
１つ以上の支払基準のセットが満足されていないとの判定に従って、ディスプレイ上に、第１の支払アカウントの視覚的表示を表示することを取り止めること
を更に含む、付記２８から３０のいずれか１項に記載の方法。
３２
電子デバイスがタッチ感知面を含む、付記２８から３１のいずれか１項に記載の方法であって、
第１の方向への１つ以上の入力を受け取ることと、
１つ以上の入力の受け取りに応答して、
ディスプレイ上に、第１の支払アカウント及びデフォルトの支払アカウントとは異なる第２のアカウントを識別する第２の視覚的インジケータを表示すること、及び
電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第２のアカウントを使用して取引に参加することを可能にすることと、を含む、方法。
３３
非接触支払端末からアカウント情報のリクエストを受け取ることと、
アカウント情報のリクエストの受信に応答して、１つ以上の無線通信要素を介して、それぞれの可能となったアカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信することであって、アカウント情報により非接触支払端末が支払取引を行うことが可能になる、ことと、
を更に含む、付記２８又は２９に記載の方法。
３４
１つ以上の基準のセットが、現在の位置で第１の支払アカウントを使用して取引するためにデバイスが認証されるときに満足される基準を含む、付記２８から３３のいずれか１項に記載の方法。
３５
現在の位置がロイヤルティアカウントと関連付けられていると判定することと、
ディスプレイ上に、ロイヤルティアカウントの視覚的表示と、支払アカウントのそれぞれの視覚的表示とを、同時に表示することと、

を更に含む、付記２８又は２９に記載の方法。
３６
電子デバイスが１つ以上の入力デバイスを含む、付記２８から３５のいずれか１項に記載の方法であって、
デバイスを支払取引可能にするよう要求するユーザ入力を受け取る前に、
支払アカウントを電子デバイスとリンクするリクエストを受け取ることであって、リクエストが支払アカウントのアカウント情報を含む、ことと、
支払アカウントを電子デバイスとリンクすることと、
支払アカウントと関連付けられた金融機関が、ユーザ入力不要で位置に基づき選択される支払アカウントを認証したと判定することと、
ユーザ入力不要で位置に基づき選択される支払アカウントをアクティベーションするユーザ入力を受け取ることと、を更に含む、方法。
３７
１つ以上の支払基準のセットが満足されているとの判定に従って、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第１の支払アカウントを使用して取引に参加することを可能にすることと、
非接触支払端末から支払取引と関連付けられたリクエストを受け取ることと、
リクエストが第１の支払アカウントとは異なる第２の支払アカウントに対応するアカウントタイプを使用する支払アカウント情報のリクエストを含むか否かを判定することと、
リクエストが第２のアカウントタイプを使用する支払情報のリクエストを含むとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を使用して第２のアカウントの支払アカウント情報を非接触支払端末に送信するための認証を要求する通知を提供することであって、第２のアカウントの支払アカウント情報により非接触支払端末が支払取引を行うことが可能になる、ことと、
を更に含む、付記２８又は２９に記載の方法。
３８
ディスプレイ及び１つ以上の無線通信要素を備えた電子デバイスにおいて、
デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取ることと、
入力の受け取りに応答して、ディスプレイ上に、第１の支払アカウント及び第２の支払アカウントを含む複数の支払アカウントを表す支払表示を表示することと、
１つ以上の無線通信要素を介して、支払取引に対応するアカウント情報のリクエストを受け取ることと、
支払取引に対応するアカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、
第１の支払アカウントに関する支払基準が満足されているとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を介して、第２の支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに、第１の支払アカウントに関するアカウント情報を送信すること、及び
第２の支払アカウントに関する支払基準が満足されているとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を介して、第１の支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに、第２の支払アカウントに関するアカウント情報を送信することと、を含む、方法。
３９
電子デバイスが、デフォルトの支払アカウント及び複数のデフォルトでない支払アカウントのうちの１つを使用した支払を可能にするように構成されている、付記３８に記載の方法であって、
デフォルトでない支払アカウントのうちのいずれに関しても支払基準が満足されていないとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を介して、デフォルトでない支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに、デフォルトの支払アカウントに関するアカウント情報を送信することを更に含む、方法。
４０
支払基準が、電子デバイスの現在の位置と関連付けられた判定に基づく基準を含む、付記３８に記載の方法。

４１
支払基準が、支払取引に対応するアカウント情報のリクエストに基づく基準を含む、付記３８から４０のいずれか１項に記載の方法。
４２
複数の支払アカウントを表す支払表示が、第１の支払アカウントの表示を含まず、また第２の支払アカウントの表示を含まない、付記３８から４１のいずれか１項に記載の方法。
４３
複数の支払アカウントが、ユーザ入力不要な位置に基づく選択をアクティベーションするユーザ入力を電子デバイスが受信している支払アカウントのみを含む、付記３８から４２のいずれか１項に記載の方法。
４４
複数の支払アカウントが、支払アカウントと関連付けられた金融機関が対応するユーザ入力不要で位置に基づき選択される支払アカウントを認証した支払アカウントのみを含む、付記３８から４３のいずれか１項に記載の方法。
４５
支払取引のために複数の支払アカウントのうちのどれを使用すべきかをデバイスがコンテキストに基づいて選択する、コンテキスト的選択の動作モードが、選択可能な支払選択肢として表される、付記３８から４４のいずれか１項に記載の方法。
４６
電子デバイスがタッチ感知面を含む、付記３８から４５のいずれか１項に記載の方法であって、
第１の方向への１つ以上の入力を受け取ることと、
１つ以上の入力の受け取りに応答して、
ディスプレイ上で、複数の支払アカウントを表す支払表示を、複数の支払アカウントを表す支払表示とは異なる第２の視覚的インジケータと入れ替えることであって、第２の視覚的選択インジケータが第１の支払アカウント及び第２の支払アカウントとは異なる第３の支払アカウントを識別する、こと、及び
電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第３の支払アカウントを使用して取引に参加することを可能にすることと、を含む、方法。
４７
複数の支払アカウントを表す支払表示が、複数の支払アカウントのうちの個々の支払アカウントの視覚的インジケータとは異なっている、付記３８から４６のいずれか１項に記載の方法。
４８
ディスプレイ、接触の強度を検出するように構成されたタッチ感知面、及び１つ以上の無線通信要素を備えた電子デバイスにおいて、
第１の入力を受け取ることと、
第１の入力の受け取りに応答して、
ディスプレイ上に、第１のユーザインタフェースを表示することであって、第１のユーザインタフェースが、
複数の支払アカウントと関連付けられた支払カードを識別する第１の視覚的インジケータ、及び
支払カードの複数の支払アカウントのうちの第１の支払アカウントを識別する第２の視覚的インジケータを含む、表示することと、
電子デバイスが、１つ以上の無線通信要素を介して第１の支払アカウントを使用して支払取引を行うことを可能にすることと、
タッチ感知面上での第１の接触を検出することと、
第１の接触の特性強度が強度閾値を上回っているか否かを判定することと、
第１の接触の特性強度が強度閾値を上回っているとの判定に従って、ディスプレイ上

に、第２のユーザインタフェースを表示することであって、第２のユーザインタフェースによって、第１の視覚的インジケータによって表された異なる支払アカウントの間で選択を行うことが可能になる、表示することと、を含む、方法。

４９

第２のユーザインタフェースが支払アカウント選択アフォーダンスを含む、付記４８に記載の方法であって、

支払アカウント選択アフォーダンスに対応するタッチ感知面上の位置において、第２の接触を検出することと、

第２の接触の検出に応答して、ディスプレイ上に、第３のユーザインタフェースを表示することであって、第３のユーザインタフェースが、複数の支払アカウントのうちの少なくとも一部に対応する１つ以上のアカウントアフォーダンスを含む、ことと、

１つ以上のアカウントアフォーダンスのうちの１つのアカウントアフォーダンスと関連付けられた位置において、第３の接触を検出することであって、アカウントアフォーダンスが複数の支払アカウントのうちの第２の支払アカウントに対応し、第２の支払アカウントが第１の支払アカウントとは異なっている、ことと、

第３の接触の検出に応答して、

ディスプレイ上に、第４のユーザインタフェースを表示することであって、第４のユーザインタフェースが、

複数の支払アカウントと関連付けられた支払カードを識別する第１の視覚的インジケータ、及び

支払カードの複数の支払アカウントのうちの第２の支払アカウントを識別する第３の視覚的インジケータを含む、可能にすること、

電子デバイスが、１つ以上の無線通信要素を介して第２の支払アカウントを使用して支払取引を行うことを可能にすることと、を更に含む、方法。

５０

第２のユーザインタフェースが複数の支払アカウントのうちの少なくとも一部に対応する１つ以上のアカウントアフォーダンスを含む、付記４８に記載の方法であって、

１つ以上のアカウントアフォーダンスのうちの１つのアカウントアフォーダンスと関連付けられた位置において、第２の接触を検出することであって、アカウントアフォーダンスが複数の支払アカウントのうちの第２の支払アカウントに対応し、第２の支払アカウントが第１の支払アカウントとは異なっている、ことと、

第２の接触の検出に応答して、

ディスプレイ上に、第４のユーザインタフェースを表示することであって、第４のユーザインタフェースが、

複数の支払アカウントと関連付けられた支払カードを識別する第１の視覚的インジケータ、及び

支払カードの複数の支払アカウントのうちの第２の支払アカウントを識別する第３の視覚的インジケータを含む、こと、

電子デバイスが、１つ以上の無線通信要素を介して第２の支払アカウントを使用して支払取引を行うことを可能にすることと、を更に含む、方法。

５１

第１の接触の特性強度が強度閾値を下回るとの判定に従って、ディスプレイ上に第２のユーザインタフェースを表示することなく、第１の視覚的インジケータの表示を維持すること

を更に含む、付記４８から５０のいずれか１項に記載の方法。

５２

１つ以上のアカウントアフォーダンスが複数のアカウントアフォーダンスを含む、付記４８に記載の方法。

５３

現在選択されている支払アカウントの視覚的インジケータが強調される、付記４８から

５２のいずれか１項に記載の方法。
５４
第２の接触を検出することが、第２の接触の特性強度が強度閾値を上回っていないと判定することを含む、付記４９から５２のいずれか１項に記載の方法。
５５
第２のユーザインタフェースが支払アカウント削除アフォーダンスを含む、付記４８から５４のいずれか１項に記載の方法であって、
支払アカウント削除アフォーダンスのアクティベーションを検出することと、
支払アカウント削除アフォーダンスのアクティベーションの検出に応答して、デバイスの電子財布から支払カードの複数の支払アカウントを除去することと、を更に含む、方法。
５６
支払アカウント削除アフォーダンスが、支払アカウント削除アフォーダンスを支払アカウント選択アフォーダンスから区別する、１つ以上の視覚的特徴を含む、付記４８から５５のいずれか１項に記載の方法。
５７
ディスプレイ上に第４のユーザインタフェースを表示している間に、
タッチ感知面上のスワイプ入力を検出することと、
スワイプ入力の検出に応答して、第５のユーザインタフェースを表示することであって、第５のユーザインタフェースが、支払カードとは異なる第２の支払カードを識別する第４の視覚的インジケータを含む、ことと、
を更に含む、付記４８から５０のいずれか１項に記載の方法。
５８
第１のユーザインタフェース、第２のユーザインタフェース、第３のユーザインタフェース、及び第４のユーザインタフェースが、単一の電子財布アプリケーションのユーザインタフェースであり、単一の電子財布アプリケーションが、電子デバイスのユーザと関連付けられた複数の支払アカウントを含む、付記４８から５７のいずれか１項に記載の方法。
５９
非接触支払端末からアカウント情報のリクエストを受け取ることと、
アカウント情報のリクエストの受信に応答して、１つ以上の無線通信要素を介して、第２の支払アカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信することであって、アカウント情報により非接触支払端末が支払取引を行うことが可能になる、ことと、
を更に含む、付記４８から５０のいずれか１項に記載の方法。
６０
ディスプレイ及び１つ以上の無線通信要素を備えた第１の電子デバイスにおいて、
支払カードと関連付けられた支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクさせる第１のリクエストを受け取ることと、
第１のリクエストの受け取りに応答して、支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクするための処理を開始することと、
第１の電子デバイスへの支払アカウントのリンクが成功した後で、ディスプレイ上に、
第１の電子デバイスへの支払アカウントのリンクが成功したとの表示、及び
支払アカウントを第１の電子デバイスとは異なる第２の電子デバイスにリンクするための選択可能なアフォーダンスを同時に表示することと、
選択可能なアフォーダンスのアクティベーションを受け取ることと、
選択可能なアフォーダンスのアクティベーションの受け取りに応答して、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始することと、を含む、方法。
６１
第２の電子デバイスが第１の電子デバイスと一意的にペアリングされる、付記６０に記

載の方法。
６２
第１の電子デバイスが第２の電子デバイスとペアリングされ、第１の電子デバイスが第３の電子デバイスとペアリングされ、第１の電子デバイスと第２の電子デバイスとの間のペアリング関係が、第１の電子デバイスと第３の電子デバイスとの間のペアリング関係とは異なっている、付記６０に記載の方法。
６３
支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始することが、
１つ以上の無線通信要素を介して、支払カードと関連付けられた金融機関に、第２の電子デバイスが第１の電子デバイスと一意的にペアリングされるという表示を送信することを含む、付記６０から６２のいずれか１項に記載の方法。
６４
支払アカウントの第２の電子デバイスへのリンクの開始後、第２の電子デバイスから、第２の電子デバイスの支払アカウントへのリンクが成功したとの確認通知を受け取ることを更に含み、
支払アカウントとして第２の電子デバイスにリンクされた主要口座番号が、支払アカウントとして第１の電子デバイスにリンクされた主要口座番号とは異なっている、
付記６０から６２のいずれか１項に記載の方法。
６５
支払アカウントをリンクさせる第１のリクエストが支払カードの口座番号を含み、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始することが、支払カードの口座番号の追加の入力を必要とすることなく行われる、付記６０から６４のいずれか１項に記載の方法。
６６
第２のリクエストが支払カードのセキュリティコードを含む、付記６０から６５のいずれか１項に記載の方法。
６７
支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始すること
を更に含む、付記６０から６６のいずれか１項に記載の方法。
６８
支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始することが、
１つ以上の無線通信要素を介して、支払カードと関連付けられた金融機関に、
クレジットカードの口座番号と、
支払アカウントが第１の電子デバイスに既にリンクされたことを確認するセキュリティトークンを、送信することを含む、付記６７に記載の方法。
６９
支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始することが、
支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要か否かを判定することと、
支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証は必要ないとの判定に従って、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始し、支払アカウントが第２の電子デバイスにリンクされているとの表示を提供することと、
支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの判定に従って、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの表示を提供することと、を含む、付記６７から６８のいずれか１項に記載の方法。
７０
支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの表示が、支払アカウントをそれぞれのデバイスにリンクするためにユーザが行うべき追加のステップの視覚的表示を含む、付記６９に記載の方法。

７１
アカウントリンク情報を第２の電子デバイスに送信することであって、アカウントリンク情報により第２の電子デバイスが支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクすることが可能になる、こと、
を更に含む、付記６０から７０のいずれか１項に記載の方法。
７２
支払アカウントをそれぞれのデバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの判定に従って、
ディスプレイ上に、複数の通信方法アフォーダンスを表示することであって、各通信方法アフォーダンスが検証通信のためのそれぞれの通信方法と関連付けられる、ことを更に含み、
複数の通信方法アフォーダンスが金融機関から受信した通信に基づいている、
付記６８に記載の方法。
７３
支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの判定に従って、
複数の通信方法アフォーダンスのうちのある通信方法アフォーダンスの選択を受け取ることと、
通信方法アフォーダンスの選択の受け取りに応答して、金融機関に、選択された通信方法アフォーダンスの対応する通信方法の表示を送信することと、を更に含み、
検証通信が通信方法アフォーダンスに基づいている、
付記６８に記載の方法。
７４
第２の電子デバイスを使用した支払アカウントからの支払を認証する際に使用するために、金融機関から主要口座番号を受け取ることであって、主要口座番号がクレジットカードの口座番号とは異なっている、ことと、
主要口座番号をそれぞれのデバイスに割り当てることと、
を更に含む、付記６０から６２のいずれか１項に記載の方法。
７５
第２の電子デバイスの電子財布が、第２の電子デバイスのユーザと関連付けられた第２の支払アカウントに関する支払アカウント情報を含み、第２の支払アカウントが支払アカウントとは別である、付記６０から７４のいずれか１項に記載の方法。
７６
第２の電子デバイスから、第２の電子デバイスがリンクされた支払アカウントを使用して支払取引に参加したとの表示を受け取ること
を更に含む、付記６０から７５のいずれか１項に記載の方法。
７７
ディスプレイと１つ以上の無線通信要素とを備えた第１の電子デバイスにおいて、
ディスプレイ上に、第１の電子デバイスと関連付けられる第２の電子デバイス用の支払アカウントユーザインタフェースを表示することであって、支払アカウントユーザインタフェースを表示することが、
第１の支払アカウントが第２の電子デバイスにリンクされていること及び第２の電子デバイスが第１の支払アカウントを使用した支払を可能にするように構成されていることを示す第１の支払アカウントに関する状態情報を伴う、第１の支払アカウントの表現、並びに
第２の支払アカウントが第１の電子デバイスにリンクされているが第２の電子デバイスにはリンクされていないことを示す第２の支払アカウントに関する状態情報を伴う、第２の支払アカウントの表現を、同時に表示することを含む、方法。
７８
第１の支払アカウントに関する状態情報が、第１の支払アカウントが第１の電子デバイ

スにリンクされることを更に示す、付記７７に記載の方法。
７９
支払アカウントユーザインタフェースが、電子デバイスのユーザと関連付けられており、第１の電子デバイスにリンクしておらず、第２の電子デバイスにリンクしていない、１つ以上のアカウントの表現を含む、付記７７又は７８に記載の方法。
８０
支払アカウントユーザインタフェースが第２の支払アカウントと関連付けられるリンクアフォーダンスを含む、付記７７から７９のいずれか１項に記載の方法であって、
リンクアフォーダンスのアクティベーションを検出することと、
リンクアフォーダンスのアクティベーションの検出に応答して、ディスプレイ上に、第１の電子デバイスと第２の電子デバイスとの間で支払通知を同期するための同期選択肢を含む、第２の支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするためのユーザインタフェースを表示することと、
同期選択肢のアクティベーションを検出することと、
同期選択肢のアクティベーションの検出に応答して、第１の電子デバイス及び第２の電子デバイスの両方において提示されることになる将来の支払通知を同期することと、を更に含む、方法。
８１
支払アカウントユーザインタフェースを表示することが、
第２の電子デバイスにリンクされており第１の電子デバイスにはリンクされていない支払アカウントの第１の複数の表現の第１のグループと、
第１の電子デバイスにリンクされており第２の電子デバイスにはリンクされていない支払アカウントの第２の複数の表現の第２のグループの、同時の表示を可能にすることを含む、付記７７から８０のいずれか１項に記載の方法。
８２
支払アカウントユーザインタフェースが第２の支払アカウントと関連付けられるリンクアフォーダンスを含む、付記７７から８１のいずれか１項に記載の方法であって、
リンクアフォーダンスのアクティベーションを検出することと、
リンクアフォーダンスのアクティベーションの検出に応答して、ディスプレイ上に、第２の支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするためのユーザインタフェースを表示することと、
ディスプレイ上に第２の支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするためのユーザインタフェースを表示している間に、第２の支払アカウントの第２の電子デバイスへのリンクを開始させるリクエストを受け取ることであって、第２の支払アカウントの第２の電子デバイスへのリンクを開始させるリクエストが第２の支払アカウントの口座番号の入力を含まない、ことと、を更に含む、方法。
８３
支払アカウントユーザインタフェースが第１の支払アカウントと関連付けられた第２のリンクアフォーダンスを含み、第１の支払アカウントが第１の電子デバイスにリンクされていない、付記７７から８２のいずれか１項に記載の方法であって、
第２のリンクアフォーダンスのアクティベーションを検出することと、
第２のリンクアフォーダンスのアクティベーションの検出に応答して、ディスプレイ上に、第１の支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクするためのユーザインタフェースを表示することと、
ディスプレイ上に第１の支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクするためのユーザインタフェースを表示している間に、第１の支払アカウントの第１の電子デバイスへのリンクを開始させるリクエストを受け取ることであって、第１の支払アカウントの第１の電子デバイスへのリンクを開始させるリクエストが第１の支払アカウントの口座番号の入力を含まない、ことと、を更に含む、方法。
８４

第１の電子デバイスがハンドヘルドデバイスであり、第２の電子デバイスがウェアラブルデバイスである、付記７７から８３のいずれか１項に記載の方法。

８５

第１の電子デバイスがハンドヘルドデバイスであり、第２の電子デバイスは、第１の電子デバイスよりも大きいパーソナルコンピューティングデバイスである、付記７７から８４のいずれか１項に記載の方法。

８６

第１の電子デバイスと関連付けられる第２の電子デバイス用の支払アカウントユーザインタフェースが、

第３の支払アカウントが第３の電子デバイスにリンクされていること及び第３の電子デバイスが第３の支払アカウントを使用した支払を可能にするように構成されていることを示す第３の支払アカウントに関する状態情報を伴う、第３の支払アカウントの表現であって、第３の電子デバイスが第１の電子デバイス及び第２の電子デバイスとは異なっている、第３の支払アカウントの表現を更に含む、付記７７から８５のいずれか１項に記載の方法。

８７

１つ以上のプログラムを記憶する非一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、１つ以上のプログラムが命令を含み、命令が、ディスプレイとタッチ感知面とを備える電子デバイスの１つ以上のプロセッサによって実行されると、デバイスに、付記１から１２のいずれか１項に記載の方法を実行させる、非一時的コンピュータ可読記憶媒体。

８８

１つ以上のプログラムを記憶する非一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、１つ以上のプログラムが命令を含み、命令が、ディスプレイとタッチ感知面とを備える電子デバイスの１つ以上のプロセッサによって実行されると、デバイスに、付記１３から２７のいずれか１項に記載の方法を実行させる、非一時的コンピュータ可読記憶媒体。

８９

１つ以上のプログラムを記憶する非一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、１つ以上のプログラムが命令を含み、命令が、ディスプレイとタッチ感知面とを備える電子デバイスの１つ以上のプロセッサによって実行されると、デバイスに、付記２８から３７のいずれか１項に記載の方法を実行させる、非一時的コンピュータ可読記憶媒体。

９０

１つ以上のプログラムを記憶する非一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、１つ以上のプログラムが命令を含み、命令が、ディスプレイとタッチ感知面とを備える電子デバイスの１つ以上のプロセッサによって実行されると、デバイスに、付記３８から４７のいずれか１項に記載の方法を実行させる、非一時的コンピュータ可読記憶媒体。

９１

１つ以上のプログラムを記憶する非一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、１つ以上のプログラムが命令を含み、命令が、ディスプレイとタッチ感知面とを備える電子デバイスの１つ以上のプロセッサによって実行されると、デバイスに、付記４８から５９のいずれか１項に記載の方法を実行させる、非一時的コンピュータ可読記憶媒体。

９２

１つ以上のプログラムを記憶する非一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、１つ以上のプログラムが命令を含み、命令が、ディスプレイとタッチ感知面とを備える電子デバイスの１つ以上のプロセッサによって実行されると、デバイスに、付記６０から７６のいずれか１項に記載の方法を実行させる、非一時的コンピュータ可読記憶媒体。

９３

１つ以上のプログラムを記憶する非一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、１つ以上のプログラムが命令を含み、命令が、ディスプレイとタッチ感知面とを備える電子デバイスの１つ以上のプロセッサによって実行されると、デバイスに、付記７７から８６のいずれか１項に記載の方法を実行させる、非一時的コンピュータ可読記憶媒体。

９４
ディスプレイと、
タッチ感知面と、
付記１から１２のいずれか１項に記載の方法を実行するための手段と、
を備える、電子デバイス。
９５
ディスプレイと、
タッチ感知面と、
付記１３から２７のいずれか１項に記載の方法を実行するための手段と、
を備える、電子デバイス。
９６
ディスプレイと、
タッチ感知面と、
付記２８から３７のいずれか１項に記載の方法を実行するための手段と、
を備える、電子デバイス。
９７
ディスプレイと、
タッチ感知面と、
付記３８から４７のいずれか１項に記載の方法を実行するための手段と、
を備える、電子デバイス。
９８
ディスプレイと、
タッチ感知面と、
付記４８から５９のいずれか１項に記載の方法を実行するための手段と、
を備える、電子デバイス。
９９
ディスプレイと、
タッチ感知面と、
付記６０から７６のいずれか１項に記載の方法を実行するための手段と、
を備える、電子デバイス。
１００
ディスプレイと、
タッチ感知面と、
付記７７から８６のいずれか１項に記載の方法を実行するための手段と、
を備える、電子デバイス。
１０１
電子デバイスであって、
ディスプレイと、
タッチ感知面と、
デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取るための手段と、
デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力の受け取りに応答して、
ディスプレイ上に、第１のアカウントを識別する第１の視覚的インジケータを表示すること、及び
電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第１のアカウントを使用して取引に参加することを可能にするための手段と、
タッチ感知面を介して第１の方向への１つ以上のスワイプ入力を受け取るための手段と、
１つ以上のユーザスワイプ入力の受け取りに応答して、
ディスプレイ上に、第２のアカウントを識別する第２の視覚的インジケータを表示する、及び

電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第２のアカウントを使用して取引に参加することを可能にするための手段と、を備え、
第１の視覚的インジケータが第２の視覚的インジケータとは異なっている、電子デバイス。
１０２
電子デバイスであって、
ディスプレイと、
タッチ感知面と、
位置センサを使用して、現在の位置を検出するための手段と、
現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているか否かを判定するための手段と、
現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示を表示するための手段と、
現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとの判定に従って、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示及び第１のアカウントの視覚的表示を同時に表示するための手段と、を備え、
デフォルトの支払アカウント及び第１のアカウントが電子デバイスにリンクされ、デフォルトの支払アカウント及び第１のアカウントが異なっている、電子デバイス。
１０３
電子デバイスであって、
ディスプレイと、
タッチ感知面と、
デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取るための手段と、
入力の受け取りに応答して、
位置センサを使用して、現在の位置を検出すること、
１つ以上の支払基準のセットを満足しているか否かを判定することであって、１つ以上の支払基準のセットが、現在の位置が第１の支払アカウントと関連付けられているときに満足される基準を含む、判定すること、
１つ以上の支払基準のセットが満足されていないとの判定に従って、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示を表示することであって、デフォルトの支払アカウントが第１の支払アカウントとは異なっている、表示すること、及び
１つ以上の支払基準のセットが満足されているとの判定に従って、ディスプレイ上に、第１の支払アカウントの視覚的表示を表示することを行うための手段と、を備える、電子デバイス。
１０４
電子デバイスであって、
ディスプレイと、
タッチ感知面と、
デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取るための手段と、
入力の受け取りに応答して、ディスプレイ上に、第１の支払アカウント及び第２の支払アカウントを含む複数の支払アカウントを表す支払表示を表示するための手段と、
１つ以上の無線通信要素を介して、支払取引に対応するアカウント情報のリクエストを受け取るための手段と、
支払取引に対応するアカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、
第１の支払アカウントに関する支払基準が満足されているとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を介して、第２の支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに、第１の支払アカウントに関するアカウント情報を送信すること、及び
第２の支払アカウントに関する支払基準が満足されているとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を介して、第１の支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに、第２の支払アカウントに関するアカウント情報を送信することを行うための手段と、を

備える、電子デバイス。
１０５
電子デバイスであって、
ディスプレイと、
接触の強度を検出するように構成されたタッチ感知面と、
第１の入力を受け取るための手段と、
第１の入力の受け取りに応答して、
ディスプレイ上に、第１のユーザインタフェースを表示することであって、第１のユーザインタフェースが、
複数の支払アカウントと関連付けられた支払カードを識別する第１の視覚的インジケータ、及び
支払カードの複数の支払アカウントのうちの第１の支払アカウントを識別する第２の視覚的インジケータを含む、表示することを行うための手段と、
電子デバイスが、１つ以上の無線通信要素を介して第１の支払アカウントを使用して支払取引を行うことを可能にするための手段と、
タッチ感知面上の第１の接触を検出するための手段と、
第１の接触の特性強度が強度閾値を上回るか否かを判定するための手段と、
第１の接触の特性強度が強度閾値を上回っているとの判定に従って、ディスプレイ上に、第２のユーザインタフェースを表示することであって、第２のユーザインタフェースによって、第１の視覚的インジケータによって表された異なる支払アカウントの間で選択を行うことが可能になる、表示することを行うための手段と、を備える、電子デバイス。
１０６
電子デバイスであって、
ディスプレイと、
タッチ感知面と、
支払カードと関連付けられた支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクさせる第１のリクエストを受け取るための手段と、
第１のリクエストの受け取りに応答して、支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクするための処理を開始するための手段と、
第１の電子デバイスへの支払アカウントのリンクが成功した後で、ディスプレイ上に、
第１の電子デバイスへの支払アカウントのリンクが成功したとの表示、及び
支払アカウントを第１の電子デバイスとは異なる第２の電子デバイスにリンクするための選択可能なアフォーダンスを同時に表示することと、
選択可能なアフォーダンスのアクティベーションを受け取るための手段と、
選択可能なアフォーダンスのアクティベーションの受け取りに応答して、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始するための手段と、を備える、電子デバイス。
１０７
電子デバイスであって、
ディスプレイと、
タッチ感知面と、
ディスプレイ上に、第１の電子デバイスと関連付けられる第２の電子デバイス用の支払アカウントユーザインタフェースを表示することであって、支払アカウントユーザインタフェースを表示することが、
第１の支払アカウントが第２の電子デバイスにリンクされていること及び第２の電子デバイスが第１の支払アカウントを使用した支払を可能にするように構成されていることを示す第１の支払アカウントに関する状態情報を伴う、第１の支払アカウントの表現、並びに
第２の支払アカウントの表現と、第２の支払アカウントが第１の電子デバイスにリンクされているが第２の電子デバイスにはリンクされていないことを示す第２の支払アカウ

ントに関する状態情報を伴う、第２の支払アカウントの表現を、同時に表示することを含む、表示することを行うための手段と、を備える、電子デバイス。

１０８

ディスプレイ、タッチ感知面、及び１つ以上の無線通信要素を備えた電子デバイスの１つ以上のプロセッサによって実行するための１つ以上のプログラムを備える、非一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、１つ以上のプログラムが、１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、電子デバイスに、

デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取ることと、

デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力の受け取りに応答して、

ディスプレイ上に、第１のアカウントを識別する第１の視覚的インジケータを表示すること、及び

電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第１のアカウントを使用して取引に参加することを可能にすることと、

タッチ感知面を介して第１の方向への１つ以上のスワイプ入力を受け取ることと、

１つ以上のユーザスワイプ入力を受け取ることに応答して、

ディスプレイ上に、第２のアカウントを識別する第２の視覚的インジケータを表示すること、及び

電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第２のアカウントを使用して取引に参加することを可能にすることと、を行わせる命令を含み、

第１の視覚的インジケータが第２の視覚的インジケータとは異なっている、非一時的コンピュータ可読記憶媒体。

１０９

電子デバイスであって、

ディスプレイとタッチ感知面と、

１つ以上の無線通信要素と、

１つ以上のプロセッサと、

メモリと、

１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、電子デバイスに、

デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取ること、

デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力の受け取りに応答して、

ディスプレイ上に、第１のアカウントを識別する第１の視覚的インジケータを表示すること、及び

電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第１のアカウントを使用して取引に参加することを可能にすること、

タッチ感知面を介して第１の方向への１つ以上のスワイプ入力を受け取ること、

１つ以上のユーザスワイプ入力を受け取ることに応答して、

ディスプレイ上に、第２のアカウントを識別する第２の視覚的インジケータを表示すること、及び

電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第２のアカウントを使用して取引に参加することを可能にすること、を行わせる、命令を含む、メモリに記憶された１つ以上のプログラムであって、

第１の視覚的インジケータが第２の視覚的インジケータとは異なっている、メモリに記憶された１つ以上のプログラムと、を備える、電子デバイス。

１１０

ディスプレイと位置センサとを備えた電子デバイスの１つ以上のプロセッサによって実行するための１つ以上のプログラムを備える、非一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、１つ以上のプログラムが、１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、電子デバイスに、

位置センサを使用して、現在の位置を検出することと、

現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているか否かを判定することと、

現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示を表示することと、
現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとの判定に従って、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示及び第１のアカウントの視覚的表示を同時に表示することと、を行わせる命令を含み、
デフォルトの支払アカウント及び第１のアカウントが電子デバイスにリンクされ、デフォルトの支払アカウント及び第１のアカウントが異なっている、非一時的コンピュータ可読記憶媒体。
１１１
電子デバイスであって、
ディスプレイと、
位置センサと、
１つ以上のプロセッサと、
メモリと、
１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、電子デバイスに、
位置センサを使用して、現在の位置を検出すること、
現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているか否かを判定すること、
現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示を表示すること、
現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとの判定に従って、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示及び第１のアカウントの視覚的表示を同時に表示すること、を行わせる命令を含む、メモリに記憶された１つ以上のプログラムであって、
デフォルトの支払アカウント及び第１のアカウントが電子デバイスにリンクされ、デフォルトの支払アカウント及び第１のアカウントが異なっている、メモリに記憶された１つ以上のプログラムと、を備える、電子デバイス。
１１２
ディスプレイと位置センサとを備えた電子デバイスの１つ以上のプロセッサによって実行するための１つ以上のプログラムを備える、非一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、１つ以上のプログラムが、１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、電子デバイスに、
デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取ることと、
入力の受け取りに応答して、
位置センサを使用して、現在の位置を検出すること、
１つ以上の支払基準のセットを満足しているか否かを判定することであって、１つ以上の支払基準のセットが、現在の位置が第１の支払アカウントと関連付けられているときに満足される基準を含む、判定すること、
１つ以上の支払基準のセットが満足されていないとの判定に従って、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示を表示することであって、デフォルトの支払アカウントが第１の支払アカウントとは異なっている、表示すること、及び
１つ以上の支払基準のセットが満足されているとの判定に従って、ディスプレイ上に、第１の支払アカウントの視覚的表示を表示することと、を行わせる命令を含む、非一時的コンピュータ可読記憶媒体。
１１３
電子デバイスであって、
ディスプレイと、
位置センサと、
１つ以上のプロセッサと、

メモリと、
メモリに記憶された１つ以上のプログラムであって、１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、電子デバイスに、
デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取ること、並びに、
入力の受け取りに応答して、
位置センサを使用して、現在の位置を検出すること、
１つ以上の支払基準のセットを満足しているか否かを判定することであって、１つ以上の支払基準のセットが、現在の位置が第１の支払アカウントと関連付けられているときに満足される基準を含む、判定すること、
１つ以上の支払基準のセットが満足されていないとの判定に従って、ディスプレイ上に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示を表示することであって、デフォルトの支払アカウントが第１の支払アカウントとは異なっている、表示すること、及び
１つ以上の支払基準のセットが満足されているとの判定に従って、ディスプレイ上に、第１の支払アカウントの視覚的表示を表示すること、を行わせる命令を含む、メモリに記憶された１つ以上のプログラムと、を備える電子デバイス。
１１４
ディスプレイ及び１つ以上の無線通信要素を備えた電子デバイスの１つ以上のプロセッサによって実行するための１つ以上のプログラムを備える、非一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、１つ以上のプログラムが、１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、電子デバイスに、
デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取ることと、
入力の受け取りに応答して、ディスプレイ上に、第１の支払アカウント及び第２の支払アカウントを含む複数の支払アカウントを表す支払表示を表示することと、
１つ以上の無線通信要素を介して、支払取引に対応するアカウント情報のリクエストを受け取ることと、
支払取引に対応するアカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、
第１の支払アカウントに関する支払基準が満足されているとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を介して、第２の支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに、第１の支払アカウントに関するアカウント情報を送信すること、及び
第２の支払アカウントに関する支払基準が満足されているとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を介して、第１の支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに、第２の支払アカウントに関するアカウント情報を送信することと、を行わせる命令を含む、非一時的コンピュータ可読記憶媒体。
１１５
電子デバイスであって、
ディスプレイと、
１つ以上の無線通信要素と、
１つ以上のプロセッサと、
メモリと、
１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、電子デバイスに、
デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取ること、
入力の受け取りに応答して、ディスプレイ上に、第１の支払アカウント及び第２の支払アカウントを含む複数の支払アカウントを表す支払表示を表示すること、
１つ以上の無線通信要素を介して、支払取引に対応するアカウント情報のリクエストを受け取ること、
支払取引に対応するアカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、
第１の支払アカウントに関する支払基準が満足されているとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を介して、第２の支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに、第１の支払アカウントに関するアカウント情報を送信すること、及び
第２の支払アカウントに関する支払基準が満足されているとの判定に従って、１つ以上

の無線通信要素を介して、第１の支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに、第２の支払アカウントに関するアカウント情報を送信すること、を行わせる命令を含む、メモリに記憶された１つ以上のプログラムとを備えた、電子デバイス。

１１６

ディスプレイ、接触の強度を検出するように構成されたタッチ感知面、及び１つ以上の無線通信要素を備えた電子デバイスの１つ以上のプロセッサによって実行するための１つ以上のプログラムを備える、非一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、１つ以上のプログラムが、１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、電子デバイスに、

第１の入力を受け取ることと、

第１の入力の受け取りに応答して、

ディスプレイ上に、第１のユーザインタフェースを表示することであって、第１のユーザインタフェースが、

複数の支払アカウントと関連付けられた支払カードを識別する第１の視覚的インジケータ、及び

支払カードの複数の支払アカウントのうちの第１の支払アカウントを識別する第２の視覚的インジケータを含む、表示することと、

電子デバイスが、１つ以上の無線通信要素を介して第１の支払アカウントを使用して支払取引を行うことを可能にすることと、

タッチ感知面上の第１の接触を検出することと、

第１の接触の特性強度が強度閾値を上回っているか否かを判定することと、

第１の接触の特性強度が強度閾値を上回っているとの判定に従って、ディスプレイ上に、第２のユーザインタフェースを表示することであって、第２のユーザインタフェースによって、第１の視覚的インジケータによって表された異なる支払アカウントの間で選択を行うことが可能になる、表示することと、を行わせる命令を含む、非一時的コンピュータ可読記憶媒体。

１１７

電子デバイスであって、

ディスプレイと、

接触の強度を検出するように構成されたタッチ感知面と、

１つ以上の無線通信要素と、

１つ以上のプロセッサと、

メモリと、

１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、電子デバイスに、

第１の入力を受け取ること、

第１の入力の受け取りに応答して、

ディスプレイ上に、第１のユーザインタフェースを表示することであって、第１のユーザインタフェースが、

複数の支払アカウントと関連付けられた支払カードを識別する第１の視覚的インジケータ、及び

支払カードの複数の支払アカウントのうちの第１の支払アカウントを識別する第２の視覚的インジケータを含む、表示すること、

電子デバイスが、１つ以上の無線通信要素を介して第１の支払アカウントを使用して支払取引を行うことを可能にすること、

タッチ感知面上の第１の接触を検出すること、

第１の接触の特性強度が強度閾値を上回っているか否かを判定すること、並びに、

第１の接触の特性強度が強度閾値を上回っているとの判定に従って、ディスプレイ上に、第２のユーザインタフェースを表示することであって、第２のユーザインタフェースによって、第１の視覚的インジケータによって表された異なる支払アカウントの間で選択を行うことが可能になる、表示すること、を行わせる命令を含む、メモリに記憶された１つ以上のプログラムと、を備える、電子デバイス。

１１８
ディスプレイと１つ以上の無線通信要素とを備えた第１の電子デバイスの１つ以上のプロセッサによって実行するための１つ以上のプログラムを備える、非一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、１つ以上のプログラムが、１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、第１の電子デバイスに、
支払カードと関連付けられた支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクさせる第１のリクエストを受け取ることと、
第１のリクエストの受け取りに応答して、支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクするための処理を開始することと、
第１の電子デバイスへの支払アカウントのリンクが成功した後で、ディスプレイ上に、
第１の電子デバイスへの支払アカウントのリンクが成功したとの表示、及び
支払アカウントを第１の電子デバイスとは異なる第２の電子デバイスにリンクするための選択可能なアフォーダンスを同時に表示することと、
選択可能なアフォーダンスのアクティベーションを受け取ることと、
選択可能なアフォーダンスのアクティベーションの受け取りに応答して、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始することと、を行わせる命令を含む、非一時的コンピュータ可読記憶媒体。
１１９
第１の電子デバイスであって、
ディスプレイと、
１つ以上の無線通信要素と、
１つ以上のプロセッサと、
メモリと、
１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、第１の電子デバイスに、
支払カードと関連付けられた支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクさせる第１のリクエストを受け取ること、
第１のリクエストの受け取りに応答して、支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクするための処理を開始すること、
第１の電子デバイスへの支払アカウントのリンクが成功した後で、ディスプレイ上に、
第１の電子デバイスへの支払アカウントのリンクが成功したとの表示、及び
支払アカウントを第１の電子デバイスとは異なる第２の電子デバイスにリンクするための選択可能なアフォーダンスを同時に表示すること、並びに、
選択可能なアフォーダンスのアクティベーションを受け取ること、並びに、
選択可能なアフォーダンスのアクティベーションの受け取りに応答して、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始すること、を行わせる命令を含む、メモリに記憶された１つ以上のプログラムと、を備える、第１の電子デバイス。
１２０
ディスプレイと１つ以上の無線通信要素とを備えた第１の電子デバイスの１つ以上のプロセッサによって実行するための１つ以上のプログラムを備える、非一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、１つ以上のプログラムが、１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、第１の電子デバイスに、
ディスプレイ上に、第１の電子デバイスと関連付けられる第２の電子デバイス用の支払アカウントユーザインタフェースを表示することであって、支払アカウントユーザインタフェースを表示することが、
第１の支払アカウントが第２の電子デバイスにリンクされていること及び第２の電子デバイスが第１の支払アカウントを使用した支払を可能にするように構成されていることを示す第１の支払アカウントに関する状態情報を伴う、第１の支払アカウントの表現、並びに
第２の支払アカウントが第１の電子デバイスにリンクされているが第２の電子デバイ

スにはリンクされていないことを示す第２の支払アカウントに関する状態情報を伴う、第２の支払アカウントの表現を、同時に表示することを含む、表示することを行わせる命令を含む、非一時的コンピュータ可読記憶媒体。

１２１

第１の電子デバイスであって、

ディスプレイと、

１つ以上の無線通信要素と、

１つ以上のプロセッサと、

メモリと、

メモリに記憶された１つ以上のプログラムであって、１つ以上のプロセッサによって実行されたときに、第１の電子デバイスに、

ディスプレイ上に、第１の電子デバイスと関連付けられる第２の電子デバイス用の支払アカウントユーザインタフェースを表示することであって、支払アカウントユーザインタフェースを表示することが、

第１の支払アカウントが第２の電子デバイスにリンクされていること及び第２の電子デバイスが第１の支払アカウントを使用した支払を可能にするように構成されていることを示す第１の支払アカウントに関する状態情報を伴う、第１の支払アカウントの表現、並びに

第２の支払アカウントが第１の電子デバイスにリンクされているが第２の電子デバイスにはリンクされていないことを示す第２の支払アカウントに関する状態情報を伴う、第２の支払アカウントの表現を、同時に表示することを含む、表示することを行わせる命令を含む、メモリに記憶された１つ以上のプログラムと、を備える、第１の電子デバイス。

１２２

電子デバイスであって、

タッチ感知面ユニットと、

ディスプレイユニットと、

１つ以上の無線通信要素を含む無線通信ユニットと、

ディスプレイユニット、タッチ感知面ユニット、及び無線通信ユニットに結合された処理ユニットであって、

デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取ること、

デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力の受け取りに応答して、

ディスプレイユニット上での、第１のアカウントを識別する第１の視覚的インジケータの表示を可能にすること、及び

電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第１のアカウントを使用して取引に参加することを可能にすること、

タッチ感知面ユニットを介して第１の方向への１つ以上のスワイプ入力を受け取ること、

１つ以上のユーザスワイプ入力を受け取ることに応答して、

ディスプレイユニット上での、第２のアカウントを識別する第２の視覚的インジケータの表示を可能にすること、及び

電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第２のアカウントを使用して取引に参加することを可能にすること、を行うように構成されており、

第１の視覚的インジケータが第２の視覚的インジケータとは異なっている、処理ユニットと、を備える、電子デバイス。

１２３

第１のアカウントが支払アカウントであり、第２のアカウントがロイヤルティアカウントである、付記１２２に記載の電子デバイス。

１２４

第１のアカウントが支払アカウントであり、第２のアカウントが支払アカウントである

、付記１２２に記載の電子デバイス。
１２５
処理ユニットが、
第２の視覚的インジケータの表示中、
カードコード表示入力を受け取ることと、
カードコード表示入力の受け取りに応答して、ディスプレイユニット上での、視覚的ロイヤルティカードコード情報の表示を可能にすることと、を行うように更に構成されている、付記１２３に記載の電子デバイス。
１２６
処理ユニットが、
第２の視覚的インジケータの表示中、
非接触支払端末からアカウント情報のリクエストを受け取ることと、
アカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、１つ以上の無線通信要素を介して、第２のアカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信することであって、アカウント情報により非接触支払端末が支払取引を行うことが可能になる、ことと、を行うように更に構成されている、付記１２２から１２５のいずれか１項に記載の電子デバイス。
１２７
処理ユニットが、
第２の視覚的インジケータの表示中及び第２のアカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信した後で、
１つ以上の無線通信要素を介して、非接触支払端末から失敗連絡を受け取ることと、
失敗連絡の受け取りに応答して、
ディスプレイユニット上での、第２のアカウントが受け付けられなかったとの表示の表示を可能にすること、及び
電子デバイスが第２のアカウントとは異なるアカウントを使用して取引に参加することを可能にする選択肢を提供することと、を更に行うように構成されている、付記１２６に記載の電子デバイス。
１２８
処理ユニットが、
第２のアカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信した後で、ディスプレイユニット上での、支払取引中に第１のアカウント及び第２のアカウントの両方が使用されたという表示の同時の表示を可能にすることを行うように、更に構成されている、付記１２６又は１２７のいずれか１項に記載の電子デバイス。
１２９
電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第２のアカウントを使用して取引に参加することを可能にすることが、デバイスを支払取引可能にするよう要求する第２のユーザ入力を受け取ることを必要としない、付記１２２から１２８のいずれか１項に記載の電子デバイス。
１３０
電子デバイスが第１のアカウントを使用して取引に参加することを可能にすることが、第１のアカウントのカードの画像の下から現れる準備完了インジケータの第１のアニメーションを表示することを含み、準備完了インジケータが、デバイスが第１のアカウントを使用して支払取引に参加することが可能になっていることを示す、付記１２２から１２９のいずれか１項に記載の電子デバイスであって、処理ユニットが、
１つ以上のユーザスワイプ入力の一部の受け取りに応答して、ディスプレイユニット上での、準備完了インジケータをスライドさせて第１のアカウントのカードの画像の下に戻すための、準備完了インジケータの第２のアニメーションの表示を可能にすることを行うように、更に構成されている、電子デバイス。
１３１

ディスプレイユニット上での、第１のアカウントを識別する第１の視覚的インジケータの表示を可能にすることが、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第１のアカウントを使用して取引に参加することを可能にする前に行われ、
ディスプレイユニット上での、第２のアカウントを識別する第２の視覚的インジケータの表示を可能にすることが、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第２のアカウントを使用して取引に参加することを可能にする前に行われる、
付記１２２から１２５のいずれか１項に記載の電子デバイス。
１３２
第１のアカウント及び第２のアカウントの一方が支払アカウントであり、第１のアカウント及び第２のアカウントの一方がロイヤルティアカウントであり、
第１のアカウントの第１の視覚的インジケータが第１の寸法特徴を有し、
第２のアカウントの第２の視覚的インジケータが、第１の寸法特徴とは異なる第２の寸法特徴を有する、
付記１から４のいずれか１項に記載の方法。
１３３
電子デバイスの電子財布が、電子デバイスのユーザと関連付けられた複数の支払アカウントに関する支払アカウント情報を含む、付記１２２から１３２のいずれか１項に記載の方法。
１３４
電子デバイスであって、
ディスプレイユニットと、
位置センサユニットと、
ディスプレイユニット及び位置センサユニットに結合された処理ユニットであって、
位置センサユニットを使用して、現在の位置を検出すること、
現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているか否かを判定すること、
現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、ディスプレイユニット上での、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示の表示を可能にすること、
現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとの判定に従って、ディスプレイユニット上での、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示及び第１のアカウントの視覚的表示の同時の表示を可能にすること、を行うように構成されており、
デフォルトの支払アカウント及び第１のアカウントが電子デバイスにリンクされ、デフォルトの支払アカウント及び第１のアカウントが異なっている、処理ユニットと、を備える、電子デバイス。
１３５
第１のアカウントが支払アカウントである、付記１３４に記載の電子デバイス。
１３６
第１のアカウントがロイヤルティアカウントである、付記１３４に記載の電子デバイス。
１３７
処理ユニットが、
非接触支払端末から支払取引と関連付けられたリクエストを受け取ることと、
リクエストが第１のアカウントに対応する第１のアカウントタイプを使用する支払アカウント情報のリクエストを含むか否かを判定することと、
現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとの判定に従って、及びリクエストが第１のアカウントタイプを使用する支払情報のリクエストを含むとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を使用して、第１のアカウントの支払アカウント情報を非接触支払端末に送信することであって、第１のアカウントの支払アカウント情報により非接触支払端末が支払取引を行うことが可能になる、ことと、を行うように、更に構成されている、付記１３４又は１３５に記載の電子デバイス。

１３８
処理ユニットが、
非接触支払端末から支払取引と関連付けられたリクエストを受け取ることと、
リクエストが第１のアカウントに対応する第１のアカウントタイプを使用する支払アカウント情報のリクエストを含むと判定することと、
現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、１つ以上の無線通信要素を使用して、デフォルトの支払アカウントの支払アカウント情報を非接触支払端末に送信することであって、デフォルトの支払アカウントの支払アカウント情報により非接触支払端末が支払取引を行うことが可能になる、ことと、
を行うように、更に構成されている、付記１３４から１３６のいずれか１項に記載の電子デバイス。
１３９
第１のアカウントの視覚的表示が、デフォルトのアカウントの視覚的表示の上に表示され、第１のアカウントの視覚的表示が、デバイスが支払取引で使用するために追加のユーザ入力を必要とすることなく第１のアカウントを選択可能となっていることを示す、付記１３４から１３８のいずれか１項に記載の電子デバイス。
１４０
処理ユニットが、
位置センサユニットを使用して現在の位置を検出する前に、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取ることを行うように、更に構成されている、付記１３４から１３９のいずれか１項に記載の電子デバイス。
１４１
位置センサユニットを使用して現在の位置を検出することが、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力の受け取りに応答している、付記１４０に記載の電子デバイス。
１４２
現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているか否かを判定することが、デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力の受け取りに応答している、付記１３４から１４１のいずれか１項に記載の電子デバイス。
１４３
現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことが、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介してデフォルトの支払アカウントを使用して取引に参加することが可能となる前に、デバイスが現在の位置が第１のアカウントと関連付けられていると判定することに失敗するときに生じる、付記１３４から１４２のいずれか１項に記載の電子デバイス。
１４４
処理ユニットが、
非接触支払端末からロイヤルティアカウント情報のリクエストを受け取ることであって、第１のアカウントがロイヤルティアカウントである、ことと、
ロイヤルティアカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、及び現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとのその後の判定に従って、
１つ以上の無線通信要素を介して、第１のアカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信すること、及び
１つ以上の無線通信要素を介して、デフォルトの支払アカウントの支払アカウント情報を非接触支払端末に送信することと、
を行うように、更に構成されている、付記１３４から１３６のいずれか１項に記載の電子デバイス。
１４５

処理ユニットが、
非接触支払端末から支払取引と関連付けられたリクエストを受け取ることと、
リクエストが第１のアカウントに対応する第１のアカウントタイプを使用する支払アカウント情報のリクエストを含むと判定することであって、第１のアカウントがデフォルトの支払アカウントとは異なる支払アカウントである、ことと、
アカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、及び現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとのその後の判定に従って、
１つ以上の無線通信要素を介して、第１のアカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信することを取り止めること、及び
１つ以上の無線通信要素を介して、デフォルトの支払アカウントの支払アカウント情報を非接触支払端末に送信することと、
を行うように、更に構成されている、付記１３４から１３６のいずれか１項に記載の電子デバイス。
１４６
処理ユニットが、
非接触支払端末から支払取引と関連付けられたリクエストを受け取ることであって、
非接触支払端末から支払取引と関連付けられたリクエストを受け取る前に、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示及び第１のアカウントの視覚的表示がディスプレイユニット上に同時に表示されていて、
リクエストが第１のアカウントに対応する第１のアカウントタイプを使用する支払アカウント情報のリクエストを含み、
第１のアカウントが第１のアカウントタイプの支払アカウントである、ことと、
アカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、及び現在の位置がデフォルトの支払アカウント以外のアカウントと関連付けられていると判定されないことに従って、及び現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとのその後の判定に従って、
１つ以上の無線通信要素を介して、デフォルトの支払アカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信することを取り止めること、及び
１つ以上の無線通信要素を介して、第１のアカウントの支払アカウント情報を非接触支払端末に送信することと、を行うように、更に構成されている、付記１３４から１３６のいずれか１項に記載の電子デバイス。
１４７
処理ユニットが、
現在の位置が第１のアカウントと関連付けられているとの判定に従って、
１つ以上の無線通信要素を介して、非接触支払端末から失敗連絡を受け取ることと、
失敗連絡の受け取りに応答して、
１つ以上の無線通信要素を介して、デフォルトの支払アカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信することと、を行うように、更に構成されている、付記１３７に記載の電子デバイス。
１４８
ディスプレイユニット上での、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示及び第１のアカウントの視覚的表示の同時の表示を可能にすることが、ディスプレイユニット上での、第１のアカウントの視覚的表示と重ねたデフォルトの支払アカウントの視覚的表示の同時の表示を可能にすることを含む、付記１３４から１４７のいずれか１項に記載の電子デバイス。
１４９
電子デバイスであって、
ディスプレイユニットと、
位置センサユニットと、
ディスプレイユニットと位置センサユニットとに結合された処理ユニットであって、

デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取ること、並びに、
入力の受け取りに応答して、
位置センサユニットを使用して、現在の位置を検出すること、
１つ以上の支払基準のセットを満足しているか否かを判定することであって、１つ以上の支払基準のセットが、現在の位置が第１の支払アカウントと関連付けられているときに満足される基準を含む、判定すること、
１つ以上の支払基準のセットが満足されていないとの判定に従って、ディスプレイユニット上での、デフォルトの支払アカウントの視覚的表示の表示を可能にすることであって、デフォルトの支払アカウントが第１の支払アカウントとは異なっている、可能にすること、及び
１つ以上の支払基準のセットが満足されているとの判定に従って、ディスプレイユニット上での、第１の支払アカウントの視覚的表示の表示を可能にすること、を行わせるように構成された処理ユニットと、を備える、電子デバイス。

１５０

１つ以上の支払基準のセットが満足されているとの判定に従って、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第１の支払アカウントを使用して取引に参加することを可能にすることを行うように、更に構成されている、付記１４９に記載の電子デバイス。

１５１

１つ以上の支払基準のセットが満足されていないとの判定に従って、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介してデフォルトの支払アカウントを使用して取引に参加することを可能にするように、更に構成されている、付記１４９又は１５０に記載の電子デバイス。

１５２

処理ユニットが、
１つ以上の支払基準のセットが満足されていないとの判定に従って、ディスプレイ上に、第１の支払アカウントの視覚的表示を可能にすることを取り止めることを行うように、更に構成されている、付記１４９から１５１のいずれか１項に記載の電子デバイス。

１５３

第１の方向への１つ以上の入力を受け取ることと、
１つ以上の入力の受け取りに応答して、
ディスプレイユニット上での、第１の支払アカウント及びデフォルトの支払アカウントとは異なる第２のアカウントを識別する第２の視覚的インジケータの表示を可能にすること、及び
電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第２のアカウントを使用して取引に参加することを可能にすることと、を行うように、更に構成されている、付記１４９又は１５０に記載の電子デバイス。

１５４

処理ユニットが、
非接触支払端末からアカウント情報のリクエストを受け取ることと、
アカウント情報のリクエストの受信に応答して、１つ以上の無線通信要素を介して、それぞれの可能となったアカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信することであって、アカウント情報により非接触支払端末が支払取引を行うことが可能になる、ことと、を行うように、更に構成されている、付記１４９又は１５０に記載の電子デバイス。

１５５

１つ以上の基準のセットが、現在の位置で第１の支払アカウントを使用して取引するためにデバイスが認証されるときに満足される基準を含む、付記１４９から１５４のいずれか１項に記載の電子デバイス。

１５６

処理ユニットが、

現在の位置がロイヤルティアカウントと関連付けられていると判定することと、
ディスプレイユニット上での、ロイヤルティアカウントの視覚的表示と、支払アカウントのそれぞれの視覚的表示との、同時の表示を可能することと、を行うように、更に構成されている、付記１４９又は１５０に記載の電子デバイス。
１５７
電子デバイスが１つ以上の入力デバイスを更に含み、処理ユニットが、
デバイスを支払取引可能にするよう要求するユーザ入力を受け取る前に、
支払アカウントを電子デバイスとリンクするリクエストを受け取ることであって、リクエストが支払アカウントのアカウント情報を含む、ことと、
支払アカウントを電子デバイスとリンクすることと、
支払アカウントと関連付けられた金融機関が、ユーザ入力不要で位置に基づき選択される支払アカウントを認証したと判定することと、
ユーザ入力不要で位置に基づき選択される支払アカウントをアクティベーションするユーザ入力を受け取ることと、を行うように、更に構成されている、付記１４９又は１５０に記載の電子デバイス。
１５８
処理ユニットが、
１つ以上の支払基準のセットが満足されているとの判定に従って、電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第１の支払アカウントを使用して取引に参加することを可能にすることと、
非接触支払端末から支払取引と関連付けられたリクエストを受け取ることと、
リクエストが第１の支払アカウントとは異なる第２の支払アカウントに対応するアカウントタイプを使用する支払アカウント情報のリクエストを含むか否かを判定することと、
リクエストが第２のアカウントタイプを使用する支払情報のリクエストを含むとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を使用して第２のアカウントの支払アカウント情報を非接触支払端末に送信するための認証を要求する通知を提供することであって、第２のアカウントの支払アカウント情報により非接触支払端末が支払取引を行うことが可能になる、ことと、を行うように、更に構成されている、付記１４９又は１５０に記載の電子デバイス。
１５９
電子デバイスであって、
ディスプレイユニットと、
１つ以上の無線通信要素を含む無線通信ユニットと、
ディスプレイユニット及び無線通信ユニットに結合された処理ユニットであって、
デバイスを支払取引可能にするよう要求する入力を受け取ること、
入力の受け取りに応答して、ディスプレイユニット上での、第１の支払アカウント及び第２の支払アカウントを含む複数の支払アカウントを表す支払表示の表示を可能にすること、
１つ以上の無線通信要素を介して、支払取引に対応するアカウント情報のリクエストを受け取ること、
支払取引に対応するアカウント情報のリクエストの受け取りに応答して、
第１の支払アカウントに関する支払基準が満足されているとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を介して、第２の支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに、第１の支払アカウントに関するアカウント情報を送信すること、及び
第２の支払アカウントに関する支払基準が満足されているとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を介して、第１の支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに、第２の支払アカウントに関するアカウント情報を送信すること、を行うように構成された処理ユニットと、を備える、電子デバイス。
１６０
電子デバイスが、デフォルトの支払アカウント及び複数のデフォルトでない支払アカウ

ントのうちの１つを使用した支払を可能にするように構成されており、処理ユニットが、
デフォルトでない支払アカウントのうちのいずれに関しても支払基準が満足されていないとの判定に従って、１つ以上の無線通信要素を介して、デフォルトでない支払アカウントに関するアカウント情報は送信せずに、デフォルトの支払アカウントに関するアカウント情報を送信することを行うように、更に構成されている、付記１５９に記載の電子デバイス。
１６１
支払基準が、電子デバイスの現在の位置と関連付けられた判定に基づく基準を含む、付記１５９に記載の電子デバイス。
１６２
支払基準が、支払取引に対応するアカウント情報のリクエストに基づく基準を含む、付記１５９から１６１のいずれか１項に記載の電子デバイス。
１６３
複数の支払アカウントを表す支払表示が、第１の支払アカウントの表示を含まず、また第２の支払アカウントの表示を含まない、付記１５９から１６２のいずれか１項に記載の電子デバイス。
１６４
複数の支払アカウントが、ユーザ入力不要な位置に基づく選択をアクティベーションするユーザ入力を電子デバイスが受信している支払アカウントのみを含む、付記１５９から１６３のいずれか１項に記載の電子デバイス。
１６５
複数の支払アカウントが、支払アカウントと関連付けられた金融機関が対応するユーザ入力不要で位置に基づき選択される支払アカウントを認証した支払アカウントのみを含む、付記１５９から１６４のいずれか１項に記載の電子デバイス。
１６６
支払取引のために複数の支払アカウントのうちのどれを使用すべきかをデバイスがコンテキストに基づいて選択する、コンテキスト的選択の動作モードが、選択可能な支払選択肢として表される、付記１５９から１６５のいずれか１項に記載の電子デバイス。
１６７
電子デバイスがタッチ感知面ユニットを含み、処理ユニットが、
第１の方向への１つ以上の入力を受け取ることと、
１つ以上の入力の受け取りに応答して、
ディスプレイユニット上で、複数の支払アカウントを表す支払表示を、複数の支払アカウントを表す支払表示とは異なる第２の視覚的インジケータと入れ替えることを可能にすることであって、第２の視覚的選択インジケータが第１の支払アカウント及び第２の支払アカウントとは異なる第３の支払アカウントを識別する、こと、及び
電子デバイスが１つ以上の無線通信要素を介して第３の支払アカウントを使用して取引に参加することを可能にすることと、を行うように、更に構成されている、付記１５９から１６１のいずれか１項に記載の電子デバイス。
１６８
複数の支払アカウントを表す支払表示が、複数の支払アカウントのうちの個々の支払アカウントの視覚的インジケータとは異なっている、付記１５９から１６７のいずれか１項に記載の電子デバイス。
１６９
電子デバイスであって、
ディスプレイユニットと、
接触の強度を検出するように構成されたタッチ感知面と、
１つ以上の無線通信要素を含む無線通信ユニットと、
ディスプレイユニットとタッチ感知面ユニットと無線通信ユニットとに結合された処理ユニットであって、

第１の入力を受け取ること、
第１の入力の受け取りに応答して、
ディスプレイユニット上での、第１のユーザインタフェースの表示を可能にすることであって、第１のユーザインタフェースが、
複数の支払アカウントと関連付けられた支払カードを識別する第１の視覚的インジケータ、及び
支払カードの複数の支払アカウントのうちの第１の支払アカウントを識別する第２の視覚的インジケータを含む、表示を可能にすること、
電子デバイスが、１つ以上の無線通信要素を介して第１の支払アカウントを使用して支払取引を行うことを可能にすること、
タッチ感知面ユニット上の第１の接触を検出すること、
第１の接触の特性強度が強度閾値を上回っているか否かを判定すること、並びに、
第１の接触の特性強度が強度閾値を上回っているとの判定に従って、ディスプレイユニット上での、第２のユーザインタフェースの表示を可能にすることであって、第２のユーザインタフェースによって、第１の視覚的インジケータによって表された異なる支払アカウントの間で選択を行うことが可能になる、可能にすること、を行うように構成された処理ユニットと、を備える、電子デバイス。

１７０

第２のユーザインタフェースが支払アカウント選択アフォーダンスを含む、付記１６９に記載の電子デバイスであって、処理ユニットが、
支払アカウント選択アフォーダンスに対応するタッチ感知面ユニット上の位置において、第２の接触を検出することと、
第２の接触の検出に応答して、ディスプレイユニット上での、第３のユーザインタフェースの表示を可能にすることであって、第３のユーザインタフェースが、複数の支払アカウントのうちの少なくとも一部に対応する１つ以上のアカウントアフォーダンスを含む、ことと、
１つ以上のアカウントアフォーダンスのうちの１つのアカウントアフォーダンスと関連付けられたタッチ感知面ユニット上の位置において、第３の接触を検出することであって、アカウントアフォーダンスが複数の支払アカウントのうちの第２の支払アカウントに対応し、第２の支払アカウントが第１の支払アカウントとは異なっている、ことと、
第３の接触の検出に応答して、
ディスプレイユニット上での、第４のユーザインタフェースの表示を可能にすることであって、第４のユーザインタフェースが、
複数の支払アカウントと関連付けられた支払カードを識別する第１の視覚的インジケータ、及び
支払カードの複数の支払アカウントのうちの第２の支払アカウントを識別する第３の視覚的インジケータを含む、こと、
電子デバイスが、１つ以上の無線通信要素を介して第２の支払アカウントを使用して支払取引を行うことを可能にすることと、を行うように、更に構成されている、電子デバイス。

１７１

第２のユーザインタフェースが複数の支払アカウントのうちの少なくとも一部に対応する１つ以上のアカウントアフォーダンスを含む、付記１６９に記載の電子デバイスであって、処理ユニットが、
１つ以上のアカウントアフォーダンスのうちの１つのアカウントアフォーダンスと関連付けられたタッチ感知面ユニット上の位置において、第２の接触を検出することであって、アカウントアフォーダンスが複数の支払アカウントのうちの第２の支払アカウントに対応し、第２の支払アカウントが第１の支払アカウントとは異なっている、ことと、
第２の接触の検出に応答して、
ディスプレイユニット上での、第４のユーザインタフェースの表示を可能にすること

であって、第４のユーザインタフェースが、
　　複数の支払アカウントと関連付けられた支払カードを識別する第１の視覚的インジケータ、及び
　　支払カードの複数の支払アカウントのうちの第２の支払アカウントを識別する第３の視覚的インジケータを含む、こと、並びに
　電子デバイスが、１つ以上の無線通信要素を介して第２の支払アカウントを使用して支払取引を行うことを可能にすることと、を行うように、更に構成されている、電子デバイス。
１７２
処理ユニットが、
第１の接触の特性強度が強度閾値を下回るとの判定に従って、ディスプレイユニット上での第２のユーザインタフェースの表示を可能にすることなく、第１の視覚的インジケータの表示の可能化を維持することを行うように、更に構成されている、付記１６９から１７１のいずれか１項に記載の電子デバイス。
１７３
１つ以上のアカウントアフォーダンスが複数のアカウントアフォーダンスを含む、付記１６９に記載の電子デバイス。
１７４
現在選択されている支払アカウントの視覚的インジケータが強調される、付記１６９から１７３のいずれか１項に記載の電子デバイス。
１７５
第２の接触を検出することが、第２の接触の特性強度が強度閾値を上回っていないと判定することを含む、付記１７０から１７３のいずれか１項に記載の電子デバイス。
１７６
第２のユーザインタフェースが支払アカウント削除アフォーダンスを含む、付記１６９から１７５のいずれか１項に記載の電子デバイスであって、処理ユニットが、
支払アカウント削除アフォーダンスのアクティベーションを検出することと、
支払アカウント削除アフォーダンスのアクティベーションの検出に応答して、デバイスの電子財布から支払カードの複数の支払アカウントを除去することと、を行うように、更に構成されている、電子デバイス。
１７７
支払アカウント削除アフォーダンスが、支払アカウント削除アフォーダンスを支払アカウント選択アフォーダンスから区別する、１つ以上の視覚的特徴を含む、付記１６９から１７６のいずれか１項に記載の電子デバイス。
１７８
処理ユニットが、
ディスプレイユニット上に第４のユーザインタフェースを表示している間に、
　タッチ感知面上のスワイプ入力を検出することと、
　スワイプ入力の検出に応答して、ディスプレイユニット上での、第５のユーザインタフェースの表示を可能にすることであって、第５のユーザインタフェースが、支払カードとは異なる第２の支払カードを識別する第４の視覚的インジケータを含む、ことと、を行うように、更に構成されている、付記１６９から１７１のいずれか１項に記載の電子デバイス。
１７９
第１のユーザインタフェース、第２のユーザインタフェース、第３のユーザインタフェース、及び第４のユーザインタフェースが、単一の電子財布アプリケーションのユーザインタフェースであり、単一の電子財布アプリケーションが、電子デバイスのユーザと関連付けられた複数の支払アカウントを含む、付記１６９から１７８のいずれか１項に記載の電子デバイス。
１８０

処理ユニットが、
非接触支払端末からアカウント情報のリクエストを受け取ることと、
アカウント情報のリクエストの受信に応答して、１つ以上の無線通信要素を介して、第２の支払アカウントに関するアカウント情報を非接触支払端末に送信することであって、アカウント情報により非接触支払端末が支払取引を行うことが可能になる、ことと、を行うように、更に構成されている、付記１６９から１７１のいずれか１項に記載の電子デバイス。
１８１
第１の電子デバイスであって、
ディスプレイユニットと、
１つ以上の無線通信要素を含む無線通信ユニットと、
ディスプレイユニット及び無線通信ユニットに結合された処理ユニットであって、
支払カードと関連付けられた支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクさせる第１のリクエストを受け取ること、
第１のリクエストの受け取りに応答して、支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクするための処理を開始すること、
第１の電子デバイスへの支払アカウントのリンクが成功した後で、ディスプレイユニット上での、
第１の電子デバイスへの支払アカウントのリンクが成功したとの表示、及び
支払アカウントを第１の電子デバイスとは異なる第２の電子デバイスにリンクするための選択可能なアフォーダンスの、同時の表示を可能にすること、並びに、
選択可能なアフォーダンスのアクティベーションを受け取ること、並びに、
選択可能なアフォーダンスのアクティベーションの受け取りに応答して、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始すること、を行うように構成された処理ユニットと、を備える、第１の電子デバイス。
１８２
第２の電子デバイスが第１の電子デバイスと一意的にペアリングされる、付記１８１に記載の第１の電子デバイス。
１８３
第１の電子デバイスが第２の電子デバイスとペアリングされ、第１の電子デバイスが第３の電子デバイスとペアリングされ、第１の電子デバイスと第２の電子デバイスとの間のペアリング関係が、第１の電子デバイスと第３の電子デバイスとの間のペアリング関係とは異なっている、付記１８１に記載の第１の電子デバイス。
１８４
支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始することが、
１つ以上の無線通信要素を介して、支払カードと関連付けられた金融機関に、第２の電子デバイスが第１の電子デバイスと一意的にペアリングされるという表示を送信することを含む、付記１８１から１８３のいずれか１項に記載の第１の電子デバイス。
１８５
処理ユニットが、
支払アカウントの第２の電子デバイスへのリンクの開始後、第２の電子デバイスから、第２の電子デバイスの支払アカウントへのリンクが成功したとの確認通知を受け取ることを行うように、更に構成されており、
支払アカウントとして第２の電子デバイスにリンクされた主要口座番号が、支払アカウントとして第１の電子デバイスにリンクされた主要口座番号とは異なっている、付記１８１から１８３のいずれか１項に記載の第１の電子デバイス。
１８６
支払アカウントをリンクさせる第１のリクエストが支払カードの口座番号を含み、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始することが、支払カードの口座番号の追加の入力を必要とすることなく行われる、付記１８１から１８５のいずれ

か１項に記載の第１の電子デバイス。
１８７
第２のリクエストが支払カードのセキュリティコードを含む、付記１８１から１８６のいずれか１項に記載の第１の電子デバイス。
１８８
処理ユニットが、
支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始することを行うように、更に構成されている、付記１８１から１８７のいずれか１項に記載の第１の電子デバイス。
１８９
支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクする処理を開始するために、処理ユニットが、
１つ以上の無線通信要素を介して、支払カードと関連付けられた金融機関に、
クレジットカードの口座番号と、
支払アカウントが第１の電子デバイスに既にリンクされたことを確認するセキュリティトークンと、を送信することを行うように、更に構成されている、付記１８８に記載の第１の電子デバイス。
１９０
支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始することが、
支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要か否かを判定することと、
支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証は必要ないとの判定に従って、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするための処理を開始し、支払アカウントが第２の電子デバイスにリンクされているとの表示を提供することと、
支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの判定に従って、支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの表示を提供することと、を含む。
１９１
支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの表示が、支払アカウントをそれぞれのデバイスにリンクするためにユーザが行うべき追加のステップの視覚的表示を含む、付記１９０に記載の第１の電子デバイス。
１９２
処理ユニットが、
アカウントリンク情報を第２の電子デバイスに送信することであって、アカウントリンク情報により第２の電子デバイスが支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクすることが可能になる、ことを行うように、更に構成されている、付記１８１から１９１のいずれか１項に記載の第１の電子デバイス。
１９３
処理ユニットが、
支払アカウントをそれぞれのデバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの判定に従って、
ディスプレイユニット上での、複数の通信方法アフォーダンスの表示を可能にすることであって、各通信方法アフォーダンスが検証通信のためのそれぞれの通信方法と関連付けられる、ことを行うように、更に構成されており、
複数の通信方法アフォーダンスが金融機関から受信した通信に基づいている、付記１８１から１８３のいずれか１項に記載の第１の電子デバイス。
１９４
処理ユニットが、
支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするために更なる検証が必要であるとの判定に従って、

複数の通信方法アフォーダンスのうちのある通信方法アフォーダンスの選択を受け取ることと、

通信方法アフォーダンスの選択の受け取りに応答して、金融機関に、選択された通信方法アフォーダンスの対応する通信方法の表示を送信することと、を行うように、更に構成されており、

検証通信が通信方法アフォーダンスに基づいている、付記１８１から１８３のいずれか１項に記載の第１の電子デバイス。

１９５

処理ユニットが、

第２の電子デバイスを使用した支払アカウントからの支払を認証する際に使用するために、金融機関から主要口座番号を受け取ることであって、主要口座番号がクレジットカードの口座番号とは異なっている、ことと、

主要口座番号をそれぞれのデバイスに割り当てることと、を行うように、

更に構成されている、付記１８１から１８３のいずれか１項に記載の第１の電子デバイス。

１９６

第２の電子デバイスの電子財布が、第２の電子デバイスのユーザと関連付けられた第２の支払アカウントに関する支払アカウント情報を含み、第２の支払アカウントが支払アカウントとは別である、付記１８１から１９５のいずれか１項に記載の第１の電子デバイス。

１９７

処理ユニットが、

第２の電子デバイスから、第２の電子デバイスがリンクされた支払アカウントを使用して支払取引に参加したとの表示を受け取ることを行うように、

更に構成されている、付記１８１から１９６のいずれか１項に記載の第１の電子デバイス。

１９８

第１の電子デバイスであって、

ディスプレイユニットと、

１つ以上の無線通信要素を含む無線通信ユニットと、

ディスプレイユニット及び無線通信ユニットに結合された処理ユニットにおいて、

ディスプレイユニット上での、第１の電子デバイスと関連付けられる第２の電子デバイス用の支払アカウントユーザインタフェースの表示を可能にすることであって、支払アカウントユーザインタフェースの表示を可能にすることが、

第１の支払アカウントが第２の電子デバイスにリンクされていること及び第２の電子デバイスが第１の支払アカウントを使用した支払を可能にするように構成されていることを示す第１の支払アカウントに関する状態情報を伴う、第１の支払アカウントの表現、並びに

第２の支払アカウントが第１の電子デバイスにリンクされているが第２の電子デバイスにはリンクされていないことを示す第２の支払アカウントに関する状態情報を伴う、第２の支払アカウントの表現を、同時に表示することを可能にすることを含む、支払アカウントユーザインタフェースを表示することを可能にすること、を行うように構成された、処理ユニットと、を備える、第１の電子デバイス。

１９９

第１の支払アカウントに関する状態情報が、第１の支払アカウントが第１の電子デバイスにリンクされることを更に示す、付記１９８に記載の第１の電子デバイス。

２００

支払アカウントユーザインタフェースが、電子デバイスのユーザと関連付けられており、第１の電子デバイスにリンクしておらず、第２の電子デバイスにリンクしていない、１つ以上のアカウントの表現を含む、付記１９８又は１９９のいずれか１項に記載の方法。

２０１
支払アカウントユーザインタフェースが第２の支払アカウントと関連付けられるリンクアフォーダンスを含む、付記１９８から２００のいずれか１項に記載の第１の電子デバイスであって、処理ユニットが、
リンクアフォーダンスのアクティベーションを検出することと、
リンクアフォーダンスのアクティベーションの検出に応答して、ディスプレイユニット上での、第１の電子デバイスと第２の電子デバイスとの間で支払通知を同期するための同期選択肢を含む、第２の支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするためのユーザインタフェースの表示を可能にすることと、
同期選択肢のアクティベーションを検出することと、
同期選択肢のアクティベーションの検出に応答して、第１の電子デバイス及び第２の電子デバイスの両方において提示されることになる将来の支払通知を同期することと、を行うように、更に構成されている、第１の電子デバイス。
２０２
支払アカウントユーザインタフェースの表示を可能にすることが、
第２の電子デバイスにリンクされており第１の電子デバイスにはリンクされていない支払アカウントの第１の複数の表現の第１のグループと、
第１の電子デバイスにリンクされており第２の電子デバイスにはリンクされていない支払アカウントの第２の複数の表現の第２のグループの、同時の表示を可能にすることを含む、付記１９８から２０１のいずれか１項に記載の第１の電子デバイス。
２０３
支払アカウントユーザインタフェースが第２の支払アカウントと関連付けられるリンクアフォーダンスを含む、付記１９８から２０２のいずれか１項に記載の第１の電子デバイスであって、処理ユニットが、
リンクアフォーダンスのアクティベーションを検出することと、
リンクアフォーダンスのアクティベーションの検出に応答して、ディスプレイユニット上での、第２の支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするためのユーザインタフェースの表示を可能にすることと、
ディスプレイユニット上に第２の支払アカウントを第２の電子デバイスにリンクするためのユーザインタフェースを表示している間に、第２の支払アカウントの第２の電子デバイスへのリンクを開始させるリクエストを受け取ることであって、第２の支払アカウントの第２の電子デバイスへのリンクを開始させるリクエストが第２の支払アカウントの口座番号の入力を含まない、ことと、を行うように、更に構成されている、第１の電子デバイス。
２０４
支払アカウントユーザインタフェースが第１の支払アカウントと関連付けられた第２のリンクアフォーダンスを含み、第１の支払アカウントが第１の電子デバイスにリンクされていない、付記１９８から２０３のいずれか１項に記載の第１の電子デバイスであって、処理ユニットが、
第２のリンクアフォーダンスのアクティベーションを検出することと、
第２のリンクアフォーダンスのアクティベーションの検出に応答して、ディスプレイユニット上での、第１の支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクするためのユーザインタフェースの表示を可能にすることと、
ディスプレイユニット上に第１の支払アカウントを第１の電子デバイスにリンクするためのユーザインタフェースを表示している間に、第１の支払アカウントの第１の電子デバイスへのリンクを開始させるリクエストを受け取ることであって、第１の支払アカウントの第１の電子デバイスへのリンクを開始させるリクエストが第１の支払アカウントの口座番号の入力を含まない、ことと、を行うように、更に構成されている、第１の電子デバイス。
２０５

第１の電子デバイスがハンドヘルドデバイスであり、第２の電子デバイスがウェアラブルデバイスである、付記１９８から２０４のいずれか１項に記載の第１の電子デバイス。

２０６

第１の電子デバイスがハンドヘルドデバイスであり、第２の電子デバイスは、第１の電子デバイスよりも大きいパーソナルコンピューティングデバイスである、付記１９８から２０５のいずれか１項に記載の第１の電子デバイス。

２０７

第１の電子デバイスと関連付けられる第２の電子デバイス用の支払アカウントユーザインタフェースが、

第３の支払アカウントが第３の電子デバイスにリンクされていること及び第３の電子デバイスが第３の支払アカウントを使用した支払を可能にするように構成されていることを示す第３の支払アカウントに関する状態情報を伴う、第３の支払アカウントの表現であって、第３の電子デバイスが第１の電子デバイス及び第２の電子デバイスとは異なっている、第３の支払アカウントの表現を更に含む、付記１９８から２０６のいずれか１項に記載の第１の電子デバイス。

【０５５０】

上述の説明は、説明の目的上、特定の実施形態を参照して説明されている。しかしながら、上記の例示的な論考は、網羅的であること、又は本発明を、開示される厳密な形態に限定することを意図するものではない。上記の教示を鑑みて、多くの修正及び変形が可能である。これらの実施形態は、本技法の原理、及びその実際の適用を最も良好に説明するために、選択及び説明されたものである。当業者は、これにより、意図される特定の使用に適合する様々な修正を施して、本技法及び様々な実施形態を最も良好に利用することが可能になる。

【０５５１】

添付図面を参照して、本開示及び実施例を十分に説明してきたが、様々な変更及び修正が、当業者には明らかとなるであろうことに留意されたい。そのような変更及び修正は、特許請求の範囲によって定義されるような、本開示及び実施例の範囲内に含まれるものとして理解されたい。

【０５５２】

上述のように、本技術の一態様は、ユーザが求める内容又はユーザが関心を持つ可能性のある任意の他の内容の、ユーザへの提供を向上するために、種々のソースから入手可能なデータを収集及び使用することである。本開示は、場合によっては、この収集されたデータは、特定の人を一意的に特定するか、又はその人に連絡するか、若しくはその人のロケーションを特定するために用いることができる個人情報データを含んでよいことを企図している。このような個人情報データは、人口統計学的データ、位置に基づくデータ、電話番号、電子メールアドレス、自宅住所、又は任意のその他の識別情報を含むことができる。

【０５５３】

本開示は、本技術における、このような個人情報データの使用は、ユーザの利益のために使用することができると認識している。例えば、個人情報データは、よりユーザの興味を引く、的を絞ったコンテンツを配信するために用いられてもよい。したがって、このような個人情報データの使用は、配信されるコンテンツの意図的な制御を可能にする。更に、ユーザに利益をもたらす個人情報データの他の使用法も、本開示によって企図されている。

【０５５４】

本開示は、このような個人情報データの収集、分析、開示、転送、記憶、又はその他の使用に関与する事業体は、しっかり確立されたプライバシーポリシー及び／又はプライバシー慣行を遵守することを更に企図している。具体的には、そのようなエンティティは、個人情報データを秘密として厳重に保守するための業界又は政府の要件を満たすか又は上回るものとして一般に認識されている、プライバシーのポリシー及び慣行を実装し常に使

用すべきである。例えば、ユーザからの個人情報は、その事業体の合法的かつ正当な使用のために収集されるべきであり、それらの合法的使用を除いて、共有又は販売されるべきではない。更に、そのような収集は、ユーザに告知して同意を受けた後にのみ実施するべきである。更に、そのようなエンティティは、そのような個人情報データへのアクセスを保護して安全化し、その個人情報データへのアクセスを有する他者が、自身のプライバシーポリシー及び手順を遵守することを保証するための、あらゆる必要な措置を講じることとなる。更には、そのようなエンティティは、広く受け入れられているプライバシーのポリシー及び慣行に対する自身の遵守を証明するために、第三者による評価を自らが受けることができる。

【０５５５】

前述のことがらにもかかわらず、本開示はまた、ユーザが、個人情報データの使用又は個人情報データへのアクセスを選択的に阻止する実施形態も企図している。すなわち、本開示は、そのような個人情報データへのアクセスを防止又は阻止するためのハードウェア要素及び／又はソフトウェア要素を提供することができることを企図している。例えば、広告配信サービスの場合、本技術は、ユーザがサービスの登録中に個人情報データの収集への参加の「オプトイン」又は「オプトアウト」を選択することを可能にするよう構成することができる。別の実施例では、ユーザは、的を絞ったコンテンツ配信サービスのために位置情報を提供しないことを選択することができる。更に別の例では、ユーザは正確な位置情報を提供しないが、位置領域情報の転送を許可することを選択することができる。

【０５５６】

したがって、本開示は、１つ以上の様々な開示された実施形態を実装するための個人情報データの使用を広範に網羅しているが、本開示は、それらの様々な実施形態がまた、そのような個人情報データにアクセスすることを必要とせずに実装されることも可能であることも企図している。すなわち、本技術の様々な実施形態は、そのような個人情報データのすべて又は一部分の欠如により、実施不可能となるものではない。例えば、ユーザに関連付けられたデバイスによって要求されるコンテンツなどの非個人情報データ若しくは必要最小限の個人情報、コンテンツ配信サービスが入手可能な他の非個人情報、又は公的に入手可能な情報に基づき嗜好を推測することによって、コンテンツを選択し、ユーザへ配信することができる。

【図１Ａ】

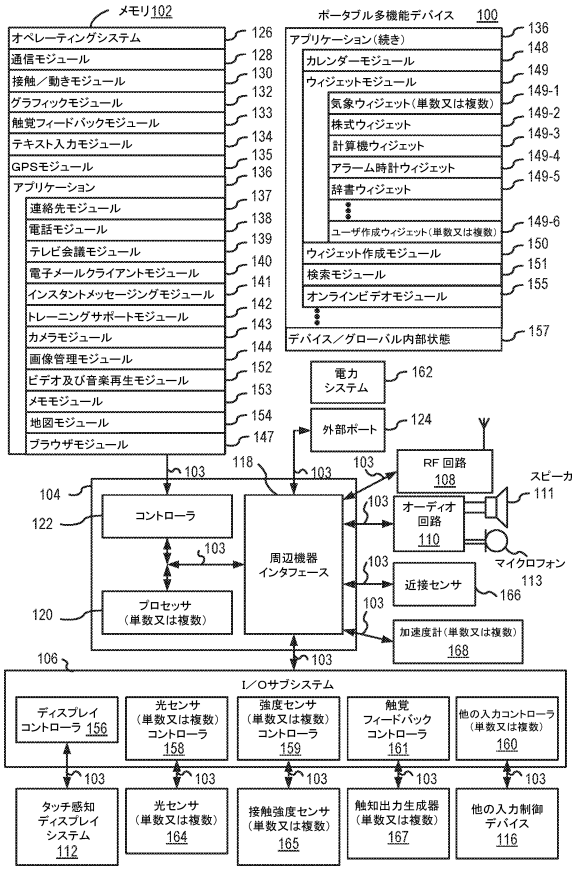


FIG. 1A

【図１Ｂ】

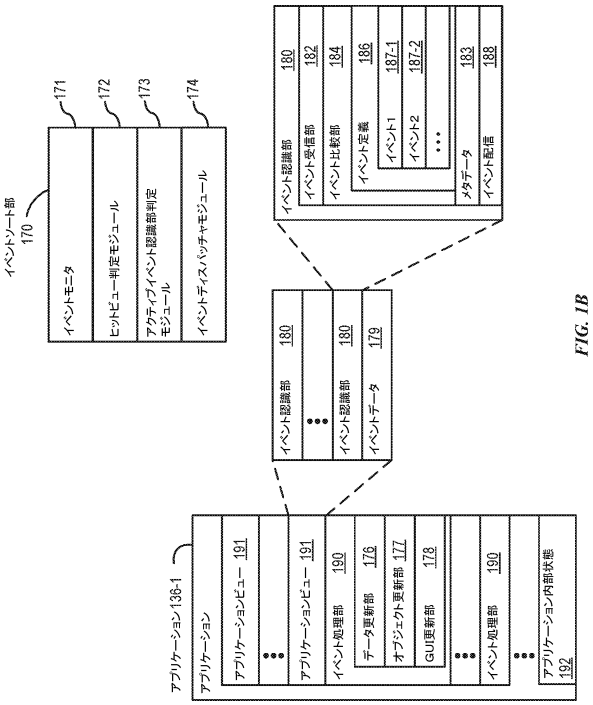


FIG. 1B

【図２】

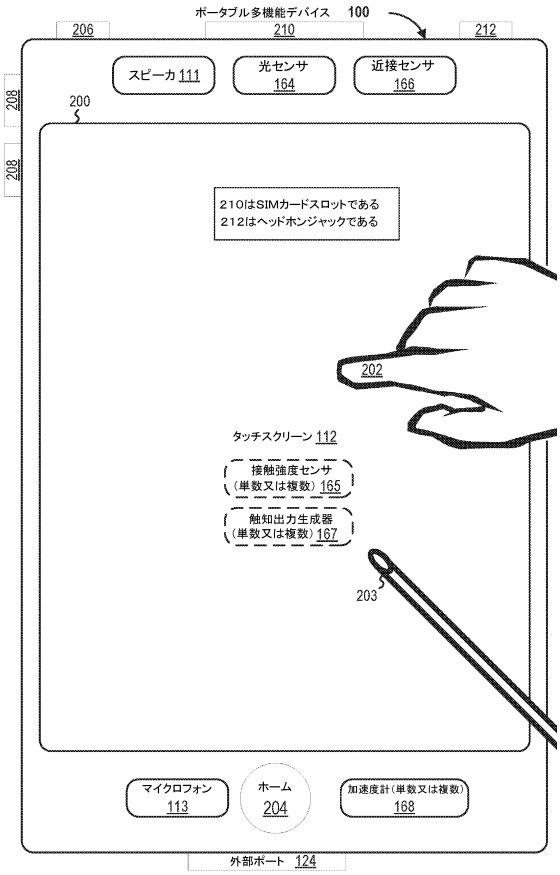


FIG. 2

【図３】

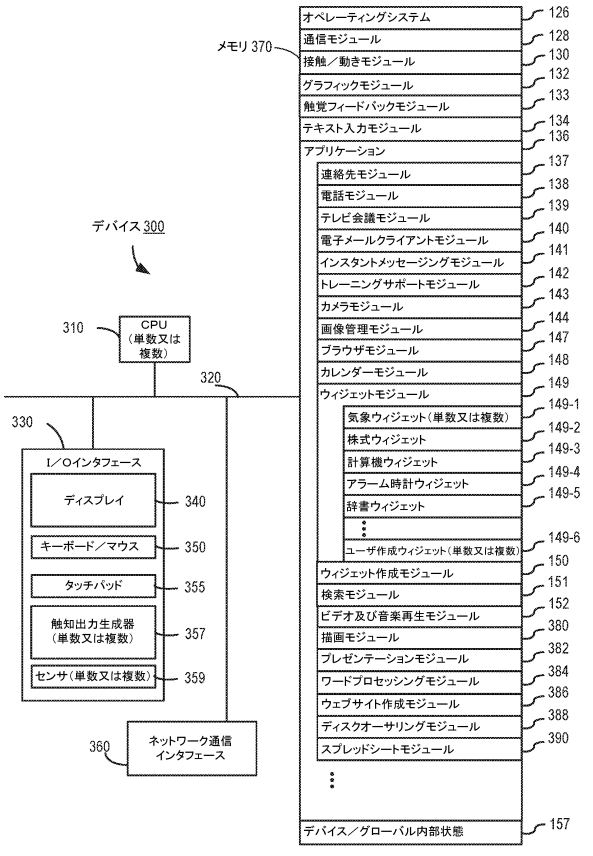


FIG. 3

【図４Ａ】

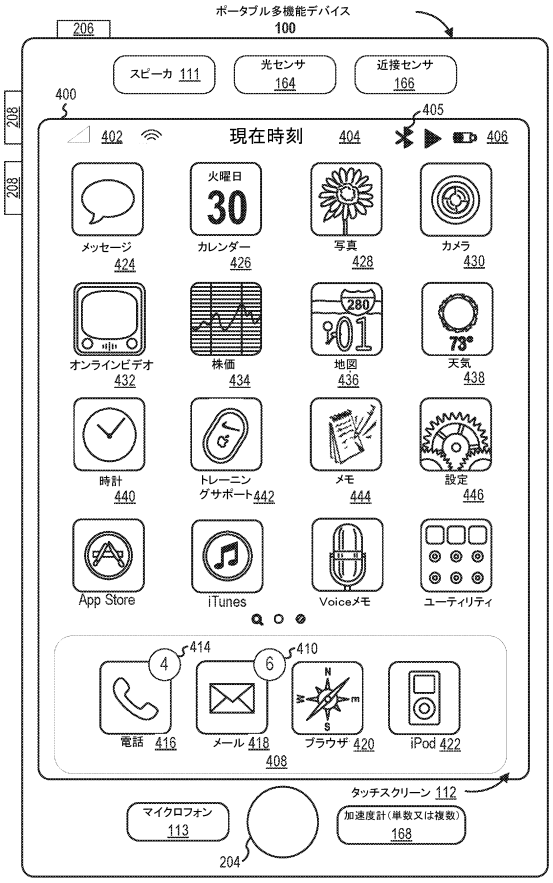


FIG. 4A

【図４Ｂ】

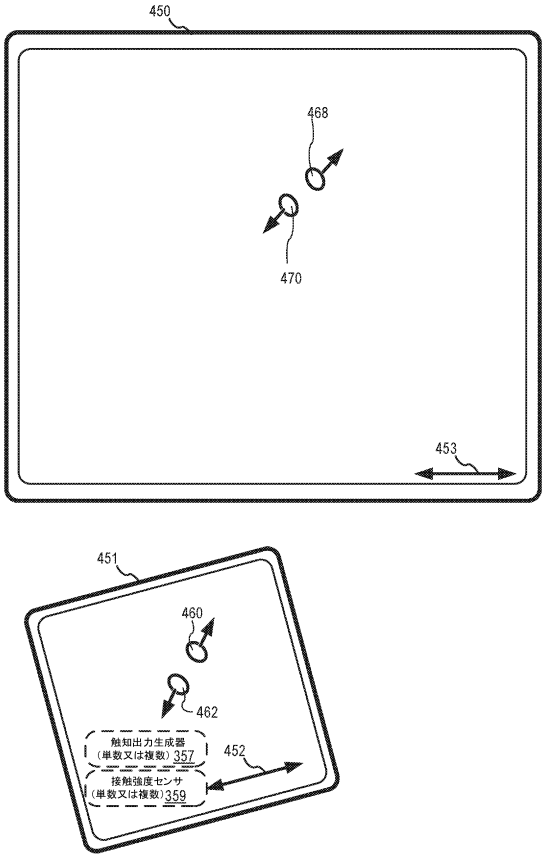


FIG. 4B

【図５Ａ】

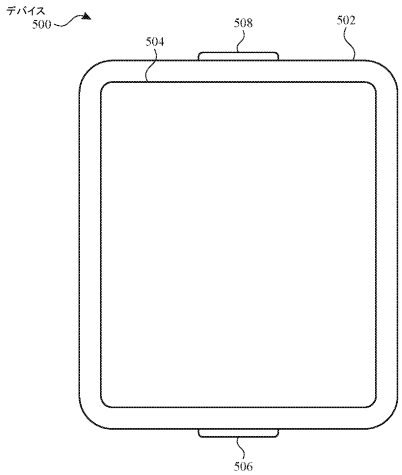


FIG. 5A

【図５Ｂ】

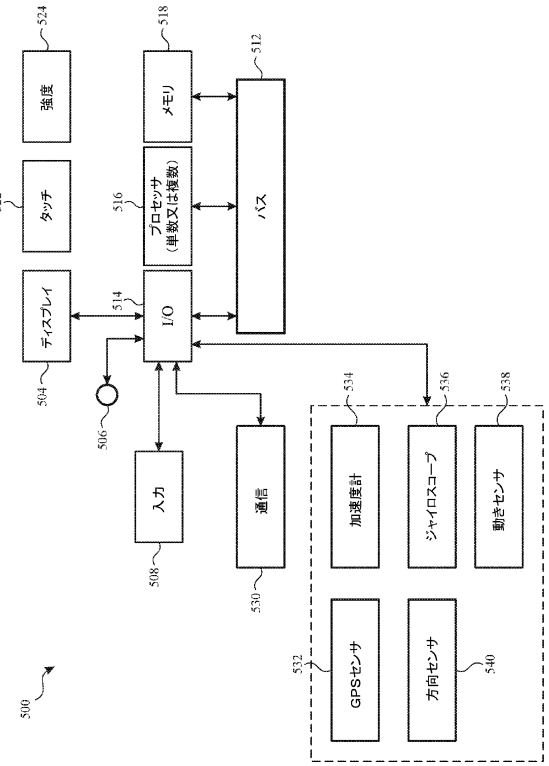


FIG. 5B

【図５Ｃ】

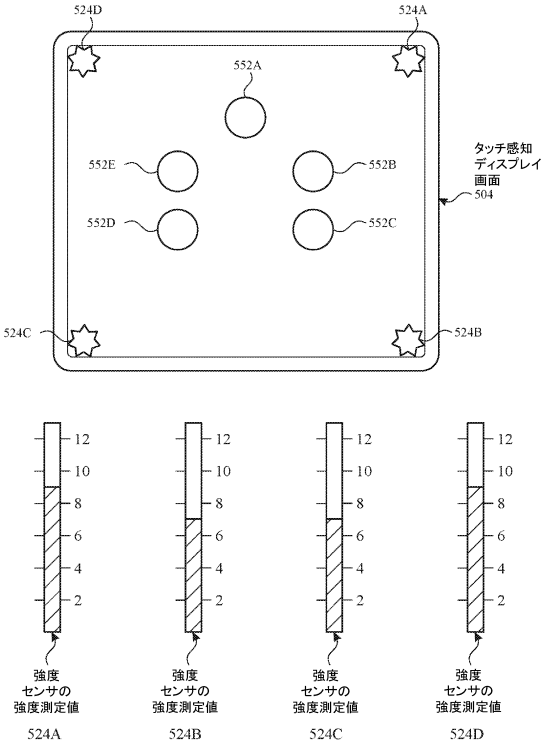


FIG. 5C

【図５Ｄ】

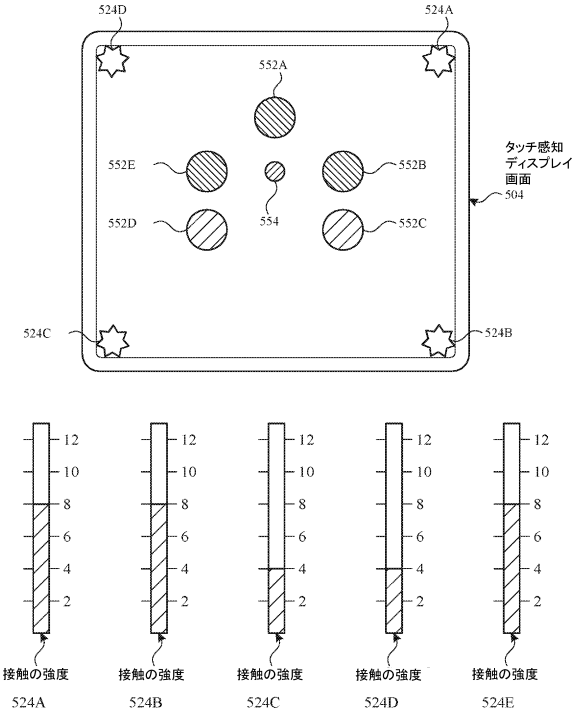


FIG. 5D

【図５Ｅ】

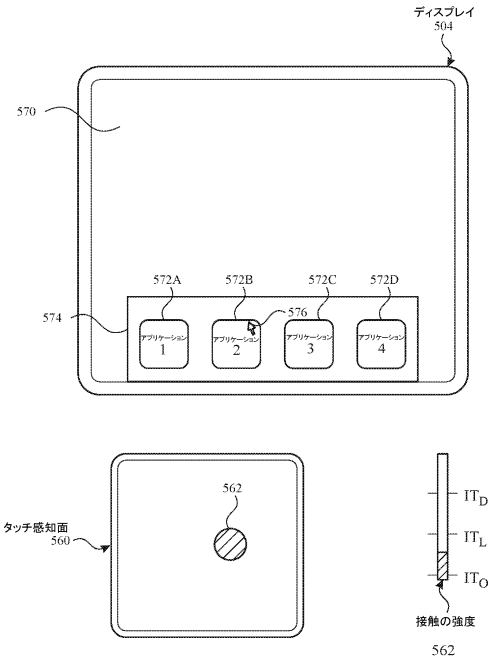


FIG. 5E

【図５Ｆ】

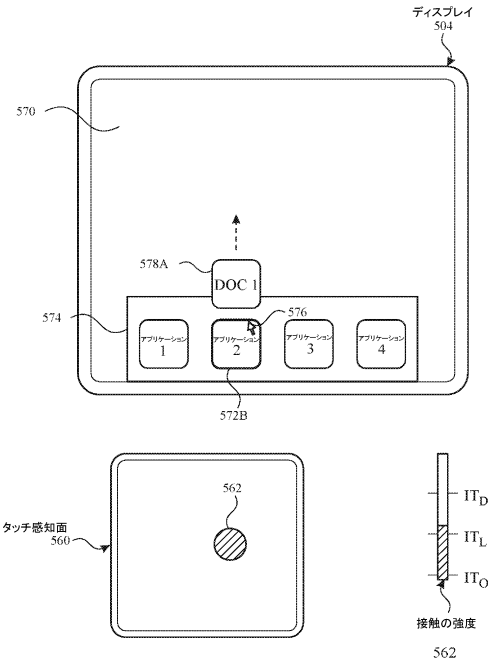


FIG. 5F

【図５Ｇ】

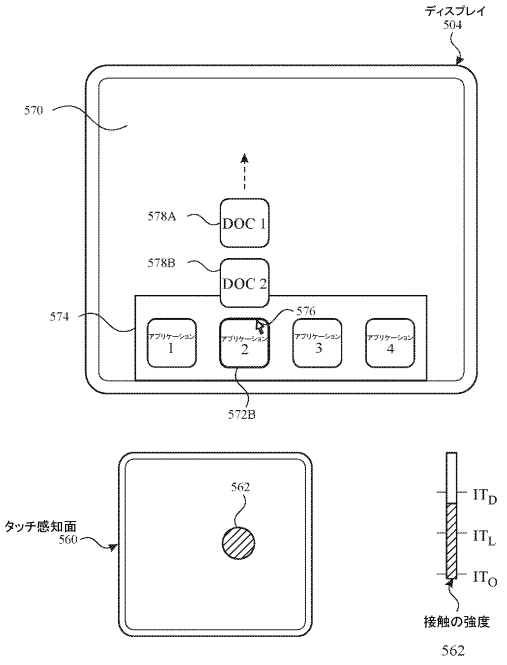


FIG. 5G

【図５Ｈ】

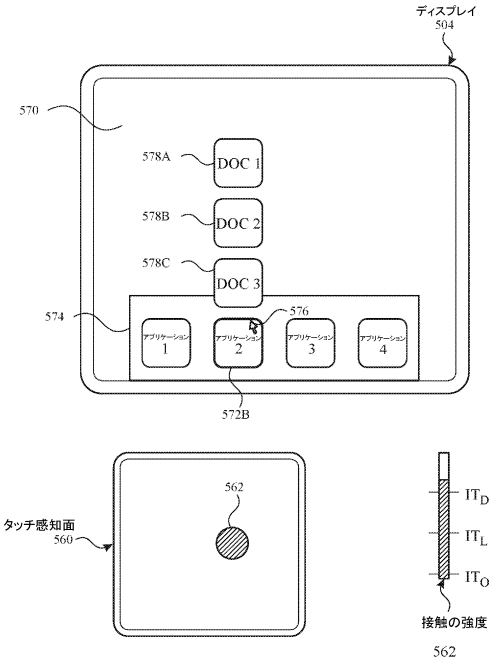


FIG. 5H

【図５Ｉ】

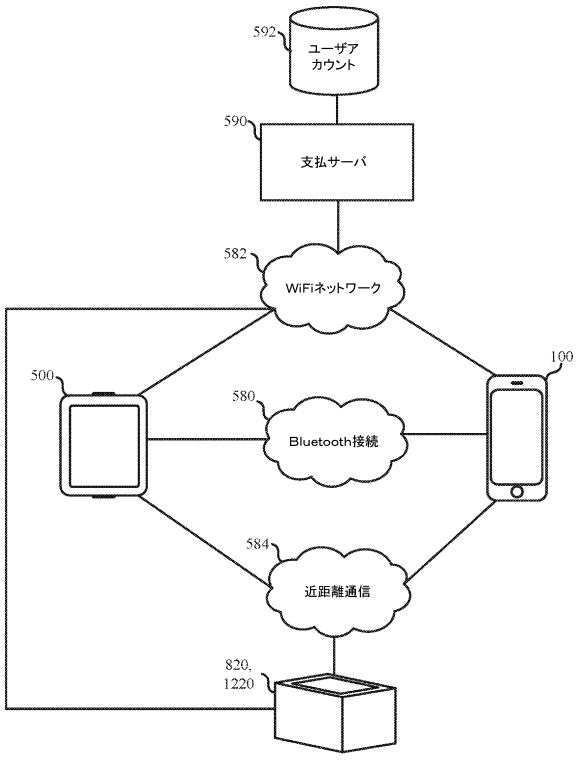


FIG. 5I

【図６Ａ】

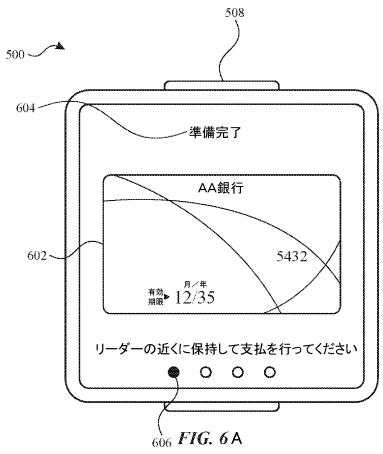


FIG. 6A

【図６Ｂ】

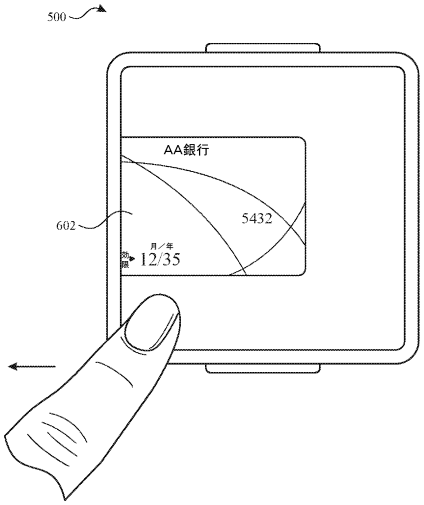


FIG. 6B

【図６Ｃ】

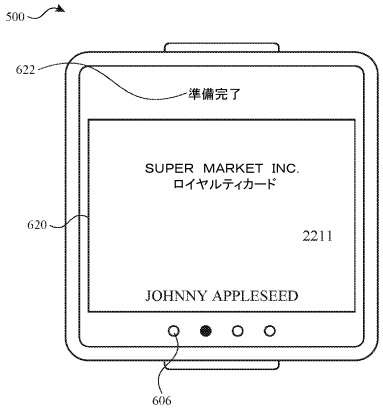


FIG. 6C

【図６Ｄ】

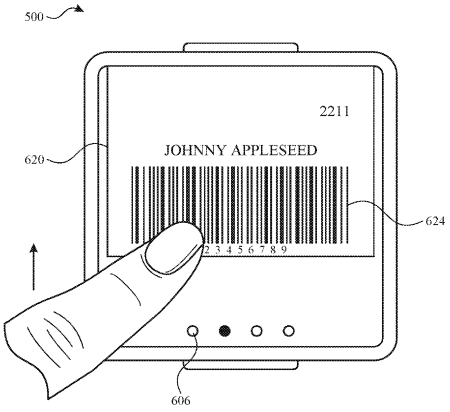


FIG. 6D

【図６Ｅ】

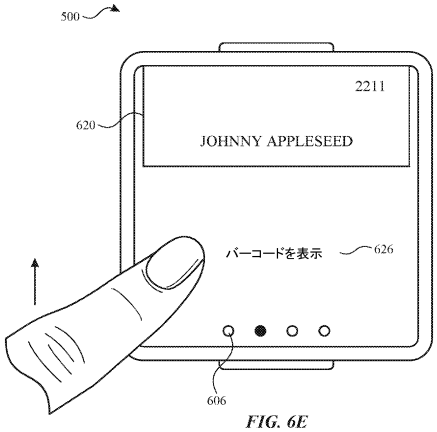


FIG. 6E

【図６Ｆ】

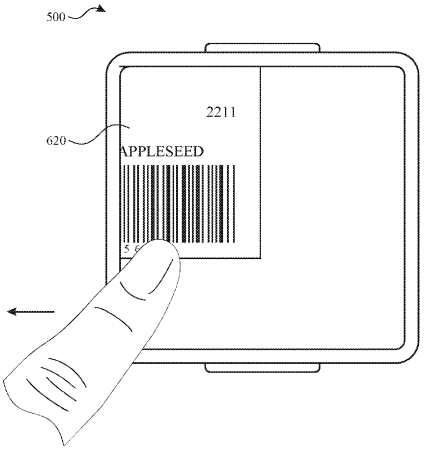


FIG. 6F

【図６Ｇ】

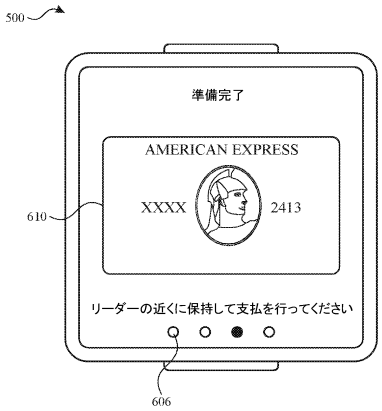


FIG. 6G

【図７】

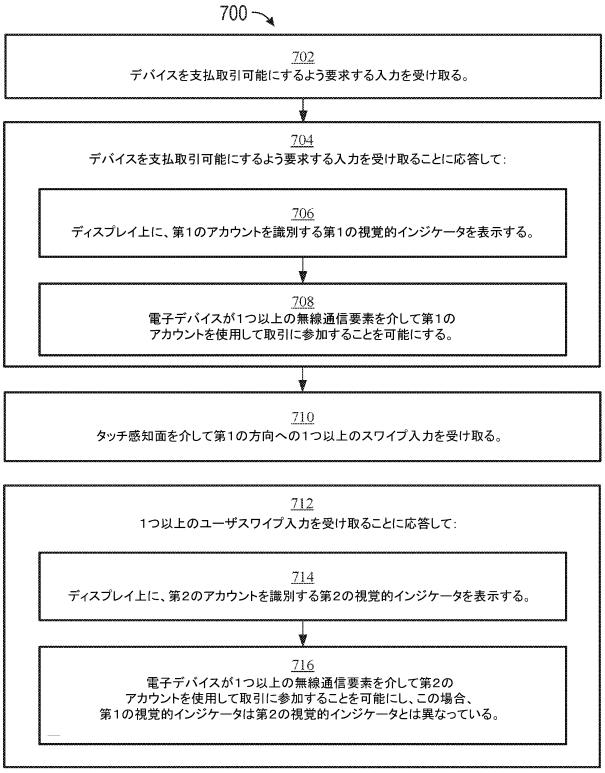


FIG. 7

【図８Ａ】

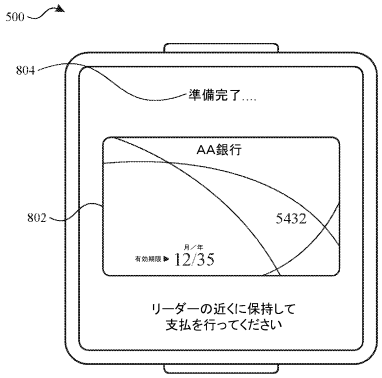


FIG. 8A

【図８Ｂ】

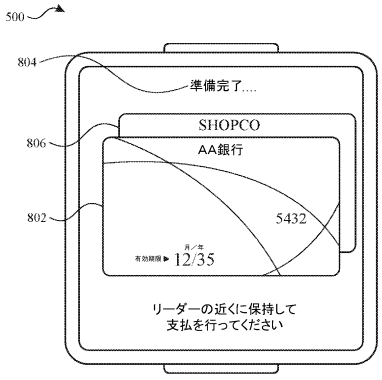


FIG. 8B

【図８Ｃ】

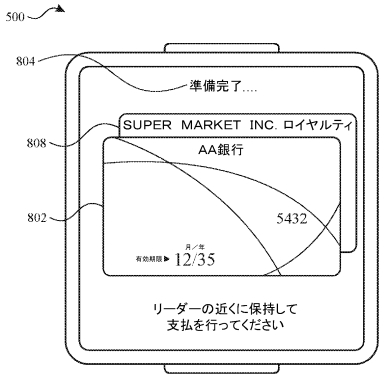


FIG. 8C

【図８Ｄ】

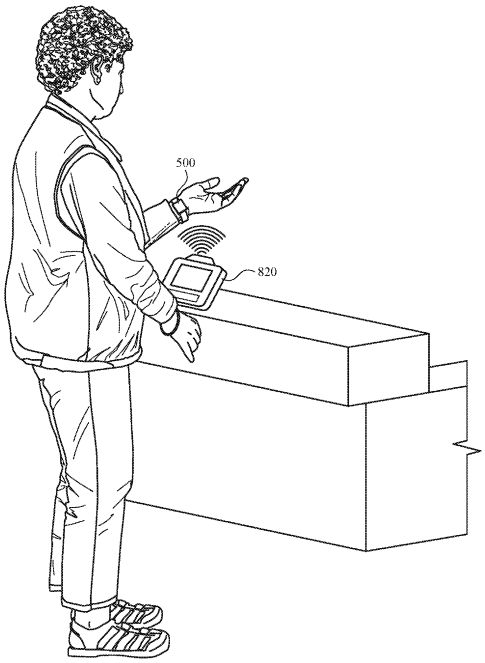


FIG. 8D

【図９】

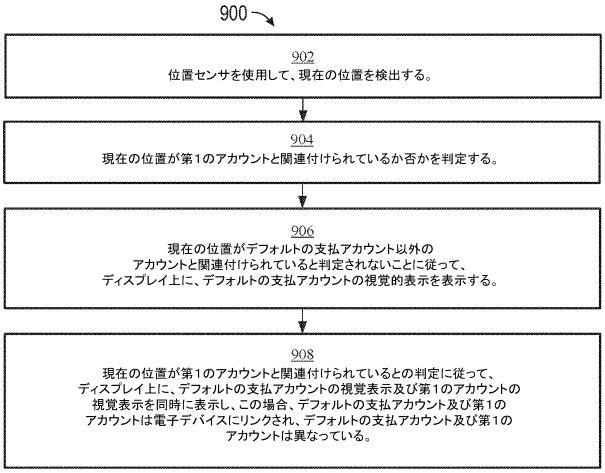


FIG. 9

【図１０Ａ】

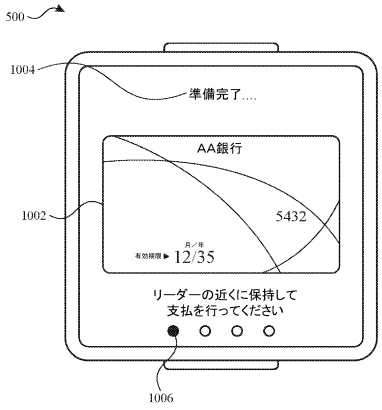


FIG. 10A

【図１０Ｂ】

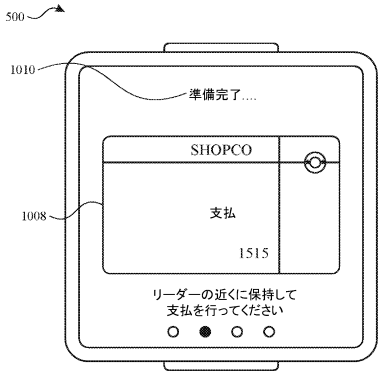


FIG. 10B

【図１０Ｃ】

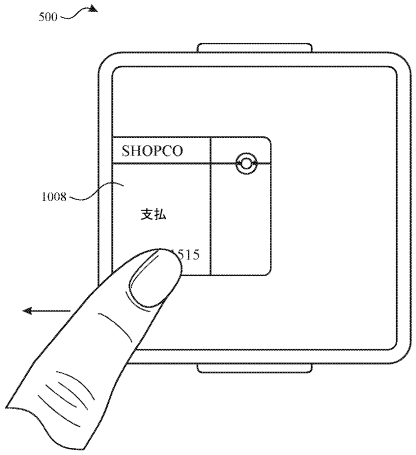


FIG. 10C

【図１０Ｄ】

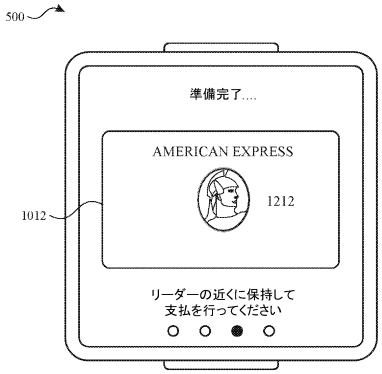


FIG. 10D

【図１０Ｅ】

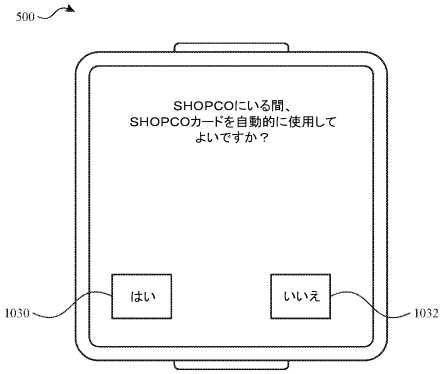


FIG. 10E

【図１１】

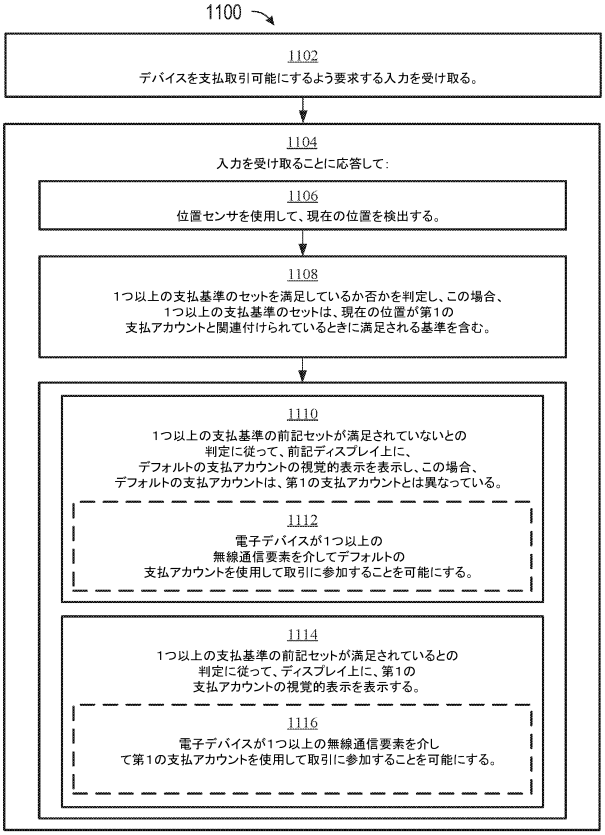


FIG. 11

【図１２Ａ】

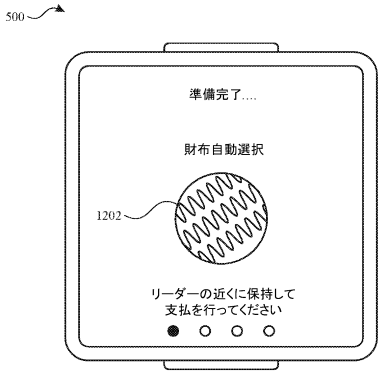


FIG. 12A

【図１２Ｂ】

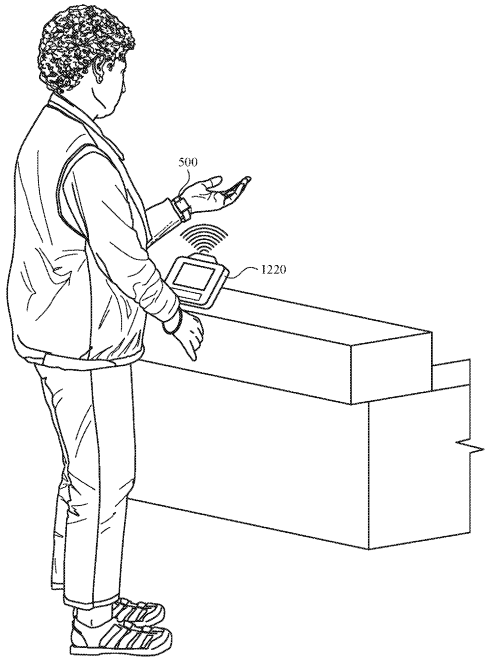


FIG. 12B

【図１２Ｃ】

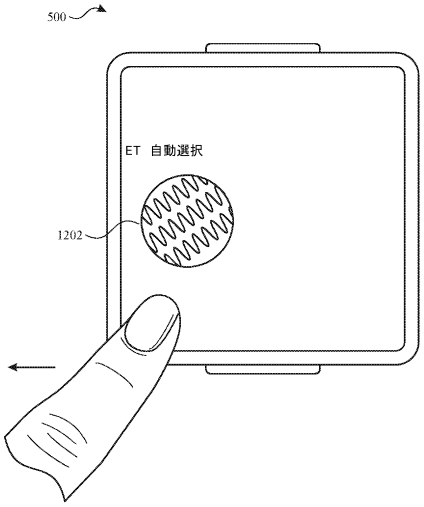


FIG. 12C

【図１２Ｄ】

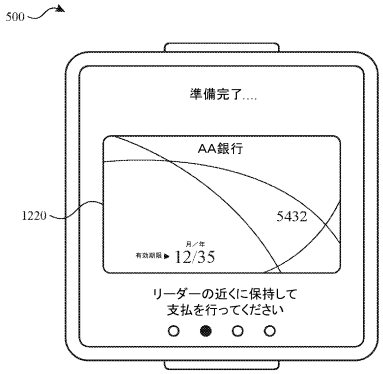


FIG. 12D

【図１３】

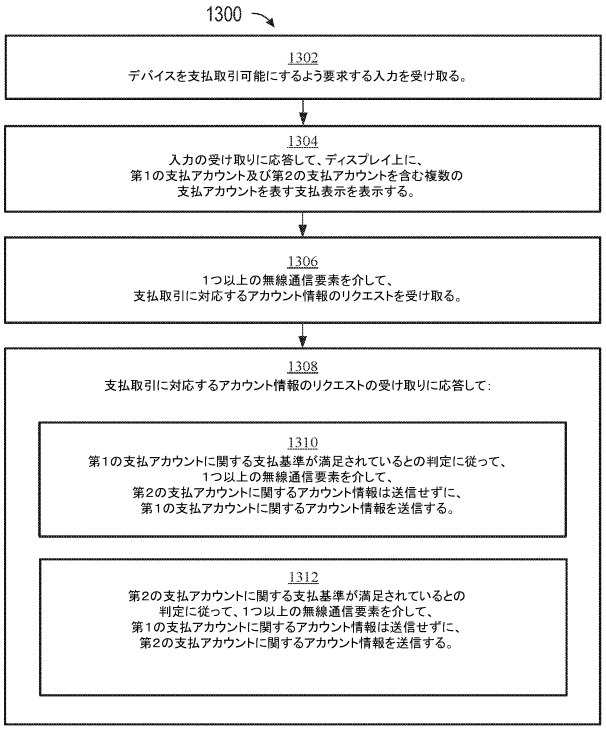


FIG. 13

【図１４Ａ】

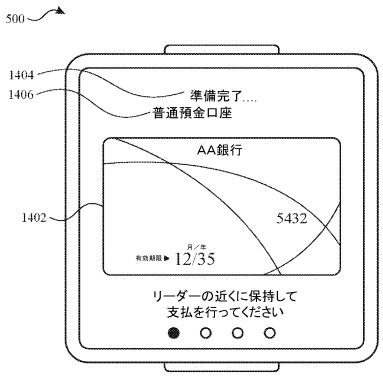


FIG. 14A

【図１４Ｂ】

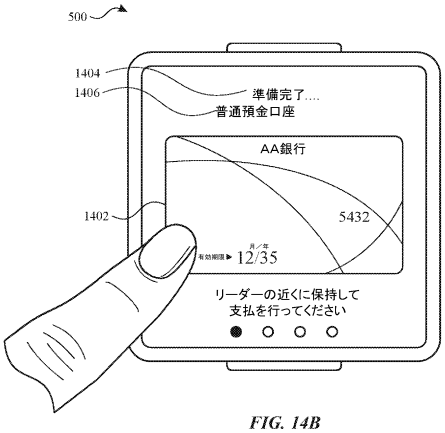


FIG. 14B

【図１４Ｃ】

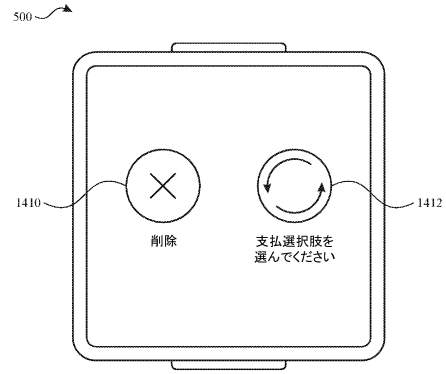


FIG. 14C

【図１４Ｄ】

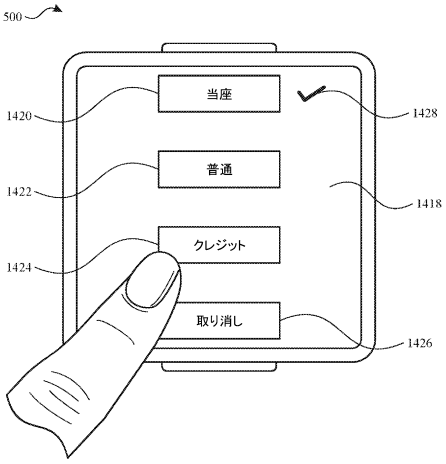


FIG. 14D

【図１４Ｅ】

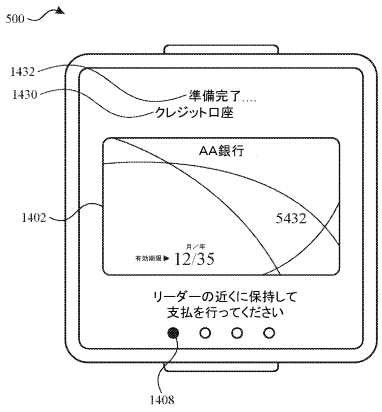


FIG. 14E

【図１５】

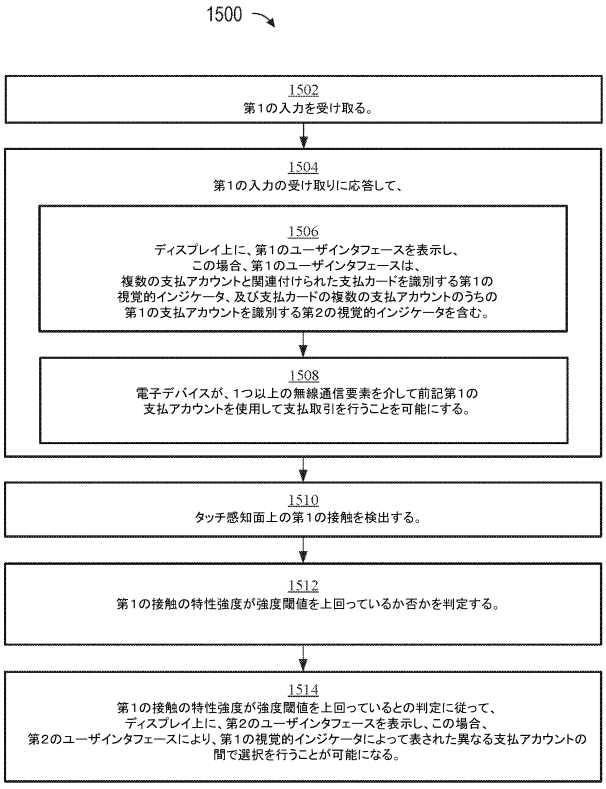


FIG. 15

【図１６Ａ】

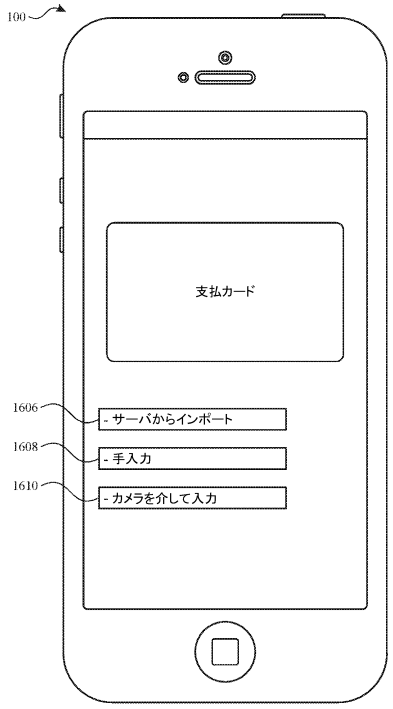


FIG. 16A

【図１６Ｂ】

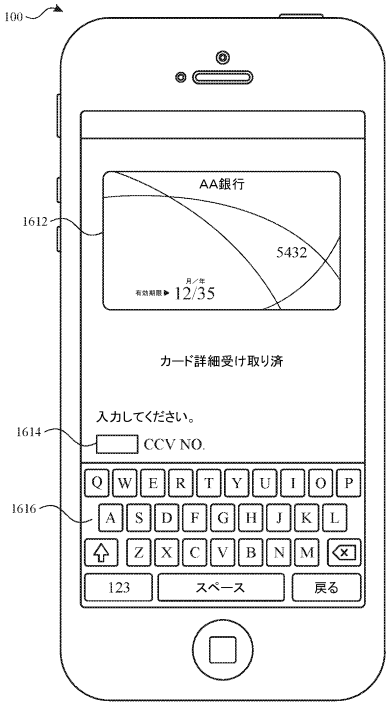


FIG. 16B

【図１６Ｃ】

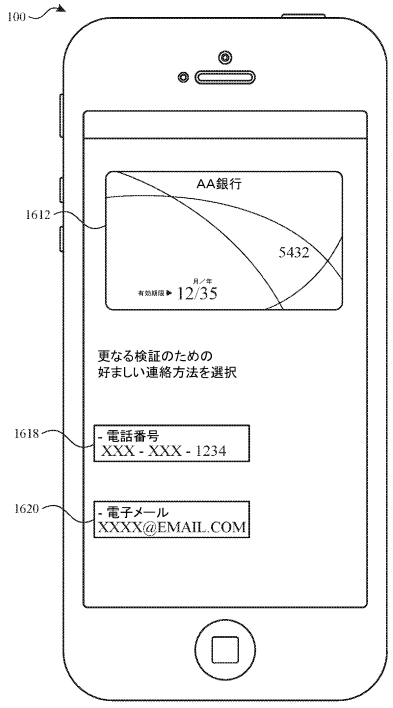


FIG. 16C

【図１６Ｄ】

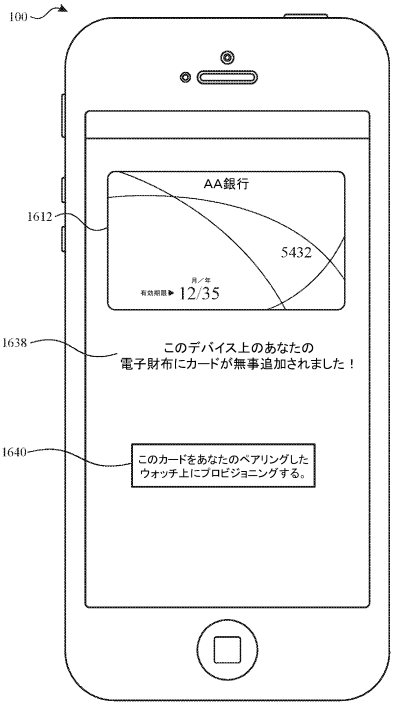


FIG. 16D

【図１６Ｅ】

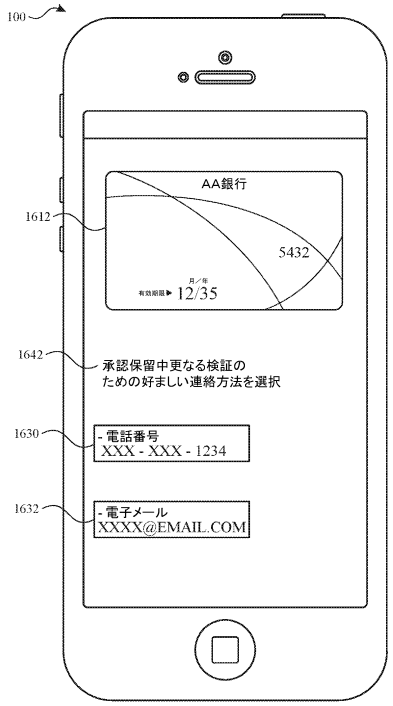


FIG. 16E

【図１６Ｆ】

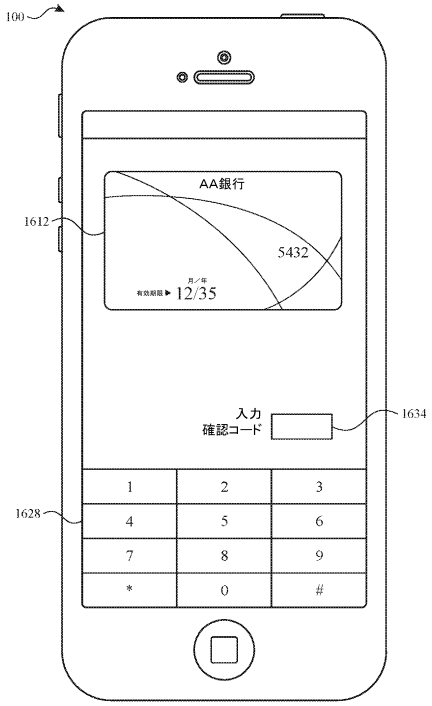


FIG. 16F

【図１６Ｇ】

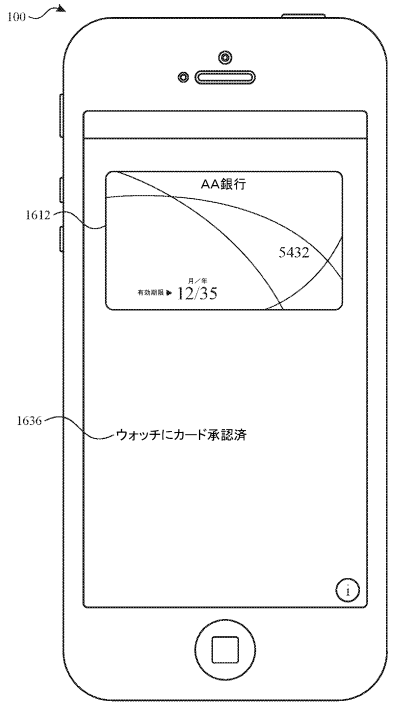


FIG. 16G

【図１７】

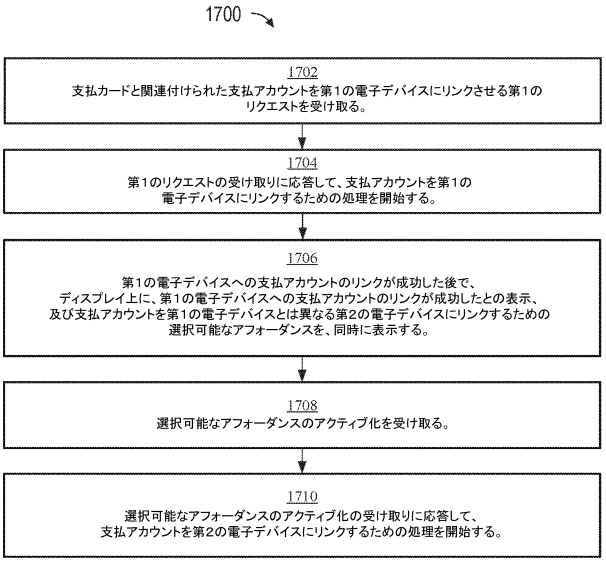


FIG. 17

【図１８Ａ】

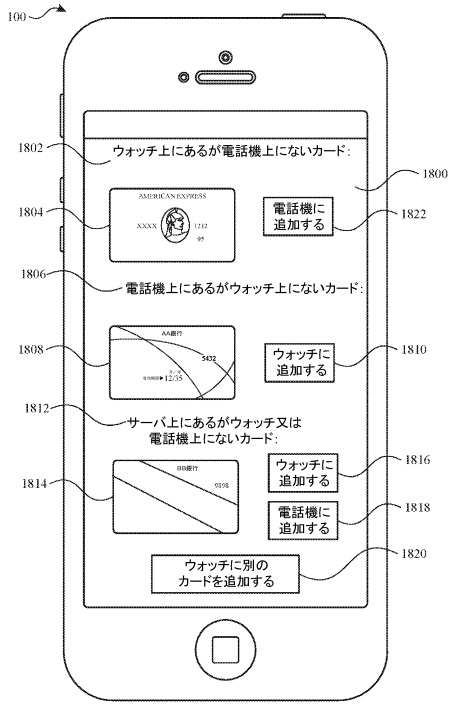


FIG. 18A

【図１８Ｂ】

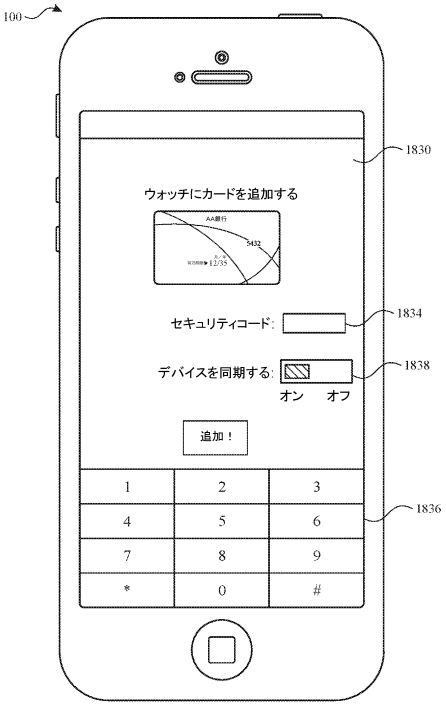


FIG. 18B

【図１８Ｃ】

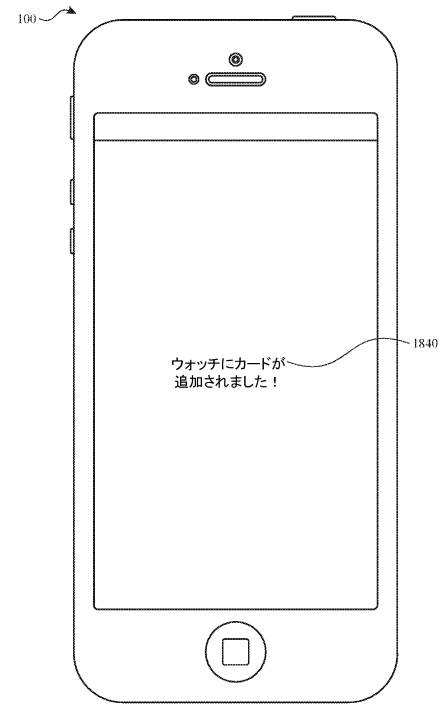


FIG. 18C

【図１９】

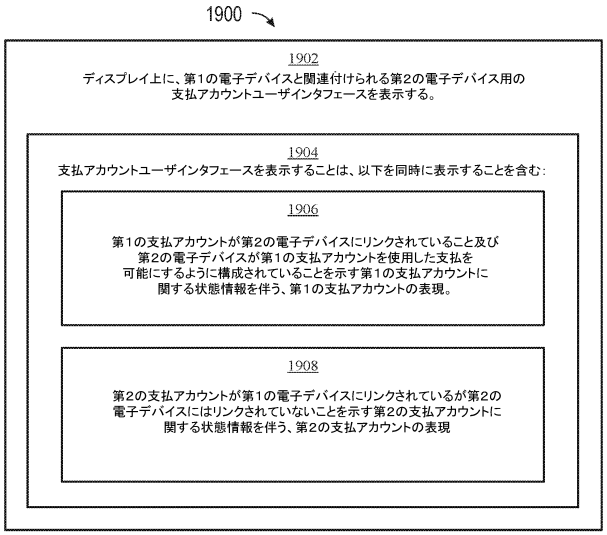


FIG. 19

【図２０】

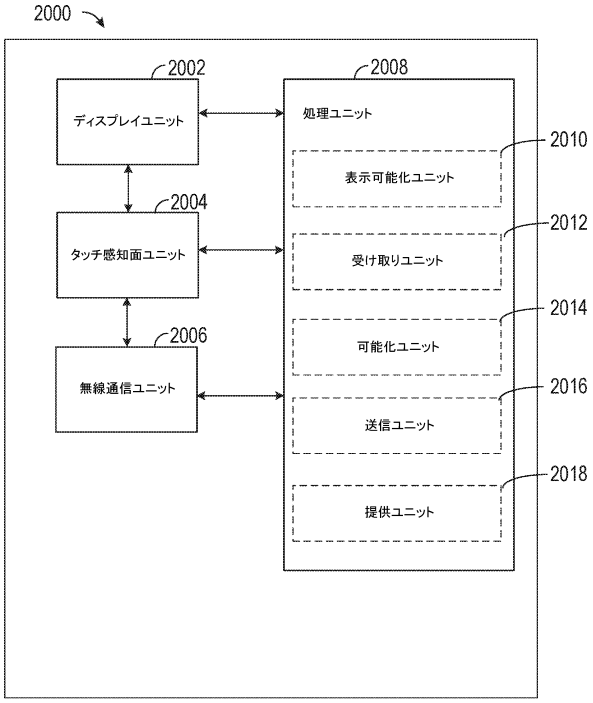


FIG. 20

【図２１】

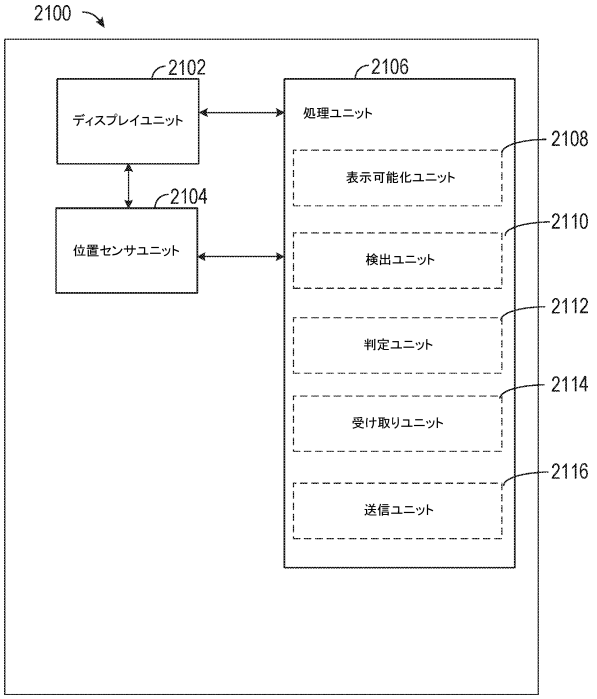


FIG. 21

【図２２】

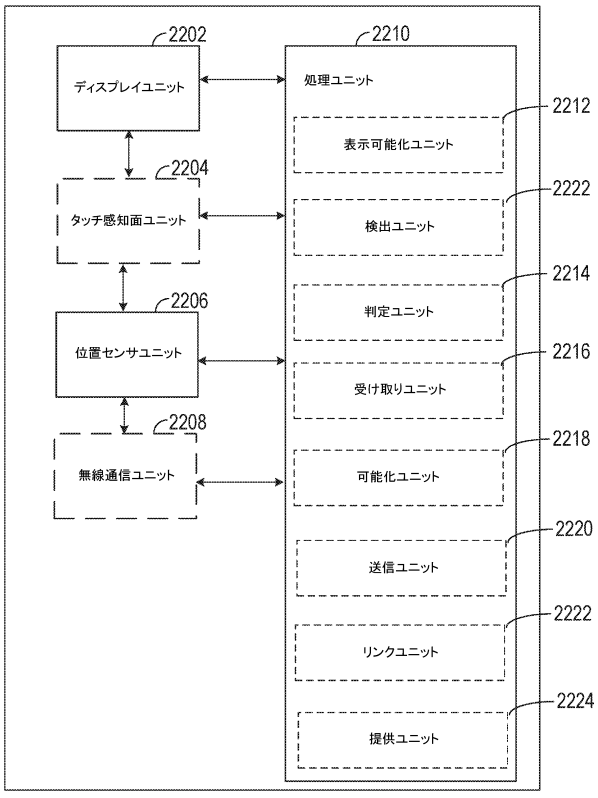


FIG. 22

【図２３】

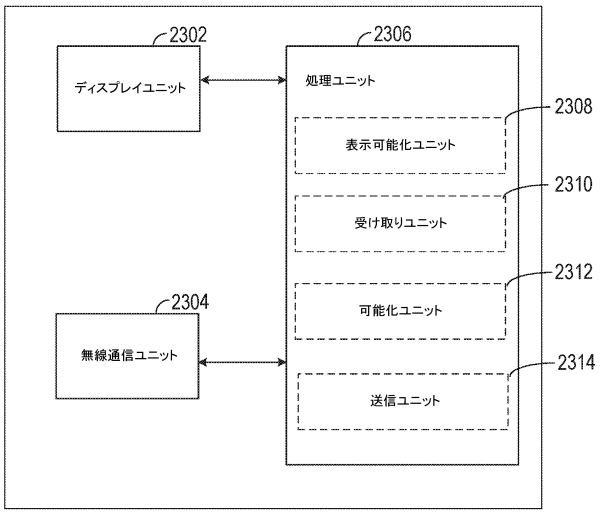


FIG. 23

【図２４】

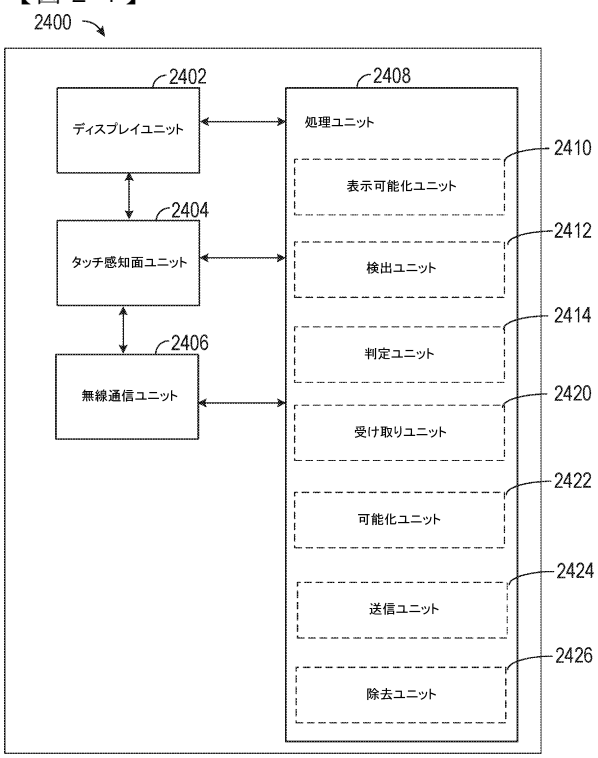


FIG. 24

【図２５】

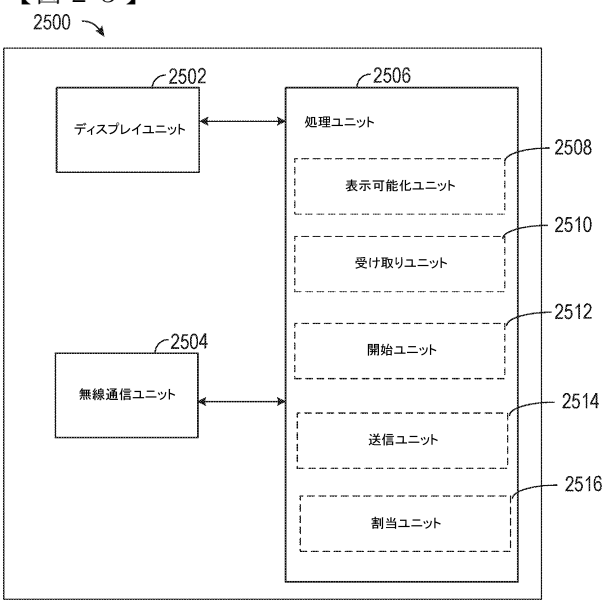


FIG. 25

【図２６】

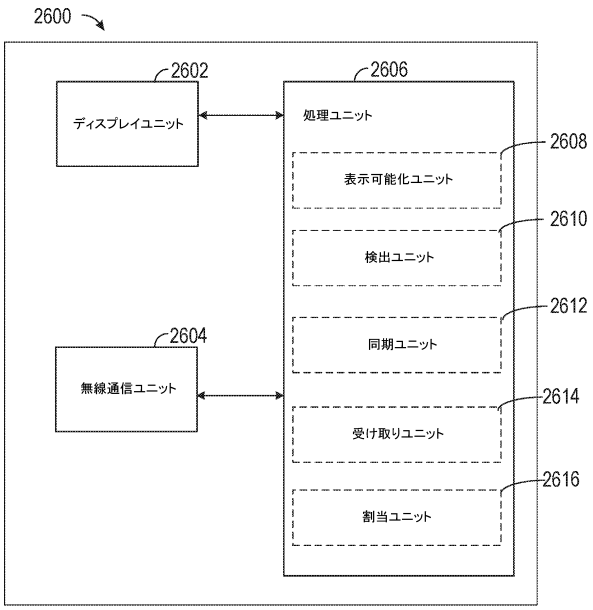


FIG. 26

フロントページの続き

(74)代理人 100116894
弁理士 木村 秀二
(74)代理人 100130409
弁理士 下山 治
(74)代理人 100134175
弁理士 永川 行光
(72)発明者 フォン オーエス, マーシャル
アメリカ合衆国 カリフォルニア州 ９５０１４, クパチーノ, エムエス ３０２－２エイチアイ, インフィニット ループ １, アップル インコーポレイテッド内
(72)発明者 スズキ, グレッグ
アメリカ合衆国 カリフォルニア州 ９５０１４, クパチーノ, インフィニット ループ １, アップル インコーポレイテッド内
(72)発明者 ヤン, ローレンス, ワイ.
アメリカ合衆国 カリフォルニア州 サンフランシスコ, ヘイト ストリート ８１６
(72)発明者 アントン, ピーター, ディー.
アメリカ合衆国 カリフォルニア州 ９５０１４, クパチーノ, インフィニット ループ １, アップル インコーポレイテッド内
(72)発明者 ピッツェル, ドナルド, ダブリュー.
アメリカ合衆国 カリフォルニア州 ９５０１４, クパチーノ, インフィニット ループ １, アップル インコーポレイテッド内

審査官 原 忠

(56)参考文献 特開２０１４－０４４７２４（ＪＰ，Ａ）
特開２００４－２５８７３８（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
Ｇ０６Ｑ １０／００ － ９９／００
Ｈ０４Ｍ １／００